

奈良市次期総合計画策定基礎調査
＜市民ニーズ調査及び分析＞
市民アンケート

平成21年3月

奈良市

報告書の見方

- 各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下 1 位で表示しているため、合計が 100% にならない場合がある。
- グラフ中の $N=xxx$ は構成比を表示する際の母数を示す。
- 設問の終わりにある複数回答は「 は 3 つまで」等、単一回答は「 は 1 つ」の質問形式であることを示す。
- 図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。

目 次

. 調査の概要	1
. 調査結果の要約	4
. 調査結果	8
回答者の属性	8
1 奈良市の印象などについて	14
2 『人権の尊重、文化の創造、教育の充実を進めるまちづくり』について	37
3 『福祉のまちづくり』について	48
4 『環境保全と安心・快適なまちづくり』について	52
5 『地域を支える産業を育成するまちづくり』について	70
6 市政やまちづくりへの参画について	75
7 奈良市の将来像や取り組むべきことについてお聞きします	89
施策の重要度・満足度の相対分析	102
自由意見	107
資料：アンケート調査票	111

調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、次期総合計画策定の基礎資料とするため、市民を対象にアンケート調査を行い、市の現状や将来のまちづくりに対する意識やニーズを把握することを目的とする。

(2) 調査項目

- 1 奈良市の印象などについて
- 2 『人権の尊重、文化の創造、教育の充実を進めるまちづくり』について
- 3 『福祉のまちづくり』について
- 4 『環境保全と安心・快適なまちづくり』について
- 5 『地域を支える産業を育成するまちづくり』について
- 6 市政やまちづくりへの参画について
- 7 奈良市の将来像や取り組むべきことについてお聞きします
- 8 奈良市の水道についてお聞きします
- 9 奈良市のまちづくりについて、ご自由に意見をお書きください
- 10 水道局に対するご意見・ご要望がありましたらご記入ください
- 11 あなたご自身のことについておたずねします

(3) 調査の設計

調査対象地域

奈良市全域

調査対象

市内に在住する満 18 歳以上の市民

抽出数

3,300 人

抽出方法

単純無作為抽出

抽出台帳

住民基本台帳・外国人登録原票

調査方法

郵送配布・郵送回収による郵送調査法

調査時期

平成 21 年 1 月 23 日（金）～2 月 9 日（月）

礼状兼督促状

平成 21 年 2 月 2 日（月）

(4) 回収結果

配布数	3,300
有効配布数	3,288
回収数	1,924
回収率	58.5%

(5) 標本誤差

本調査は、95%の信頼度のもとで標本誤差が3%以内に収まるよう、回収率40%を見込み配布数を3,300件とした。

調査の結果、1,924件(58.5%)を回収し、標本誤差は2.27%となり、目標通りの成果を得た。

$$b = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差

N = 母集団数 (18歳以上の総人口310,785人)

n = サンプル数 (比率算出の基数)

P = 回答比率

図表 標本誤差

回答比率 基数	10%または 90%前後"	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1924	±1.36%	±1.82%	±2.08%	±2.23%	±2.27%
1500	±1.55%	±2.06%	±2.36%	±2.52%	±2.58%
1000	±1.89%	±2.53%	±2.89%	±3.09%	±3.16%
500	±2.68%	±3.57%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
250	±3.79%	±5.06%	±5.79%	±6.19%	±6.32%

(6) 回答者の傾向

本アンケート調査は住民基本台帳より無作為に抽出したが、回収率が100%ではないため、回答者の属性は市民（母集団）と若干のずれがある。

本アンケート調査の回答者属性と住民基本台帳を比較すると以下のとおりである。

回答者の性別はほぼ人口構成と一致する。

回答者の20～40歳代の構成比が人口より低く、50～70歳代が高い。

		人口	構成比	回答者	構成比	差
性別	男性	144,884	46.6%	829	45.7%	-0.9%
	女性	165,901	53.4%	986	54.3%	0.9%
年代	18～19歳	7,352	2.4%	28	1.5%	-0.8%
	20歳代	41,916	13.5%	178	9.7%	-3.8%
	30歳代	51,781	16.7%	238	13.0%	-3.7%
	40歳代	47,775	15.4%	237	12.9%	-2.5%
	50歳代	51,642	16.6%	349	19.0%	2.4%
	60歳代	54,023	17.4%	428	23.3%	5.9%
	70歳代	36,146	11.6%	267	14.5%	2.9%
	80歳以上	20,150	6.5%	111	6.0%	-0.4%
	合計	310,785	100.0%			

回答者に性別・年代それぞれの設問の無回答者は含まない。

調査結果の要約

1 奈良市の印象などについて

市民の約7割が「住んでよかった」と感じている

約7割が「住んでよかった」と感じており、「よかったと思わない」は4.9%となっている。年代別に見ると、概ね年代が上がるほど「よかったと思う」が多くなり、地域別では、中央市街地、中部、西北部が他のゾーンに比べ多く、南部、東部になるとやや少なくなる。平成10年の調査結果と比べると、「住んでよかった」は4.8ポイント下がっている。

「住んでよかった」理由のトップは自然環境の良さ

「住んでよかった」理由は「自然環境が良い」が68.0%で最も多く、「古社寺・史跡・名勝が多く歴史がある」(46.2%)、「災害が少ない」(43.8%)が続いている。

「住んでよかったと思わない」理由のトップは交通の不便さ

「住んでよかったと思わない」理由は「交通が不便」が67.0%で最も多く、ついで「社会福祉や保健・医療体制が整っていない」(43.6%)、「買い物に不便」(39.4%)が続いている。

市民の7割以上が奈良市に「愛着」を感じている

「強く愛着を感じる」は18.6%、「まあまあ愛着を感じる」は54.9%で、両方を合わせた『愛着を感じる』は73.5%となる。年代別に見ると、概ね年代が上がるほど「愛着」を感じる割合が高くなり、ゾーン別では、東部の『愛着を感じる』が他のゾーンに比べやや少なくなっている。平成10年の調査結果と比べると、「強く愛着を感じる」方は4ポイント、「まあまあ愛着を感じる」は2.7ポイント下がっている。

市民の約7割が奈良市への定住意向を示している

「現在の場所に住み続けたい」が58.7%で、「市内で引っ越したい」と合わせた定住意向は68.6%である。年代別に見ると、10歳代を除いて年代が上がるほど定住意向(市内に住み続けたい)が高くなり、地域別に見ると、いずれの地域も「住み続けたい」が「市外へ引っ越したい」を大きく上回っており、中部と東部の「住み続けたい」意向が他のゾーンに比べ若干高い。

2 『人権の尊重、文化の創造、教育の充実を進めるまちづくり』について

人権意識が高まっていると感じる方がやや多い

「市民一人ひとりの人権意識は高くなってきたと思いますか」という設問に対し、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は34.5%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の23.2%を上回る。しかし、「どちらともいえない」が40.6%と最も多い。

性別に関わりなく、個性や能力を發揮できる社会になりつつある

「男女が性別にかかわらず、共に個性や能力を發揮できる社会になりつつあると思いますか」という設問に対し、『思う』は49.0%で、『思わない』の23.0%を大きく上回っている。

地域の人との交流は「あいさつをする程度」が多い

地域の人とは「あいさつをする程度」が 60.2%で最も多いが、「相談したり助け合ったりする」も 3割近く（28.6%）ある。「相談したり助け合ったりする」は年代別では 60 歳以上が 4 割前後と高く、ゾーン別では東部が 2 / 3（66.7%）と他のゾーンに比べかなり多くなっている。

学校・家庭・地域が連携して青少年を育成している

「学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っていると思いますか」という設問に対して、『思う』は 46.9%で、『思わない』の 26.0%を上回っている。

3 『福祉のまちづくり』について

奈良市内の施設や道路の段差など障害物の解消はあまり進んでいないと思われる

『思う』は 39.9%で、『思わない』の 53.3%を下回る。地域別に見ると、いずれの地域も『思う』が『思わない』を下回っており、特に中部は他のゾーンに比べ大きく下回っている。

4 『環境保全と安心・快適なまちづくり』について

ゴミの分別の意識が高い

「ごみの分別収集や地域の資源回収に協力していますか」という設問に対し、「積極的に協力している」は 78.3%を占め、「時々協力している」と合わせると 95.8%とほとんどの人が協力している。

環境に配慮した行動をしている人が多い

「日常生活において環境に配慮した行動を心がけていますか」という設問に対し、「心がけている」は 55.9%を占め、「少し心がけている」と合わせると 92.4%とほとんどの人が心がけている。

奈良市内の道路は歩行者が安全に利用できるようになっていないと思う人が多い

「奈良市内の道路について、歩行者が安全に利用できるよう整備されていると思いますか」という設問に対し、『思う』は 19.3%で、『思わない』の 53.8%を大きく下回っている。ゾーン別に見ると、いずれのゾーンも『思う』が『思わない』を下回っており、特に中部は他のゾーンに比べ大きく下回っている。

地域のまちなみに対する評価は高い

「お住まいの地域のまちなみを美しいと思いますか」という設問に対し、『思う』は 48.1%で、『思わない』の 27.2%を上回っている。ゾーン別に見ると、『思う』が『思わない』を上回るのは、中央市街地、西北部、東部で、同率が中部、唯一南部は『思わない』が『思う』を上回っている。また、西北部は他のゾーンに比べ『思う』が『思わない』を大きく上回っている。

地域の緑は豊かである

「お住まいの地域は緑が豊かだと思いますか」という設問に対し、『思う』は 63.1%で、『思わない』の 22.4%を大きく上回っている。ゾーン別に見ると、全てのゾーンで『思う』が『思わない』を上回っており、東部、西北部、中部は大きく上回っている。また、東部は「思う」が 8 割を超えている。

災害に対する意識は高い

「災害時の備えや避難所の位置などについて、日頃から意識していますか」という設問に対し、「意

識している」と「少しは意識している」を合わせた『意識している』は 70.0%で、「あまり意識していない」と「全く意識していない」を合わせた『意識していない』の 20.5%を大きく上回っている。『意識している』は年代が上がるほど高くなる傾向にあり、ほとんどの年代で『意識している』が『意識していない』を上回っているが、10 歳代は下回っており、20 歳代は均衡している。

防犯に対する意識は高い

「自分の住まいや地域の防犯について、日頃から意識していますか」という設問に対し、『意識している』は 80.7%で、『意識していない』の 10.4%を大きく上回っている。

5 『地域を支える産業を育成するまちづくり』について

地産地消がすすんでいる

「奈良市内で採れた農産物を購入していますか」という設問に対し、「よく購入している」と「時々購入している」を合わせた『購入している』は 77.5%で全体の 3/4 以上を占めている。

6 市政やまちづくりへの参画について

市政への関心は高い

「市政に関心がありますか」という設問に対し、「非常に関心がある」と「いくらか関心がある」を合わせた『関心がある』は 67.8%で、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた『関心がない』の 22.7%を大きく上回っている。10 歳代を除けば『関心がある』は『関心がない』を上回っており、20 歳代は均衡しているものの、その他の年代は関心度が非常に高い。

市民の市政への参画、市民と行政との協働を広げるためには「活動する時間的な余裕」と「十分な情報提供」が必要

市民の市政への参画、市民と行政との協働を広げるための条件としては、「活動する時間的な余裕」(52.1%)、「十分な情報提供」(49.2%)とする比率が高い。

「体育・スポーツ」「産業の振興」「文化・芸術」の分野では民間が果たす役割がやや高い

全ての施策において「行政が大きい」と「行政がやや大きい」を合わせた『行政が大きい』が「民間が大きい」と「民間がやや大きい」を合わせた『民間が大きい』を上回っており、「保健・医療」「高齢者福祉」「文化財・歴史的町並の保護」が特に行政の役割が大きいと考えられている。

逆に、民間の役割がやや高い施策には「体育・スポーツ」「産業の振興」「文化・芸術」がある。

7 奈良市の将来像や取り組むべきことについてお聞きします

奈良市の都市像は「文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市」

「奈良市がどのような市になることが望ましいと思いますか」という設問に対し、「文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市」が 55.4%で最も多く、「交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心な都市」(45.7%)、「観光客などの訪れる魅力ある観光都市」(41.8%)が続いている。

重点施策は「文化財や歴史的資源を保護・保全する」

「行政施策として重点を置いて実施していくべきだと思うのはどれですか」という設問に対し、「文

化財や歴史的資源を保護・保全する」が 52.4%で最も多く、「緑や自然環境を保全する」(40.8%)、「保健・医療体制を充実させる」(39.3%)が続いている。

定住促進のために必要な施策は「仕事と子育ての両立のための環境づくりや子育て支援の充実」と「保健・医療体制の充実」

「定住促進対策として、特にどのような施策を強化していく必要があると思いますか」という設問に対し、「仕事と子育ての両立のための環境づくりや子育て支援の充実」が 41.1%で最も多く、「保健・医療体制の充実」(33.7%)、「地場産業や新たな産業振興による雇用の受け皿づくりや起業支援」(24.5%)が続いている。

市民ニーズの高い施策は「医療」「防災対策」「福祉」「青少年育成」「学校教育」「生活・環境衛生」「環境保全」

相対的に重要度が高いが満足度が低い施策、つまり市民ニーズが高い施策としては「医療」「防災対策」「高齢者福祉」「子育て支援」「地域福祉」「障害者福祉」「青少年育成」「学校教育」「生活・環境衛生」「環境保全」があげられている。

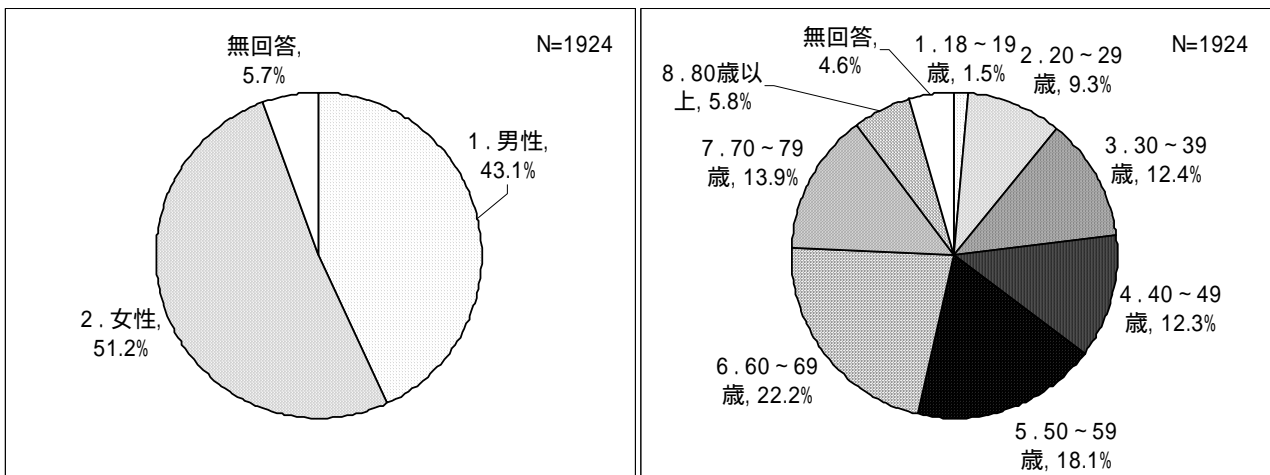
調査結果

回答者の属性

(1) 性別・年代

回答者は男性が 43.1%、女性が 51.2%、無回答が 5.7%であった。平成 21 年 1 月の住民基本台帳による 18 歳以上人口は、男性 46.6%、女性 53.4%であるので、無回答を除く男女構成比（男性 45.7%、女性 54.3%）とほぼ同じである。

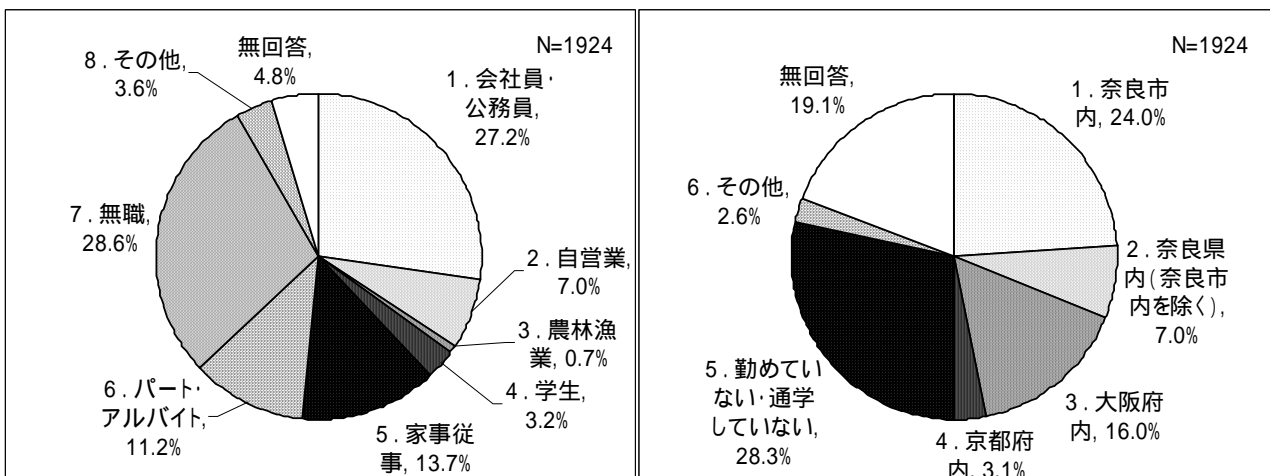
また、年代構成比は、「10 歳代」が 1.5%、「20 歳代」が 9.3%、「30 歳代」が 12.4%、「40 歳代」が 12.3%、「50 歳代」が 18.1%、「60 歳代」が 22.2%、「70 歳代」が 13.9%、「80 歳以上」が 5.8%である。



(2) 職業構成・勤務先

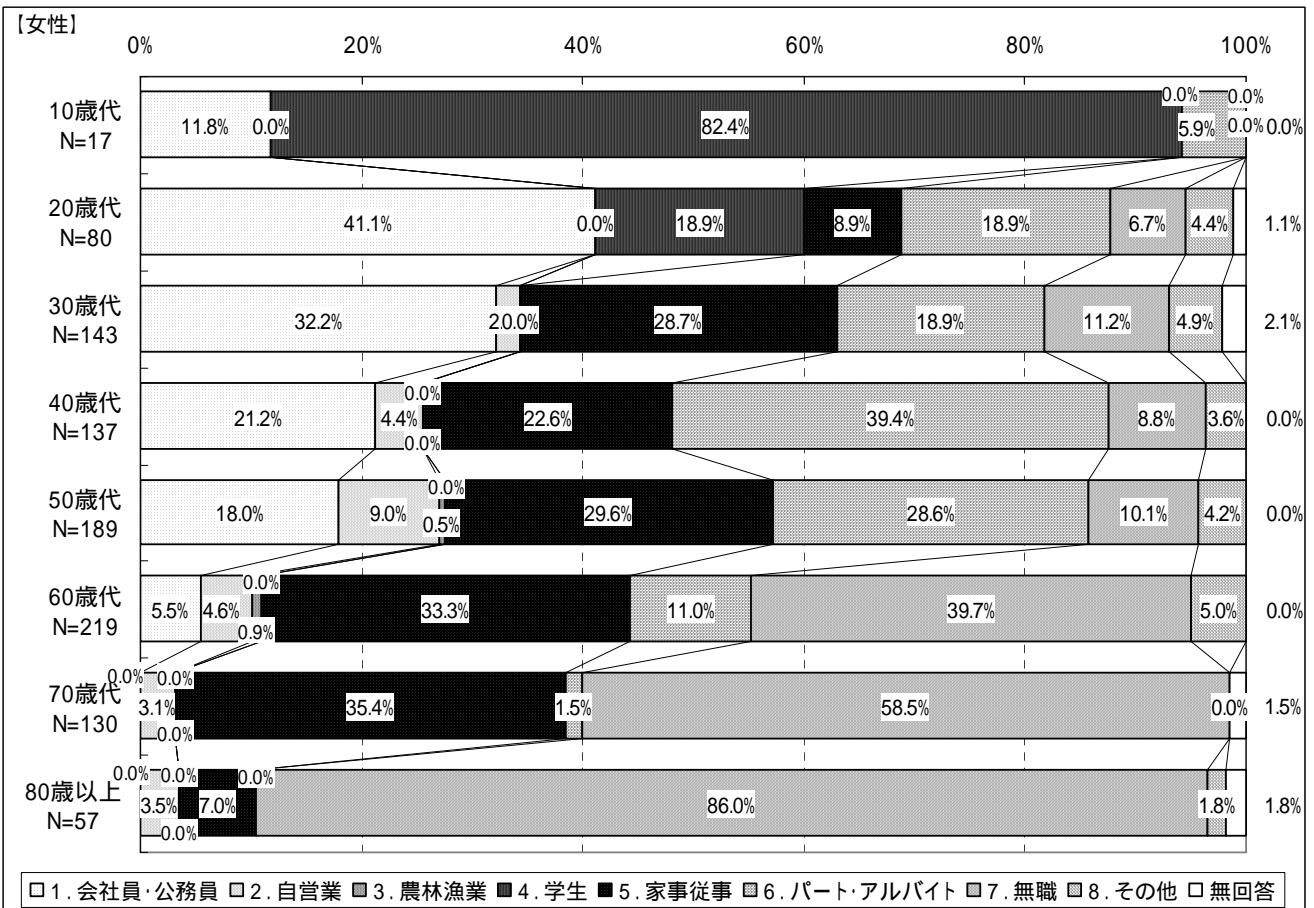
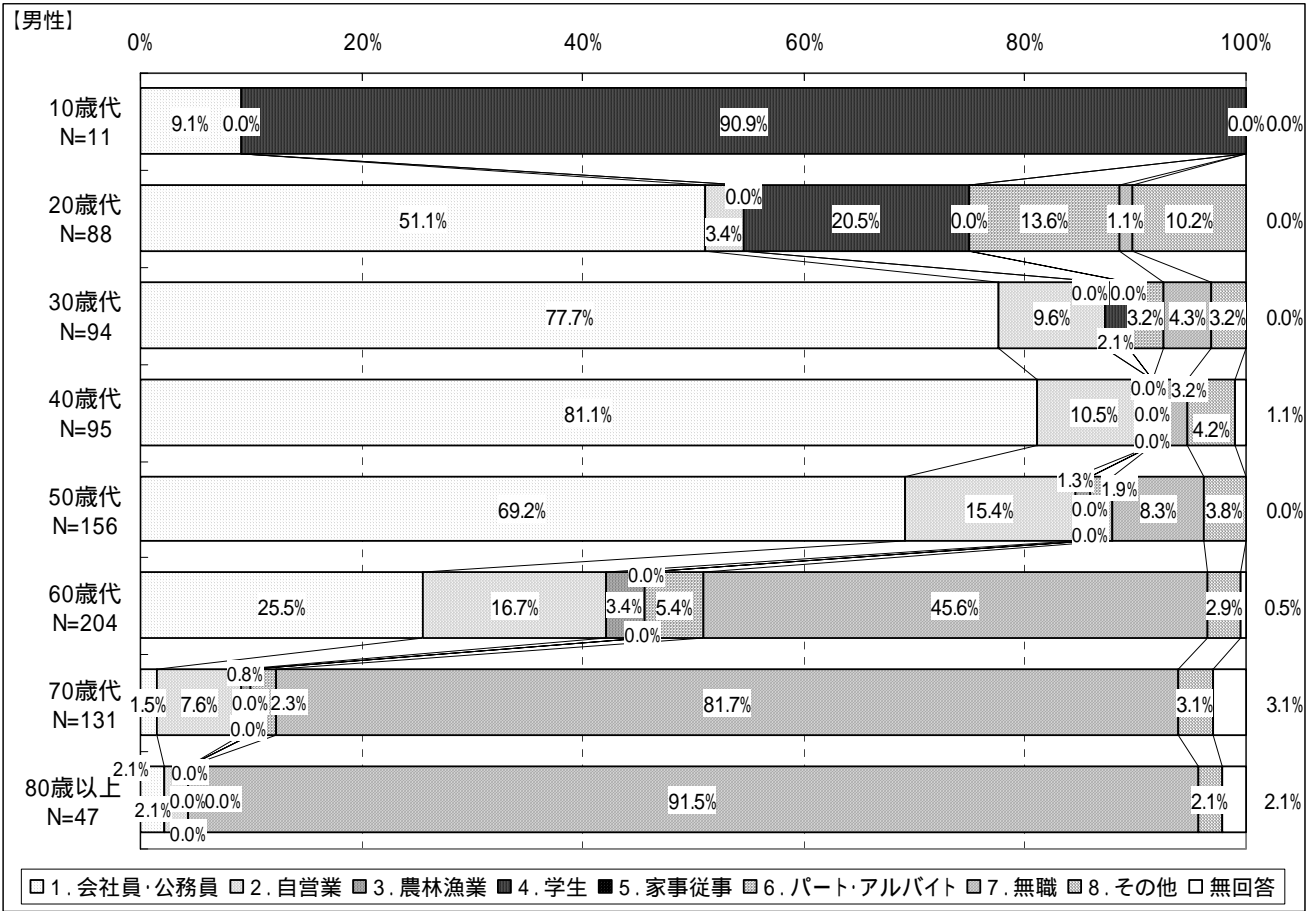
回答者の職業構成を見ると、「会社員」が 27.2%、「自営業」が 7.0%、「農林漁業」が 0.7%、「学生」が 3.2%、「家事従事」が 13.7%、「パート・アルバイト」が 11.2%、「無職」が 28.6%、「その他」が 3.6%である。

「5. 働いていない、または通学していない」が最も多く 28.3%である。ついで「1. 奈良市内」が 24%、「大阪府」が 16%である。



男女別・性別に見ると、60 歳以上で男女ともに無職の割合が高くなるが、60 歳代、70 歳代の無職の割合は男性より女性のほうが少なく、70 歳代まで家事についている割合が高い。男性の 20 歳代ではパ

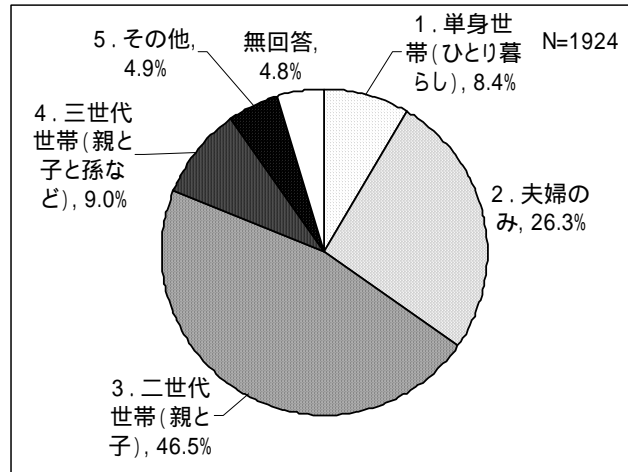
ート・アルバイトの割合が高い。女性は年代が高くなるほどパート・アルバイトの割合が高くなる。



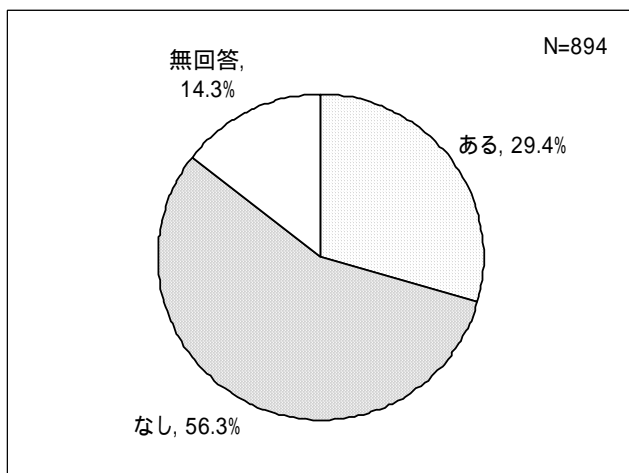
(3) 家族構成

回答者の家族構成は、「単身世帯(ひとり暮らし)」が8.4%、「夫婦のみ」が26.3%、「二世世代世帯(親と子)」が46.5%、「三世世代世帯(親と子と孫など)」が9.0%である。

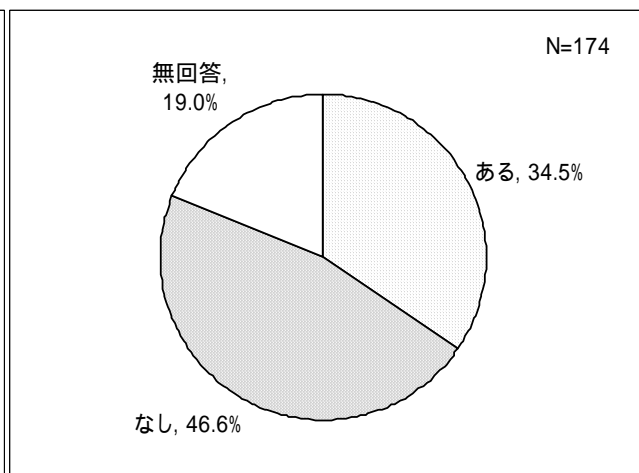
二世世代世帯で中学生以下の子どもがある世帯は29.4%、中学生以下の子どもがある世帯は34.5%である。



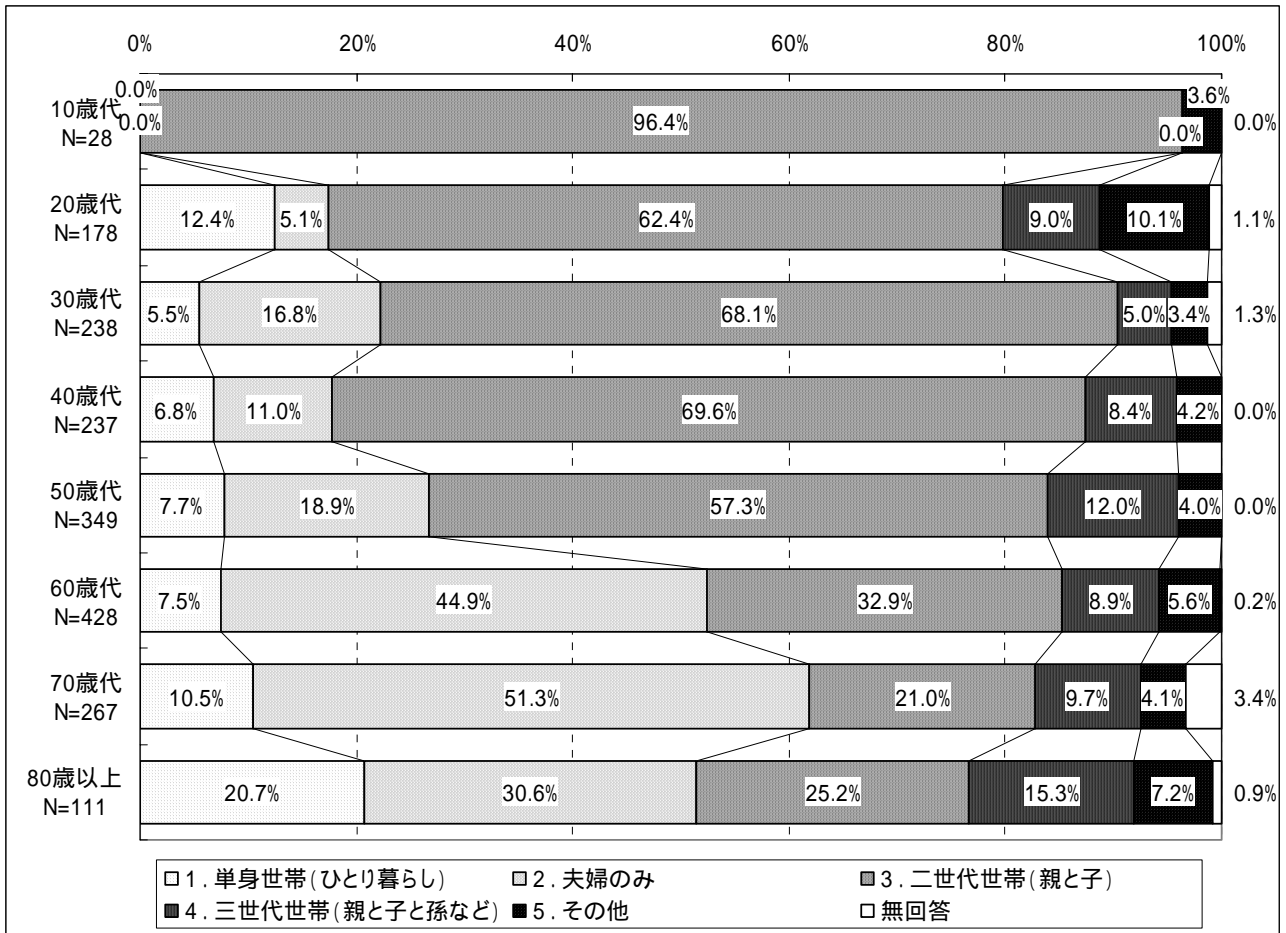
二世世代世帯の中学生以下の子どもがある世帯



三世世代世帯の中学生以下の子どもがある世帯

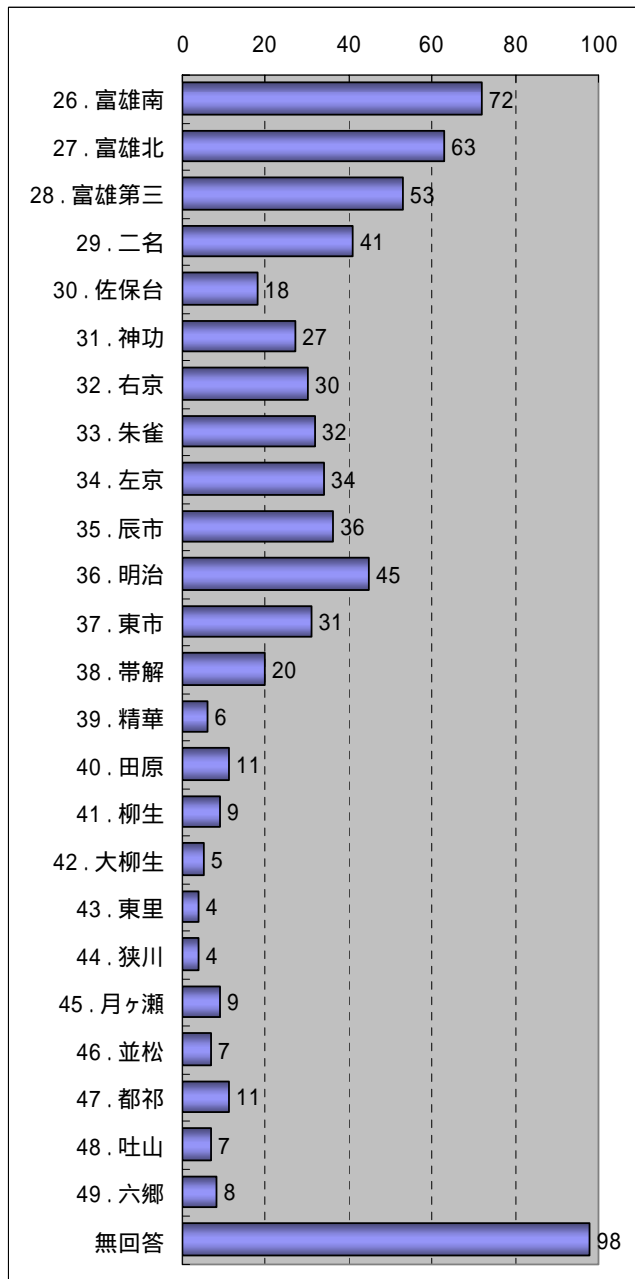
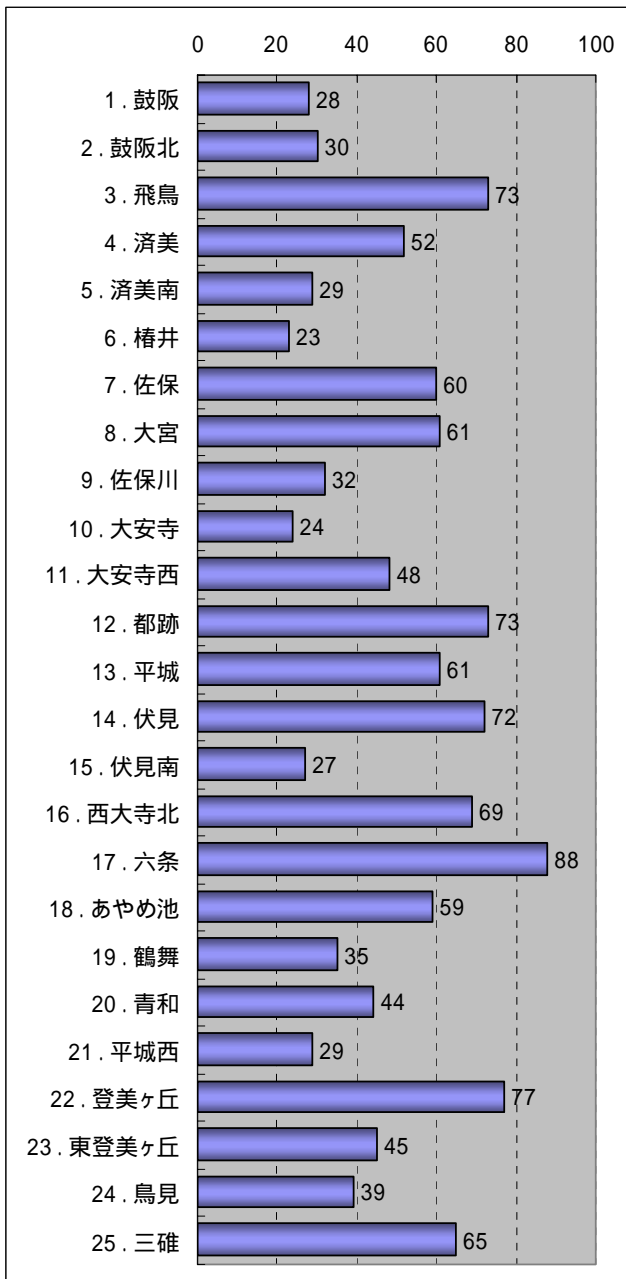


年代別に家族構成を見ると、単身世帯が最も多いのは80歳以上であり、独居老人は80歳以上の1/5を占めている。30歳代を除けば年代が上がるほど夫婦のみの世帯が増える。

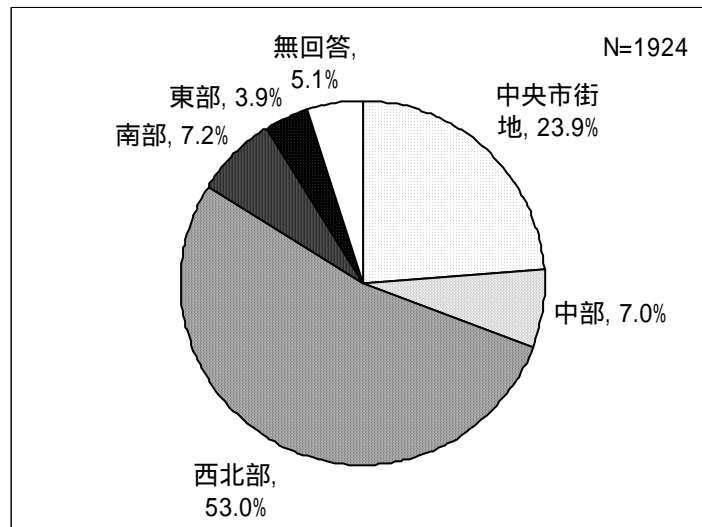
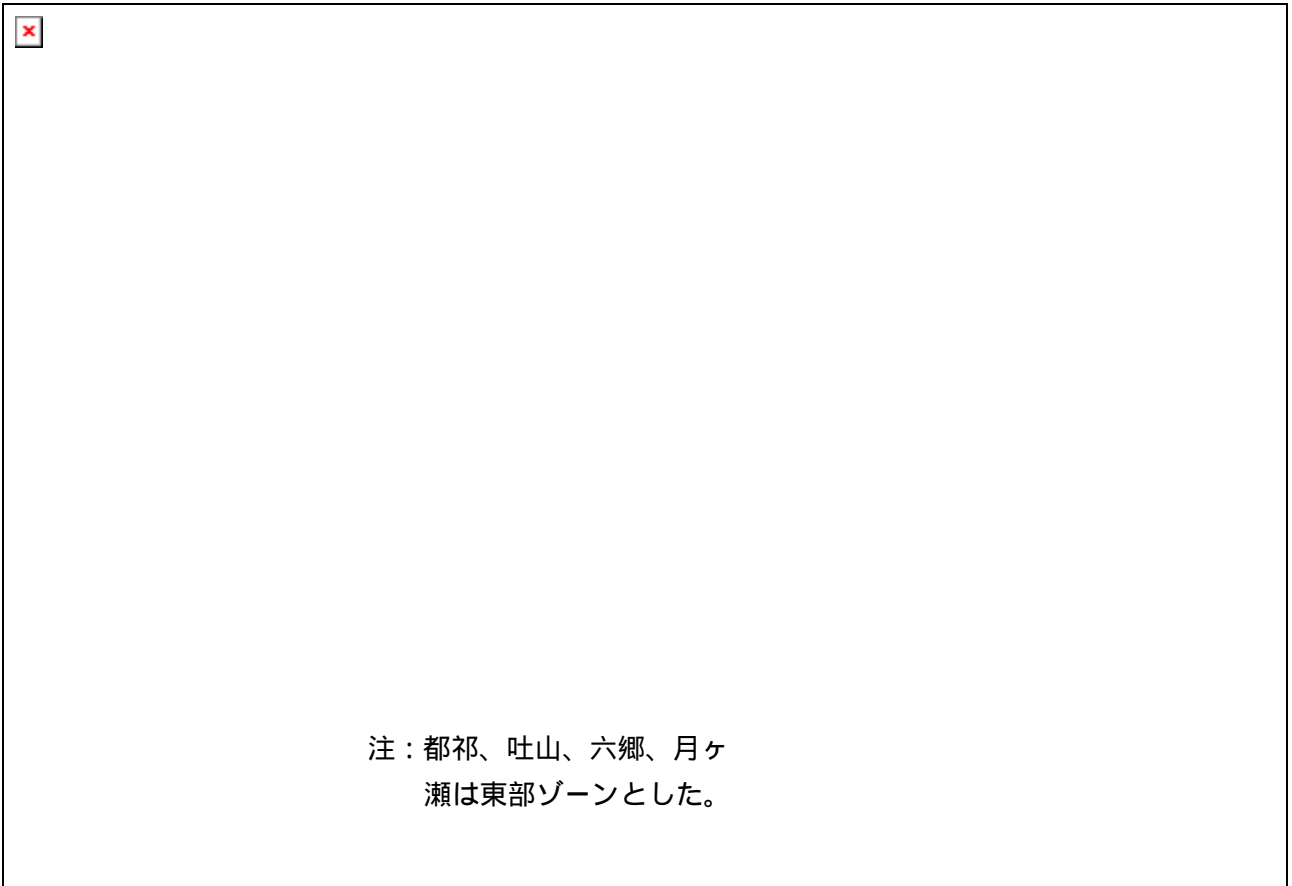


(4) 居住地

居住地別の回答数は以下のとおりである。



図表 ゾーン図

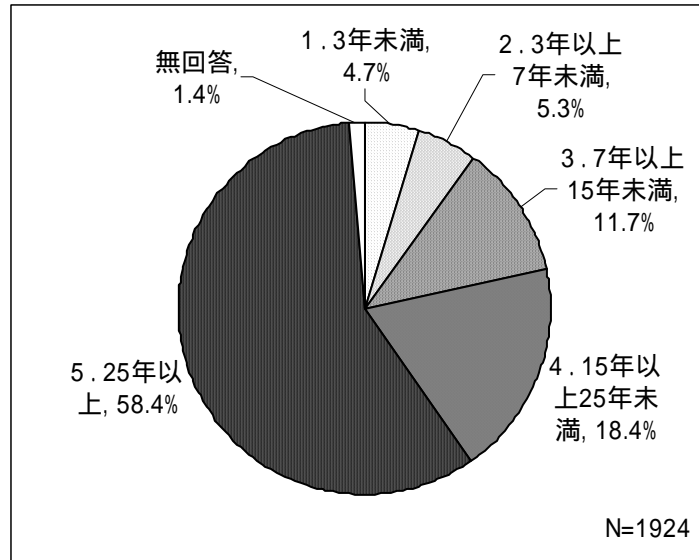


1 奈良市の印象などについて

問1 - 1 あなたは、奈良市(合併前の月ヶ瀬村、都祁村も含めて)に住んで何年になりますか。(は1つ)

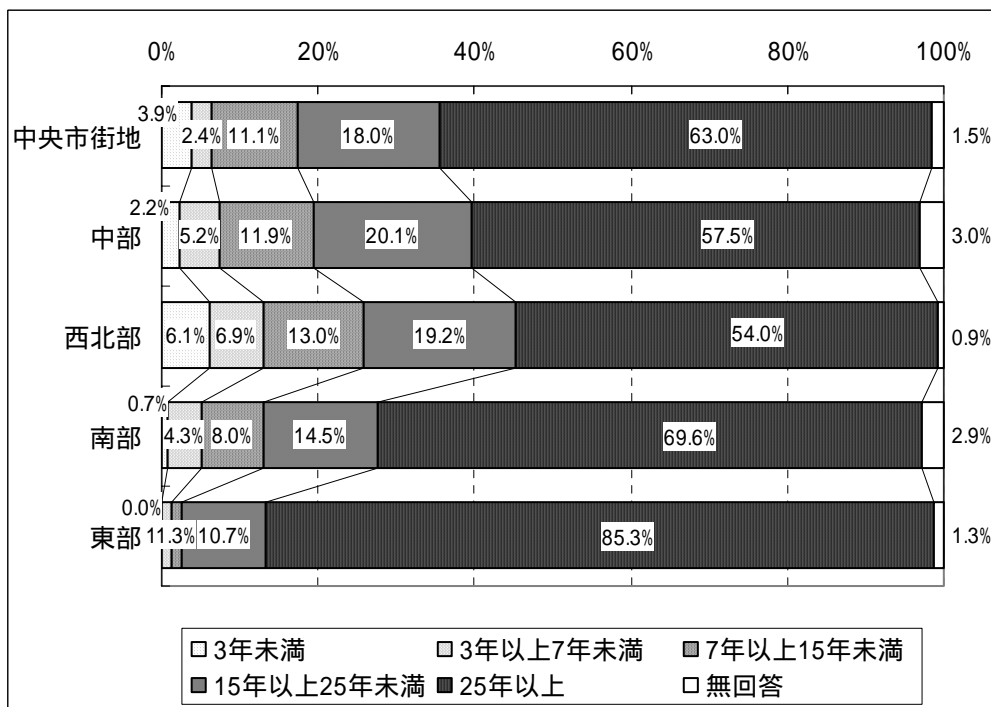
< 全 体 >

回答者の居住年数は、「3年未満」が4.7%、「3年以上7年未満」が5.3%、「7年以上15年未満」が11.7%、「15年以上25年未満」が18.4%、「25年以上」が58.4%、無回答が1.4%である。



< 地域別 >

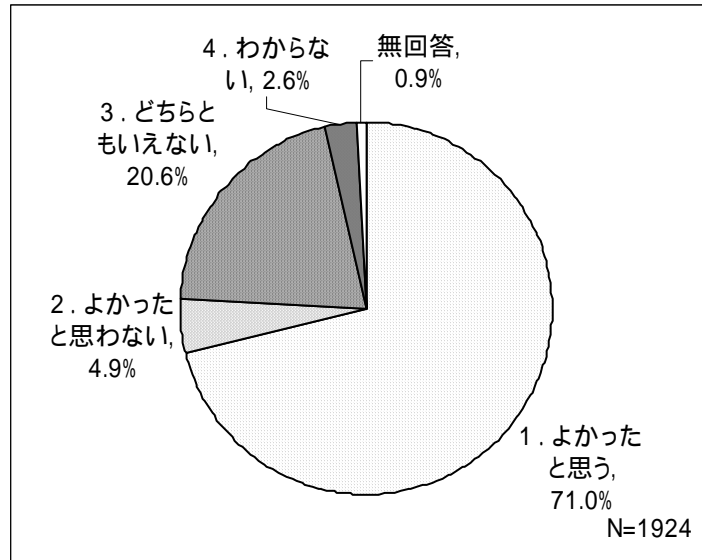
地域別に見ると、25年以上は東部が最も多く85.3%を占める。逆に3年未満が最も多いのは西北部で6.1%である。南部・東部は他のゾーンに比べ長期居住者が多く、西北部・中部・中央市街地は25年未満の居住者が多い。



問1 - 2 あなたは、奈良市に住んで「よかった」と思いますか。(は1つ)

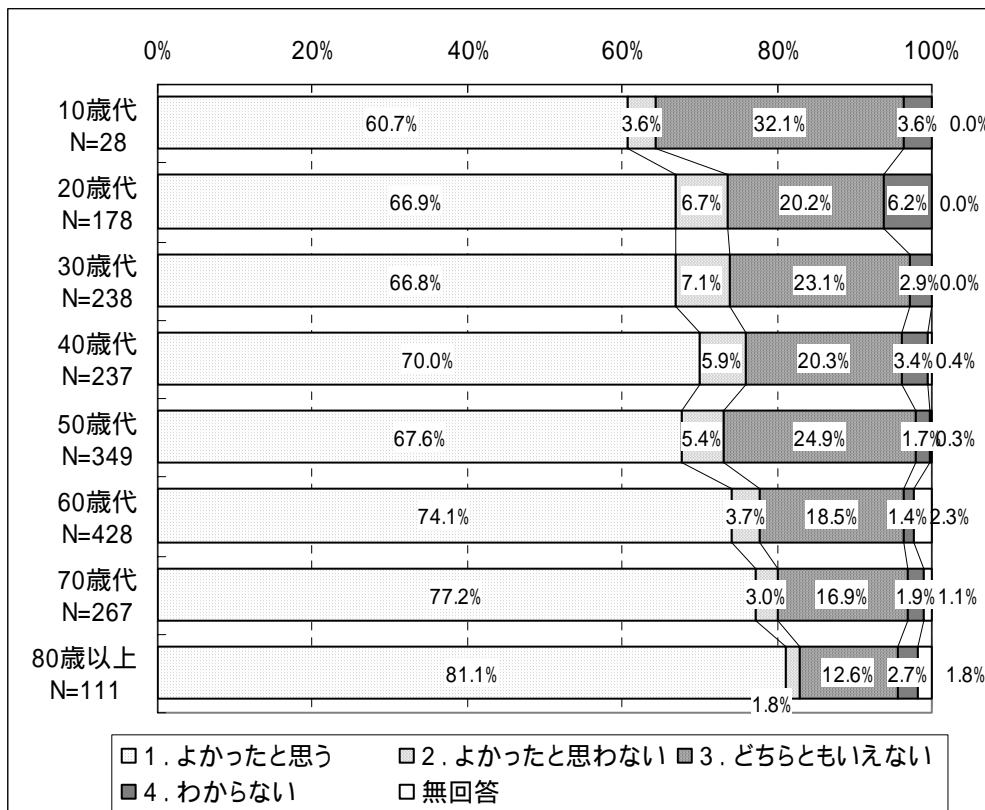
<全 体>

「よかったと思う」が最も多く71%を占め、「どちらともいえない」が20.6%、「よかったと思わない」が4.9%と続く。



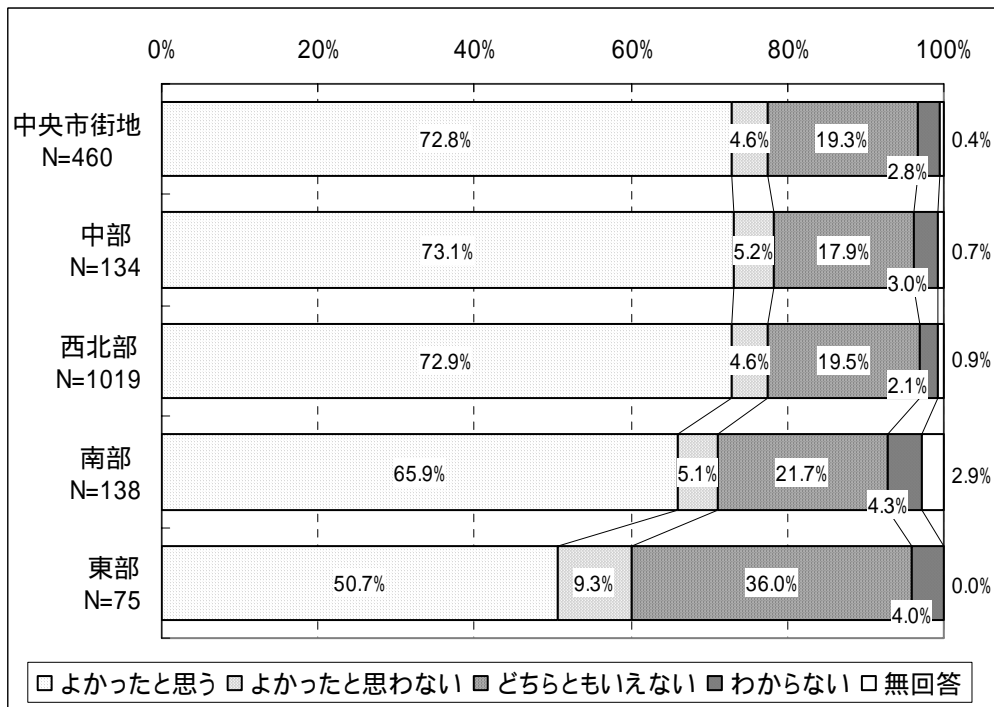
<年代別>

年代別に見ると、概ね年代が上がるほど「よかったと思う」の割合が高く、「よかったと思わない」の割合が低くなる傾向にある。



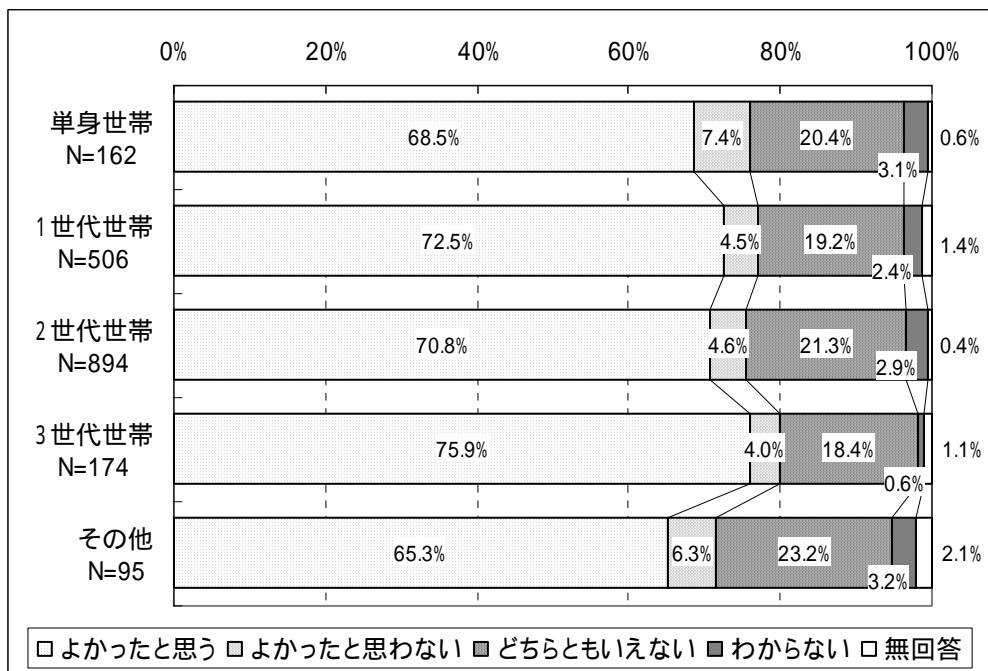
<ゾーン別>

ゾーン別に見ると、「よかったと思う」は中央市街地、中部、西北部が高く、南部、東部になると低くなる。「よかったと思わない」は、中央市街地、中部、西北部、南部が5%前後であるのに対し、東部は9.3%と他のゾーンに比べ若干高い。また、「どちらともいえない」も同様に東部の回答割合が高い。



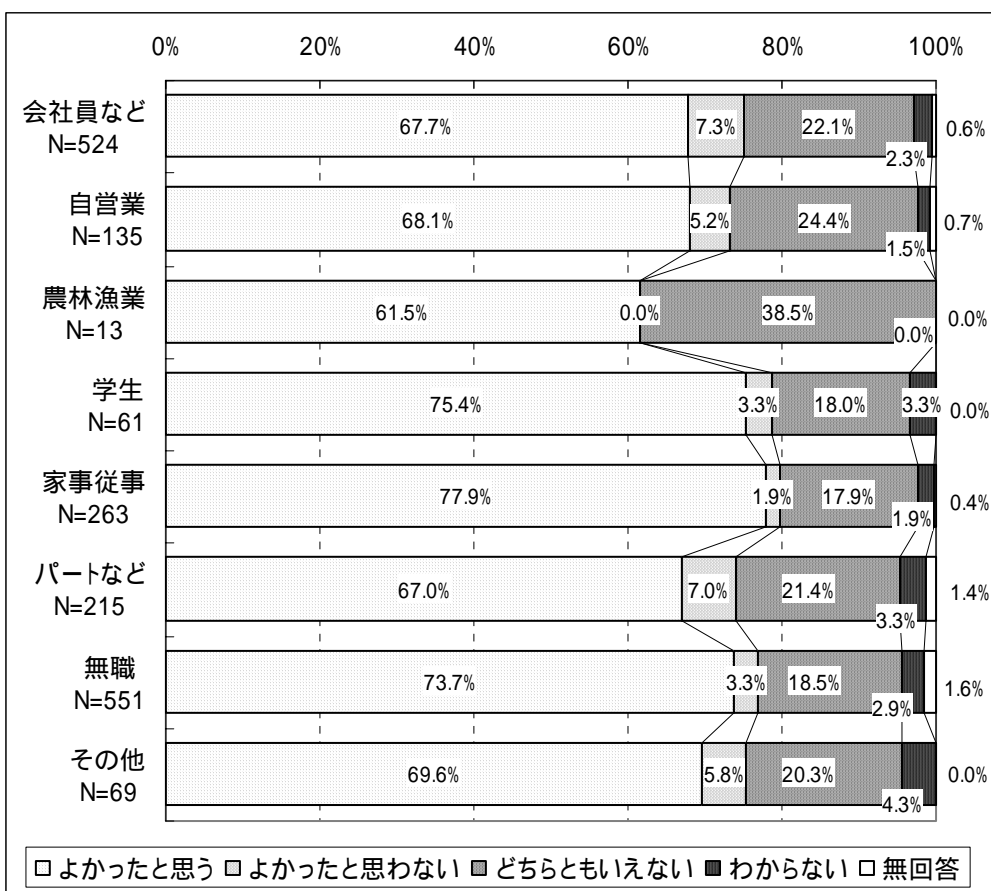
<家族構成別>

単身世帯に比べ、1世代・2世代・3世代世帯のほうが「よかったと思う」割合が高いが、大きな差とはなっていない。



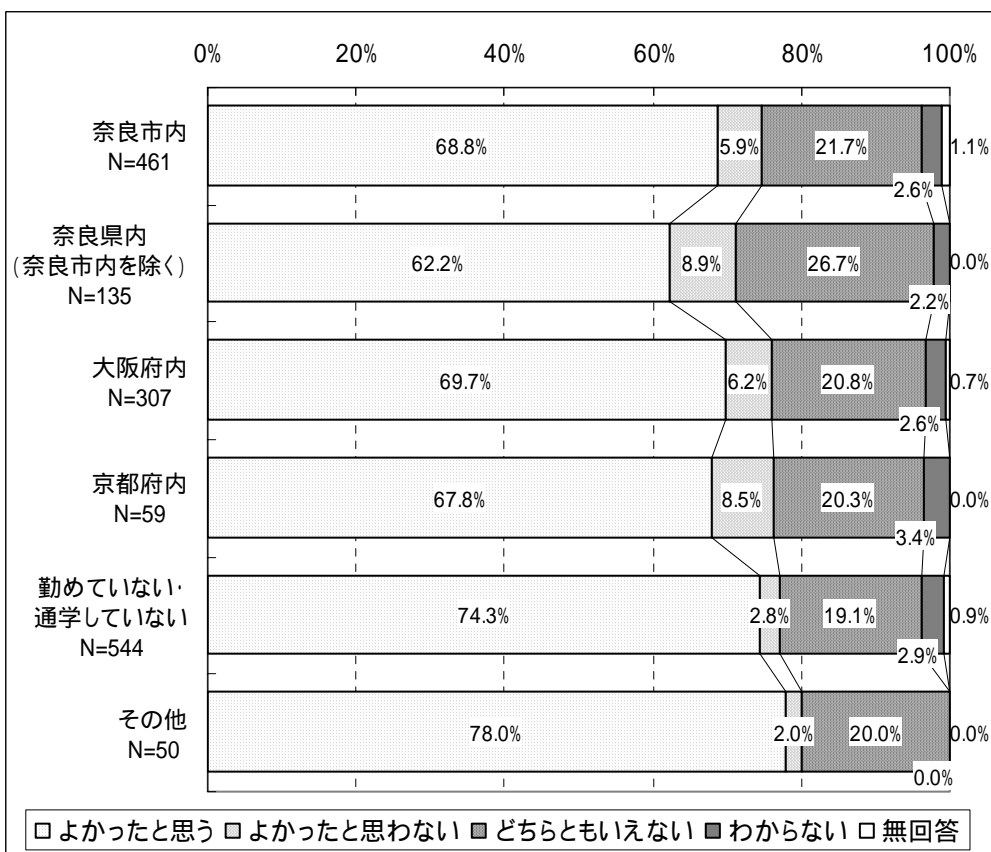
< 職業別 >

職業別に見ると、「学生」「家事従事者」が他の職業に比べ若干高く、「農林漁業」が若干低い。



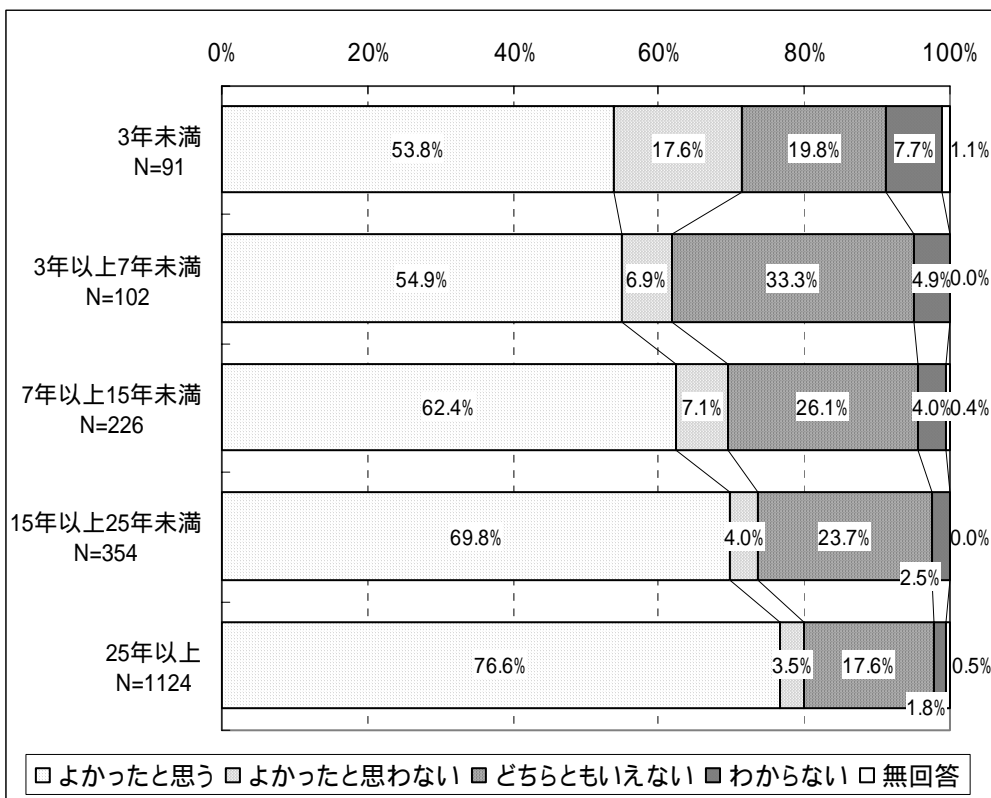
< 通勤先別 >

通勤先別に見ると、「勤めていない」が他の通勤先に比べ若干高く、「奈良県内」が若干低い。



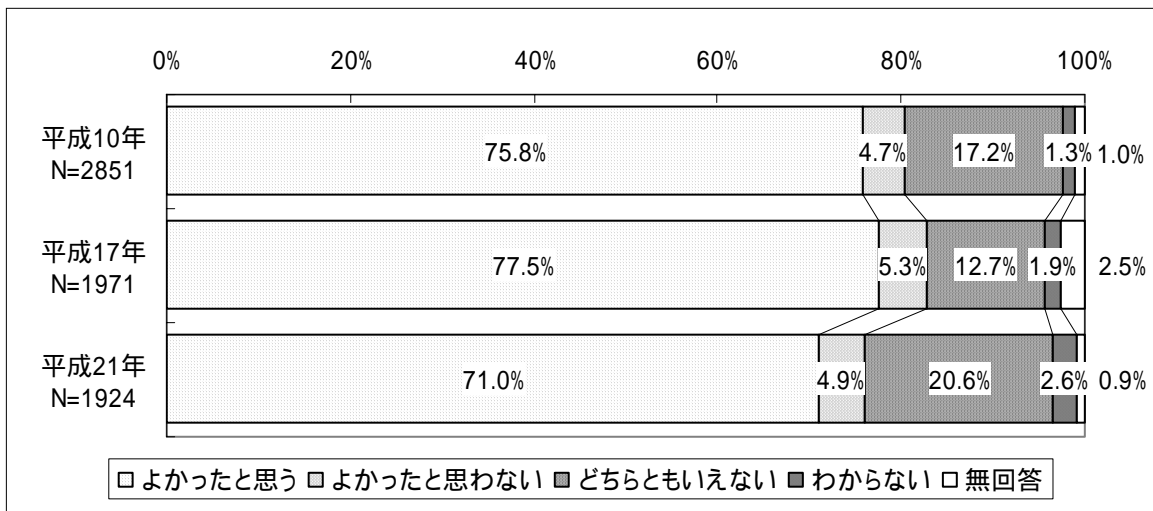
< 居住年数との関係 >

居住年数が長いほど「よかったと思う」割合が高くなる傾向にある。



< 前回調査との比較 >

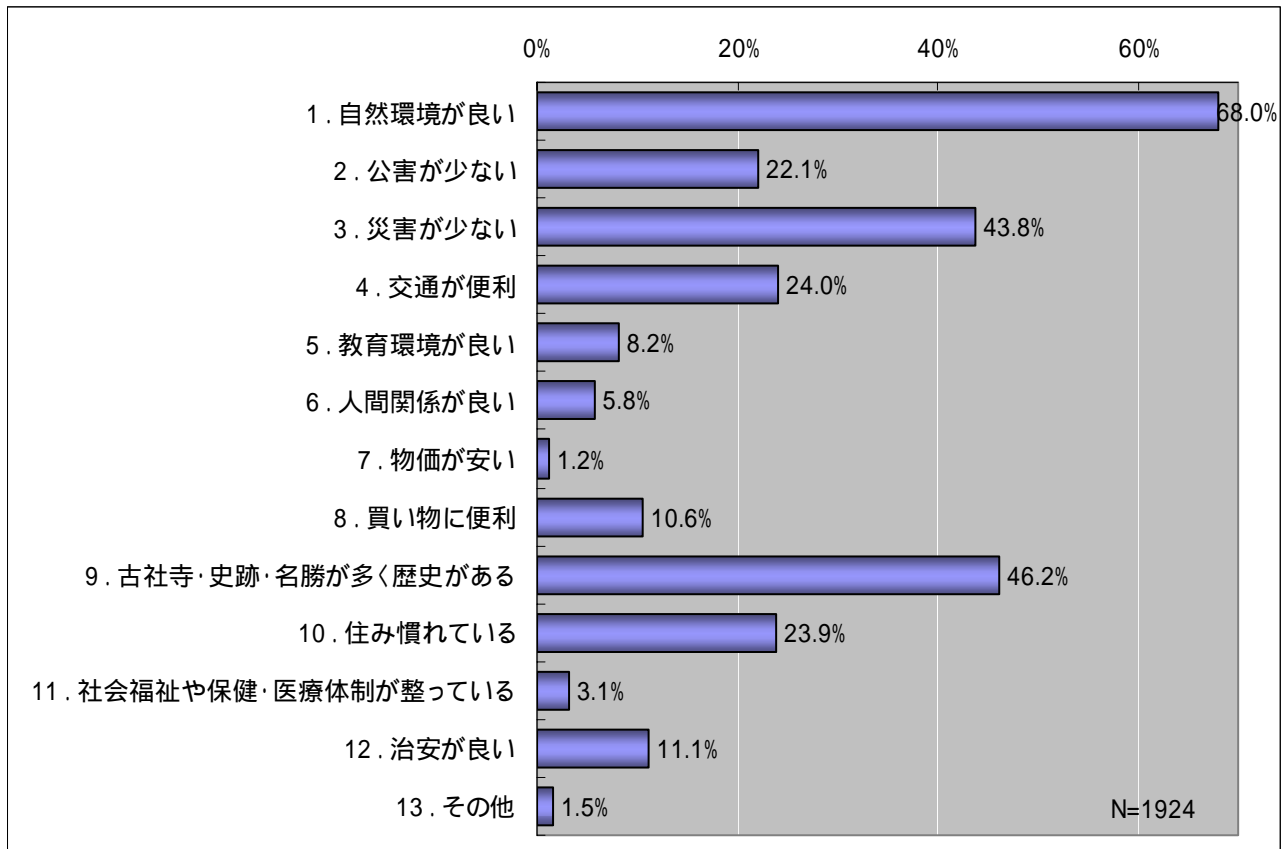
平成 10 年調査(前総合計画策定時) 平成 17 年調査(現基本計画策定時)の調査結果と比較すると、「よかったと思う」は平成 10 年から平成 17 年にかけて増えているが、平成 21 年では平成 10 年より減っている。しかし、「よかったと思わない」は平成 10 年に比べると若干増えているものの、平成 17 年からは若干減っている。



問1 - 3 問1 - 2で「1.よかったと思う」と回答された方にお聞きます。それはどのような理由からですか。(は3つまで)

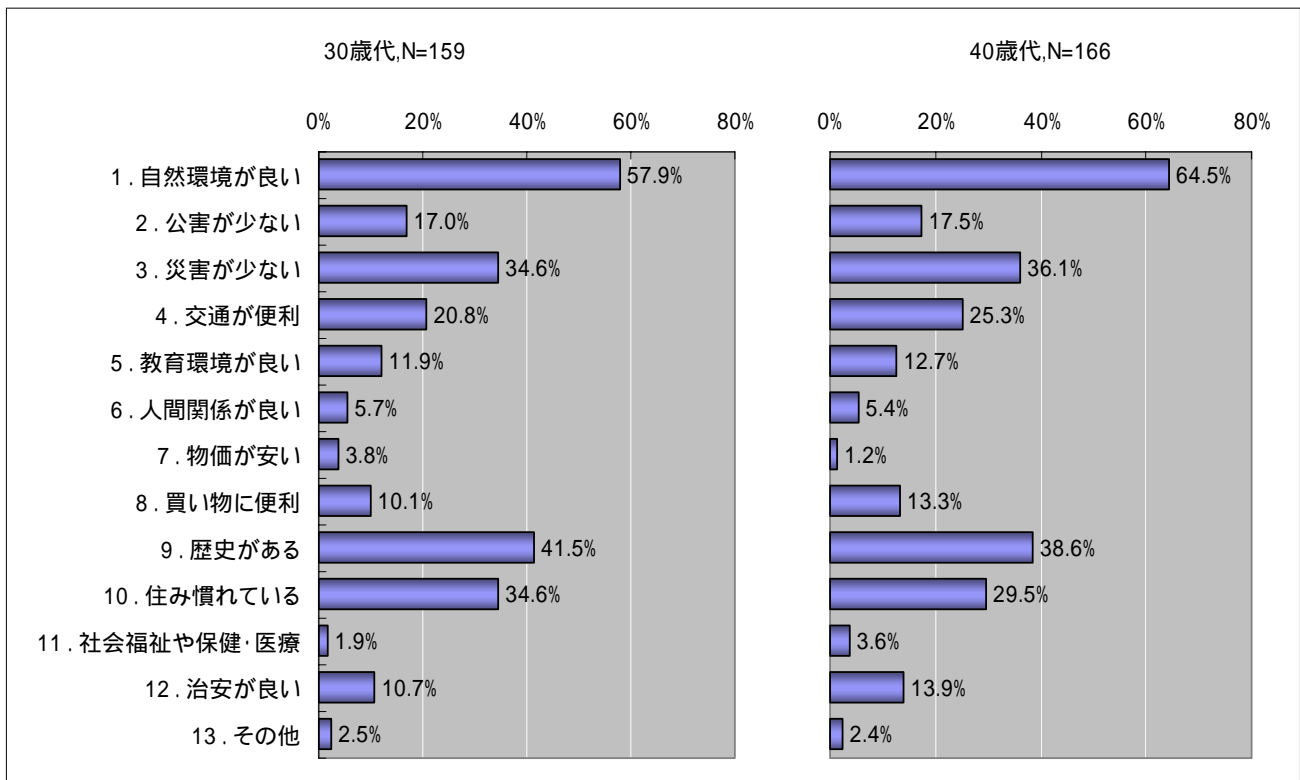
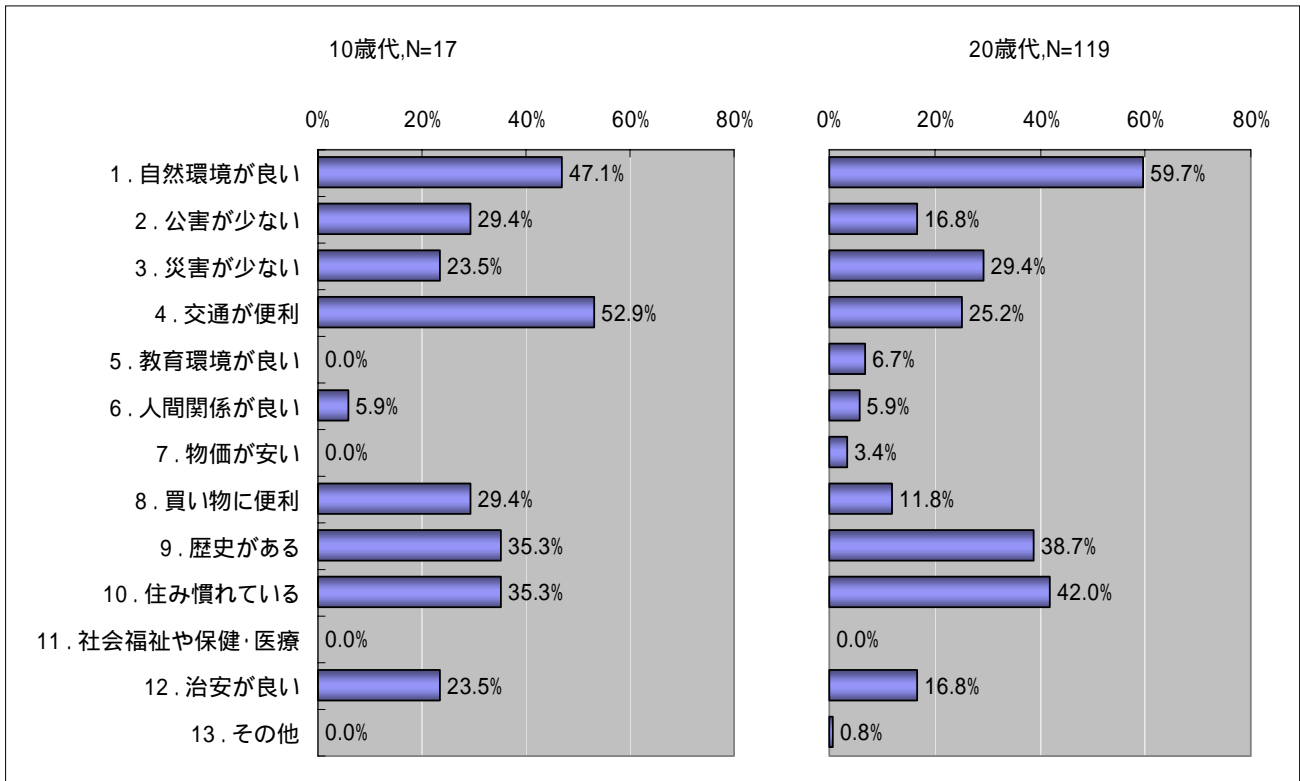
<全 体>

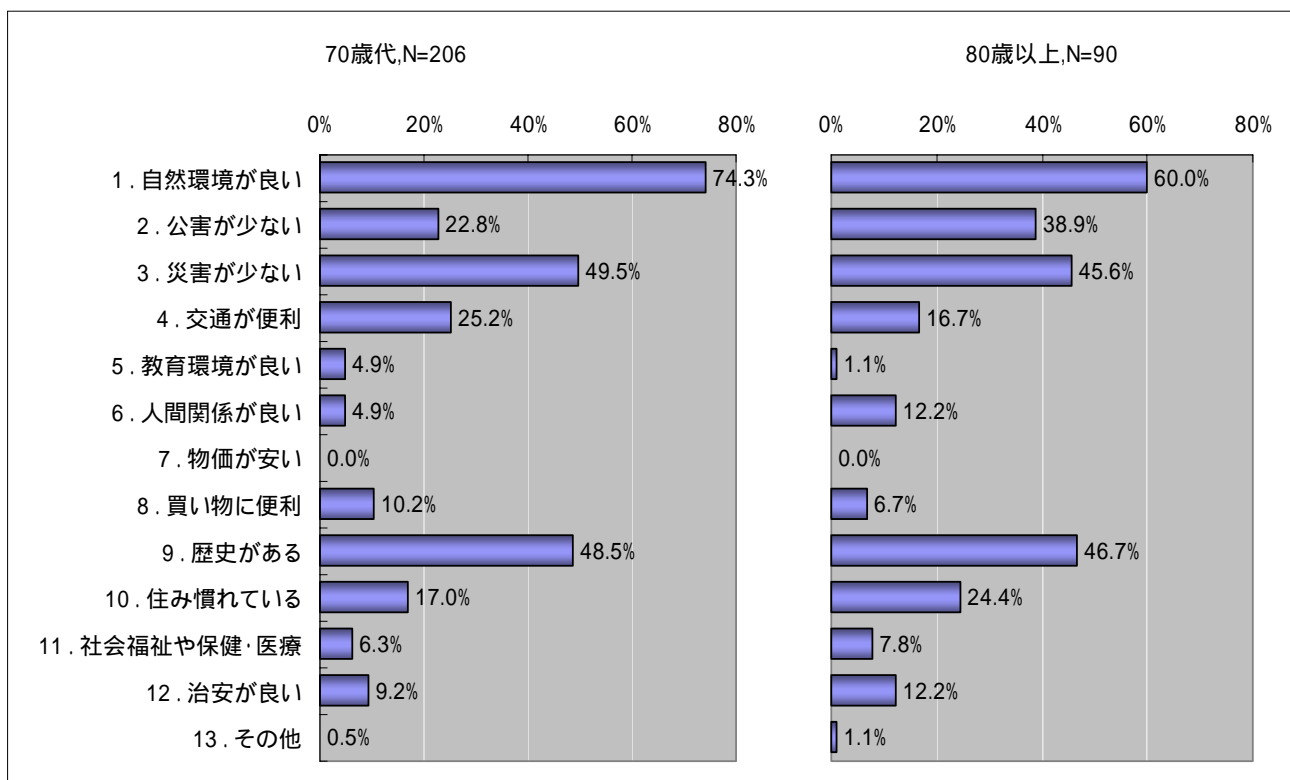
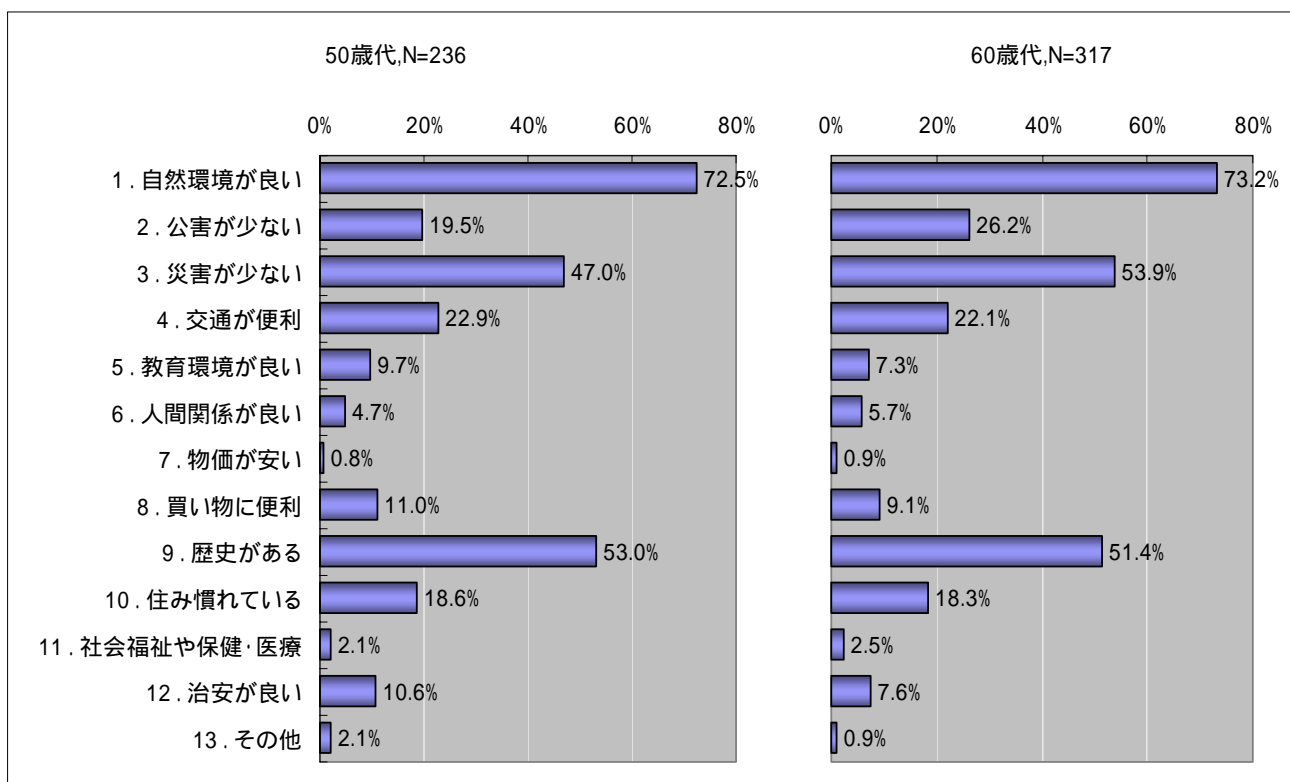
最も多い理由は「自然環境がよい」で68.0%を占めており、「古社寺・史跡・名勝が多く歴史がある」が46.2%、「災害が少ない」が43.8%と続く。



<年代別>

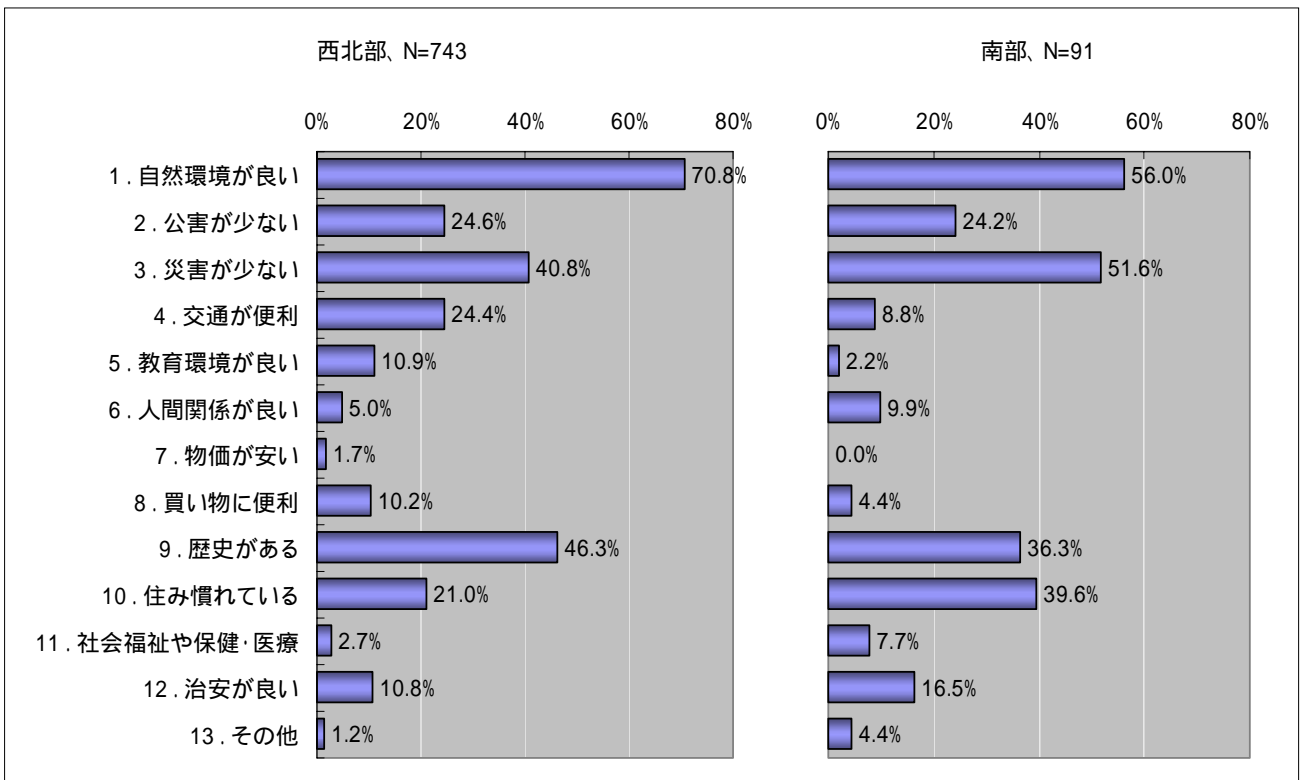
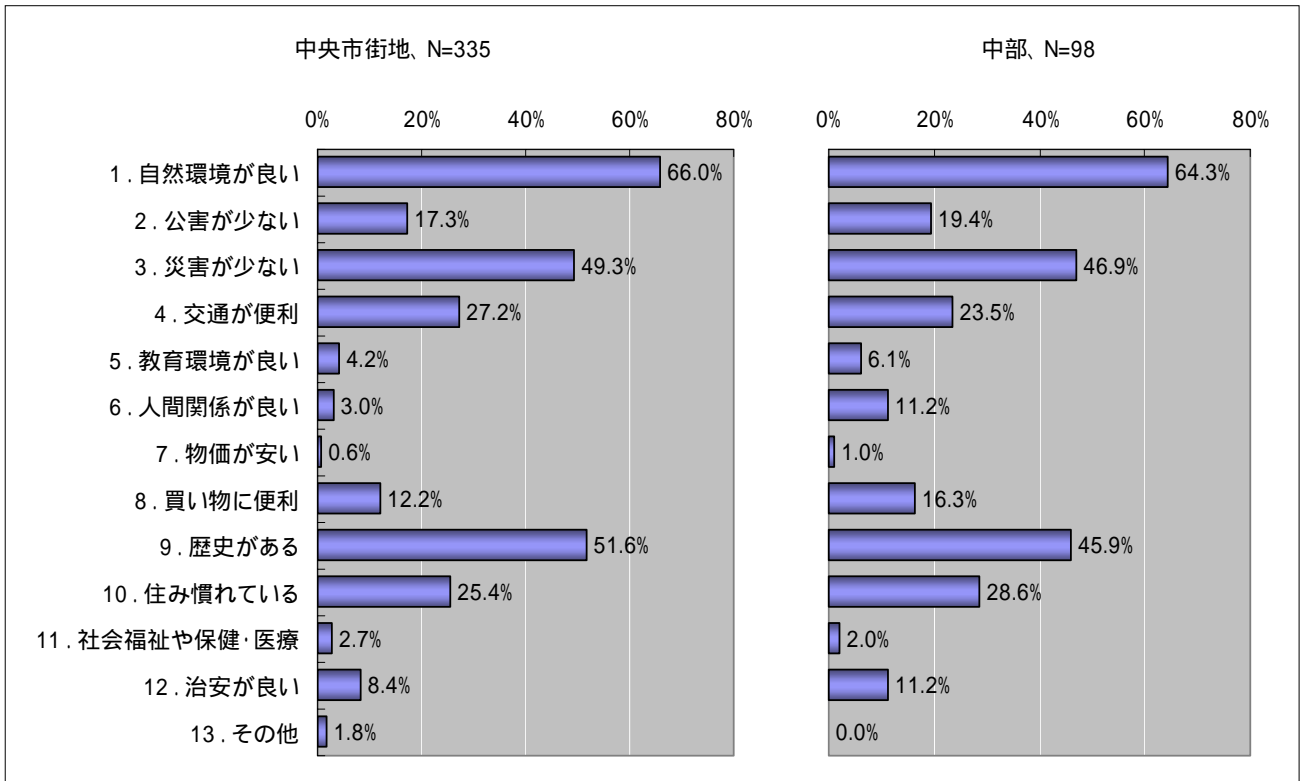
10歳代を除く全ての年代で「自然環境がよい」をあげている。「歴史がある」は30～50歳代と80歳以上の年代が2位にあげている。10歳代は「交通が便利」を1位に、20歳代は「住み慣れている」を2位にあげている。また、30歳代までは「住み慣れている」が他の年代に比べ若干高くなっている。



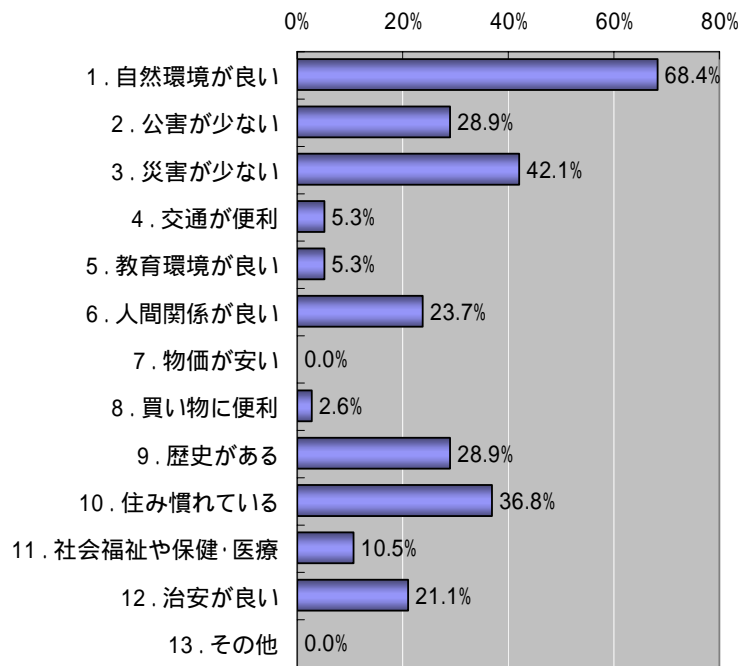


<ゾーン別>

全てのゾーンで「自然環境がよい」を1位にあげている。「歴史がある」は中央市街地と西北部が2位にあげており、中部、南部、東部は「災害が少ない」を2位にあげている。南部、東部は他のゾーンと異なり、「住み慣れている」を3位にあげている。

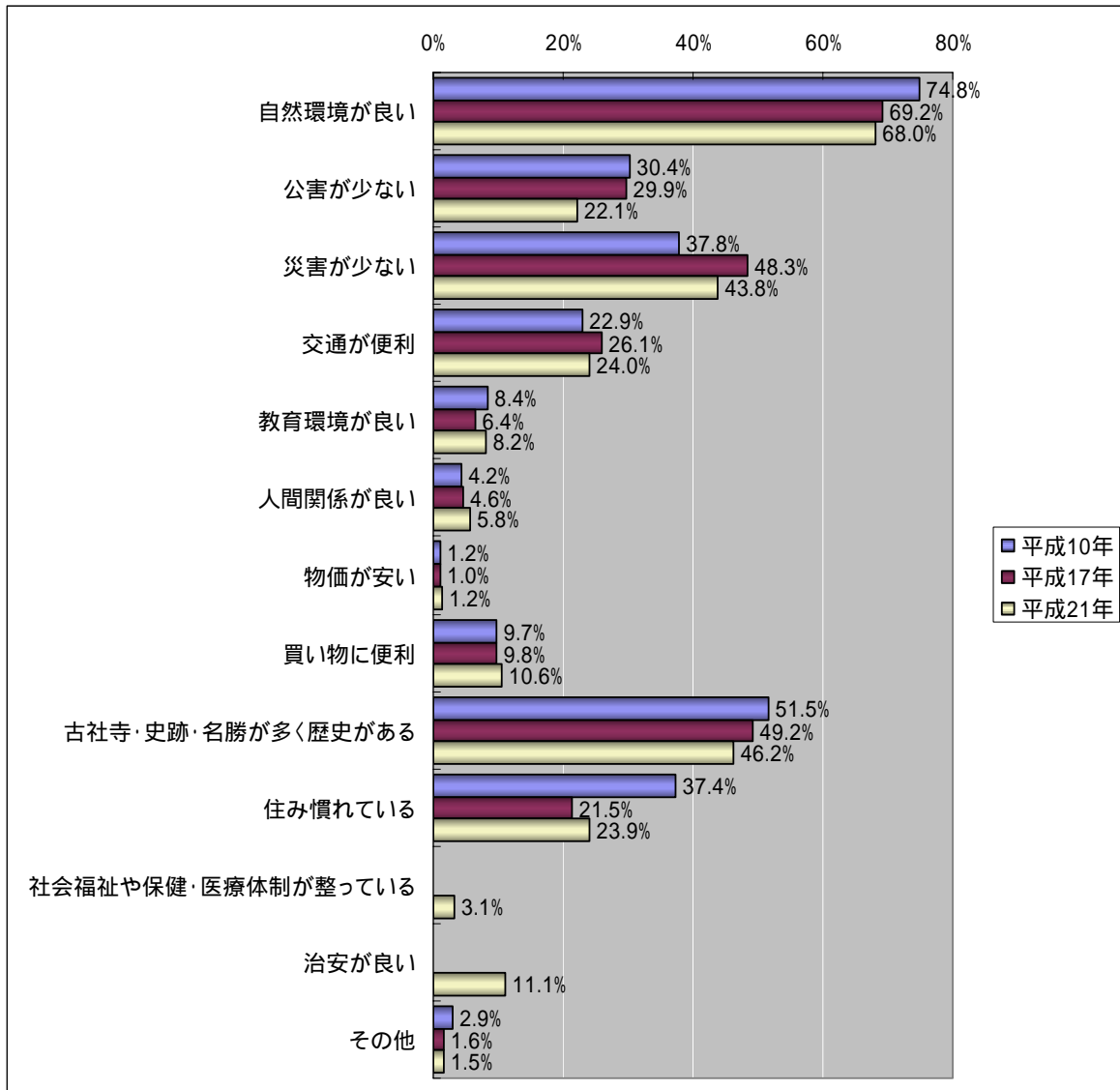


東部、N=38



< 前回調査との比較 >

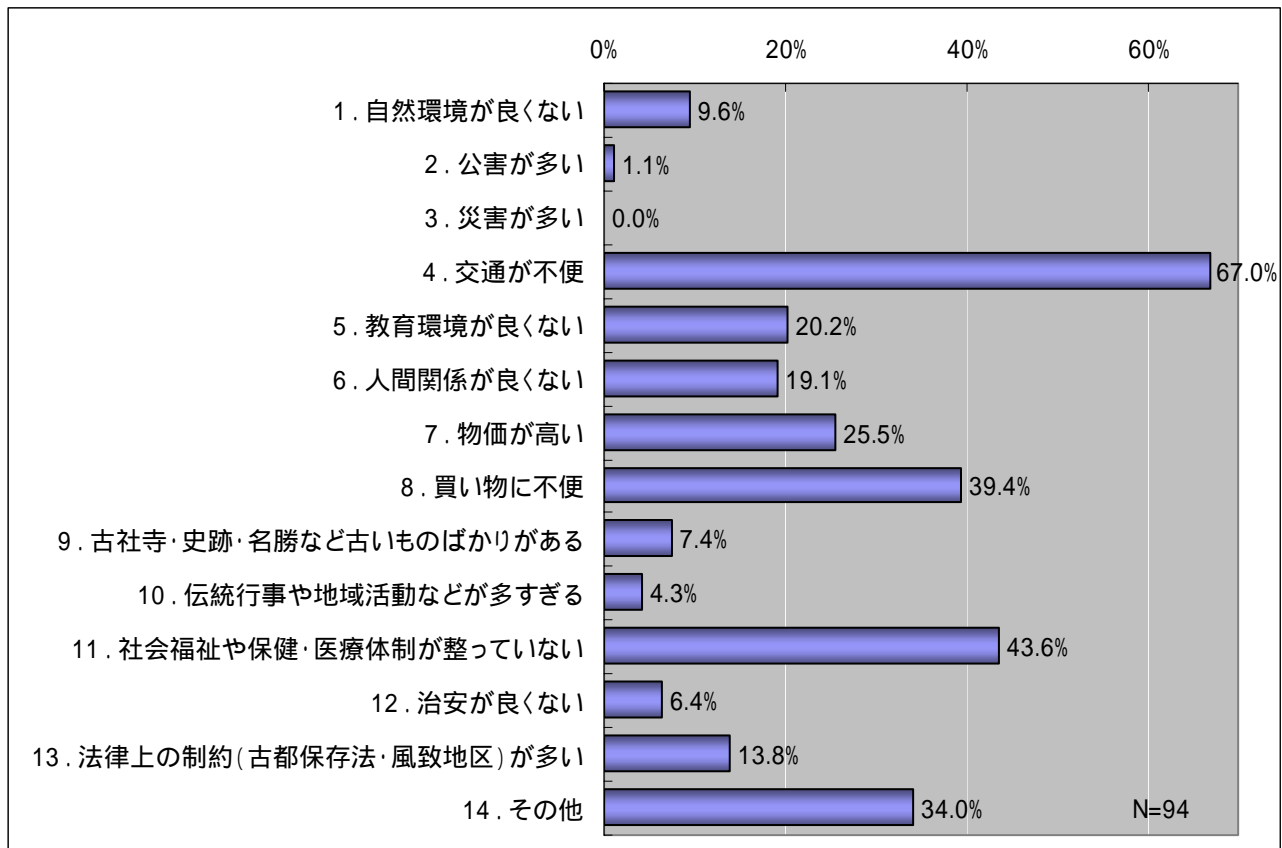
平成 10 年調査(前総合計画策定時)、平成 17 年調査(現基本計画策定時)の調査結果と比較すると、概ね同様の傾向を示しているが、平成 10 年と比較すると「住み慣れている」「自然環境がよい」が減っている。



問1 - 4 問1 - 2で「2.よかったと思わない」と回答された方にお聞きます。それはどのような理由からですか。
(は3つまで)

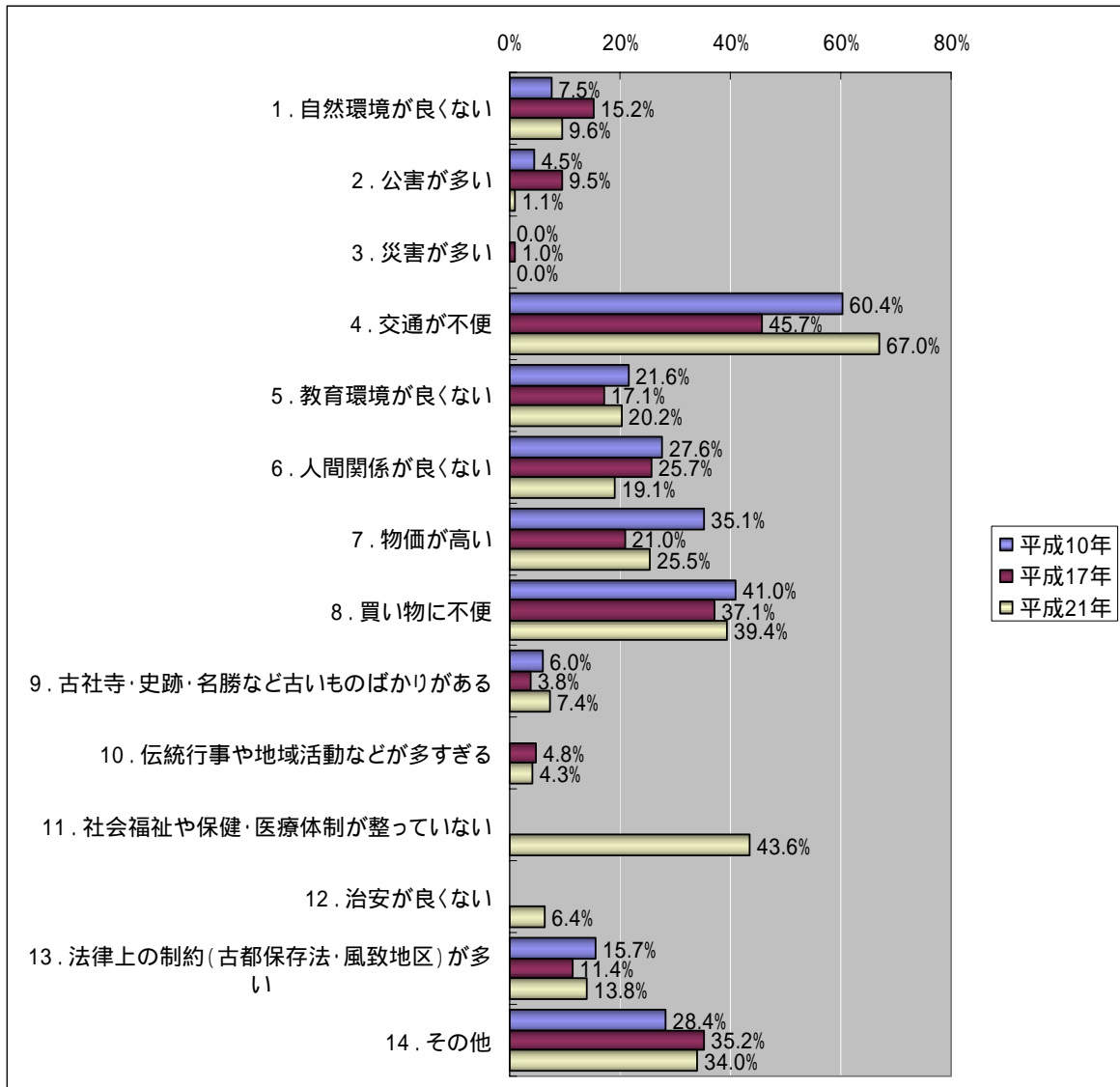
<全 体>

最も多い理由は「交通が不便」で67.0%を占めており、ついで「社会福祉や保健・医療体制が整っていない」が43.6%、「買い物に不便」が39.4%と続く。



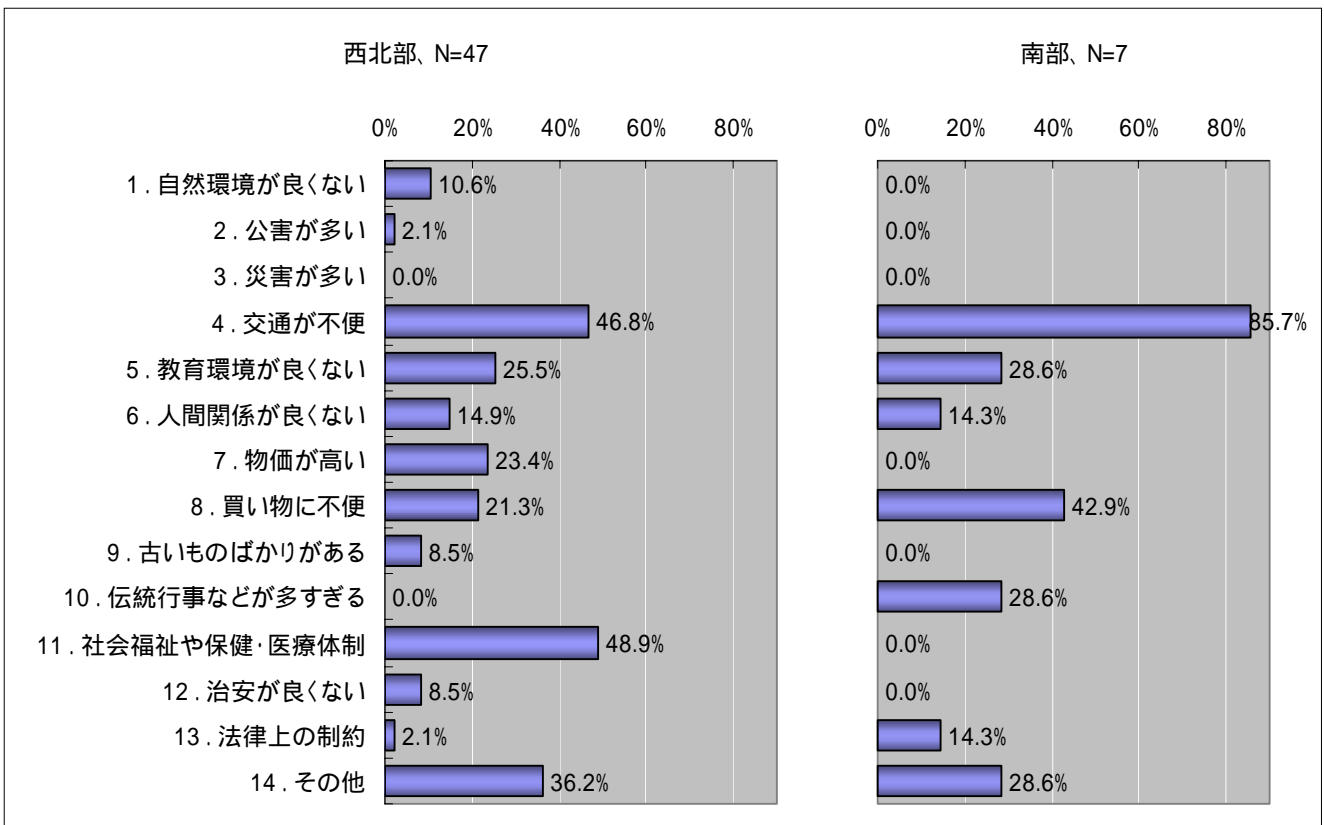
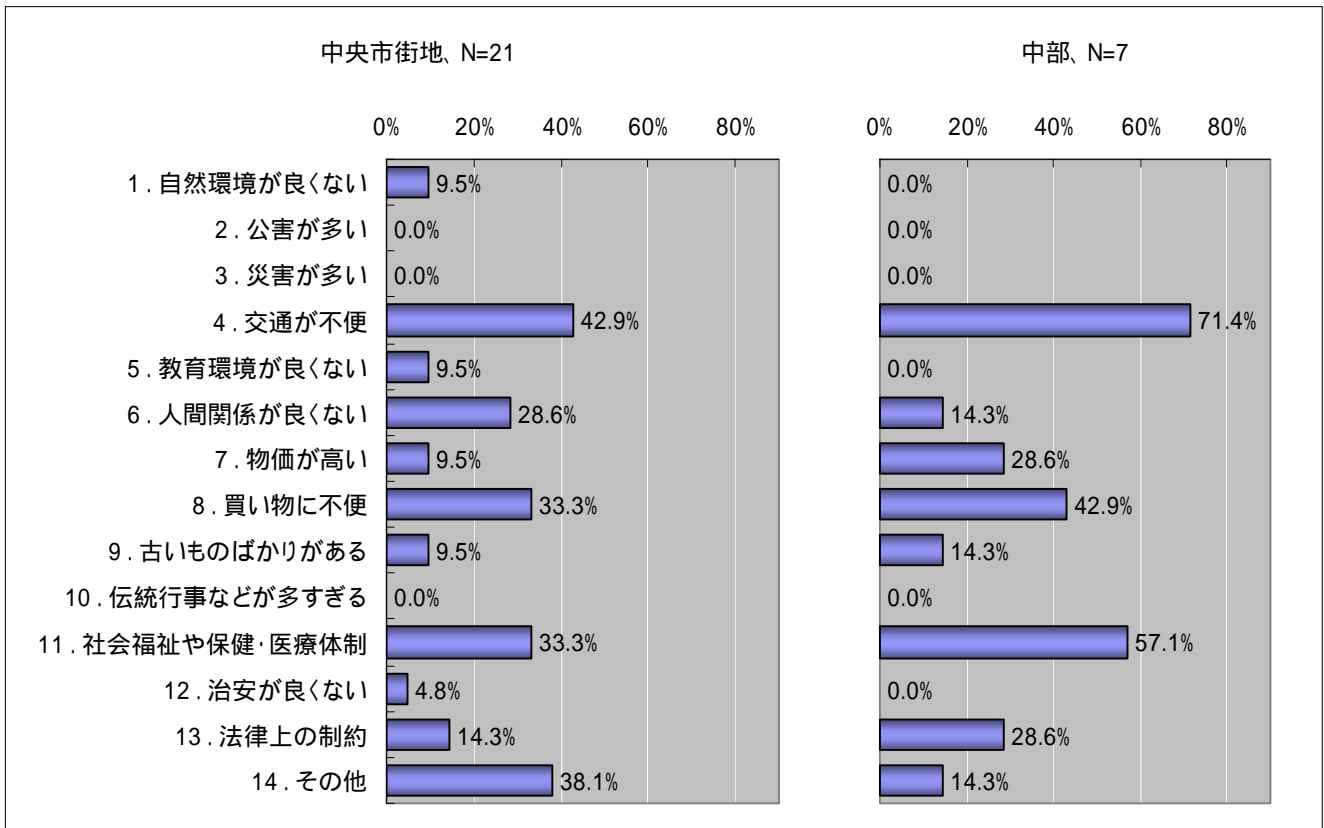
< 前回調査との比較 >

平成 10 年調査(前総合計画策定時)、平成 17 年調査(現基本計画策定時)の調査結果と比較すると、概ね同様の傾向を示しているが、平成 10 年と比較すると「交通が不便」が増え、「人間関係が良くない」「物価が高い」は減っている。

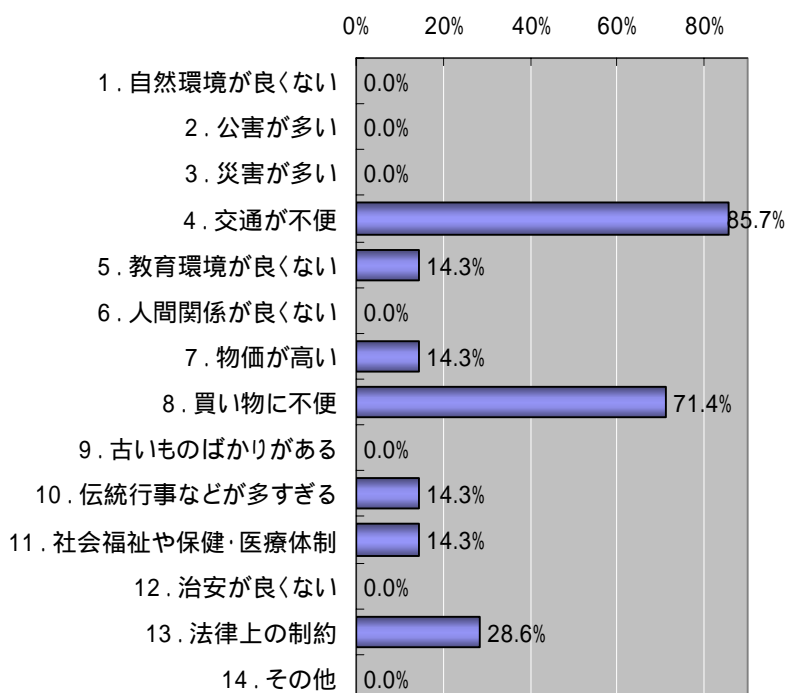


<参考：ゾーン別>

サンプル数が少ないため、ゾーン別の「よかったと思わない」理由の比較はできないが、参考までに集計結果を示すと以下のとおりである。



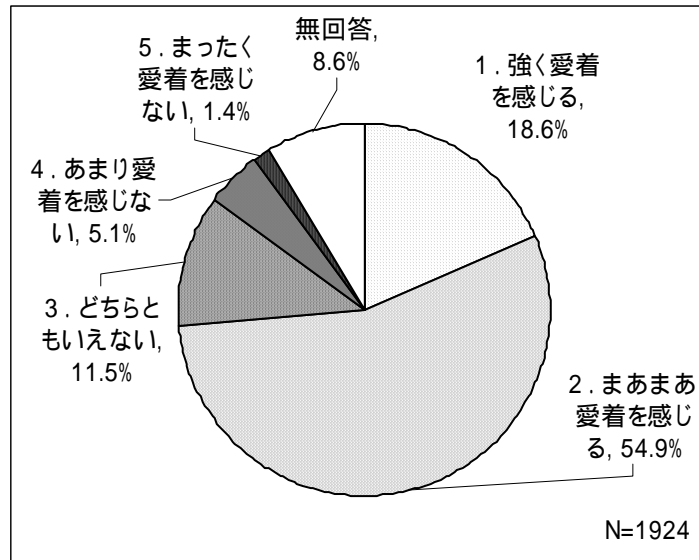
東部、N=7



問1 - 5 あなたは、奈良市に愛着を感じていますか。(は1つ)

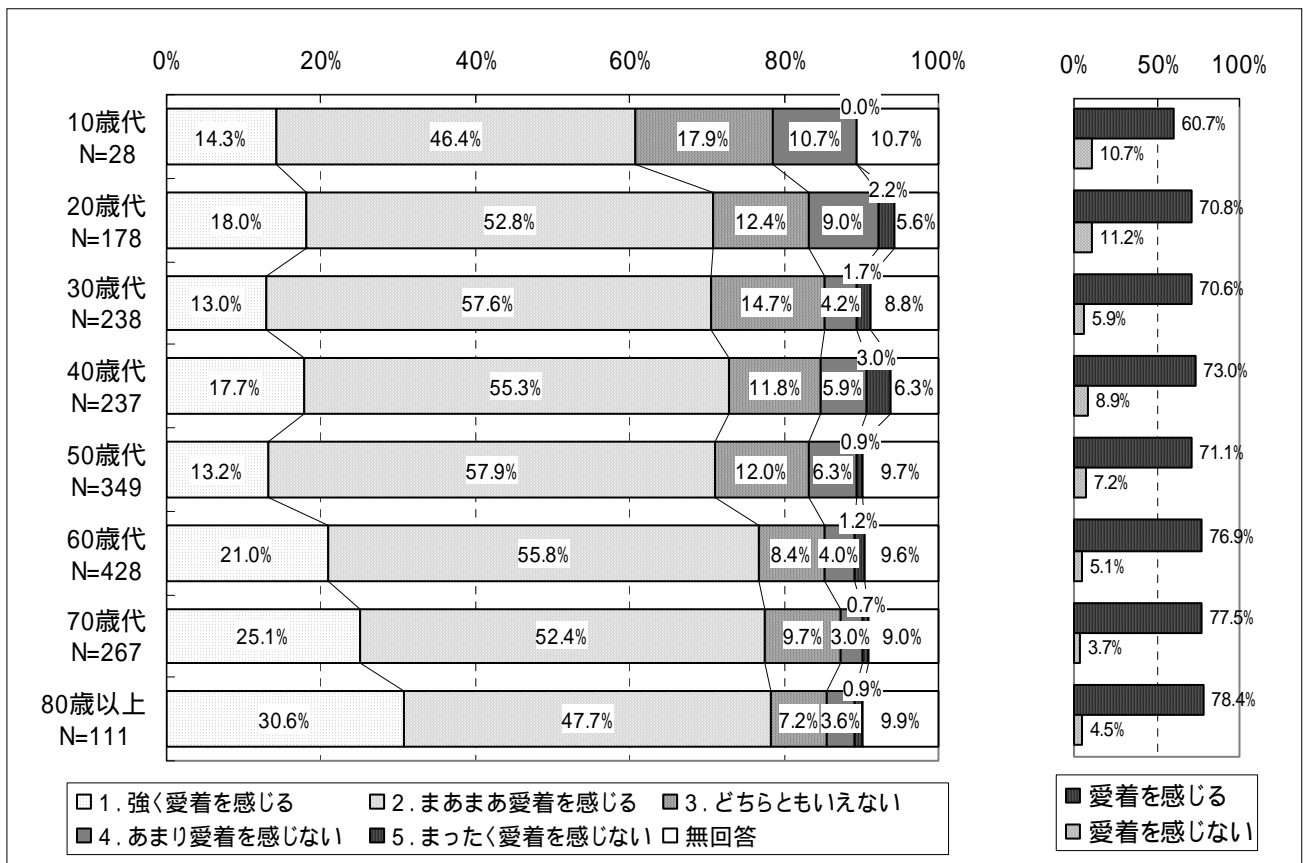
<全 体>

「まあまあ愛着を感じる」が最も多く 54.9%で、「強く愛着を感じる」が 18.6%と続く。「強く愛着を感じる」と「まあまあ愛着を感じる」を合わせた『愛着を感じる』人は 73.5%と約 3 / 4 を占める。



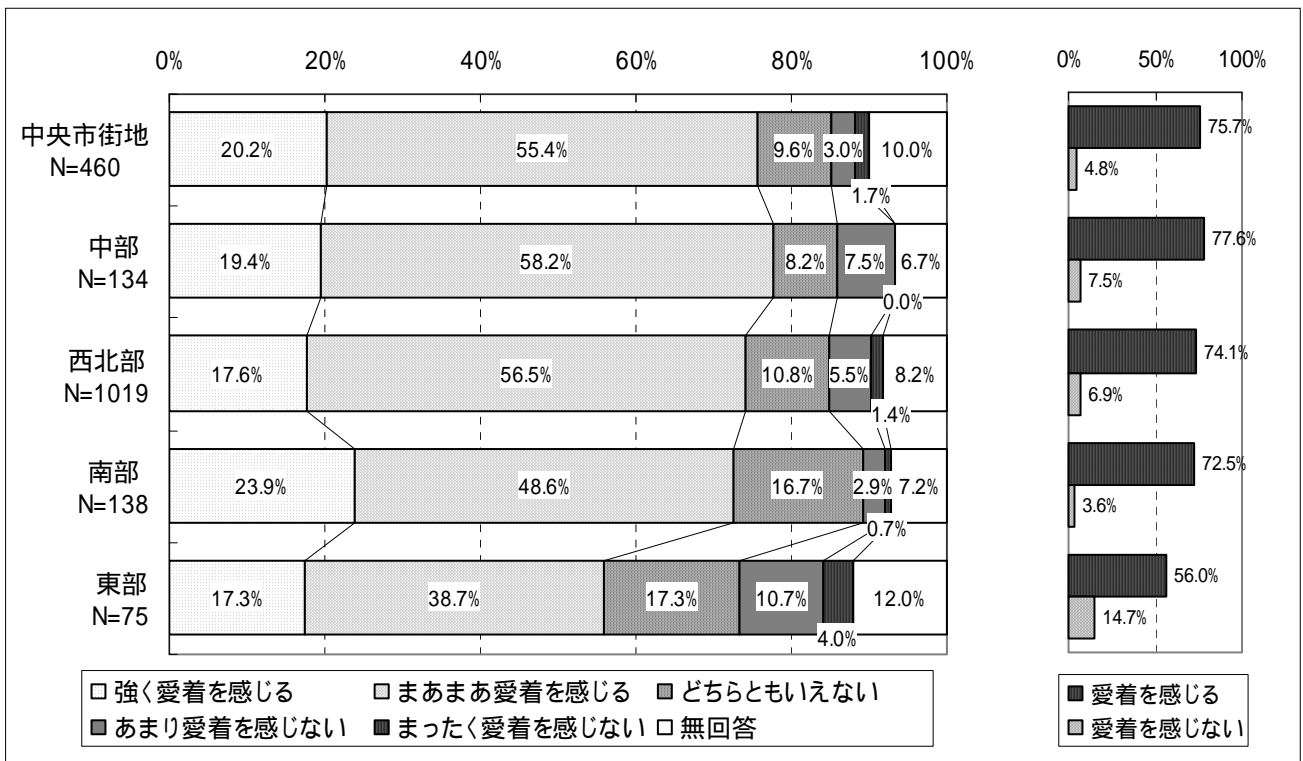
<年代別>

年代別に見ると、年代が上がるほど『愛着を感じる』人の割合が高くなり、年代が低いほど「全く愛着を感じない」と「あまり愛着を感じない」を合わせた『愛着を感じない』人の割合が高くなる傾向にある。



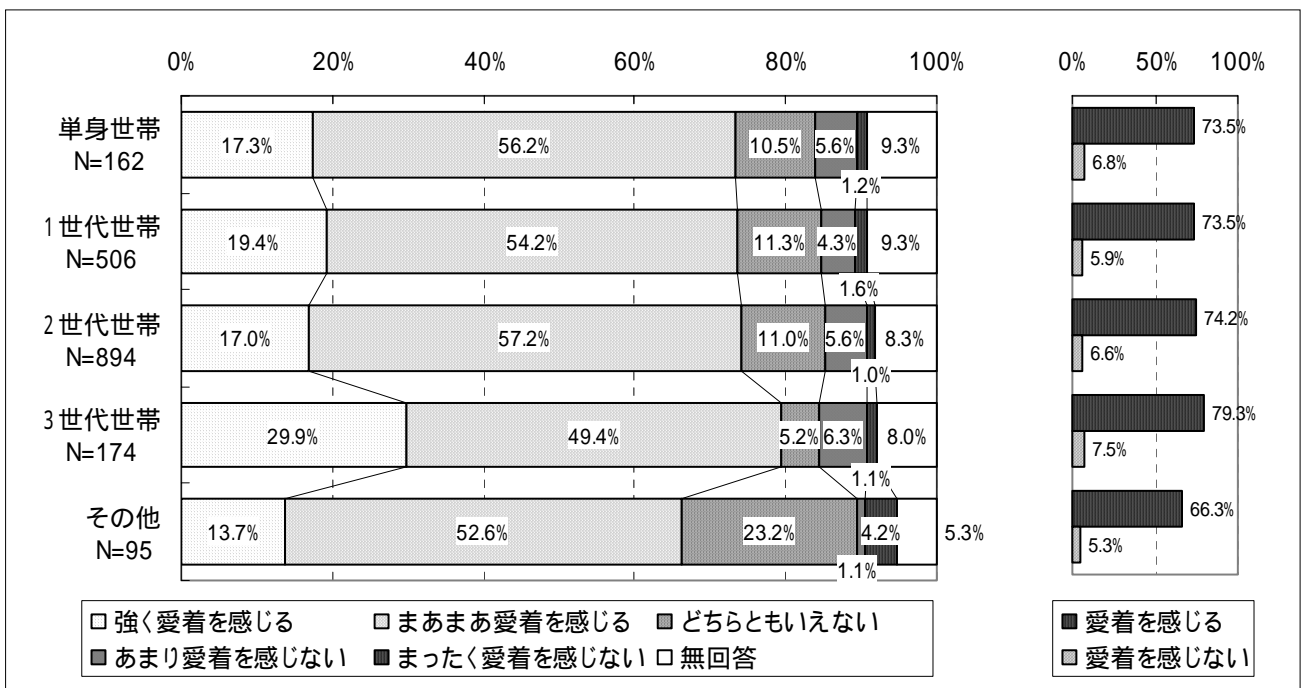
<ゾーン別>

ゾーン別に見ると、いずれのゾーンも『愛着を感じる』が『愛着を感じない』を大きく上回っているが、東部は他のゾーンに比べ『愛着を感じない』割合が高い。また、「強く愛着を感じる」は若干であるが南部が高い。



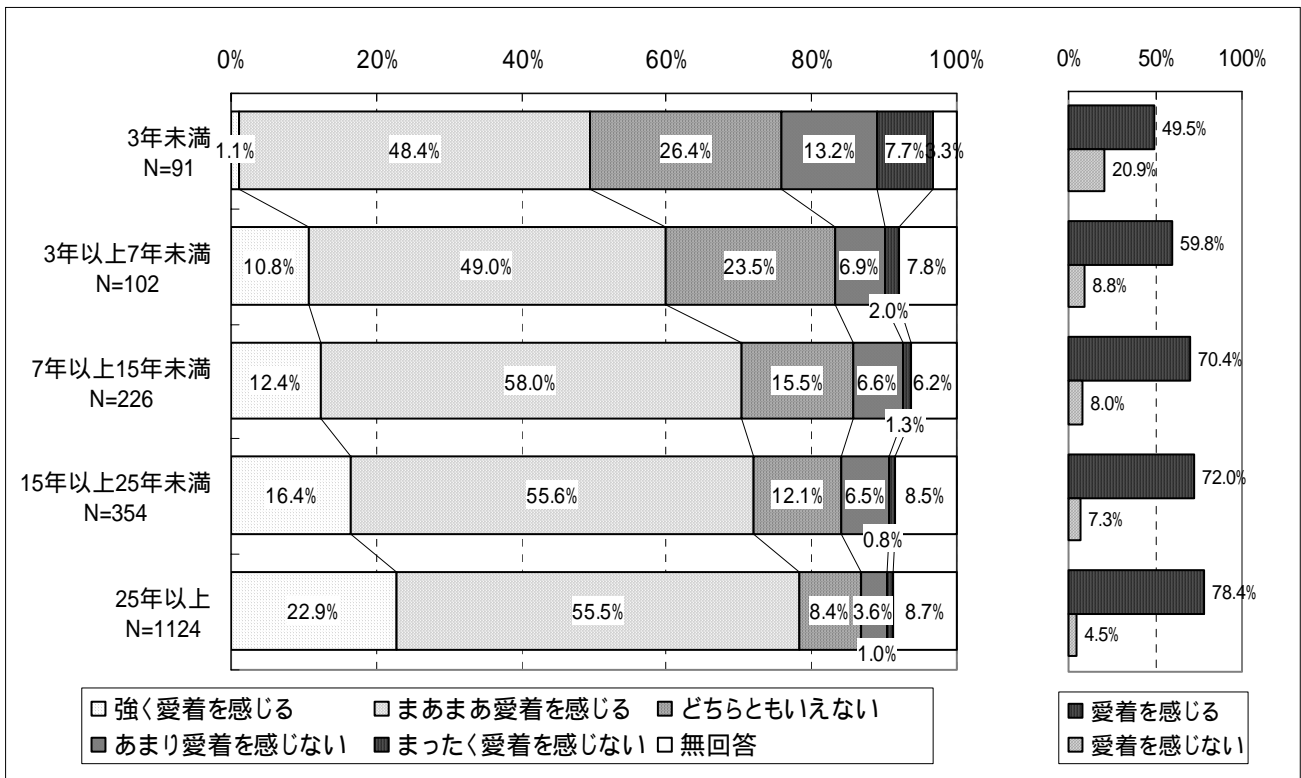
<家族構成別>

いずれの家族構成においても『愛着を感じる』が『愛着を感じない』を大きく上回っているが、特に3世代世帯の「強く愛着を感じる」の割合が他の世帯に比べ高い。



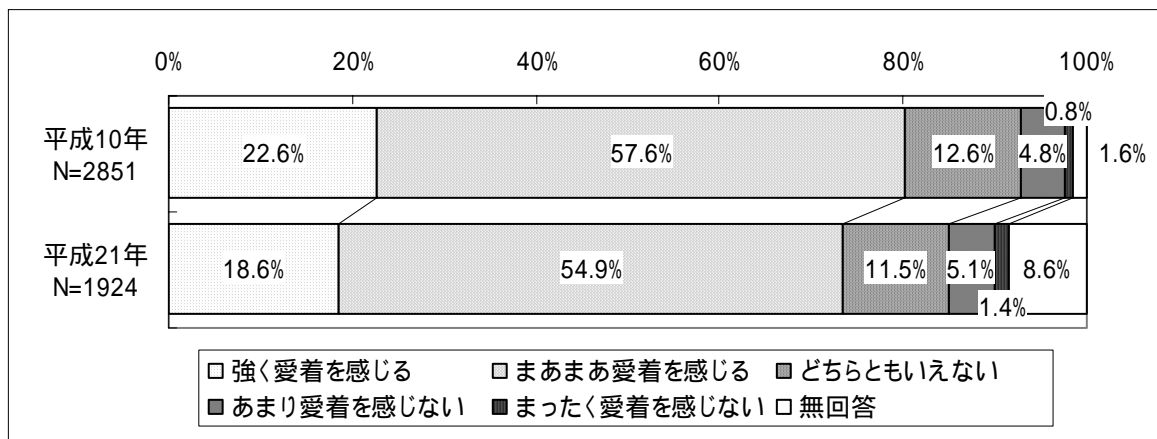
< 居住年数との関係 >

居住年数が長いほど『愛着を感じる』が高くなる傾向にある。



< 前回調査との比較 >

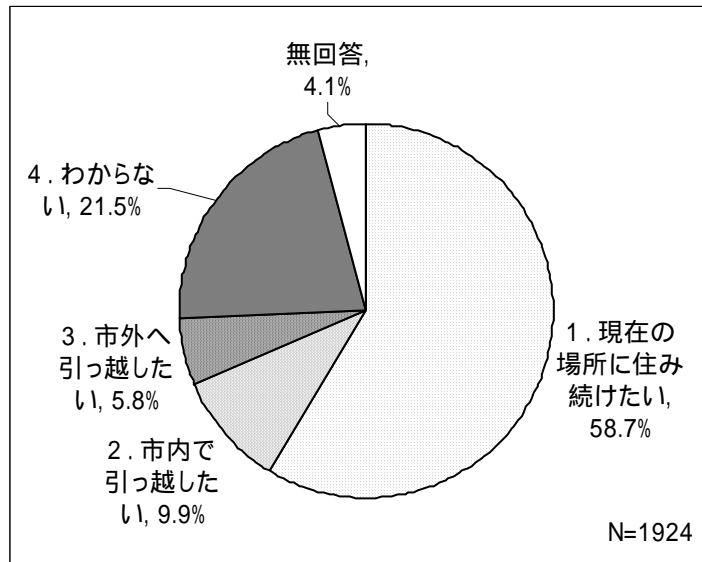
平成 10 年調査（前総合計画策定時）の調査結果と比較すると、「強く愛着を感じる」は平成 10 年に比べ減っており、「まあまあ愛着を感じる」も同様に減っている。また、「全く愛着を感じない」「あまり愛着を感じない」も増えている。



問1 - 6 あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。(は1つ)

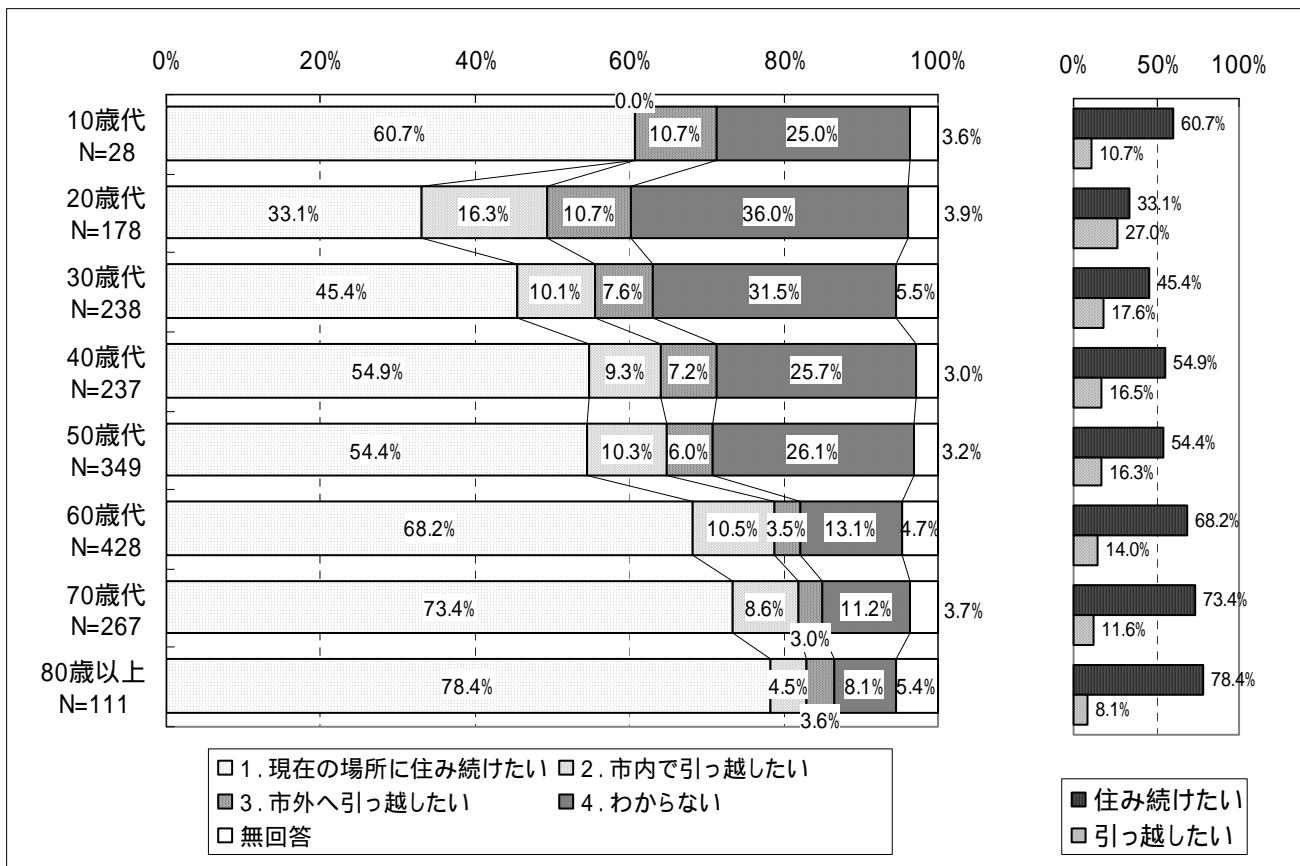
< 全 体 >

「現在の場所に住み続けたい」が 58.7%で、「市内で引っ越したい」と合わせた定住意向は 68.6%である。一方、「市外へ引っ越したい」という転出意向は 5.8%である。



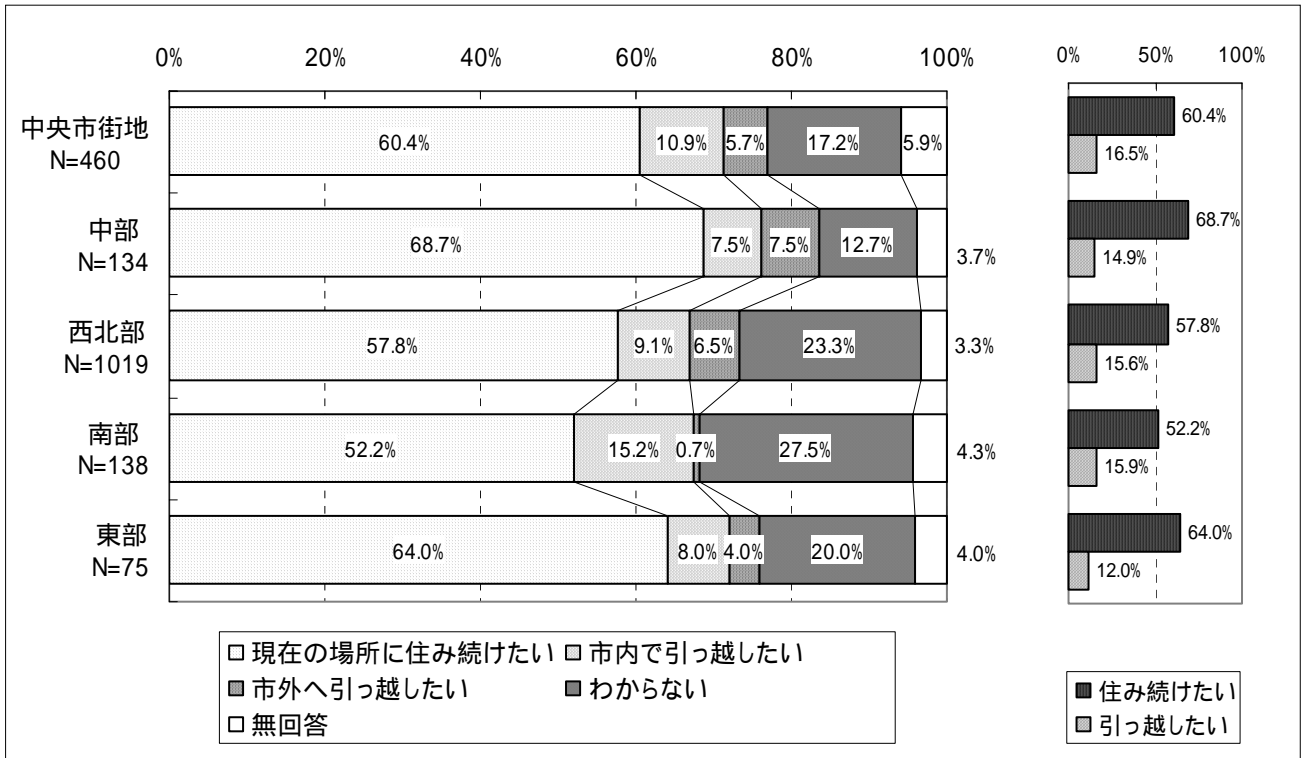
< 年代別 >

年代別に見ると、10歳代を除いて年代が上がるほど定住意向(市内に住み続けたい)が高くなり、年代が低いほど転出意向(引っ越したい)が高くなる傾向にある。



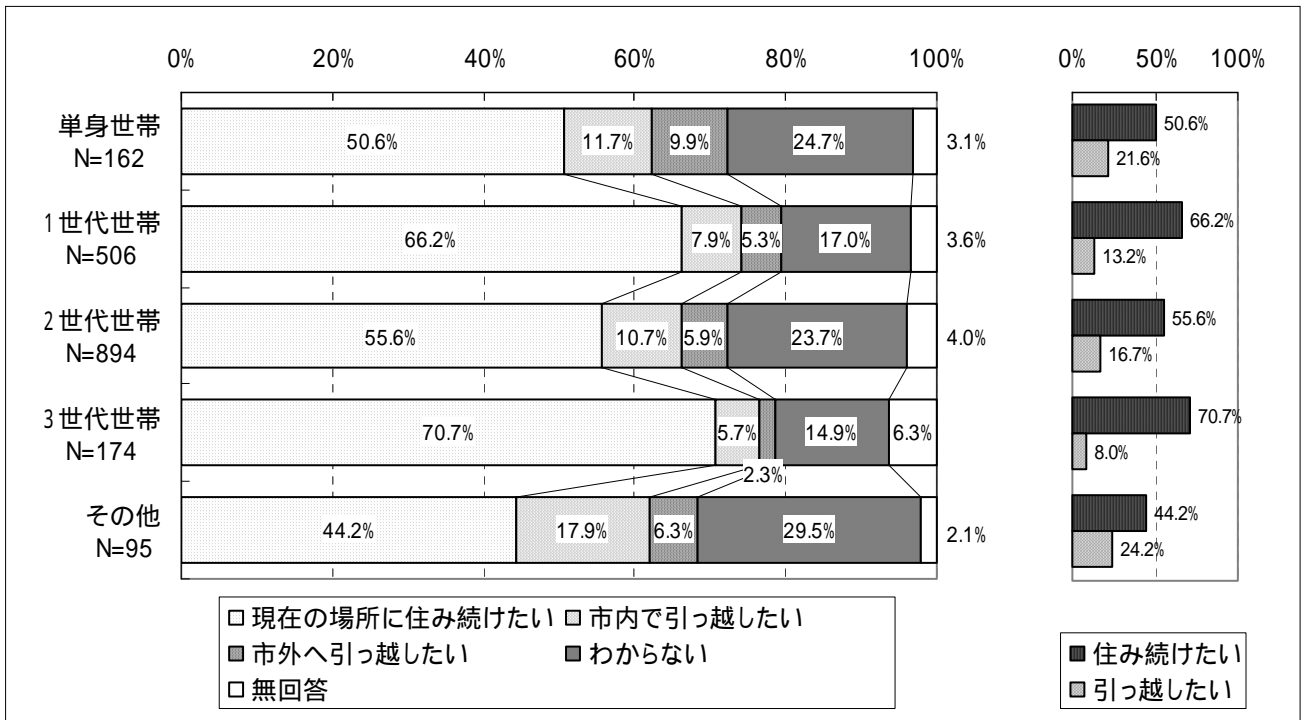
<ゾーン別>

ゾーン別に見ると、いずれのゾーンも「住み続けたい」が「引っ越したい」を大きく上回っており、中部と東部の「住み続けたい」意向が他のゾーンに比べ若干高い。「引っ越したい」はゾーンによる差はあまり大きくないが、東部が若干低い。



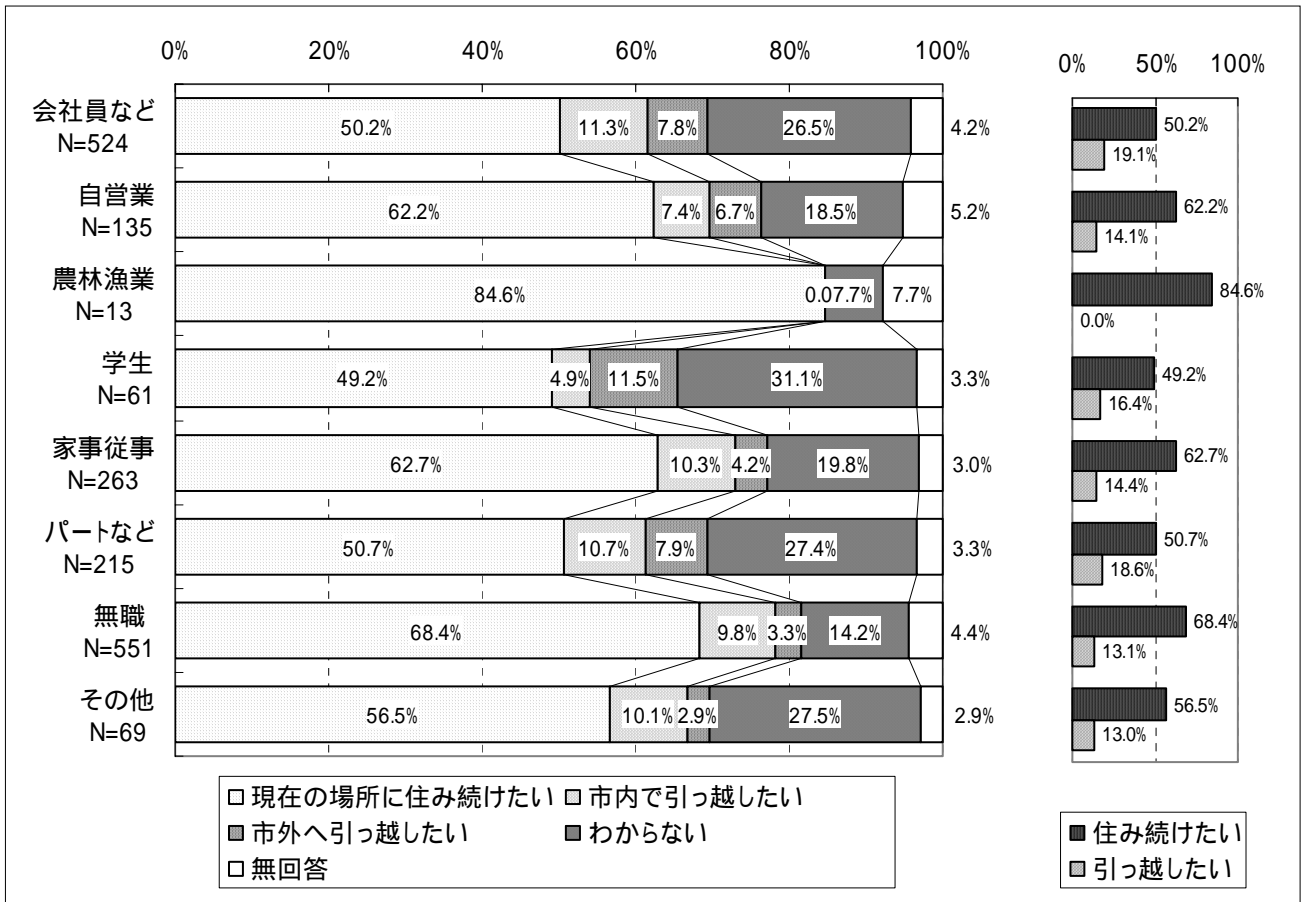
<家族構成別>

家族構成別に見ると、1世代世帯と3世代世帯の「現在の場所に住み続けたい」とする割合が他の世帯に比べ高い。



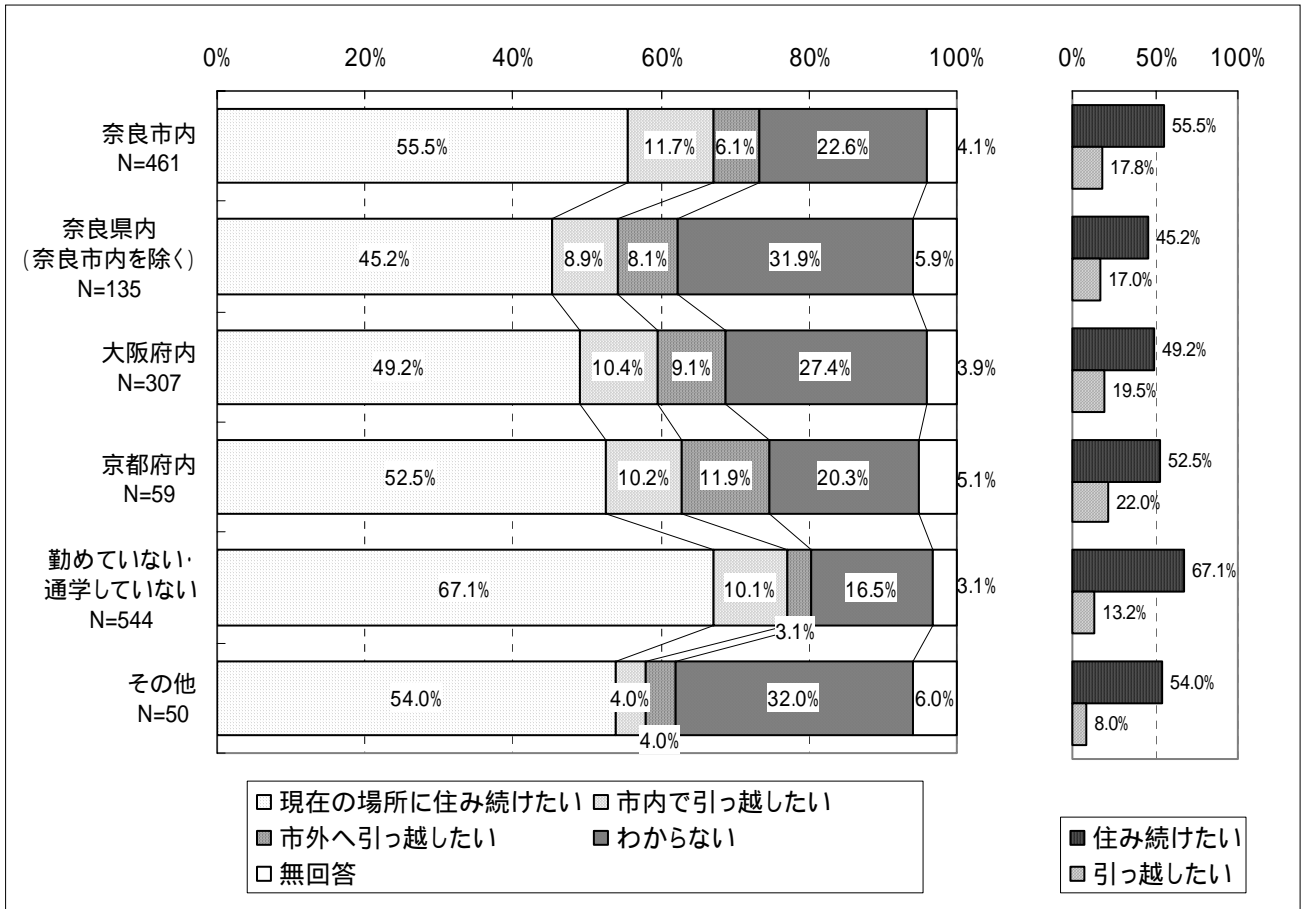
< 職業別 >

職業別に見ると、農林漁業が他の職業に比べ高く、会社員など、学生、パートなどが低い。



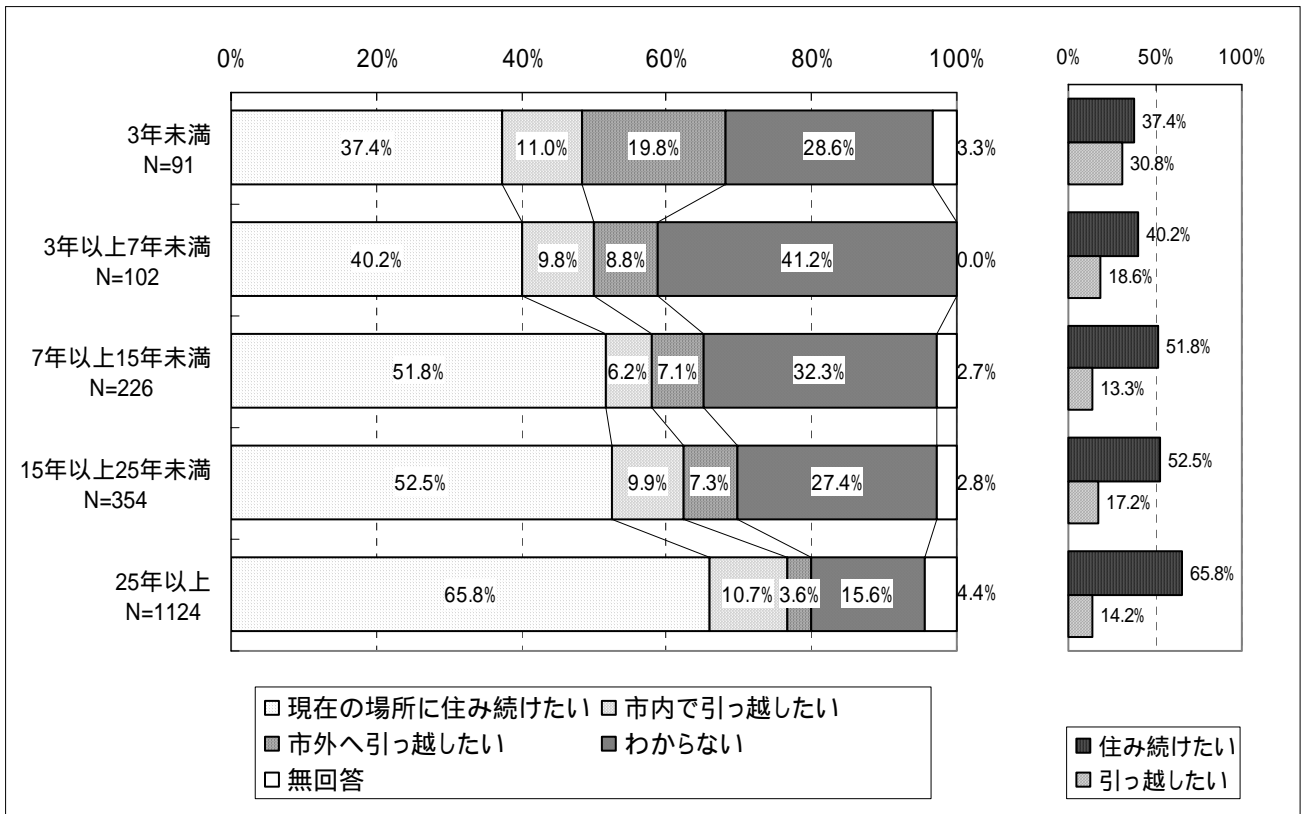
< 通勤先別 >

「勤めていない・通学していない」人の割合が他の通勤先に比べ高く、「奈良市を除く奈良県内」に勤める人の割合が低い。



< 居住年数別 >

居住年数が長いほど住みたい意向が増える傾向にある。

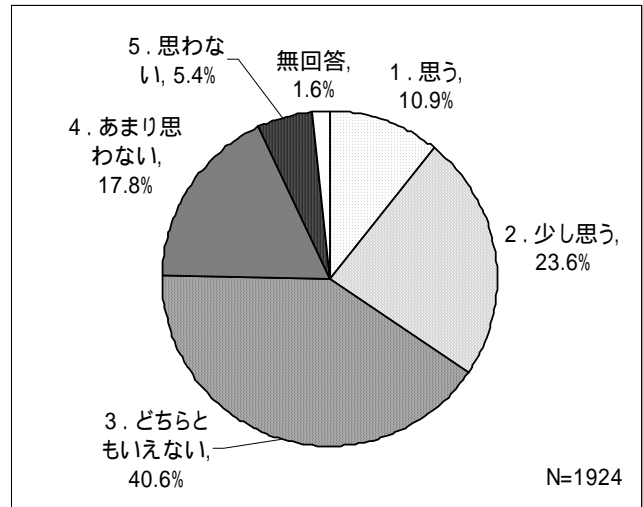


2 『人権の尊重、文化の創造、教育の充実を進めるまちづくり』について

問2 - 1 あなたは、市民一人ひとりの人権意識は高くなってきたと思いますか。(1は1つ)

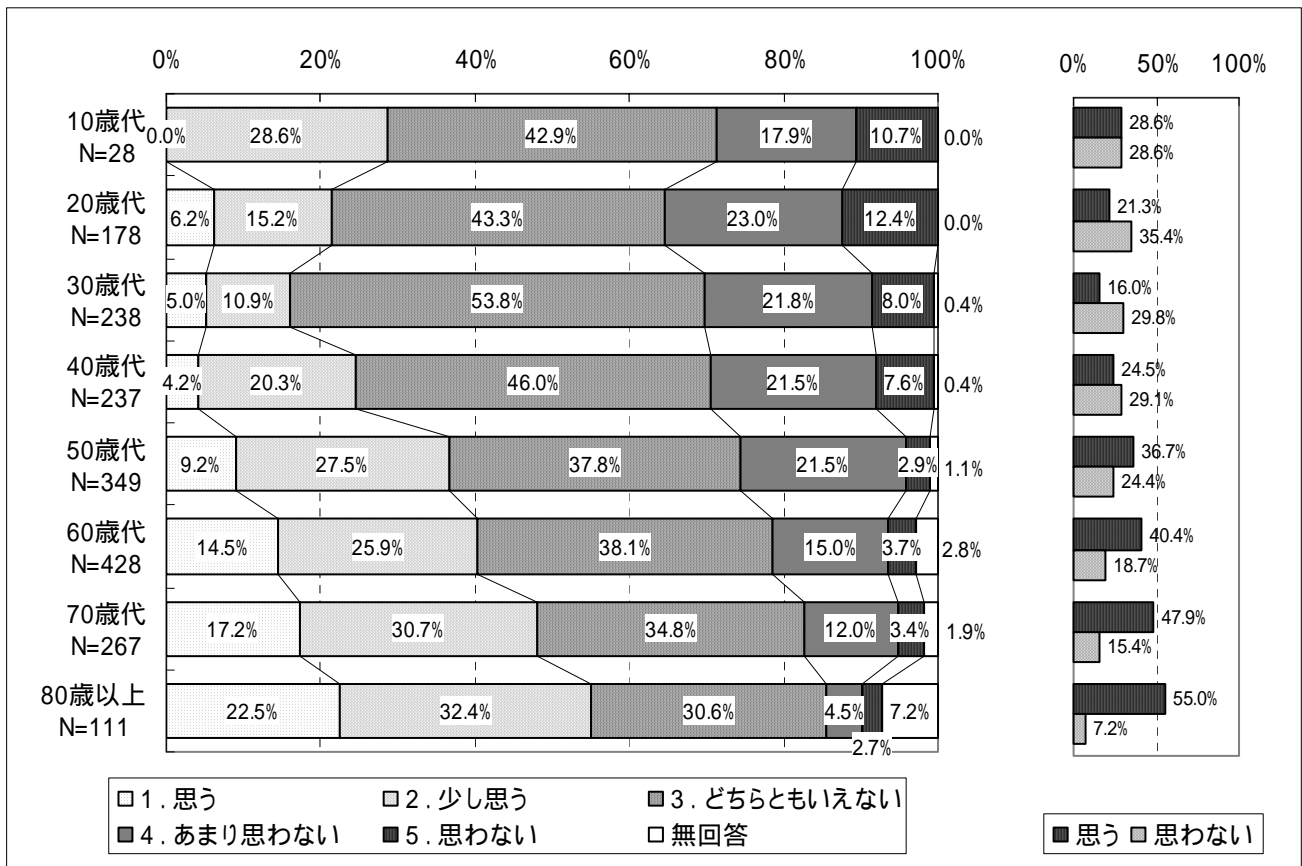
<全 体>

「どちらともいえない」が最も多く 40.6%で、「少し思う」が 23.6%で続く。「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』(以下、「思う」と「少し思う」を合わせた意見を『思う』とする)は 34.5%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』(以下、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた意見を『思わない』とする)の 23.2%を上回る。



<年代別>

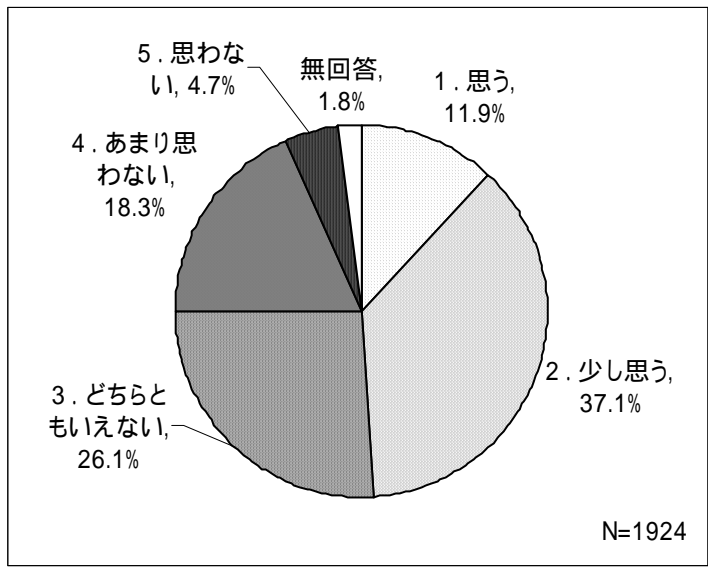
年代別に見ると、10歳代、20歳代を除き、年代が上がるほど『思う』人の割合が高くなり、10歳代を除き、年代が低いほど『思わない』人の割合が高くなる傾向にある。また、40歳代以下では『思わない』が『思う』と同じか多くなっており、若年層ほど人権意識が低いという厳しい見方をしていることが伺える。



問2 - 2 あなたは、男女が性別にかかわらず、共に個性や能力を發揮できる社会になりつつあると思いますか。
 (は1つ)

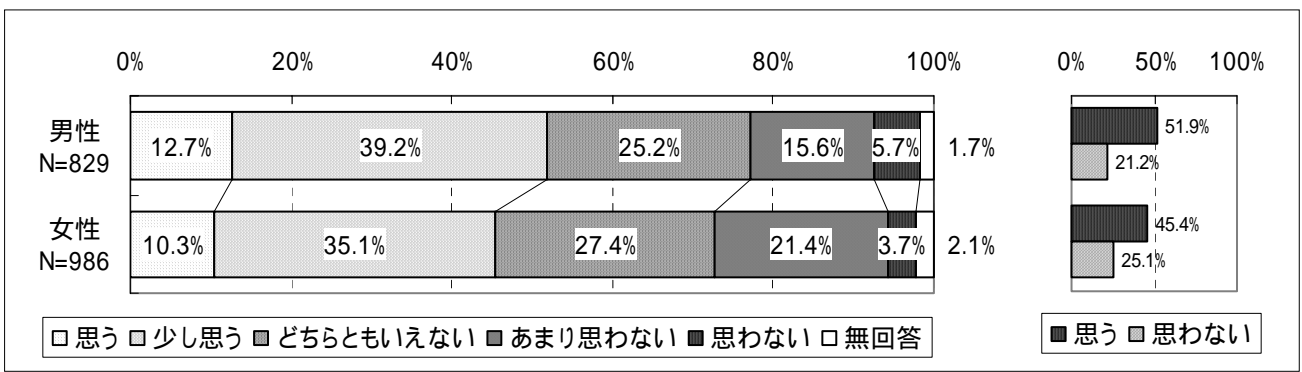
<全 体>

「少し思う」が最も多く 37.1%で、「どちらともいえない」が 26.1%で続く。『思う』は 49%で、『思わない』の 23.0%を大きく上回る。



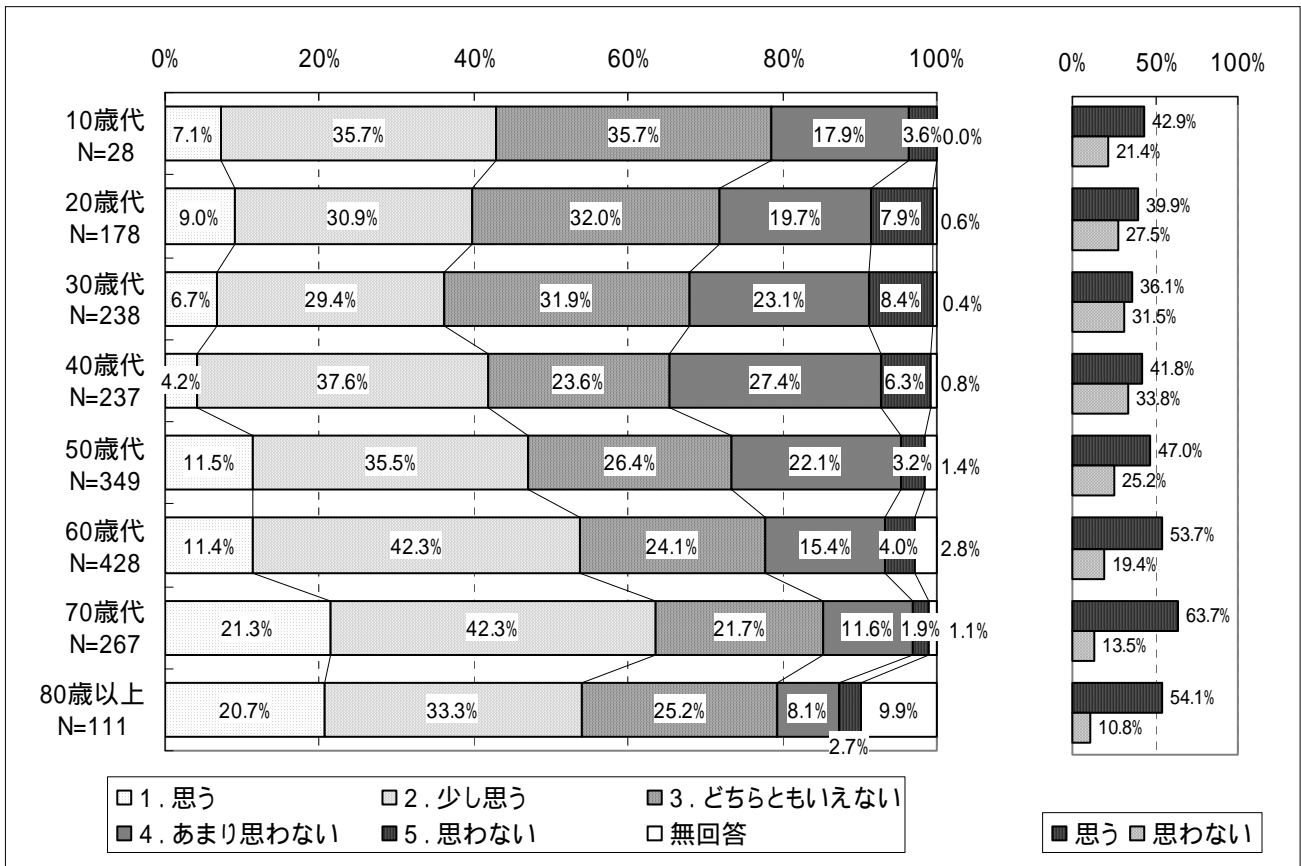
<男女別>

男女別に見ると、いずれも『思う』が『思わない』を上回っており、男性の方が『思う』と『思わない』の差が大きく、男女共同社会が進んでいると考えていることがうかがえる。



<年代別>

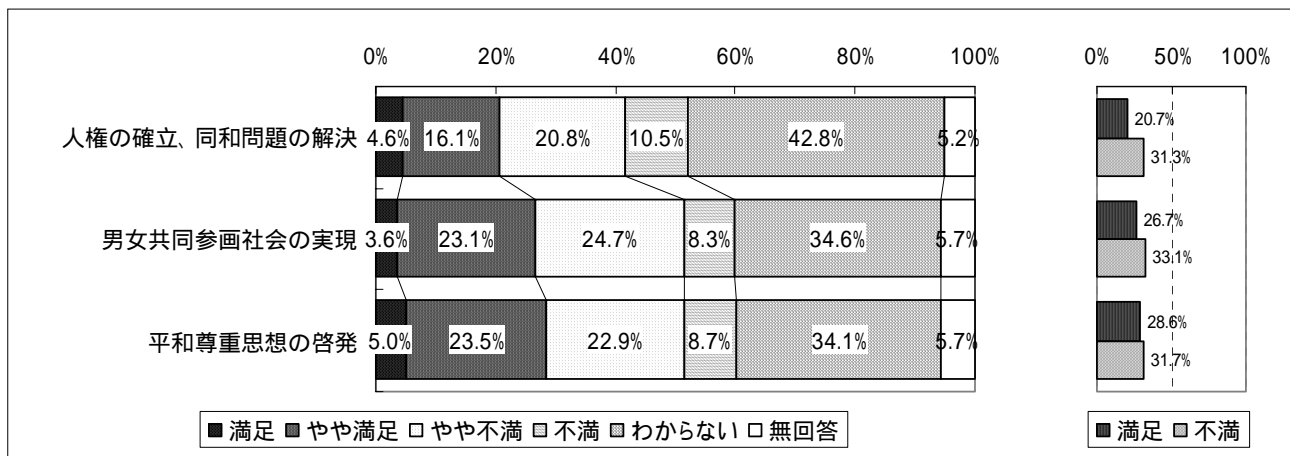
年代別に見ると、10歳代、20歳代、80歳以上を除き、年代が上がるほど『思う』人の割合が高くなり、40歳代をピークとして、年代が高いまたは低いほど『思わない』人の割合が低くなる傾向にある。全ての年代で『思う』が『思わない』を上回っている。



問2 - 3 あなたは、奈良市が人権の尊重のために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

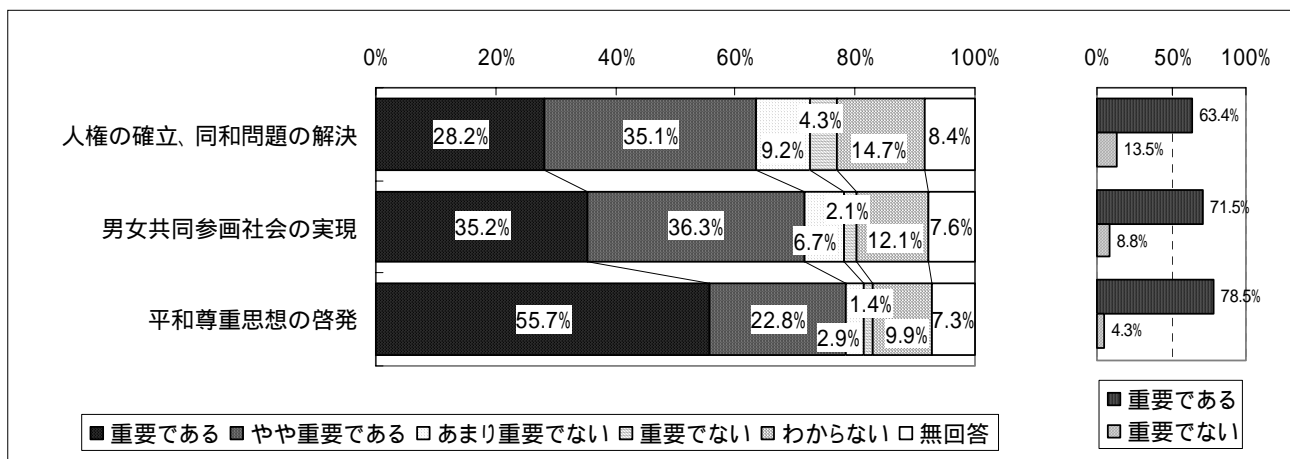
【満足度】

「平和尊重思想の啓発」が最も高く 28.6%で、「男女共同参画社会の実現」が 26.7%、「人権の確立、同和問題の解決」が 20.7%と続く。



【重要度】

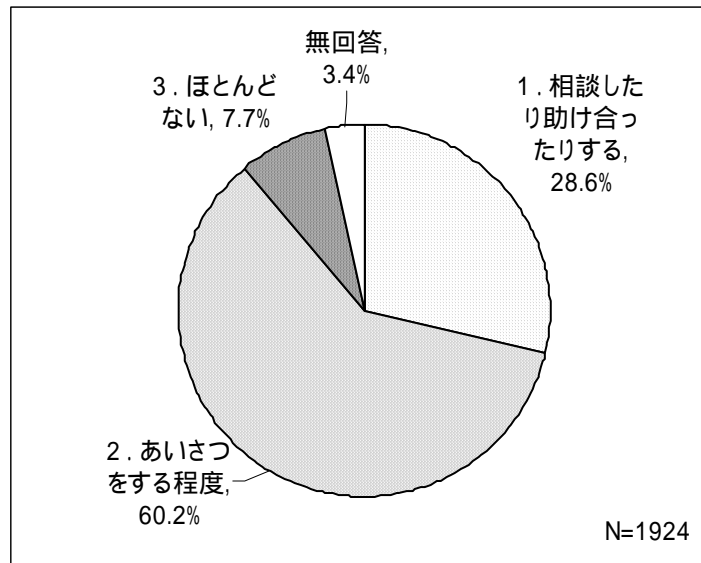
「平和尊重思想の啓発」が最も高く 78.5%で、「男女共同参画社会の実現」が 71.5%、「人権の確立、同和問題の解決」が 63.4%と続く。



問2 - 4 あなたは、日頃、生活の中で地域の人との交流がありますか。(1は1つ)

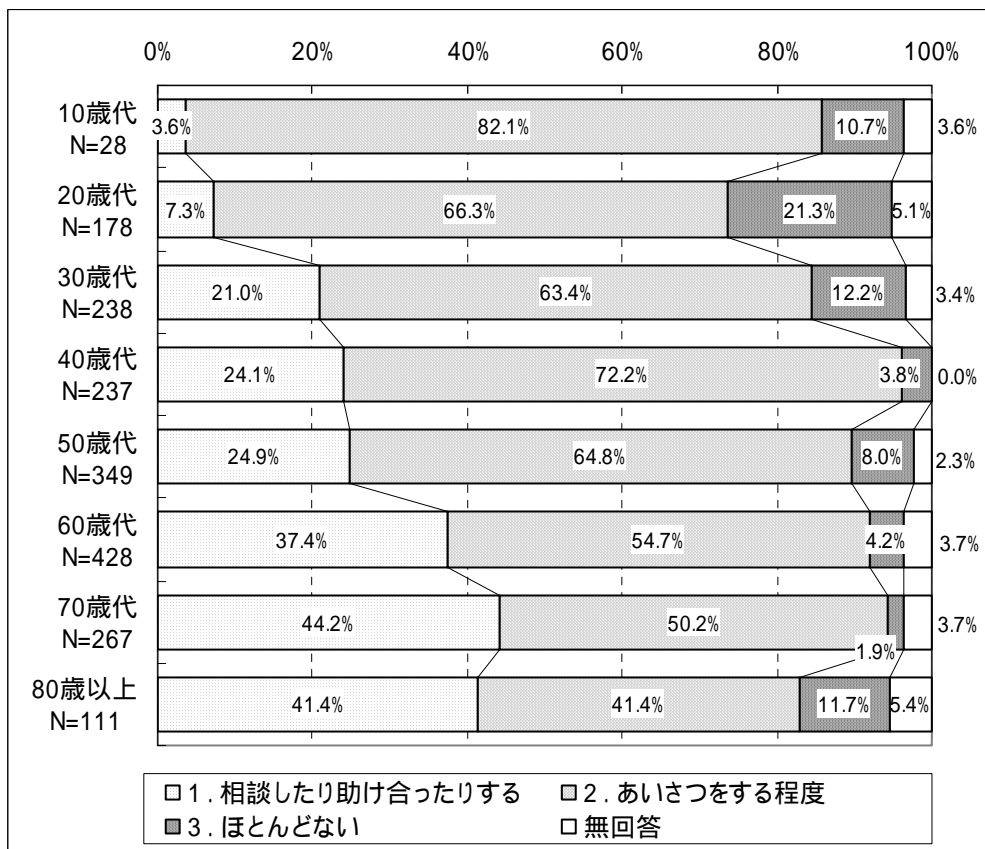
<全 体>

「あいさつをする程度」が最も多く 60.2%を占め、「相談したり助け合ったりする」が 28.6%と続く。



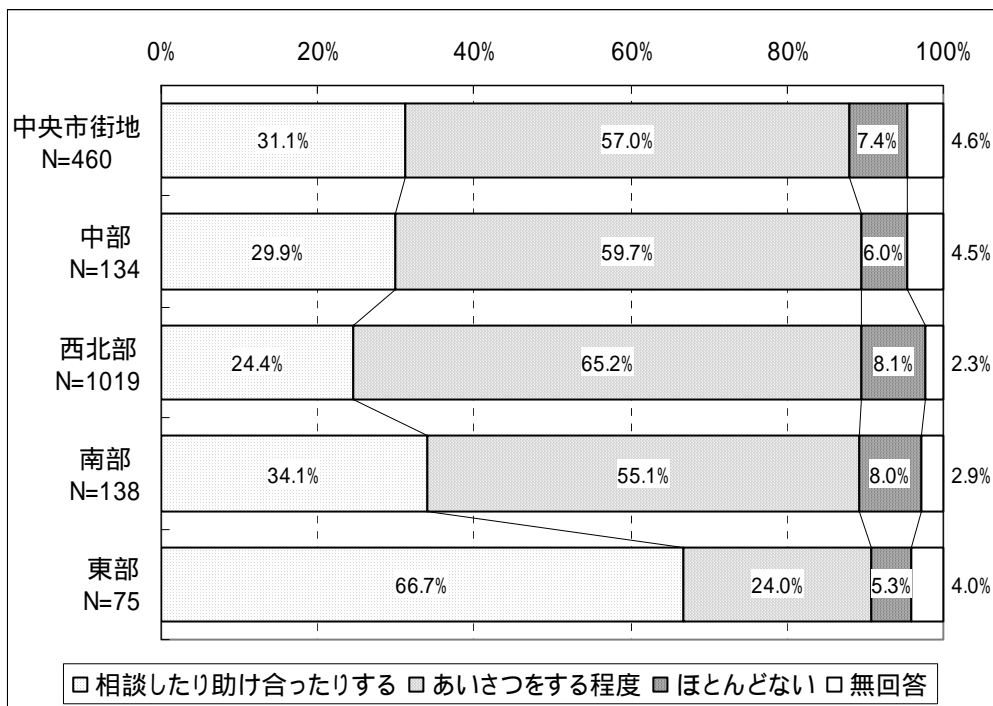
<年代別>

年代別に見ると、「相談したり助け合ったりする」は年代が上がるほど高くなり、「あいさつをする程度」は年代が下がるほど高くなる傾向にある。「ほとんどない」は年代によりばらついているが、20歳代が最も高い。



<ゾーン別>

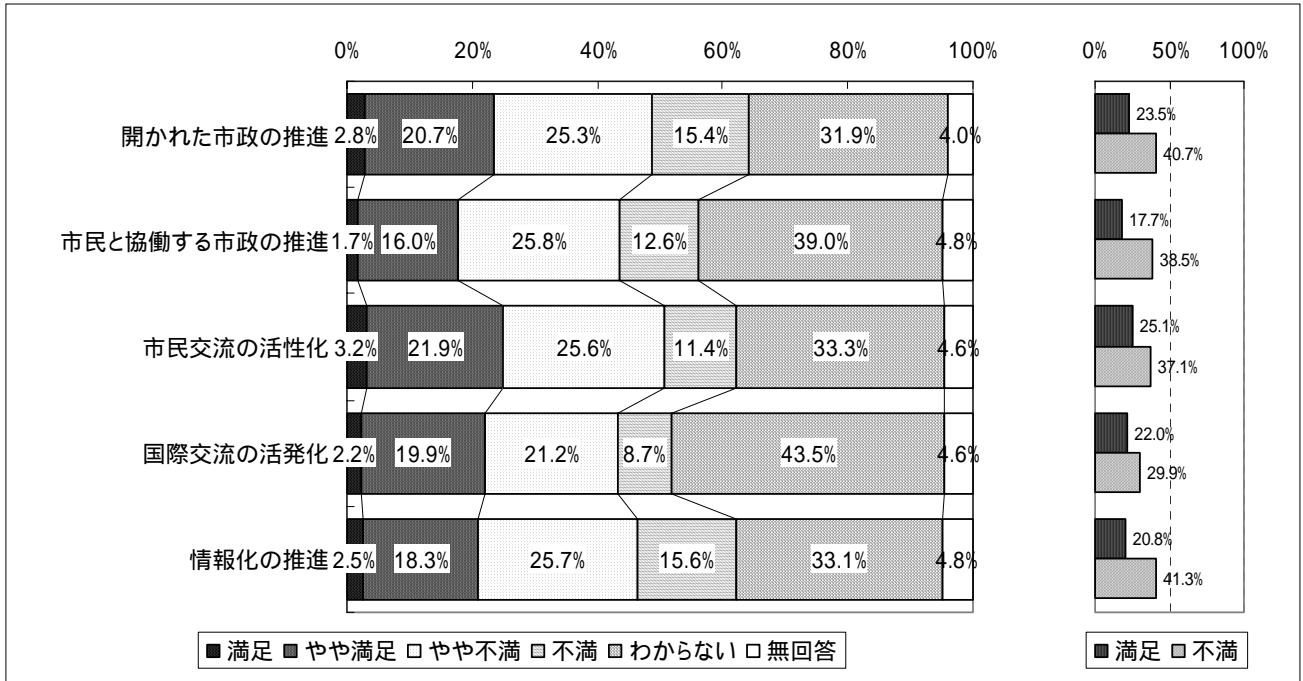
ゾーン別に見ると、「相談したり助け合ったりする」が最も高いのは東部の 66.7%で、最も低いのは西北部の 24.4%である。



問2 - 5 あなたは、奈良市が市民参画と交流の活性化のために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

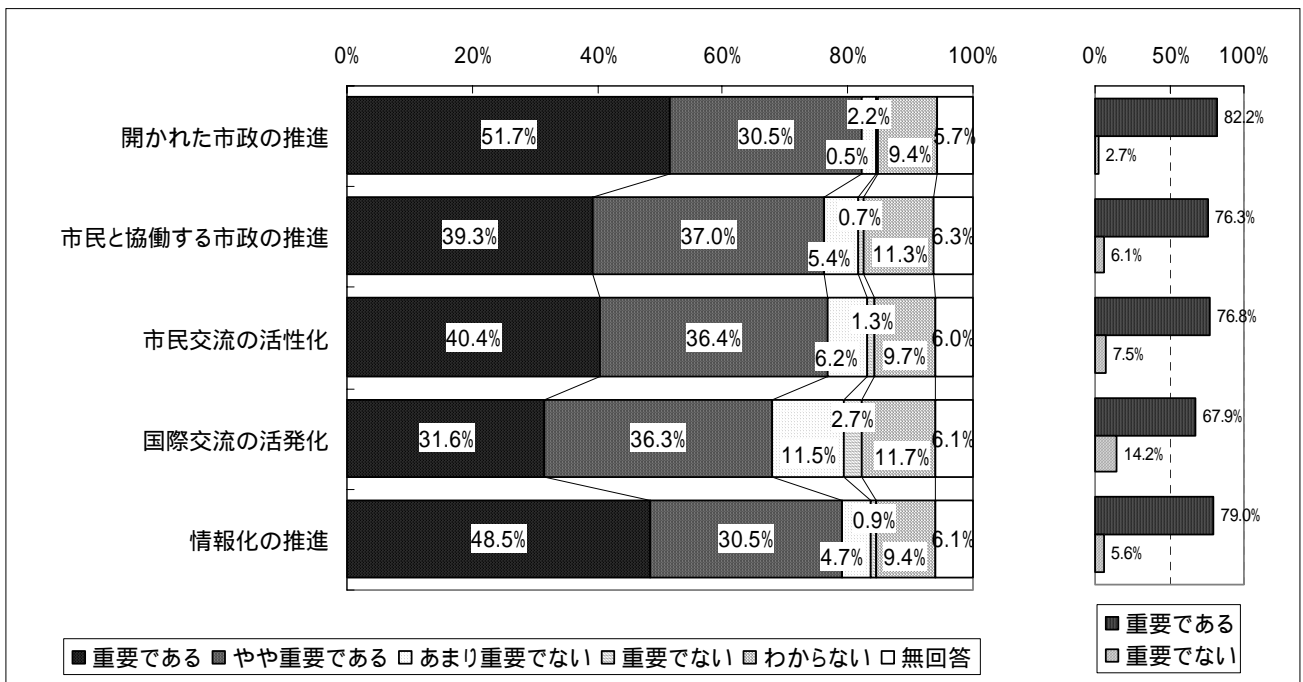
【満足度】

「市民交流の活性化」が最も高く 25.1%で、「開かれた市政の推進」が 23.5%、「国際交流の活発化」が 22.0%、「情報化の推進」が 20.8%、「市民と協働する市政の推進」が 17.7%と続く。



【重要度】

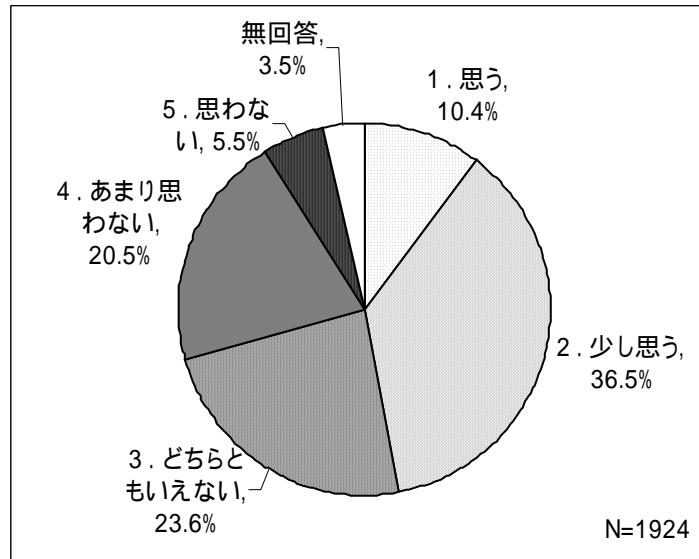
「開かれた市政の推進」が 82.2%で最も高く、「情報化の推進」が 79.0%、「市民交流の活性化」が 76.8%で、「市民と協働する市政の推進」が 76.3%、「国際交流の活発化」が 67.9%と続く。



問2 - 6 あなたは、学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っていると思いますか。(1は1つ)

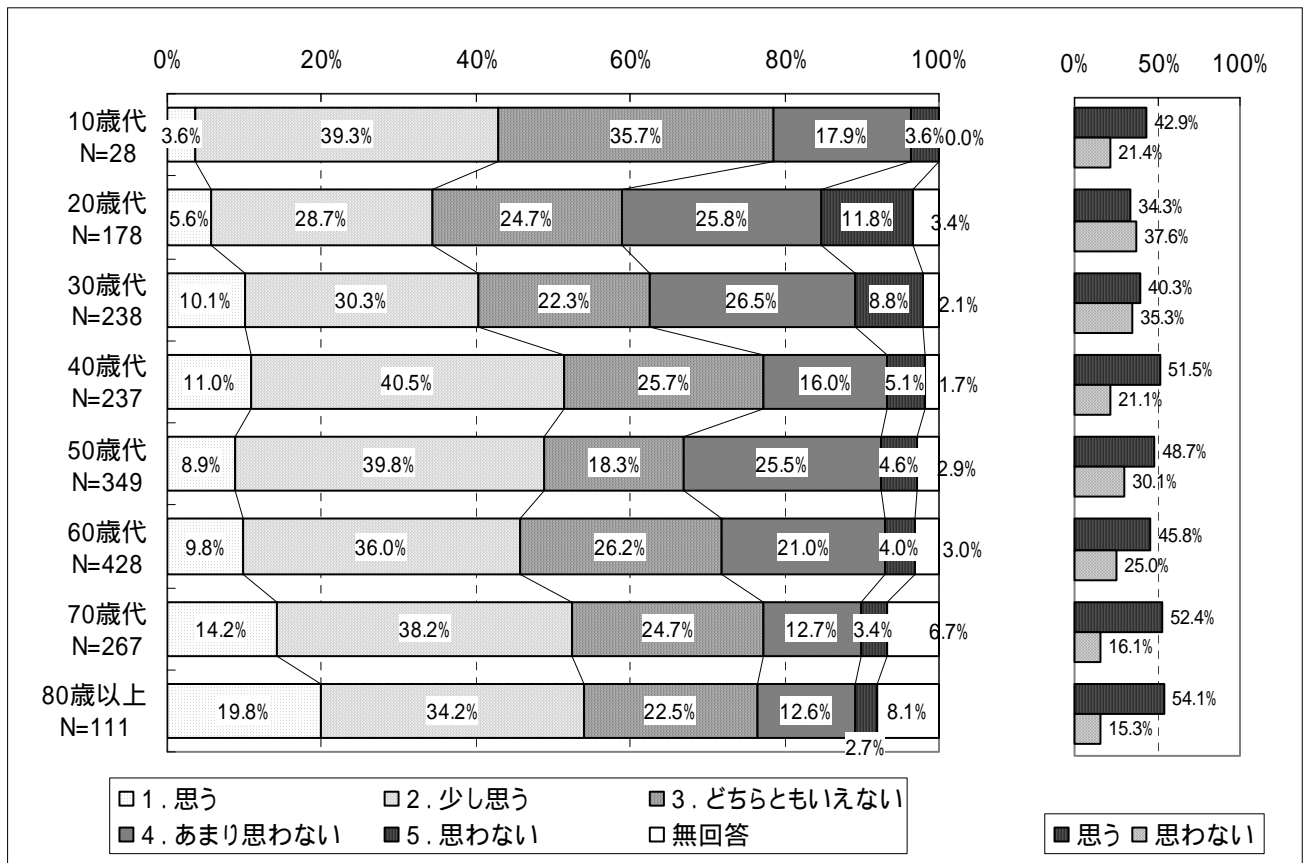
< 全 体 >

「少し思う」が最も多く 36.5%で、「どちらともいえない」が 23.6%で続く。『思う』は 46.9%で、『思わない』の 26.0%を上回る。



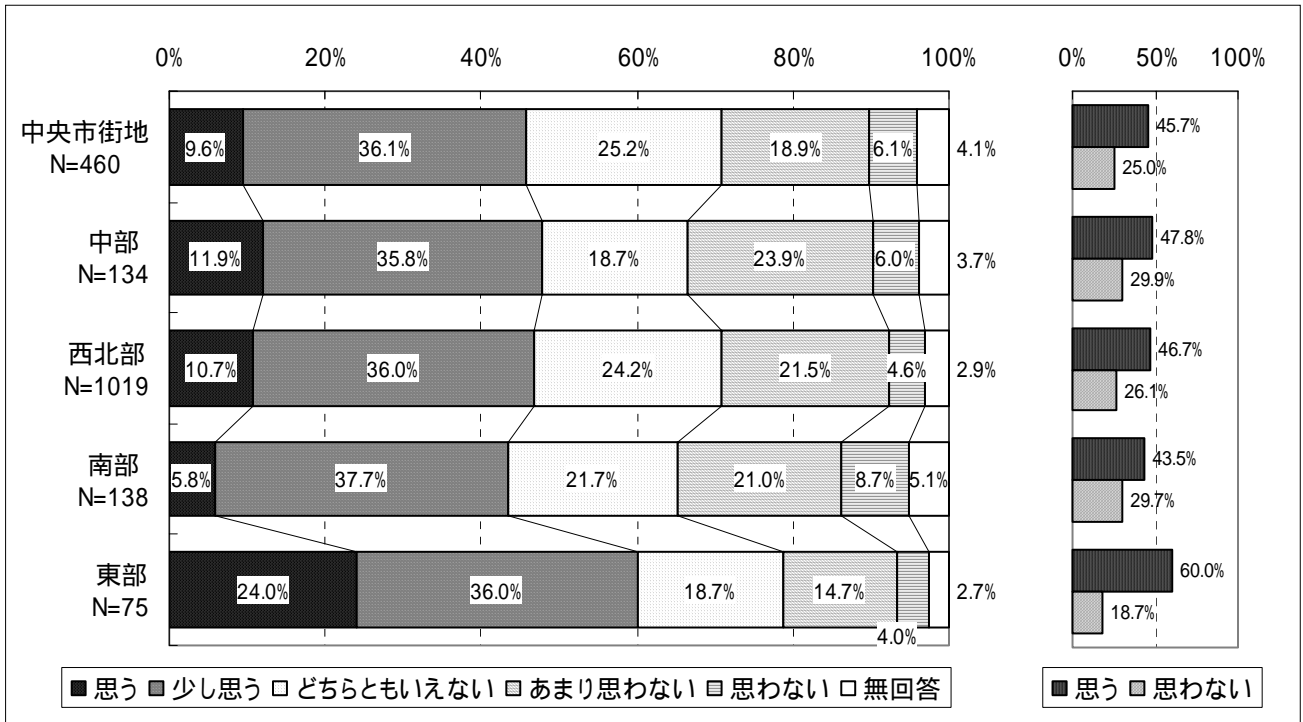
< 年代別 >

年代別に見ると、「思う」は年代が上がるほど高くなり、「思わない」は年代が下がるほど高くなる傾向にある。ただし、『思う』は 40 歳代以上ではほとんど変わらない。また『思わない』は青少年の親の年代に当たる 40 歳代が前後の年代に比べ低くなっている。さらに、ほとんどの年代で『思う』が『思わない』を上回っているのに対し、20 歳代は『思う』が『思わない』を下回っている。



<ゾーン別>

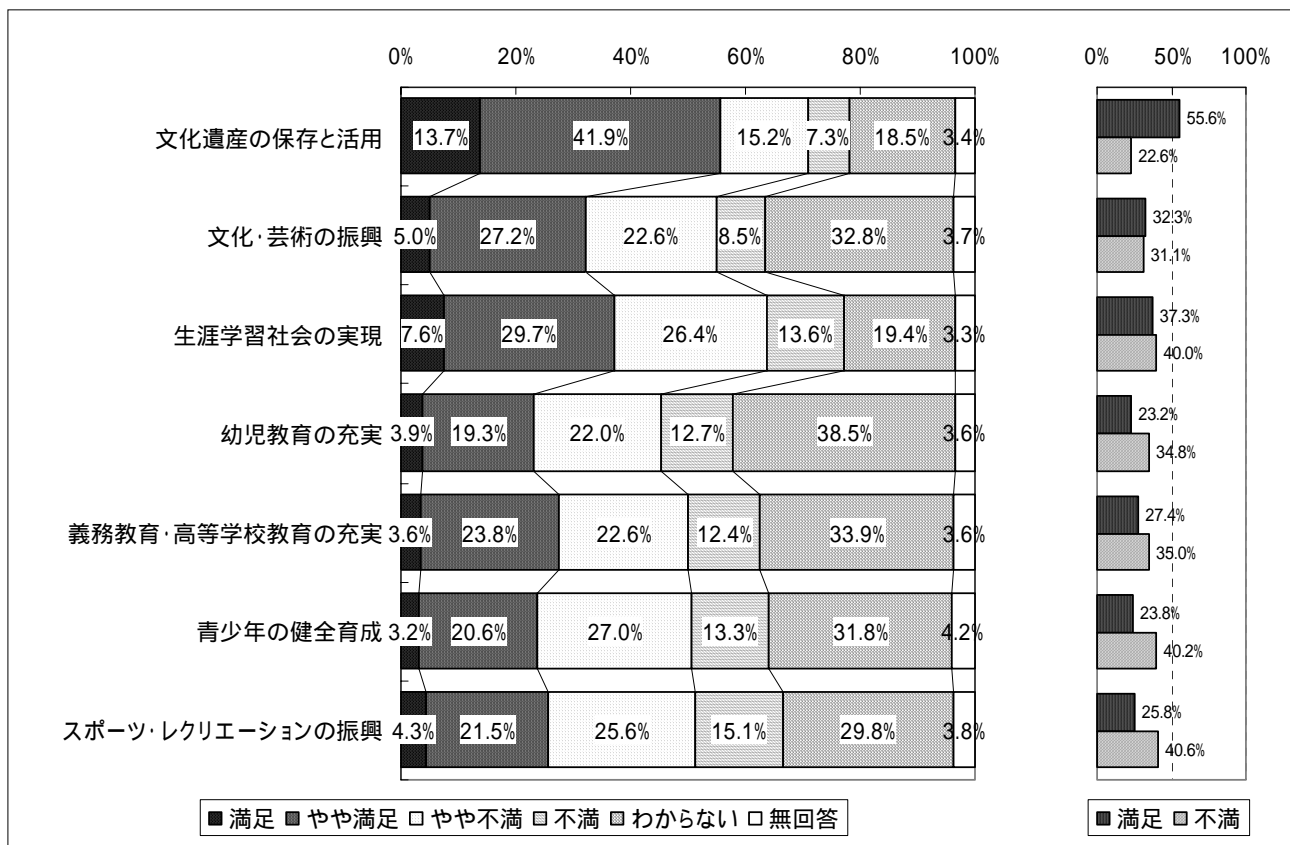
ゾーン別に見ると、全てのゾーンで『思う』が『思わない』を上回っており、特に東部では他のゾーンに比べ大きく上回っている。



問2 - 7 あなたは、奈良市が文化の創造・教育の充実のために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

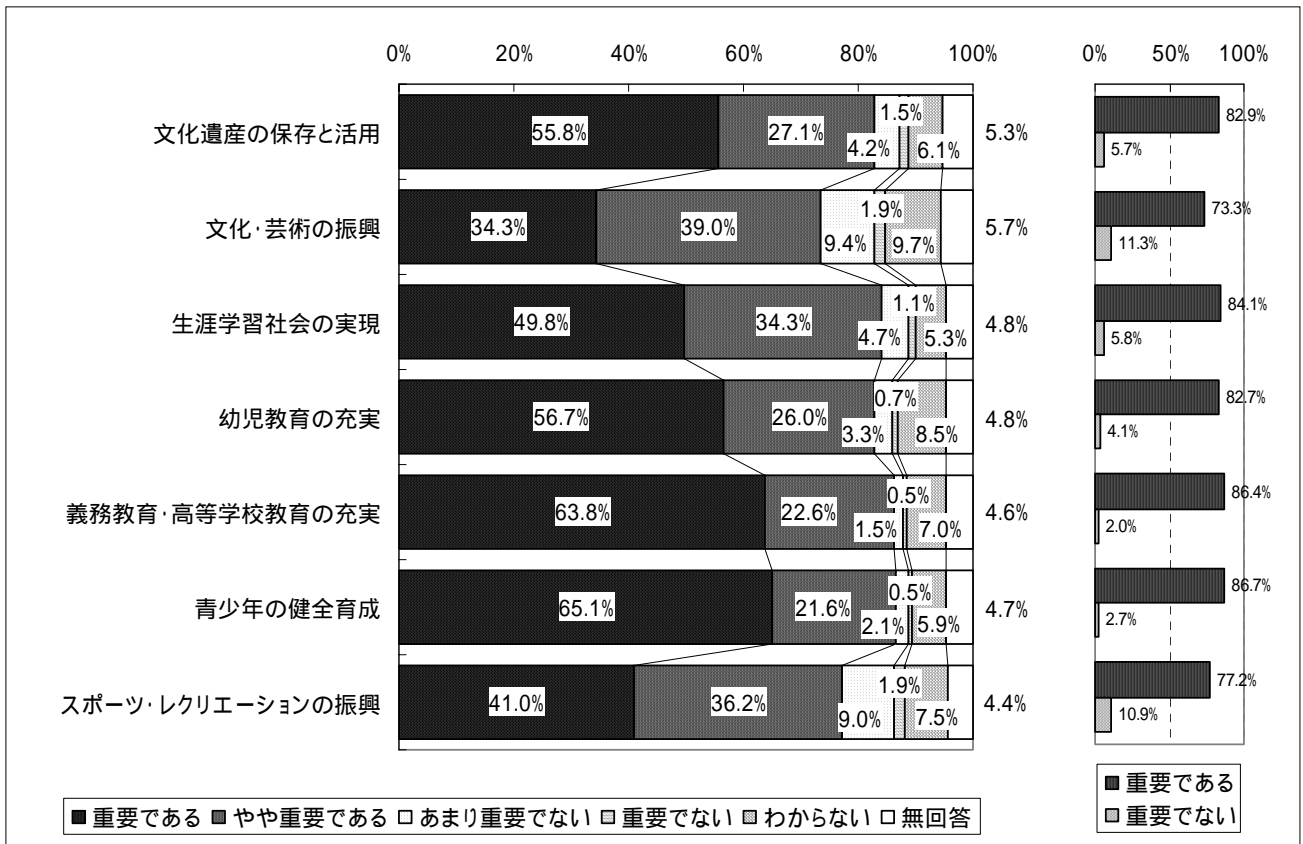
【満足度】

「文化遺産の保存と活用」が55.6%で最も高く、「生涯学習社会の実現」が37.3%、「文化・芸術の振興」が32.3%と続く。



【重要度】

「青少年の健全育成」が86.7%で最も高く、「義務教育・高等学校教育の充実」が86.4%、「生涯学習社会の実現」が84.1%と続く。

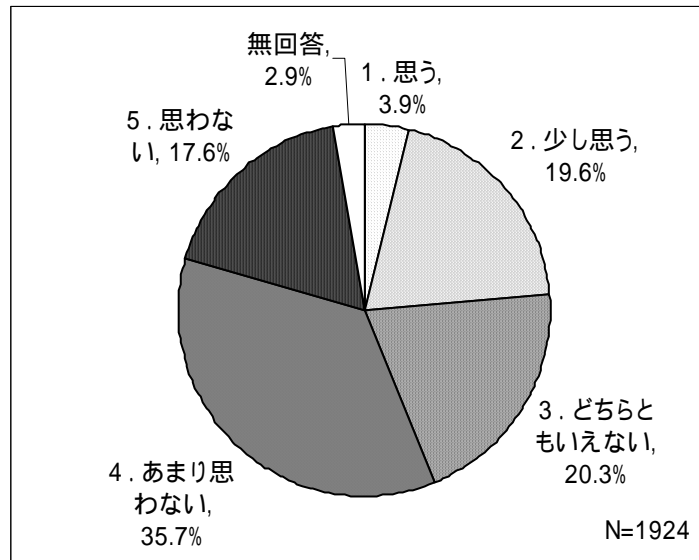


3 『福祉のまちづくり』について

問3 - 1 あなたは、奈良市内の施設や道路で、段差など障害物の解消が進んでいると思いますか。(は1つ)

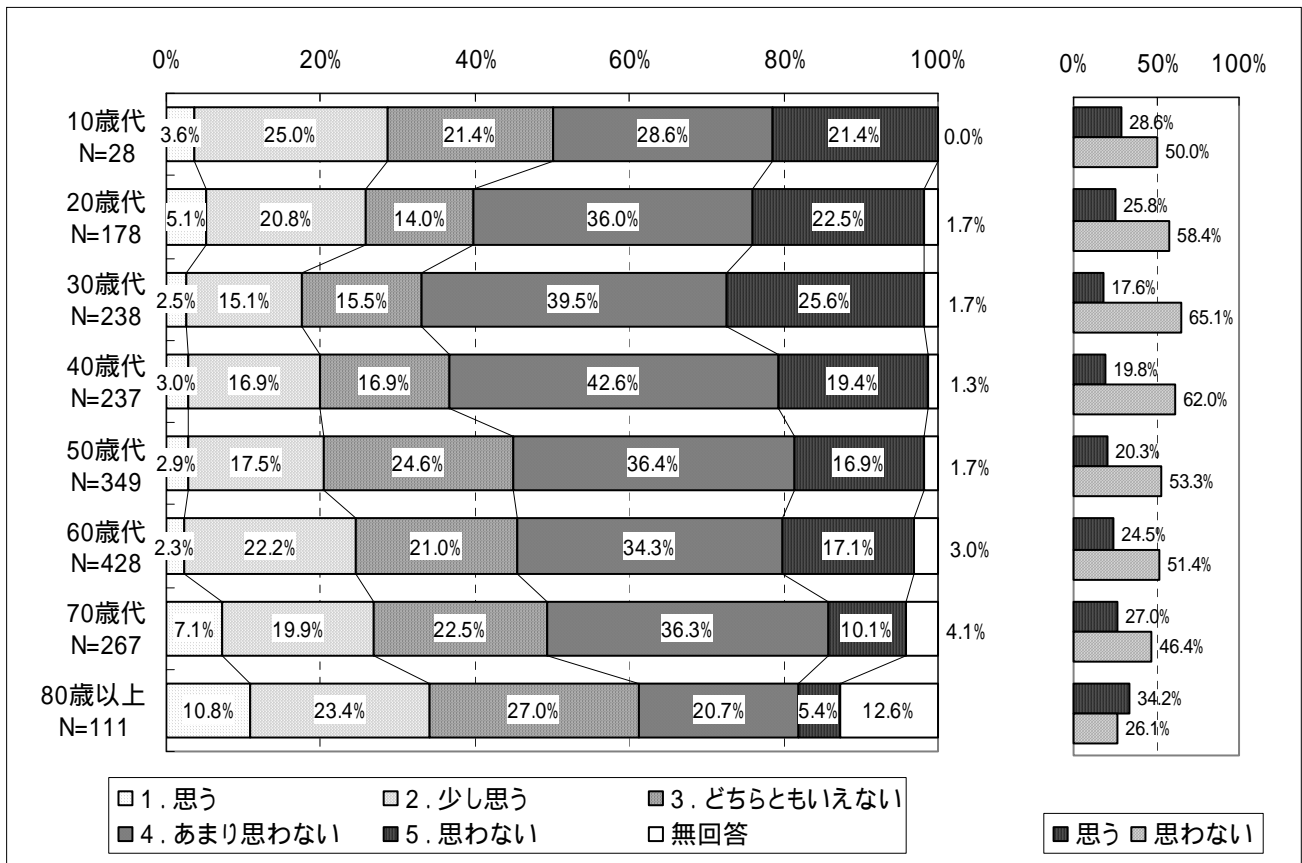
<全 体>

「あまり思わない」が最も多く 35.7%で、「どちらともいえない」が 20.3%と続く。『思う』は 39.9%で、『思わない』の 53.3%を下回る。



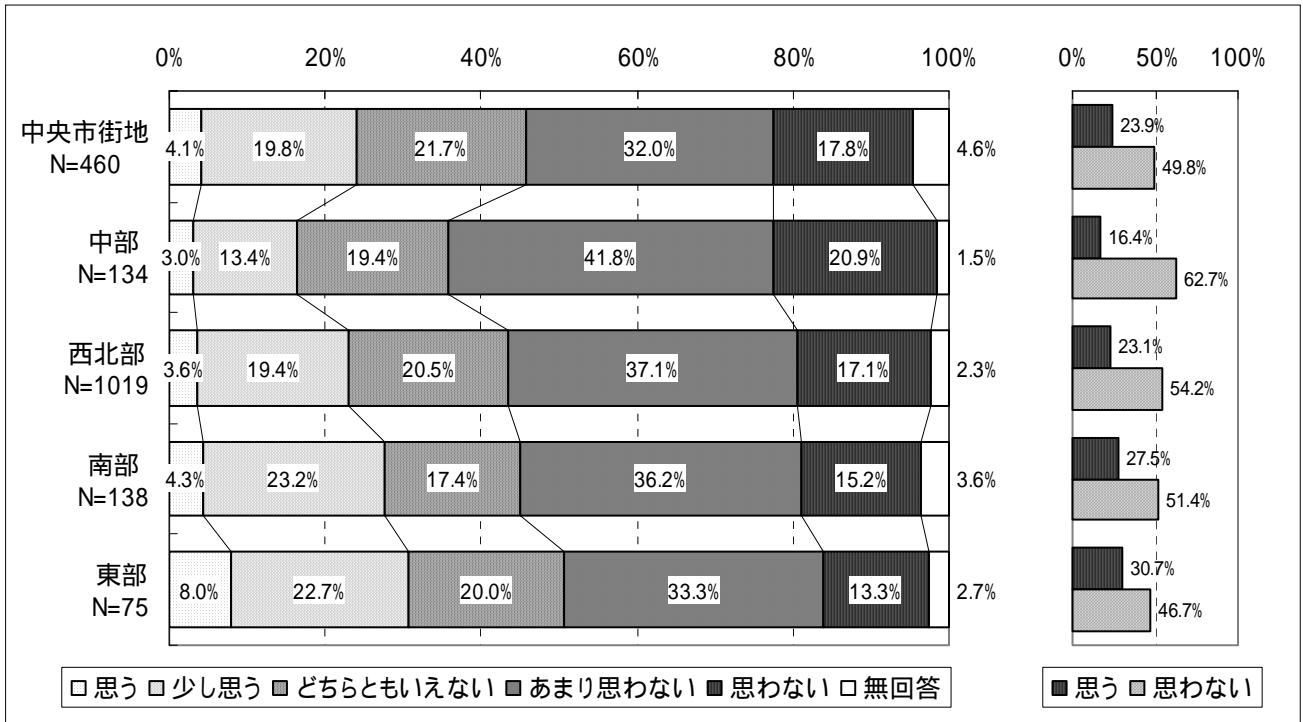
<年代別>

年代別に見ると、全ての年代で『思う』が『思わない』を下回っており、バリアフリーに対する評価の低さが伺える。特に 30 歳代、40 歳代の中間の年代層の評価が他の年代に比べ低い。



<ゾーン別>

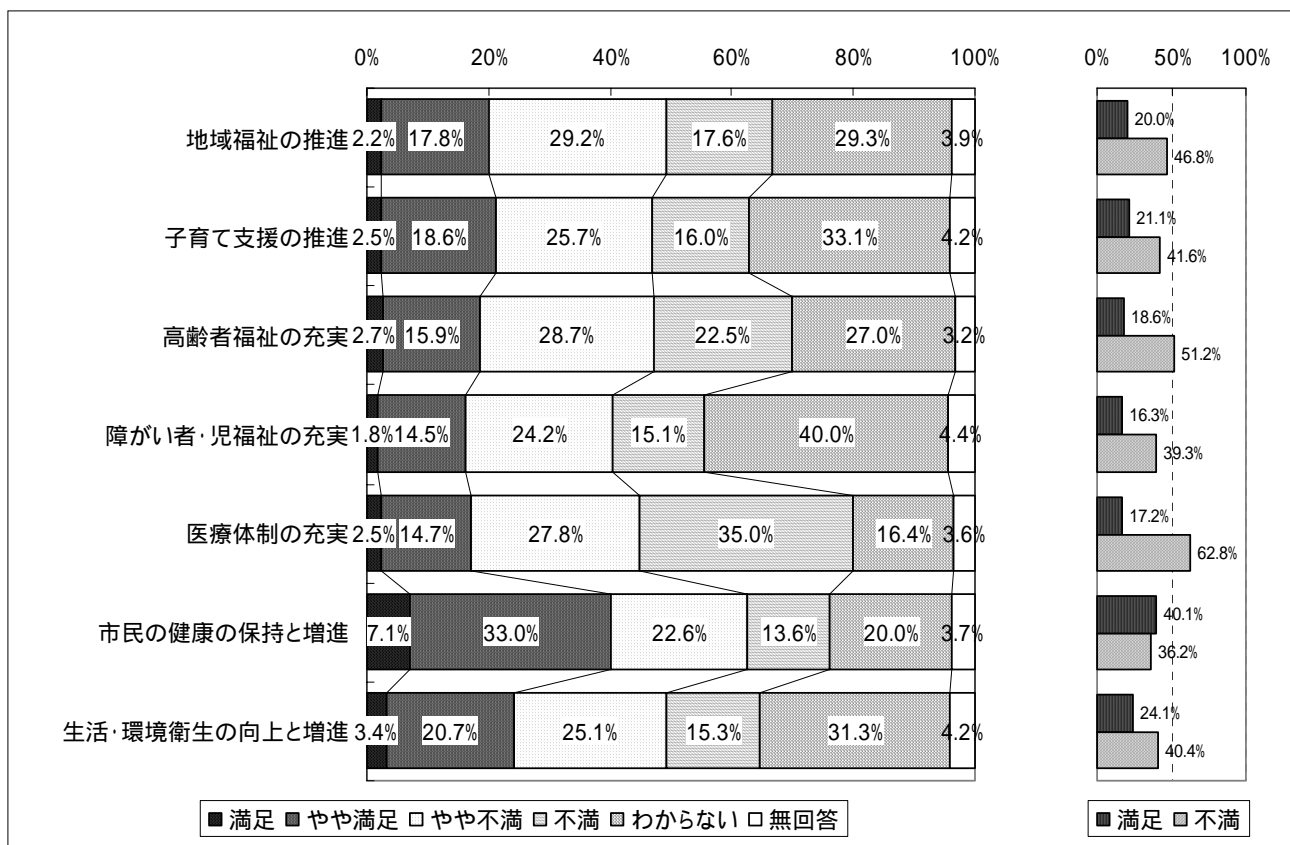
ゾーン別に見ると、いずれのゾーンも『思う』が『思わない』を下回っている。特に中部が他のゾーンに比べ大きく下回っており、東部ではその差が小さい。



問3 - 2 あなたは、奈良市が福祉のまちづくりのために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思えますか。(項目ごとに は1つずつ)

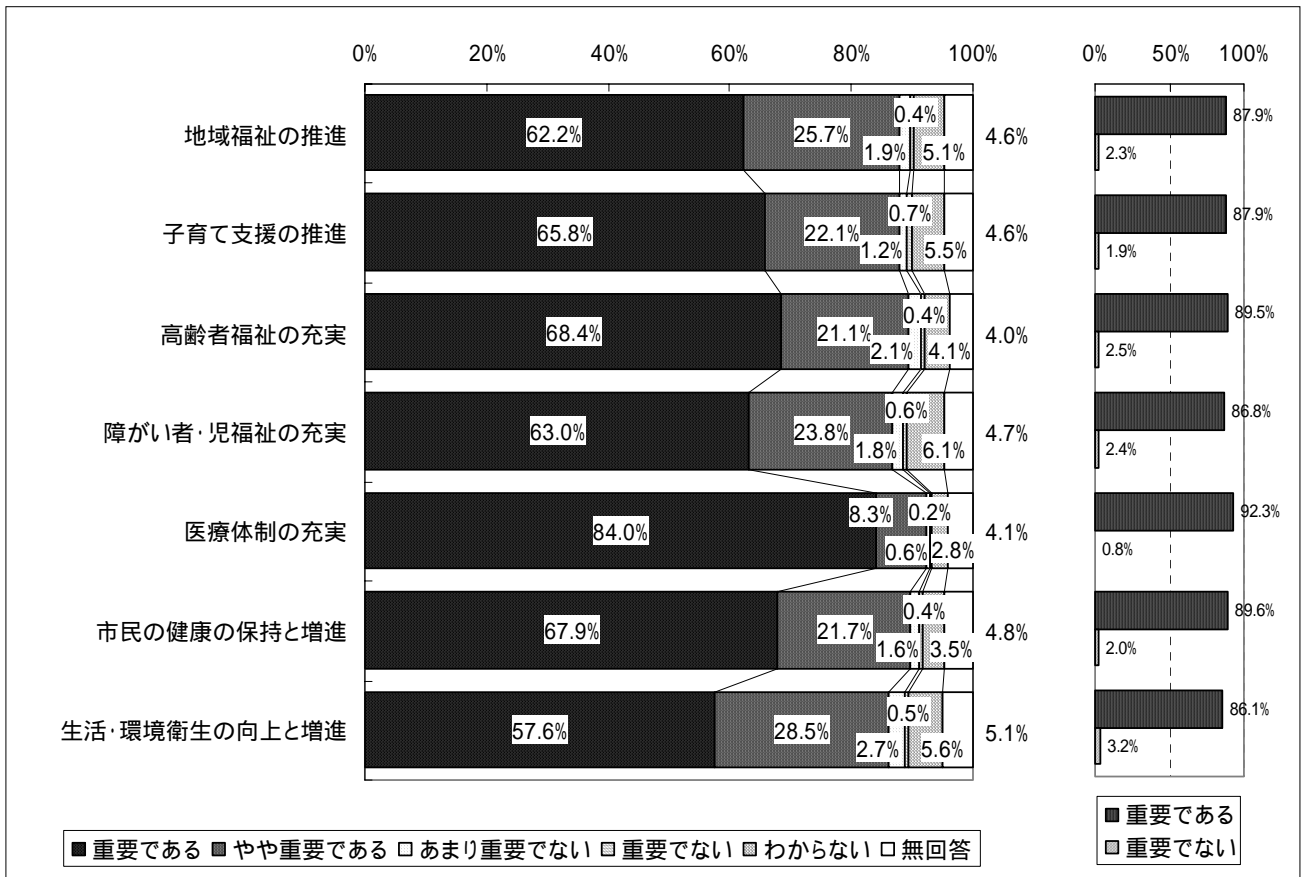
【満足度】

「市民の健康の保持と増進」が40.1%で最も高く、「生活・環境衛生の向上と増進」が24.1%、「子育て支援の推進」が21.1%と続く。



【重要度】

「医療体制の充実」が92.3%で最も高く、「市民の健康の保持と増進」が89.6%、「高齢者福祉の充実」が89.5%と続く。

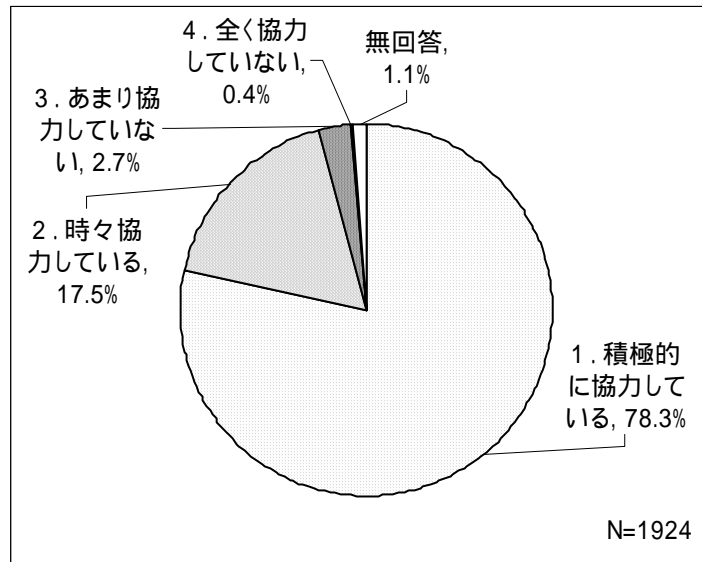


4 『環境保全と安心・快適なまちづくり』について

問4 - 1 あなたは、ごみの分別収集や地域の資源回収に協力していますか。(は1つ)

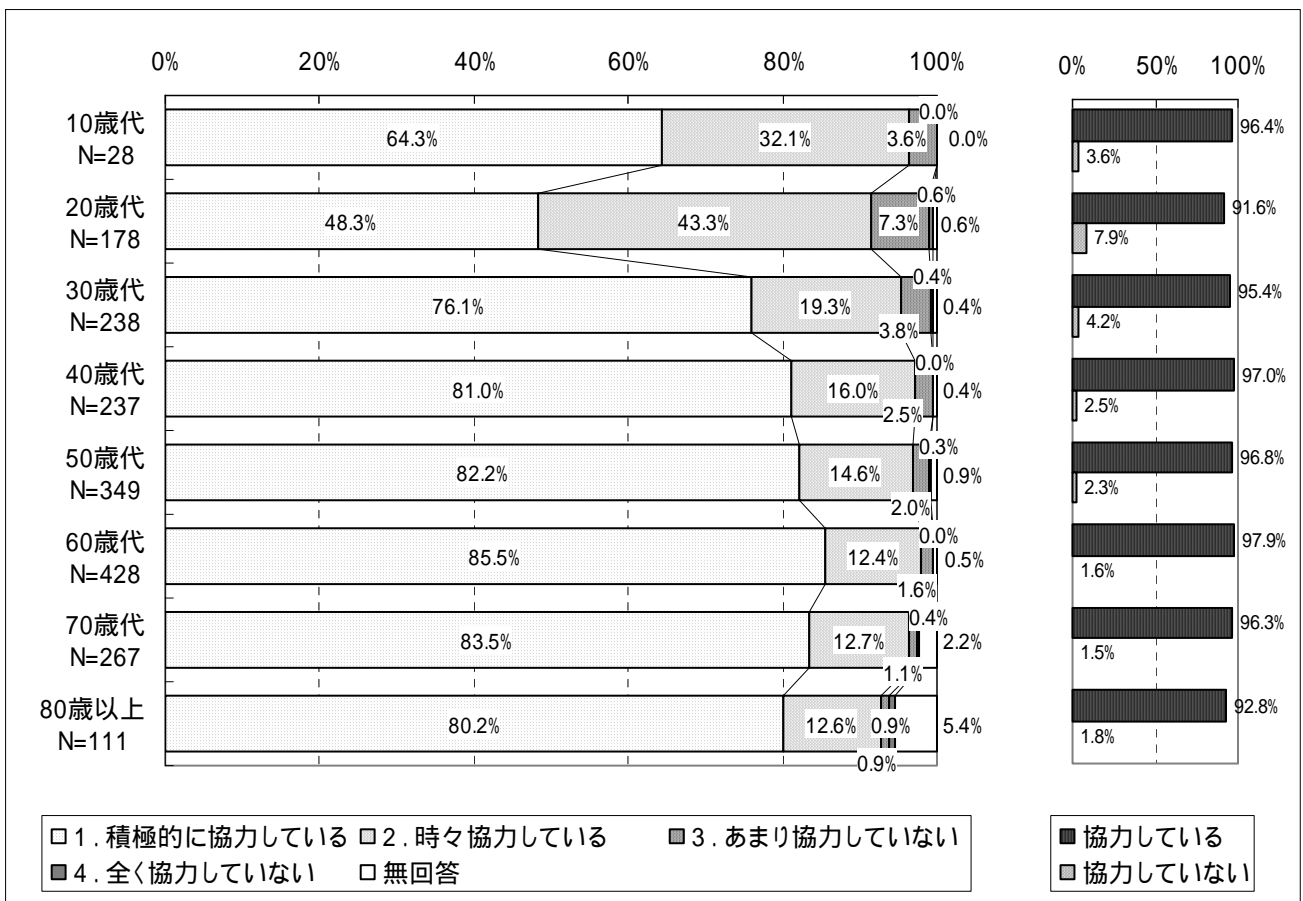
< 全 体 >

「積極的に協力している」が最も多く 78.3%を占める。「時々協力している」と合わせると 95.8%とほとんどの人が協力している。



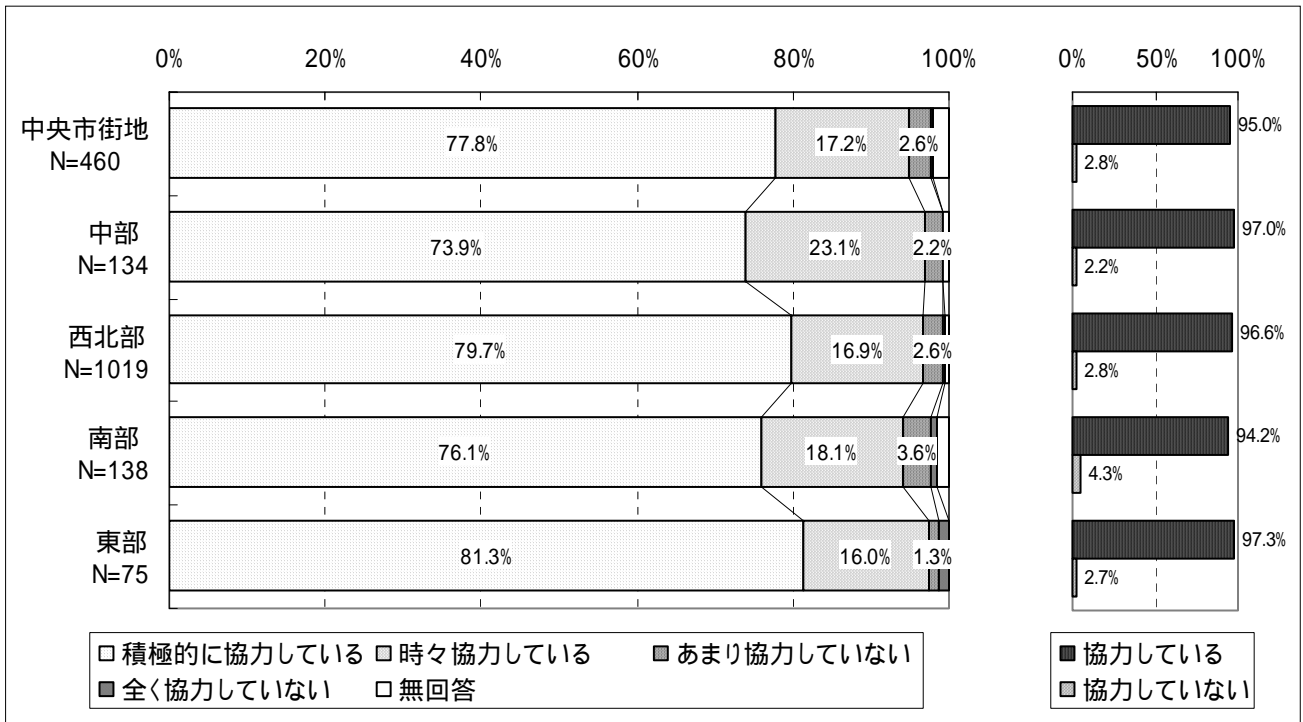
< 年代別 >

年代別に見ると、「積極的に協力している」と「時々協力している」を合わせると、全ての年代でほとんどの人が協力しているが、「積極的に協力している」は特に 20 歳代が低い。



<ゾーン別>

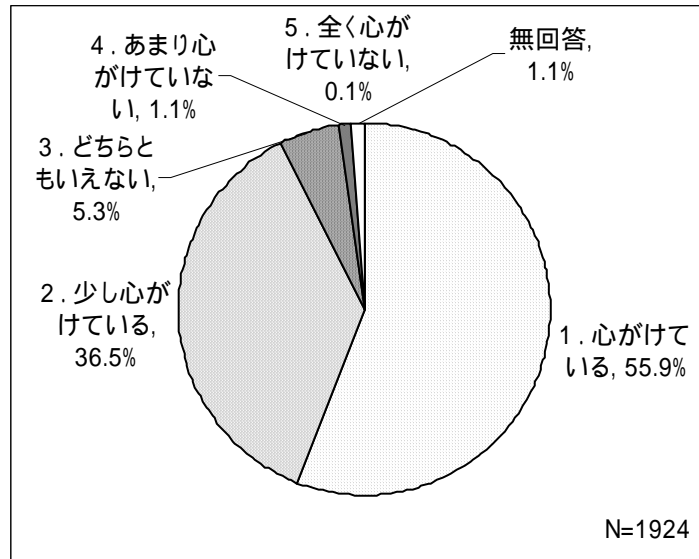
ゾーン別に見るといずれのゾーンも『協力している』が9割を越えており、ゾーンによる差はほとんど見られない。



問4 - 2 あなたは、日常生活において環境に配慮した行動を心がけていますか。(1は1つ)

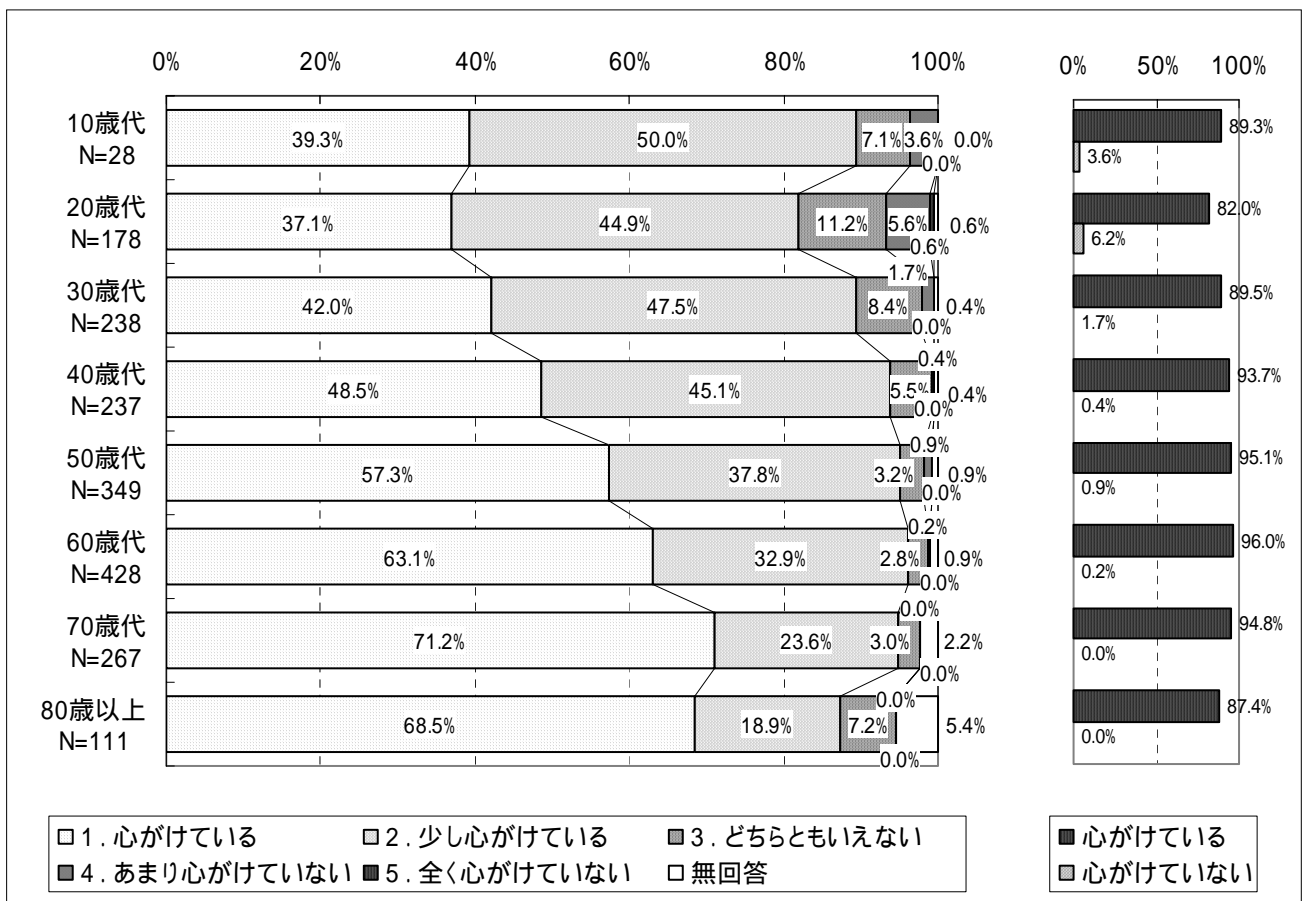
<全 体>

「心がけている」が最も多く 55.9%を占める。「少し心がけている」と合わせると 92.4%とほとんどの人が心がけている。



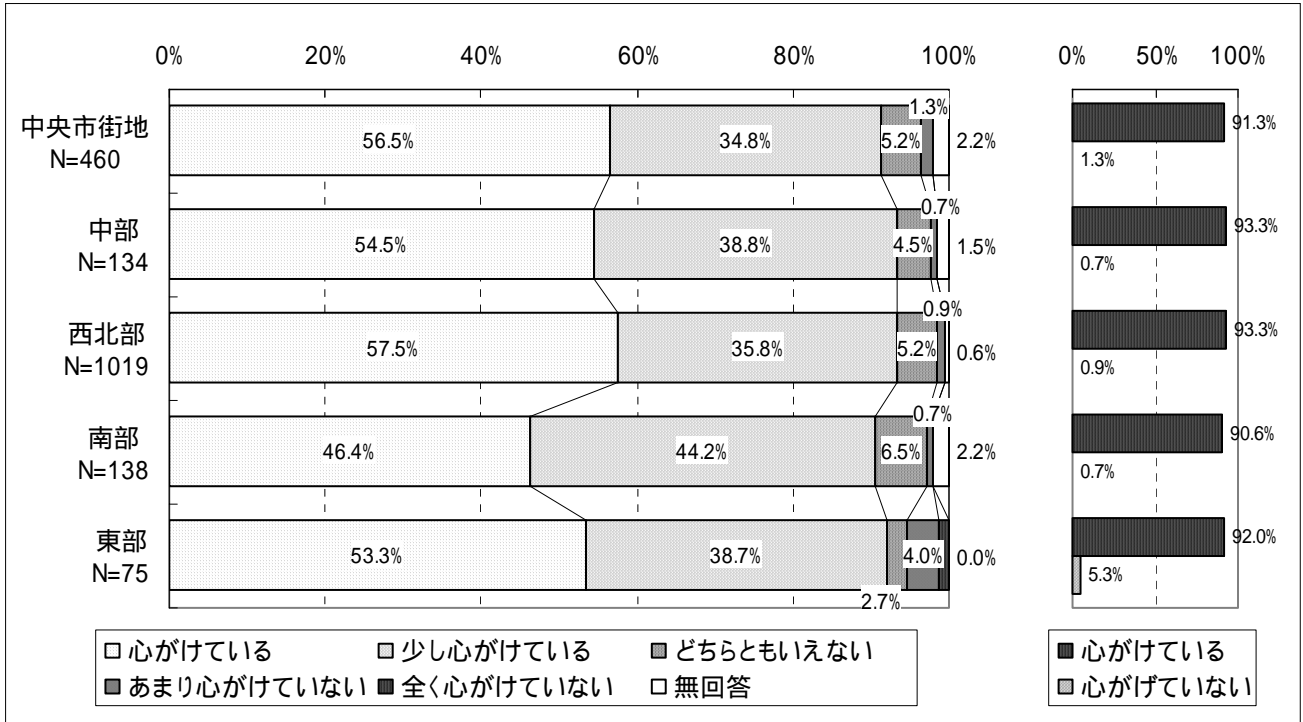
<年代別>

年代別に見ると、「心がけている」と「少し心がけている」と合わせた『心がけている』は全ての世代で8割から9割を超える非常に高い割合となっている。しかし、「心がけている」は年代が上がるほど高くなる傾向を示しており、環境問題を深刻に受け止めていることが伺える。



<ゾーン別>

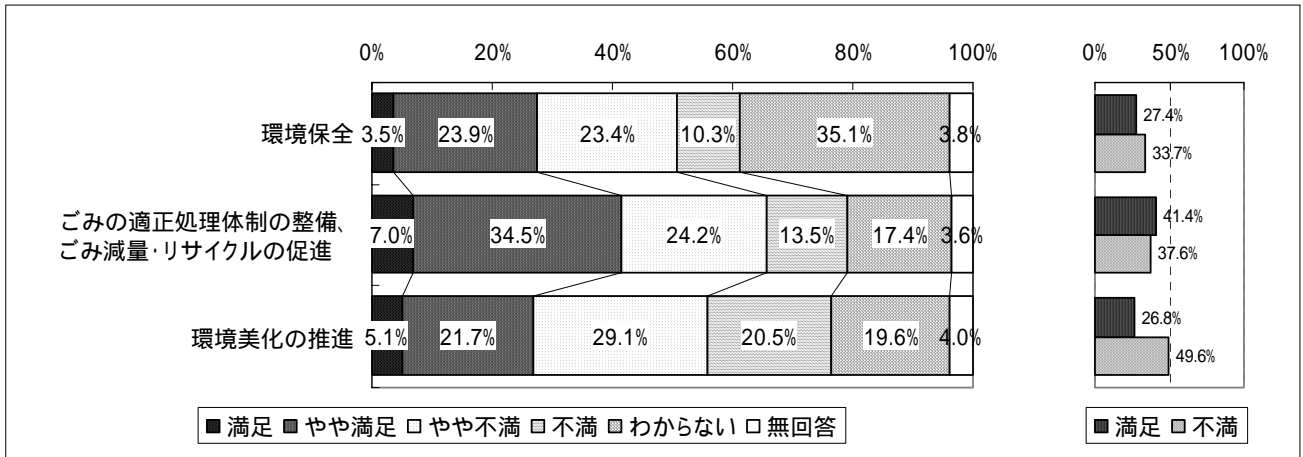
ゾーン別に見ると、いずれのゾーンも『心がけている』が9割を超えているが、「心がけている」は南部が他のゾーンに比べ若干低い。



問4 - 3 あなたは、奈良市が環境保全・美化のために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

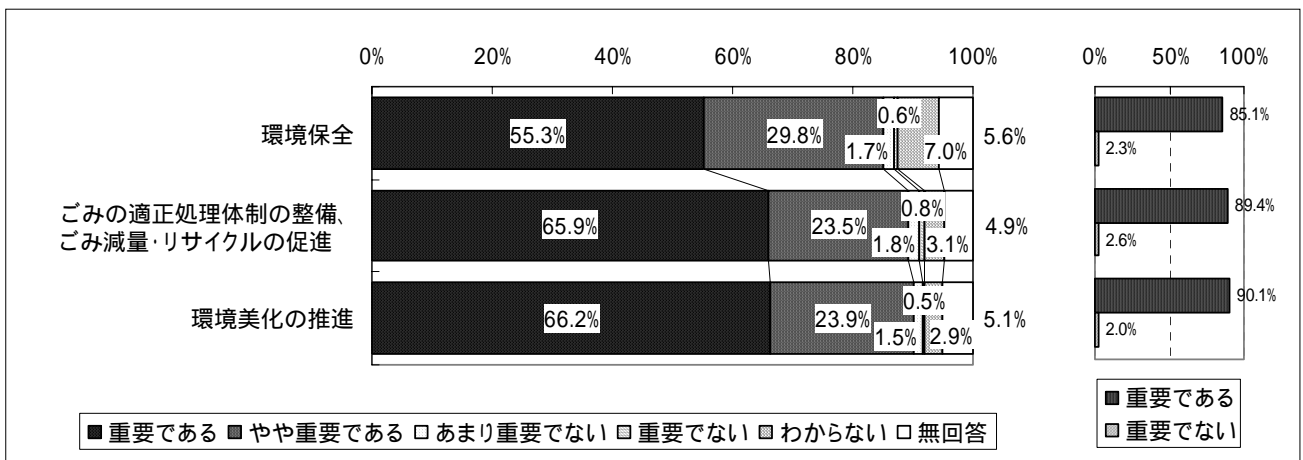
【満足度】

「ごみの適正処理体制の整備、ごみ減量・リサイクルの促進」が 41.4%で最も高く、「環境保全」が 27.4%、「環境美化の推進」が 26.8%と続く。



【重要度】

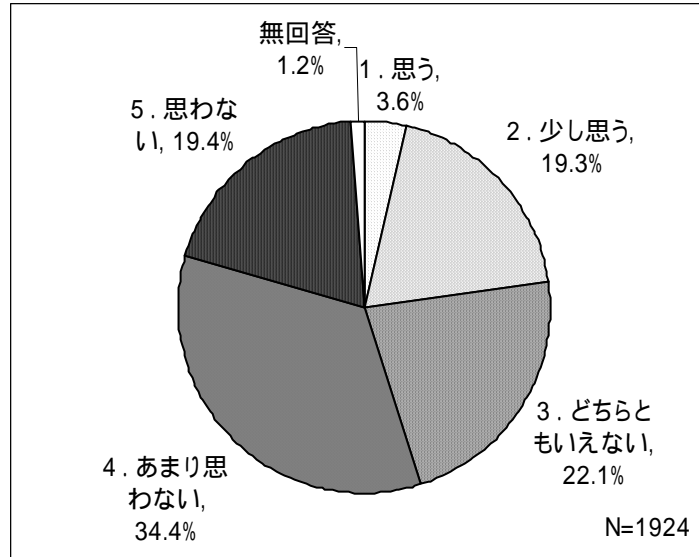
「環境美化の推進」が 90.1%で最も高く、「ごみの適正処理体制の整備、ごみ減量・リサイクルの促進」が 89.4%、「環境保全」が 85.1%と続く。



問4 - 4 あなたは、奈良市内の道路について、歩行者が安全に利用できるよう整備されていると思いますか。
 (は1つ)

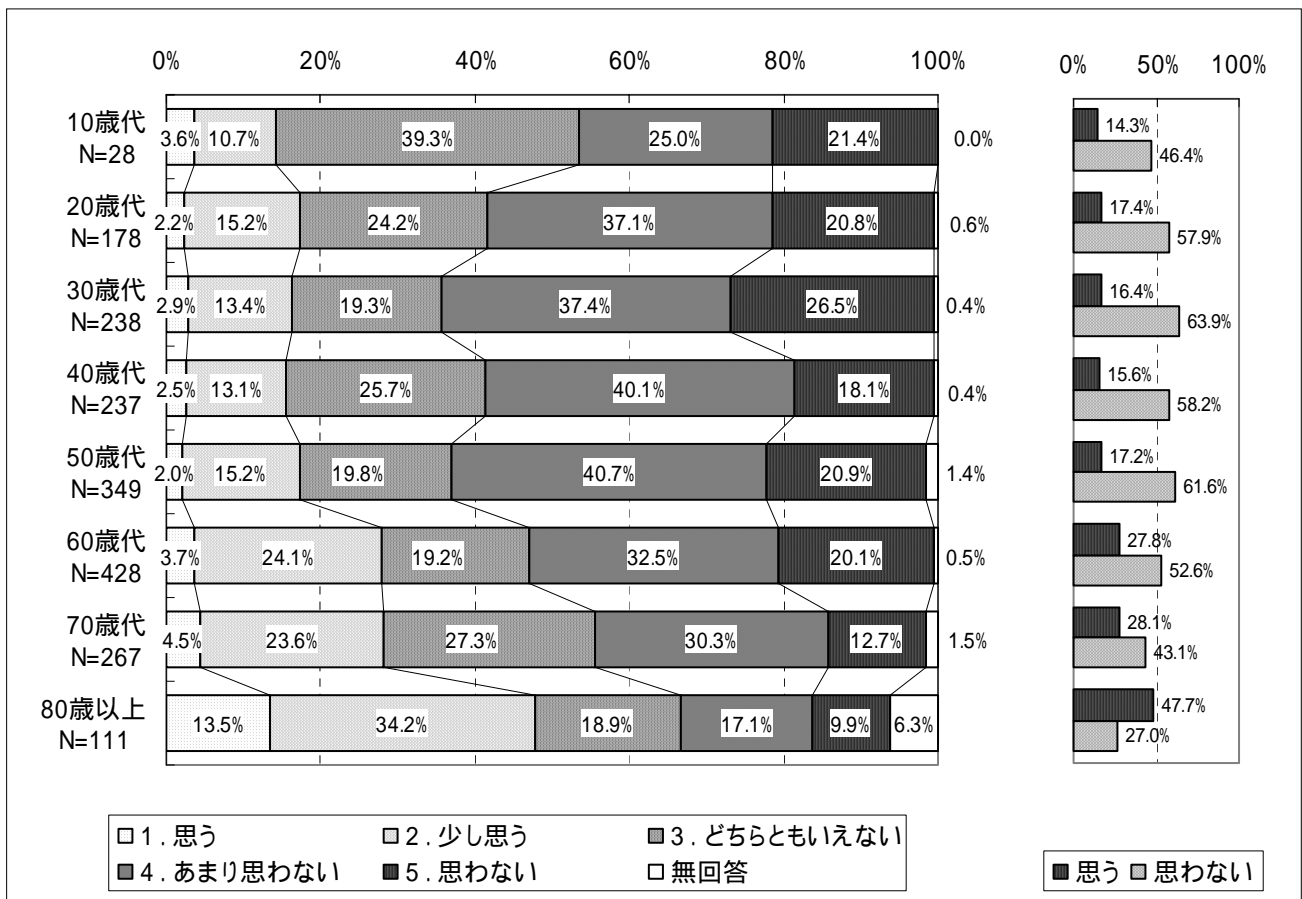
<全 体>

「あまり思わない」が最も多く 34.4%で、「どちらともいえない」が 22.1%と続く。『思う』は 22.9%で、『思わない』の 53.8%を大きく下回る。



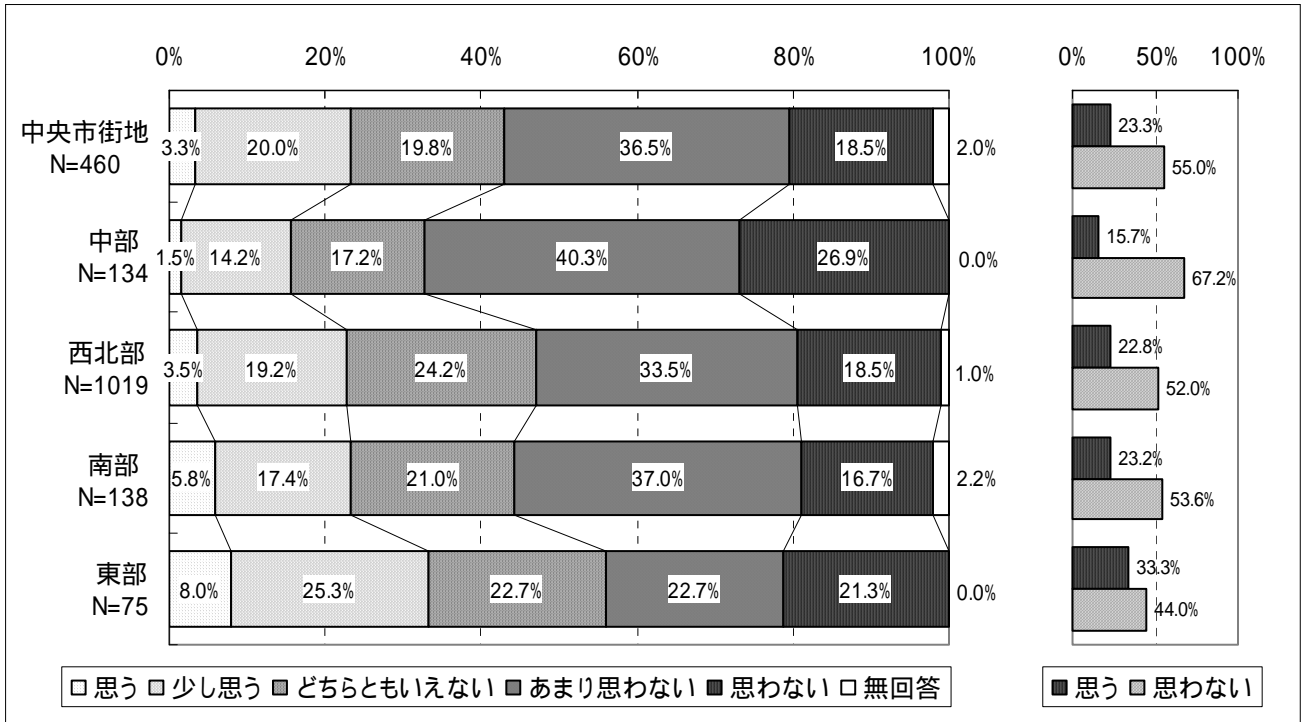
<年代別>

年代別に見ると、年代が上がるほど『思う』は高くなる傾向にあるが、80歳以上を除く全ての年代で『思う』は『思わない』を下回っている。



<ゾーン別>

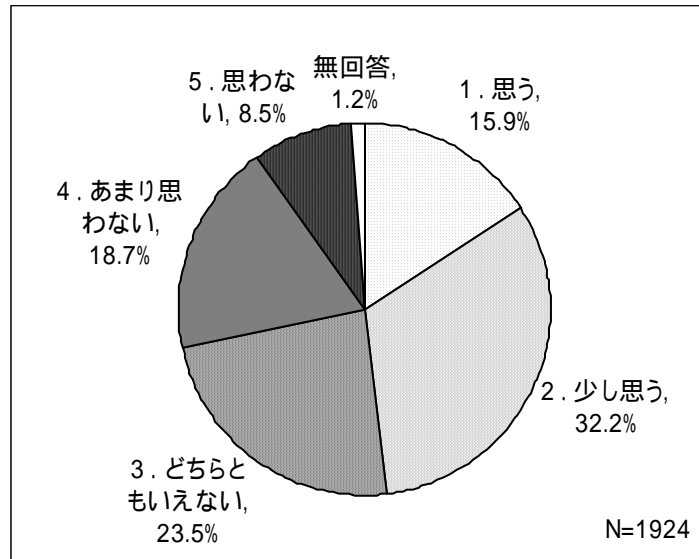
ゾーン別に見ると、全てのゾーンで『思う』が『思わない』を下回っており、中部では『思う』と『思わない』差が最も大きい。逆に東部ではその差が小さくなっている。



問4 - 5 あなたは、お住まいの地域のまちなみを美しいと思いますか。(は1つ)

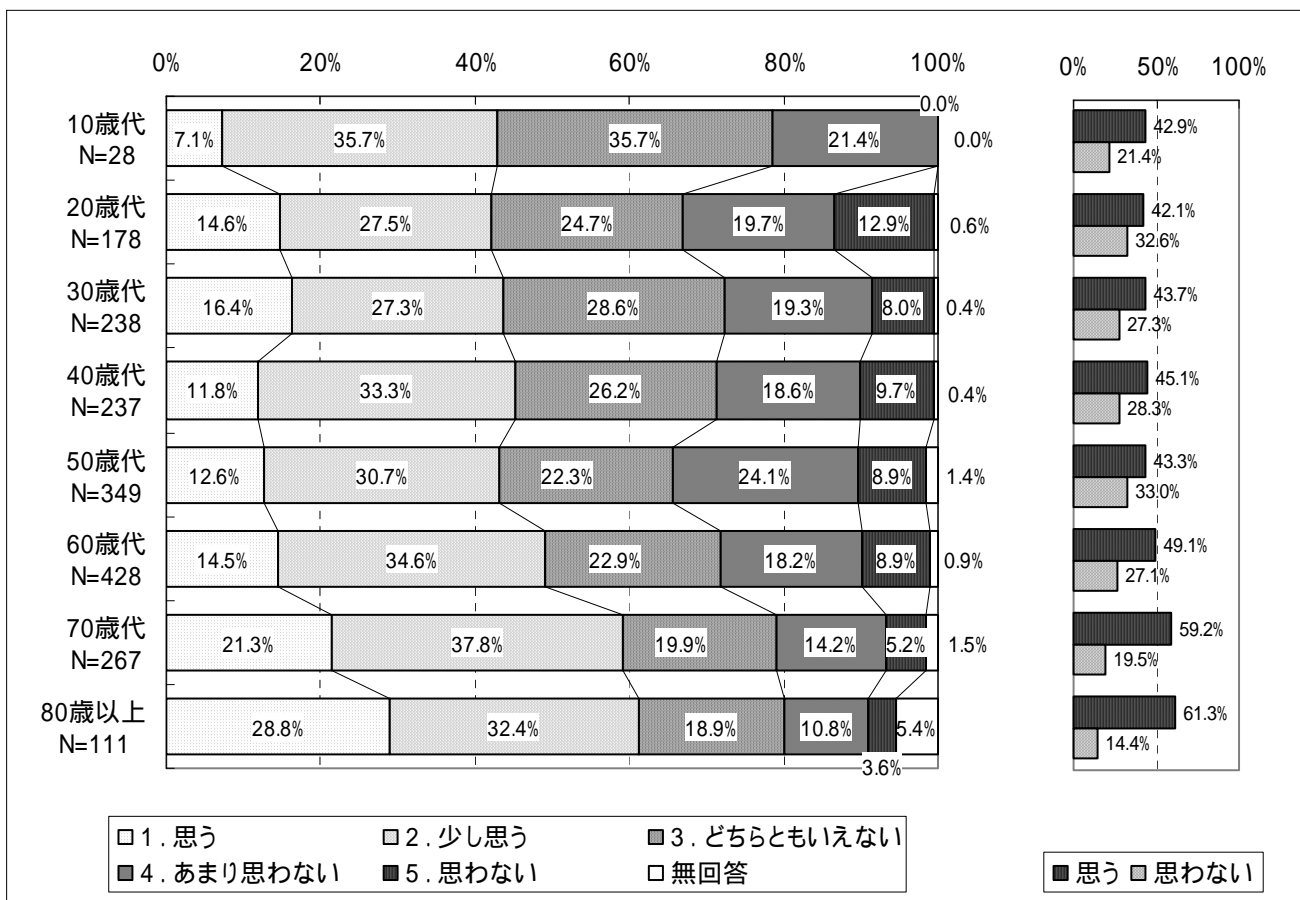
<全 体>

「少し思う」が最も多く 32.3%で、「どちらともいえない」が 23.5%と続く。『思う』は 48.1%で、『思わない』の 27.2%を上回る。



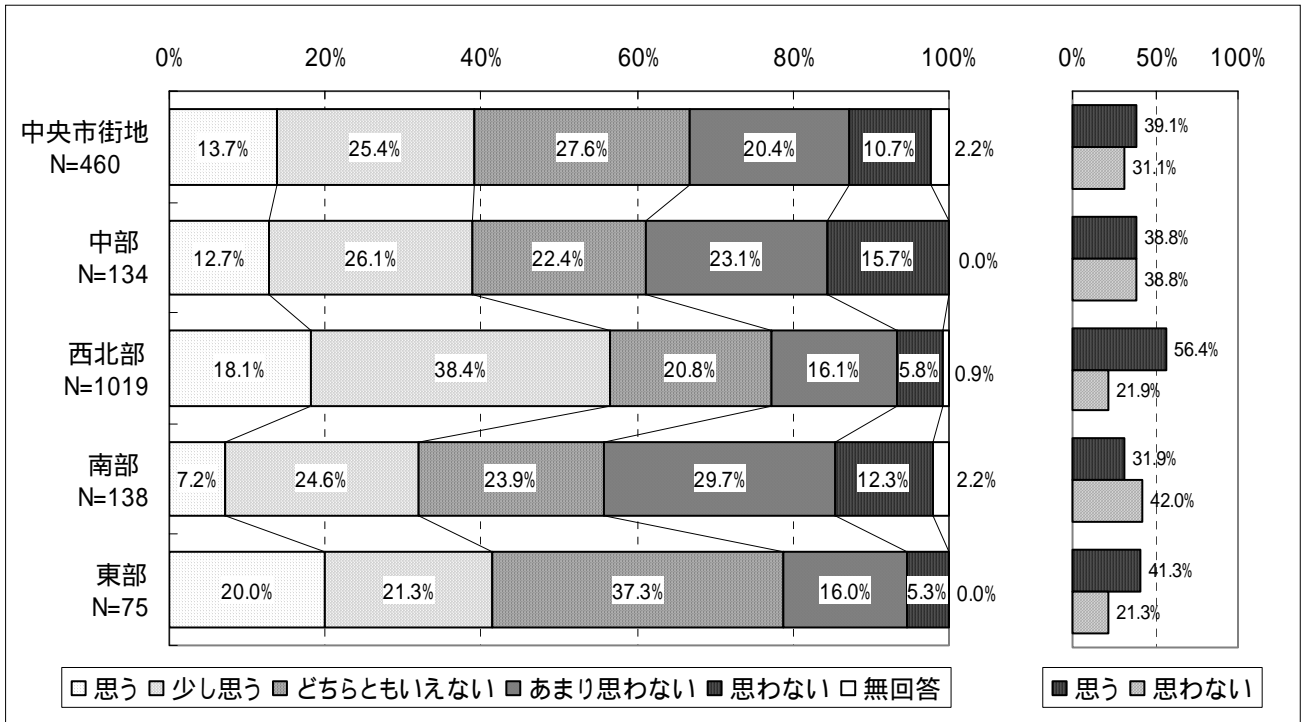
<年代別>

年代別に見ると、年代が上がるほど『思う』は高くなる傾向にあり、全ての年代で『思う』は『思わない』を上回っている。特に 10 歳代と 60 歳代以上は他の年代に比べ大きく上回っている。



<ゾーン別>

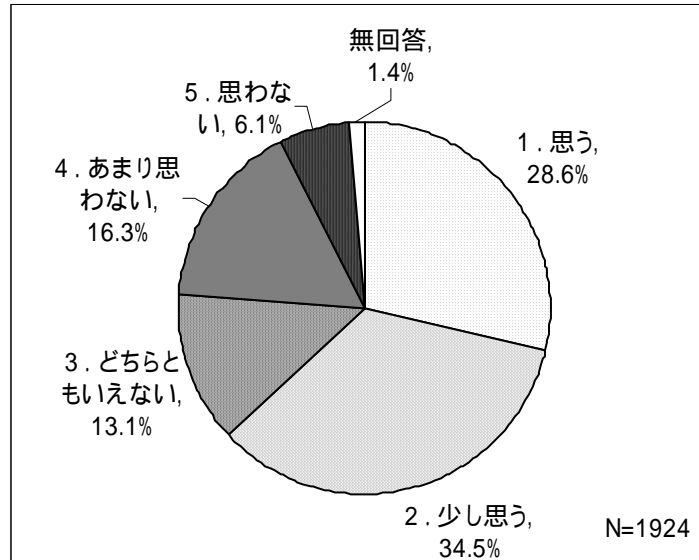
ゾーン別に見ると、ゾーンによって異なり、『思う』が『思わない』を上回るのは、中央市街地、西北部、東部で、同率が中部、唯一南部は『思わない』が『思う』を上回っている。また、西北部は他のゾーンに比べ『思う』が『思わない』を大きく上回っている。



問4 - 6 あなたは、お住まいの地域は緑が豊かだと思いますか。(は1つ)

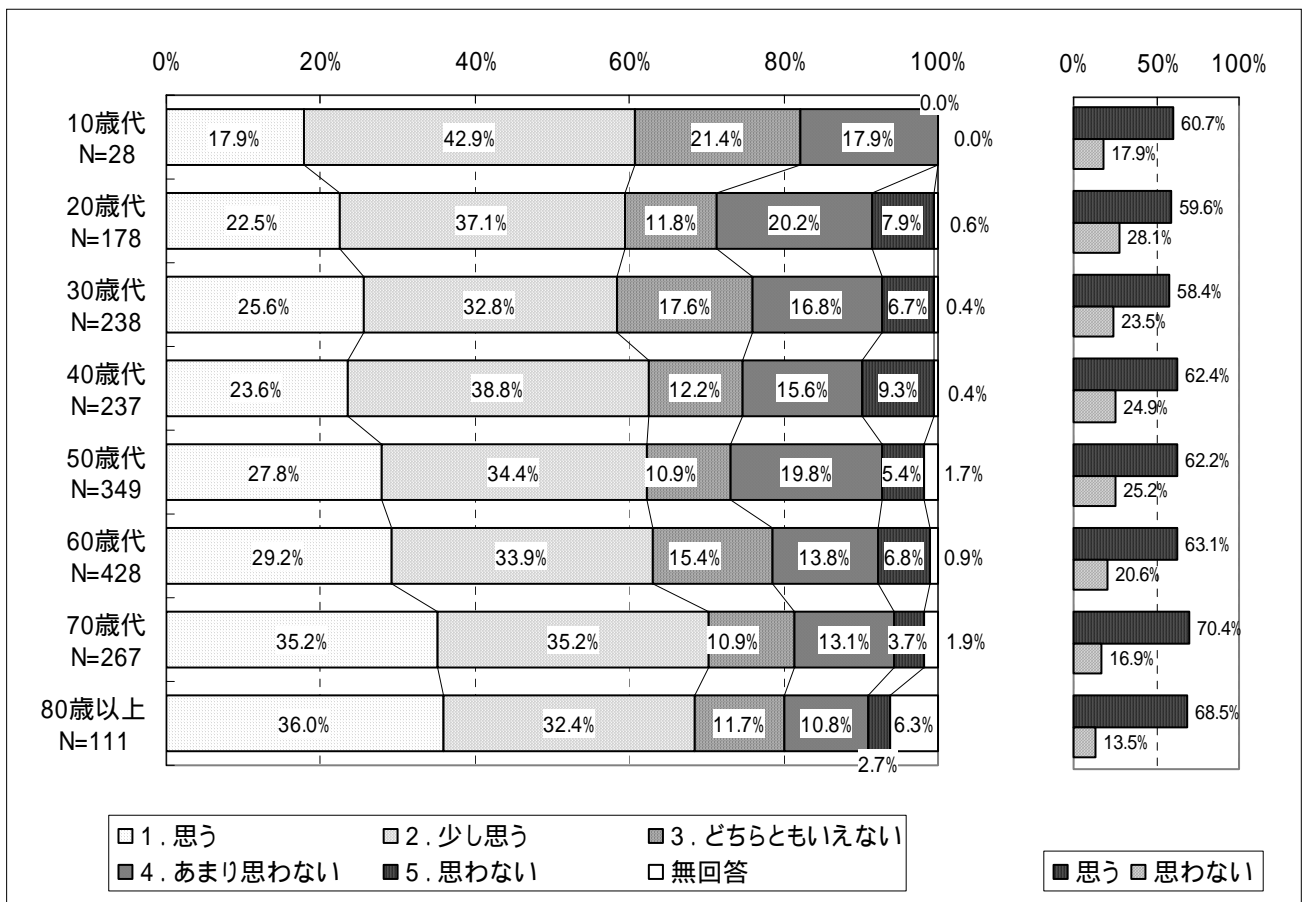
<全 体>

「少し思う」が最も多く 34.5%で、「思う」が 28.6%と続く。『思う』は 63.1%で、『思わない』の 22.4%を大きく上回る。



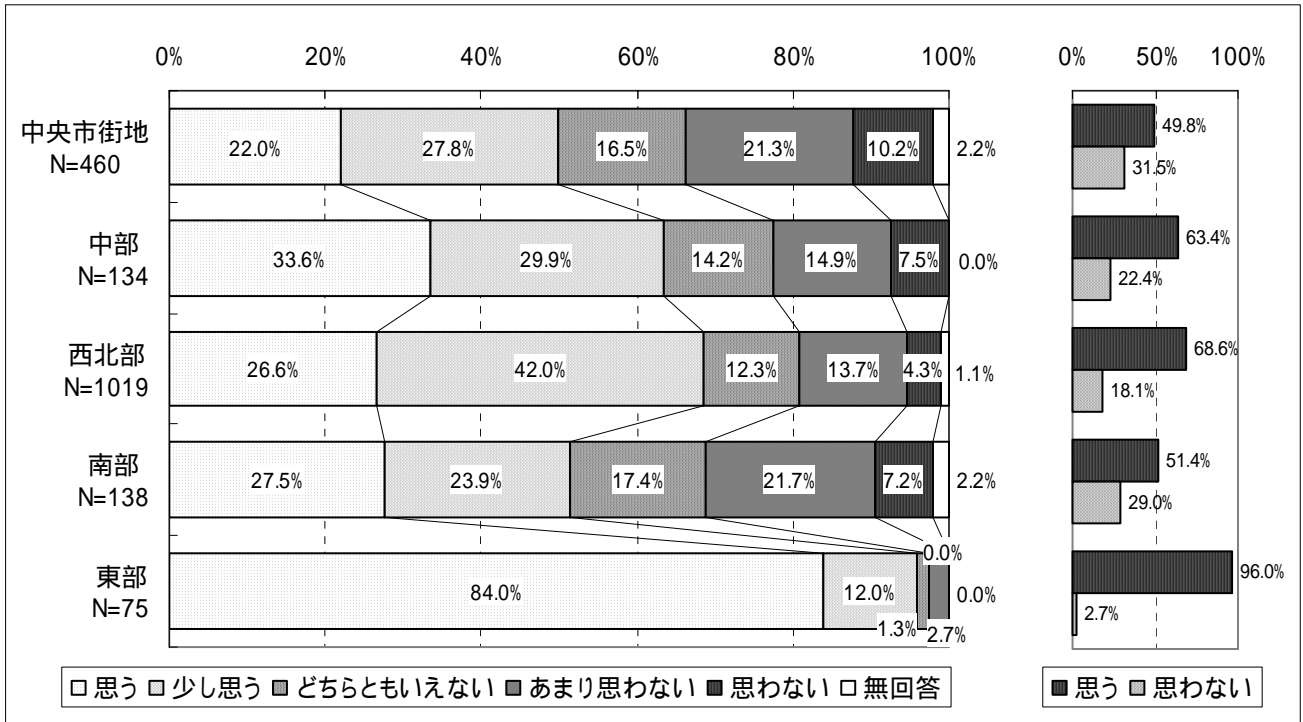
<年代別>

年代別に見ると、『思う』はいずれの年代でも 6~7 割と高い割合となっているが、『思う』は年代が上がるほど高くなる傾向にある。



<ゾーン別>

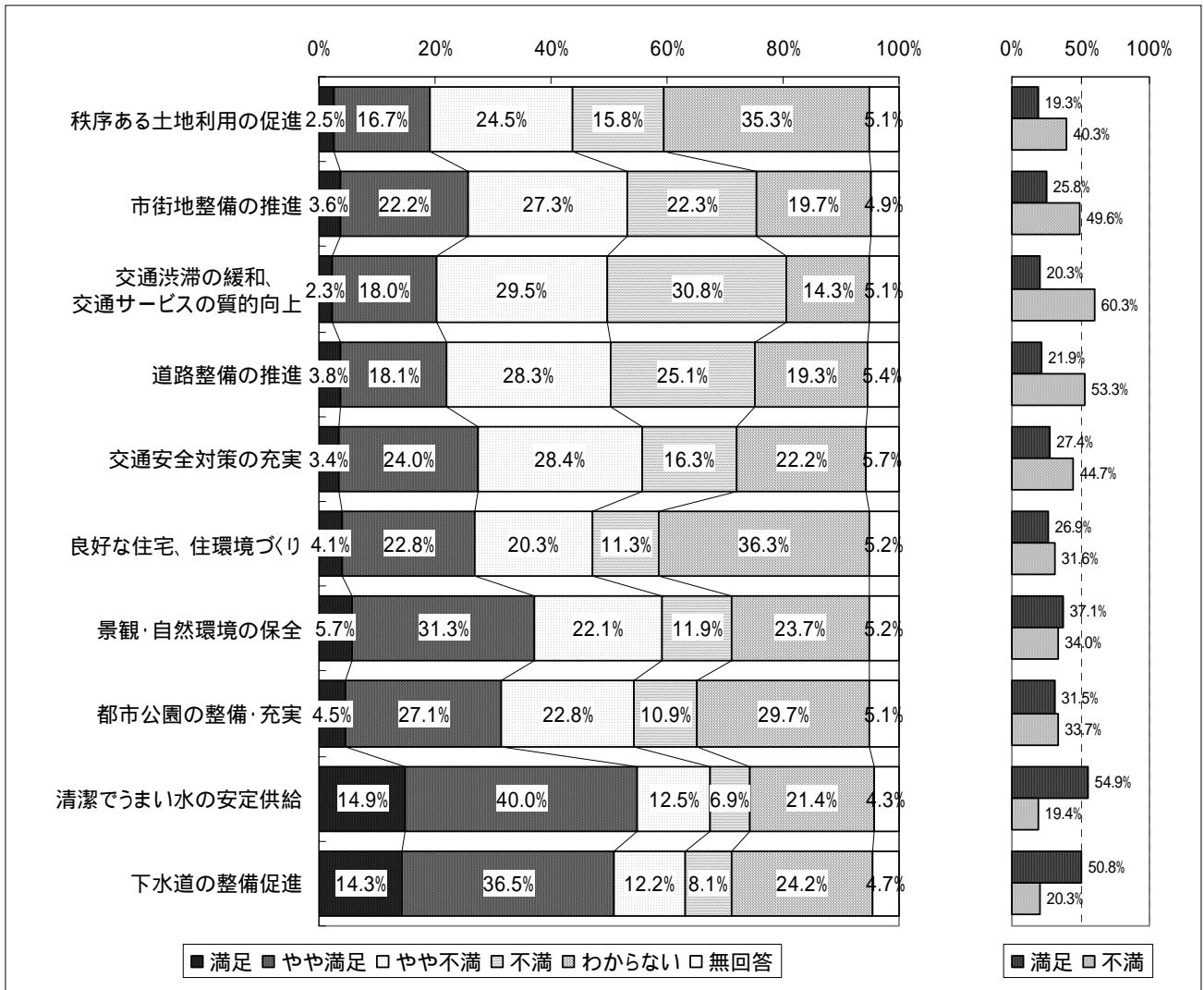
ゾーン別に見ると、全てのゾーンで『思う』が『思わない』を上回っており、東部、西北部、中部は大きく上回っている。また、東部は「思う」が8割を超えている。



問4 - 7 あなたは、奈良市が快適なまちづくりのために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

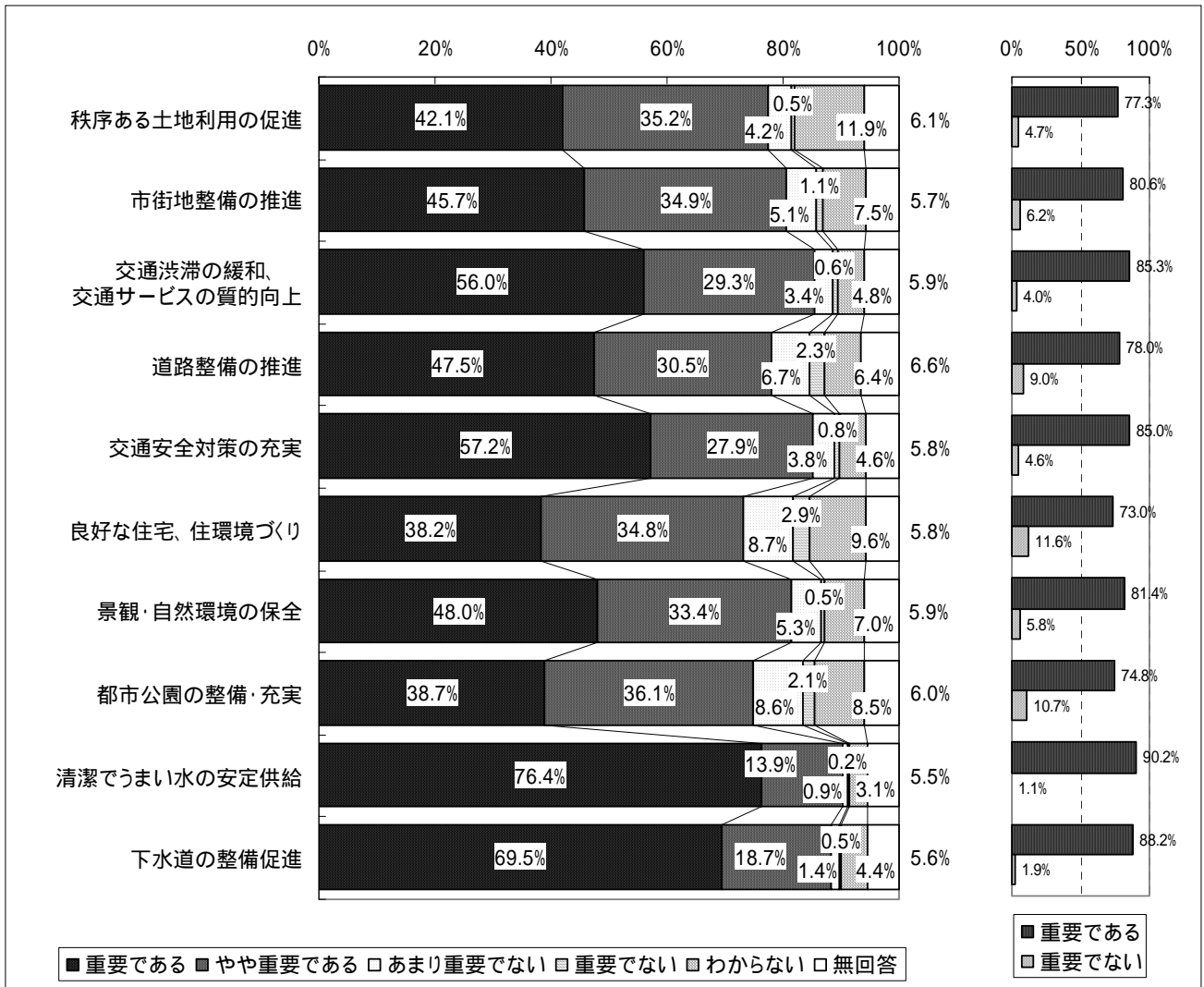
【満足度】

「清潔でうまい水の安定供給」が54.9%で最も高く、「下水道の整備促進」が50.8%、「景観・自然環境の保全」が37.1%と続く。



【重要度】

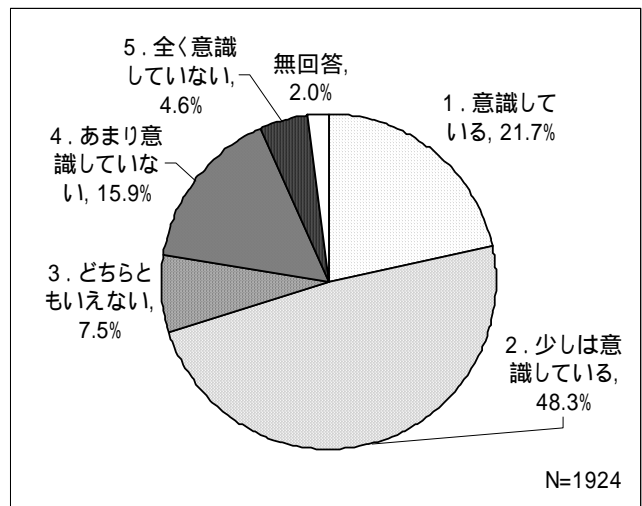
「清潔でうまい水の安定供給」が90.2%で最も高く、「下水道の整備促進」が88.2%、「交通渋滞の緩和、交通サービスの質的向上」が85.3%と続く。



問4 - 8 あなたは、災害時の備えや避難所の位置などについて、日頃から意識していますか。(は1つ)

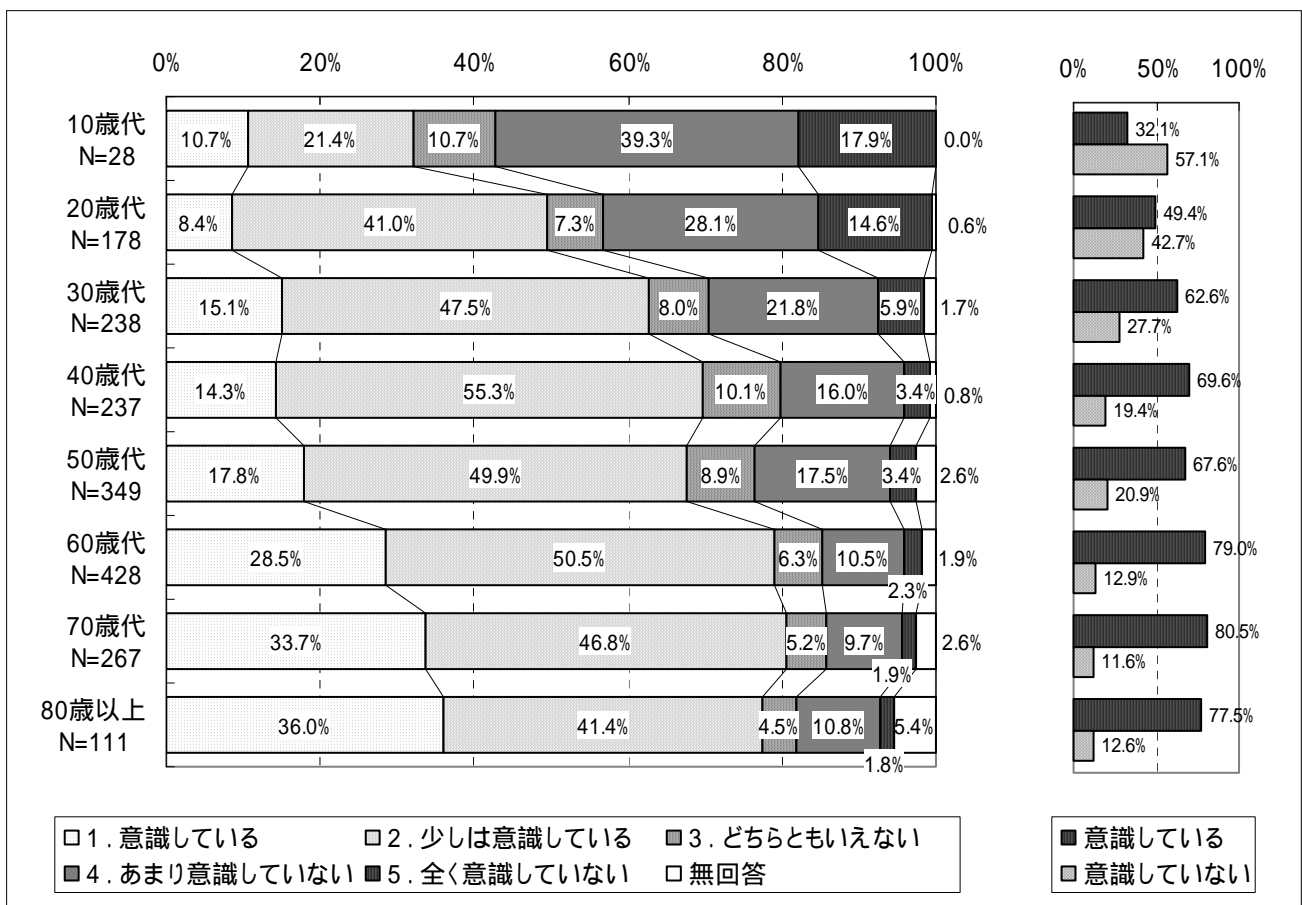
< 全 体 >

「少しは意識している」が最も多く 48.3%で、「意識している」が 21.7%と続く。「意識している」と「少しは意識している」を合わせた『意識している』(以下、「意識している」と「少しは意識している」を合わせた意見を『意識している』とする)は 70%で、「あまり意識していない」と「全く意識していない」を合わせた『意識していない』(以下、「あまり意識していない」と「全く意識していない」を合わせた意見を『意識していない』とする)の 20.5%を大きく上回る。



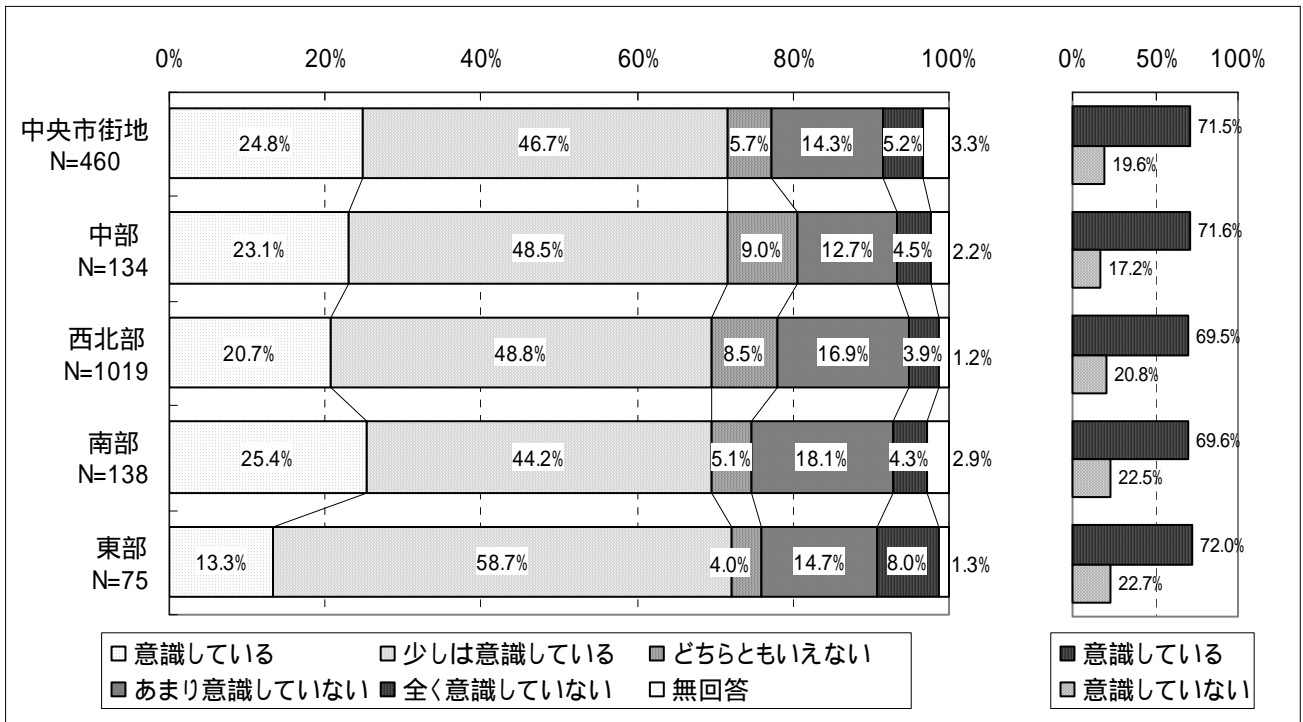
< 年代別 >

年代別に見ると、『意識している』は年代が上がるほど高くなる傾向にある。ほとんどの年代で『意識している』が『意識していない』を上回っているが、10歳代は下回っており、20歳代は均衡している。大きな災害を経験していない年代が低くなっていると考えられる。



<ゾーン別>

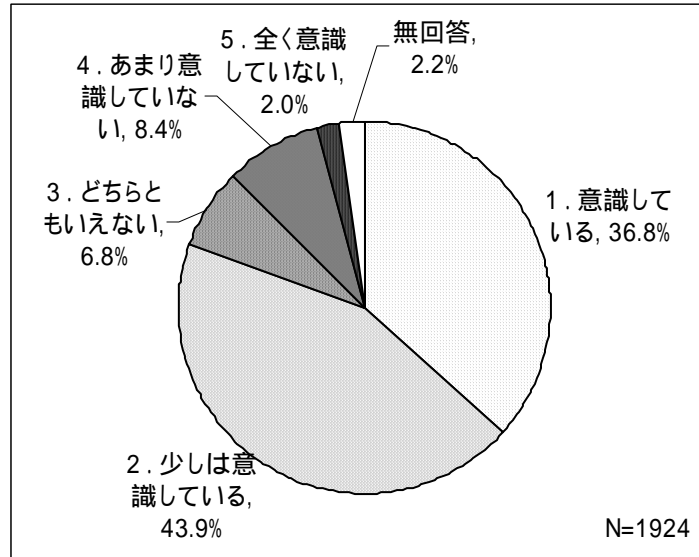
ゾーン別に見ると、全てのゾーンで『意識している』が『意識していない』を上回っている。しかし、「意識している」は東部が他のゾーンに比べ若干低い。



問4 - 9 あなたは、自分の住まいや地域の防犯について、日頃から意識していますか。(1は1つ)

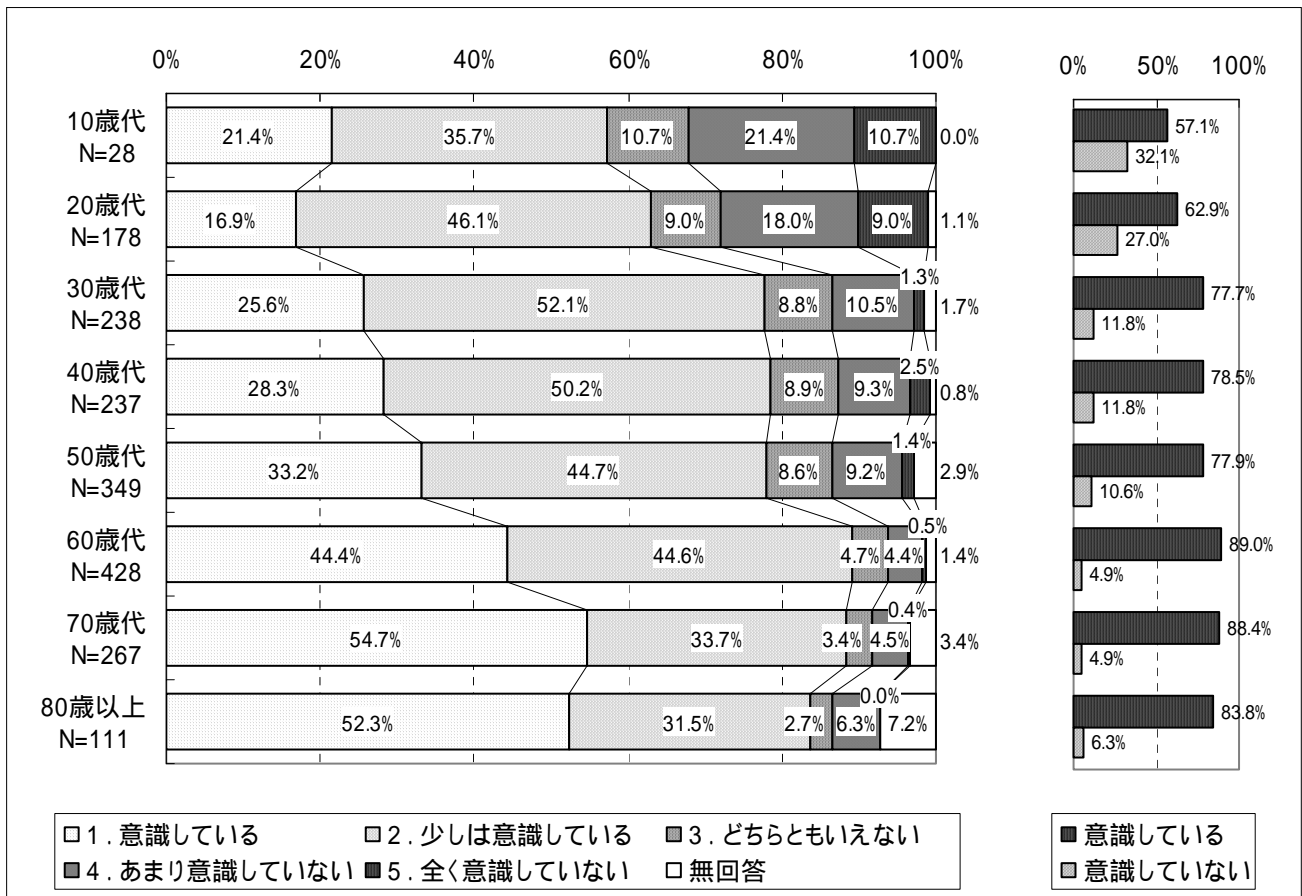
<全 体>

「少しは意識している」が最も多く 43.9%で、「意識している」が 36.8%と続く。「意識している」は 80.7%で、「意識していない」の 10.4%を大きく上回る。



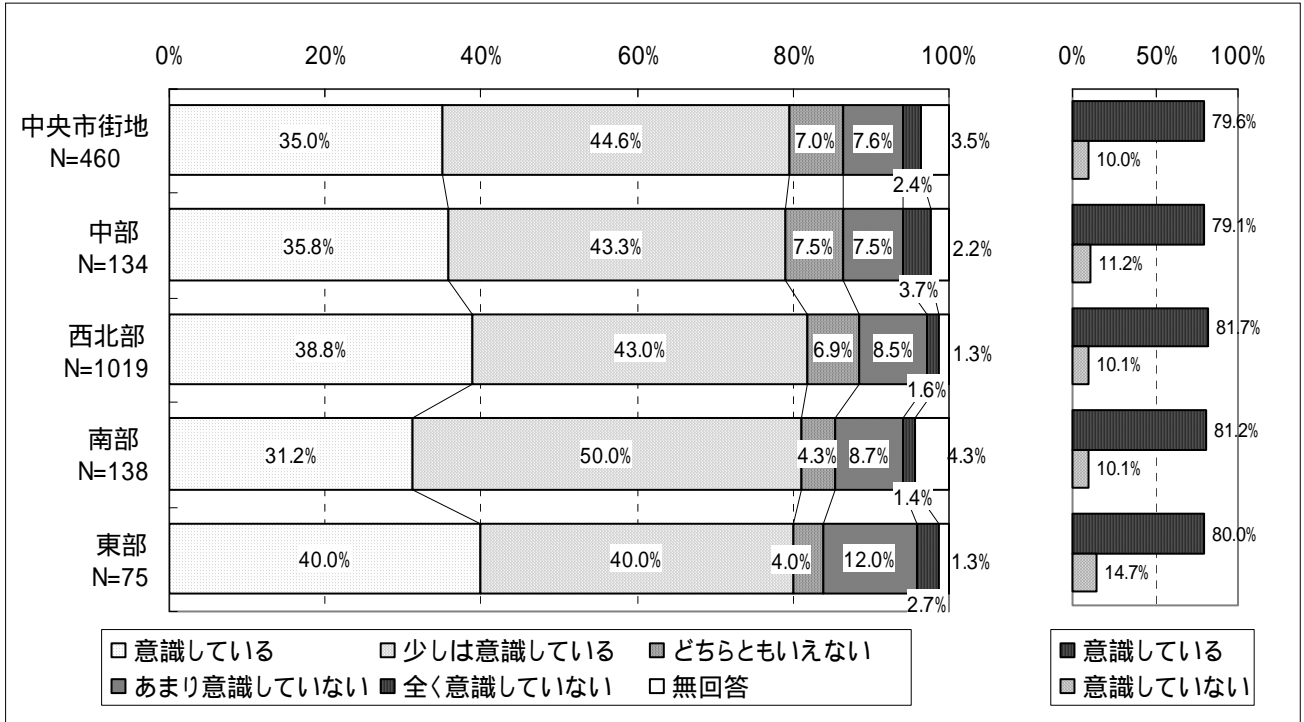
<年代別>

年代別に見ると、「意識している」は年代が上がるほど高くなる傾向にある。全ての年代で「意識している」が「意識していない」を上回っている。



<ゾーン別>

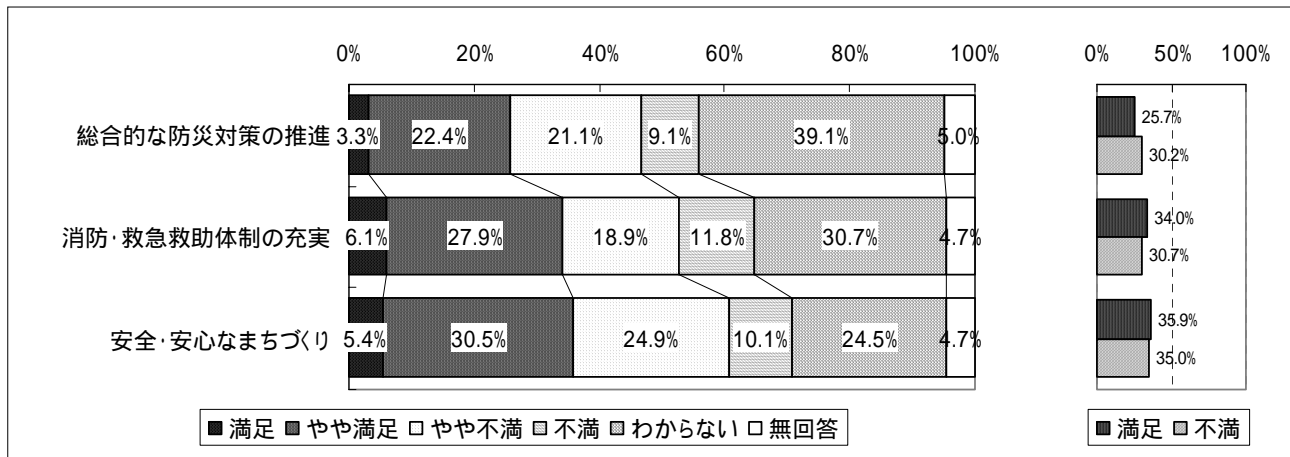
ゾーン別に見ると、全てのゾーンで『意識している』が『意識していない』を上回っており、ゾーンによる差はあまり大きくない。



問4 - 10 あなたは、奈良市が安全なまちづくりのために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思えますか。(項目ごとに は1つずつ)

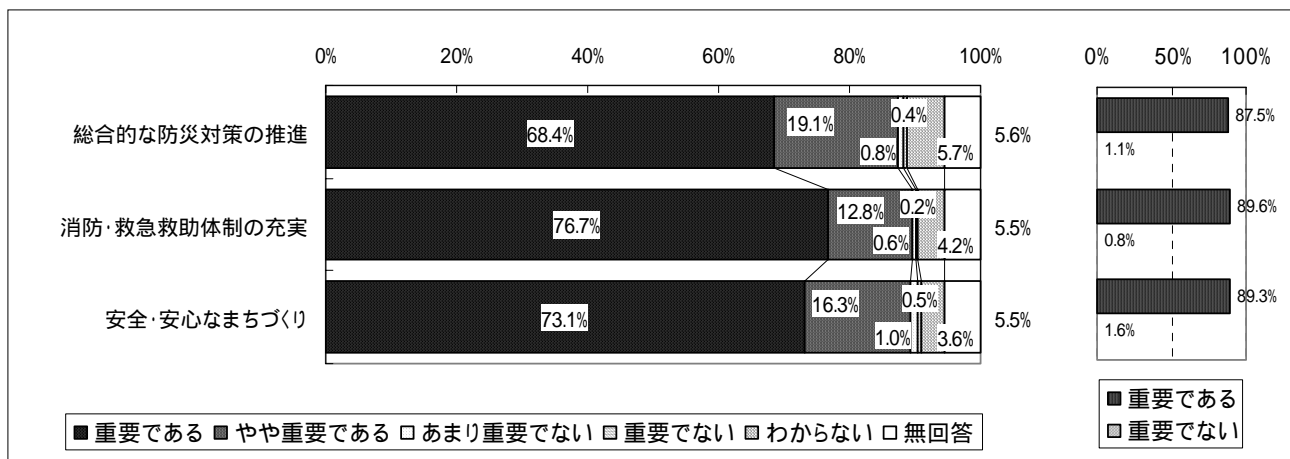
【満足度】

「安全・安心なまちづくり」が35.9%で最も高く、「消防・救急救助体制の充実」が34.0%、「総合的な防災対策の推進」が25.7%と続く。



【重要度】

「消防・救急救助体制の充実」が89.6%で最も高く、「安全・安心なまちづくり」が89.3%、「総合的な防災対策の推進」が87.5%と続く。

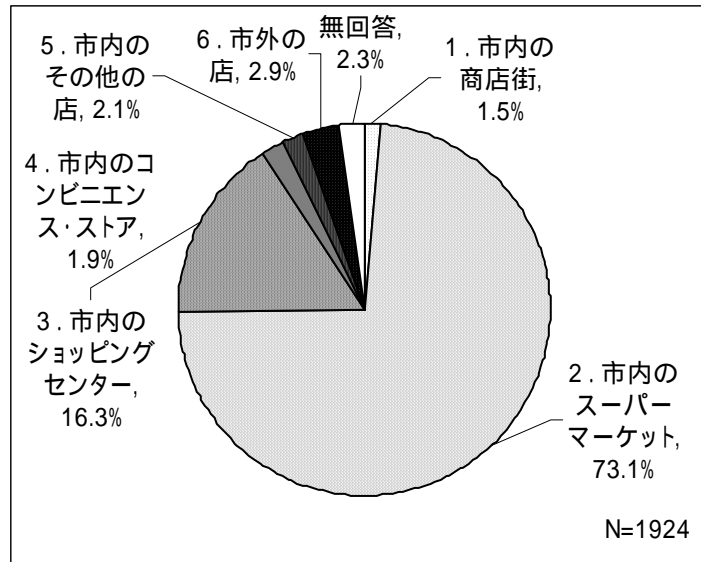


5 『地域を支える産業を育成するまちづくり』について

問5 - 1 あなたは、食料品や日用品などの買い物を、主にどのような店でされますか。(は1つ)

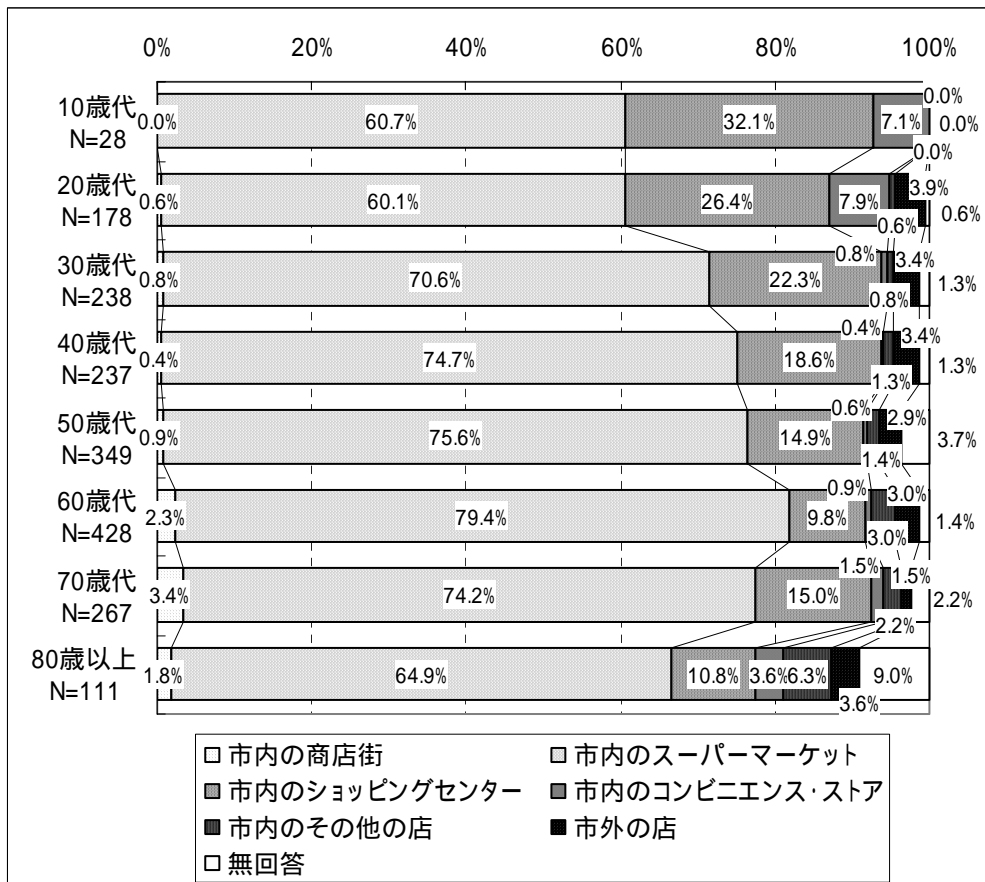
<全 体>

「市内のスーパーマーケット」が 73.1%で最も多く、「市内のショッピングセンター」が 16.3%と続く。市内のスーパーマーケットとショッピングセンターで9割近くを占める。



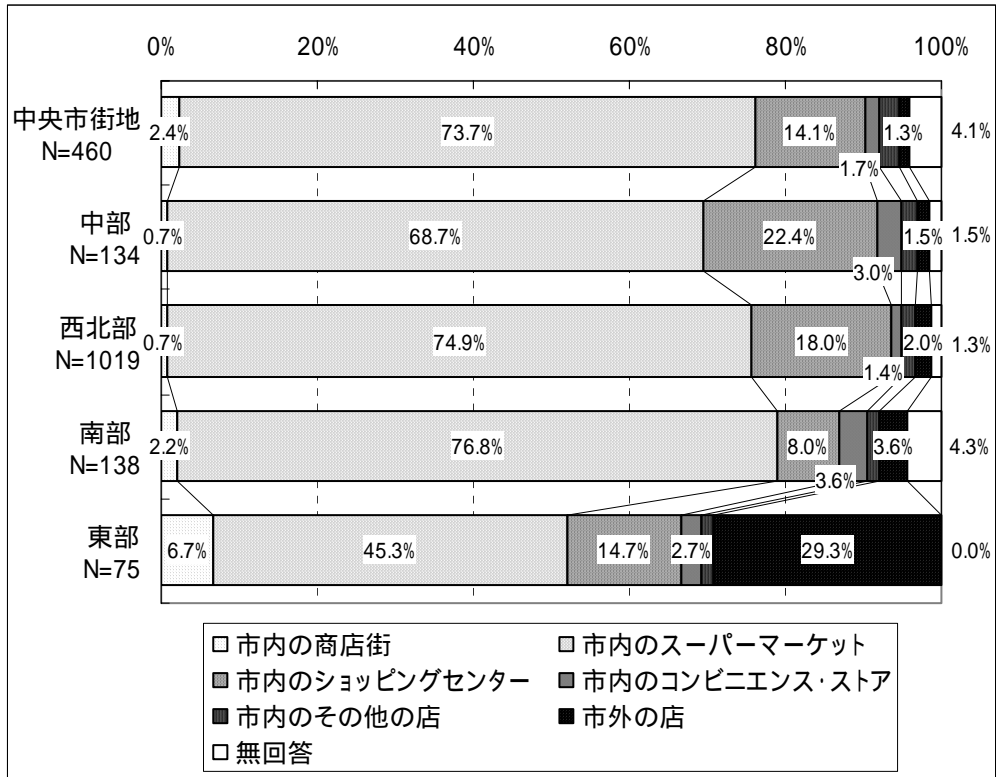
<年代別>

年代別に見ると、60歳代以上で「市内の商店街」が若干見られるが、その他の年代は1%未満である。「市内のスーパーマーケット」は30歳代から70歳代が高く、「市内のショッピングセンター」は年代が高いほど割合が低い。



<ゾーン別>

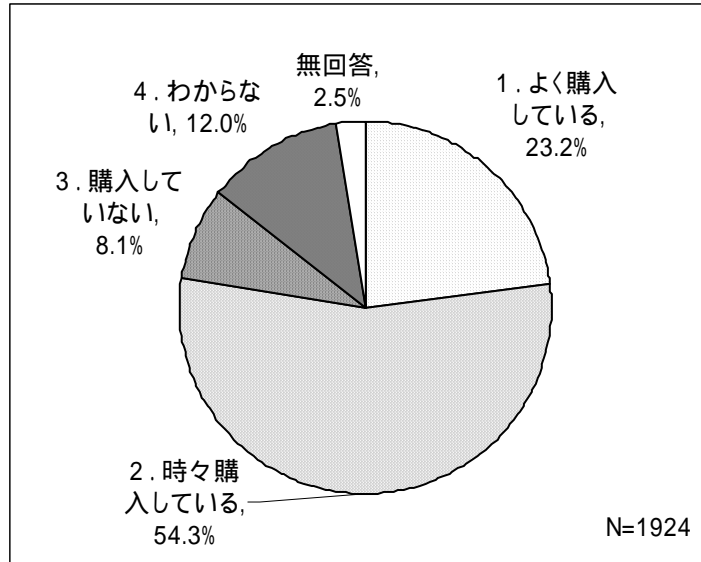
ゾーン別に見ると、「市内の商店街」は東部が最も高く、「市外の店」も東部が高い。「市内のスーパーマーケット」は中央市街地、中部、西北部、南部が7割前後で同等であるが、中部、西北部は「市内のショッピングセンター」とする割合が他のゾーンに比べ若干高い。



問5 - 2 あなたは、奈良市内で採れた農産物を購入していますか。(は1つ)

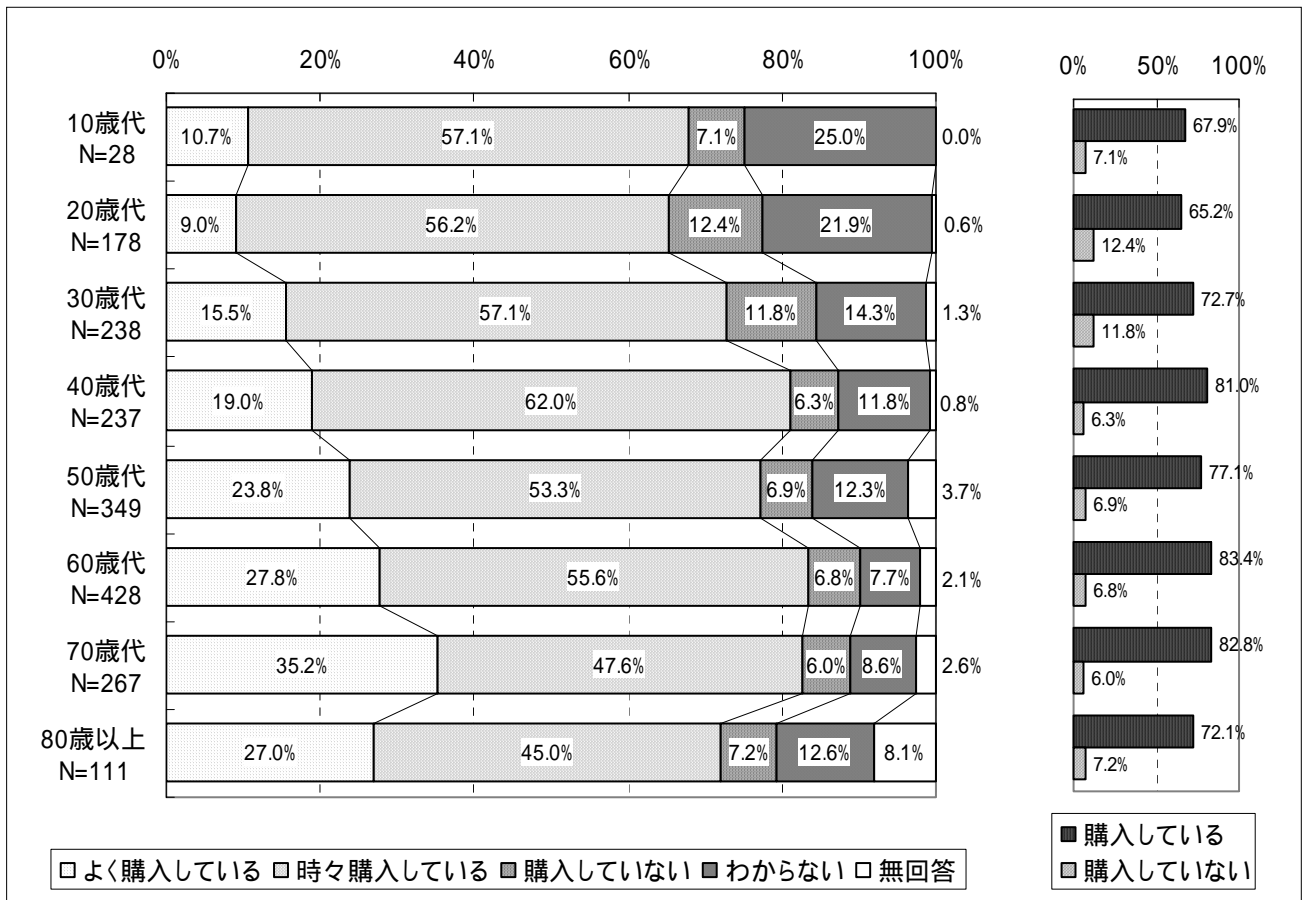
<全 体>

「時々購入している」が54.3%で最も多く、「よく購入している」が23.2%で続く。「よく購入している」と「時々購入している」を合わせた『購入している』は77.5%で全体の3/4以上を占める。



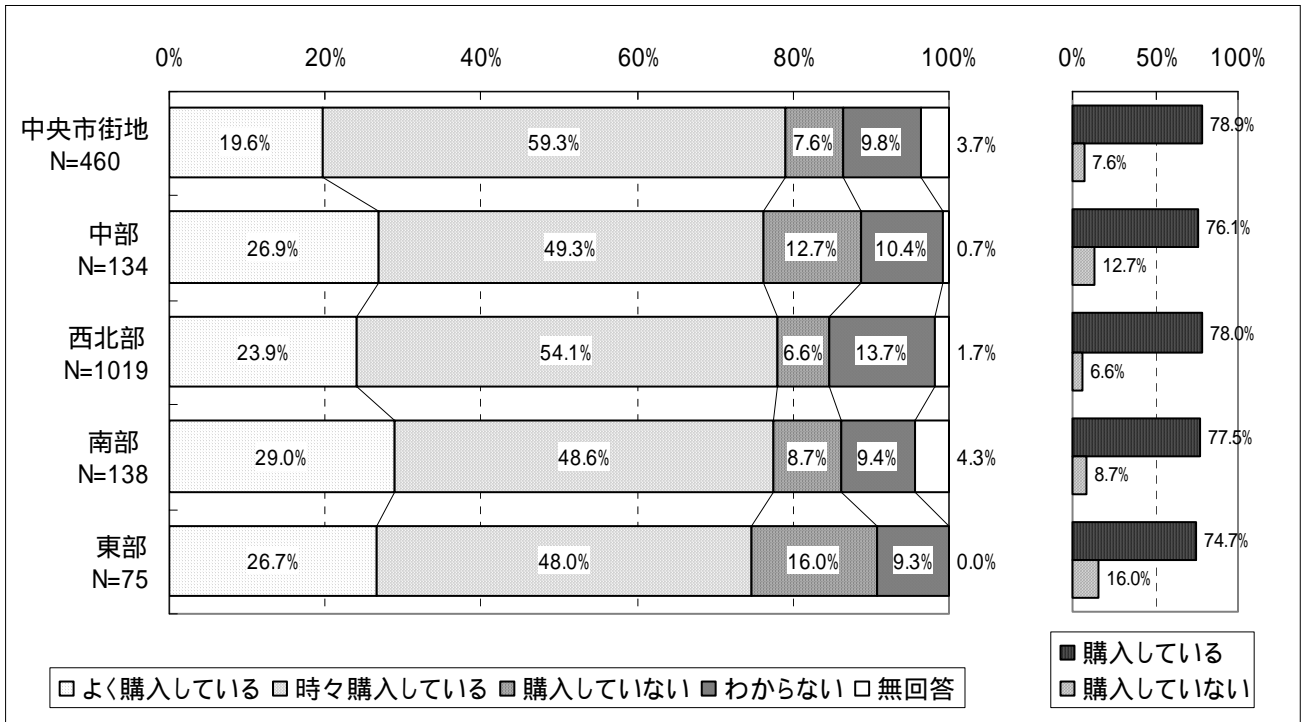
<年代別>

年代別に見ると、80歳以上を除けば『購入している』は年代が上がるほど高くなる傾向にある。



<ゾーン別>

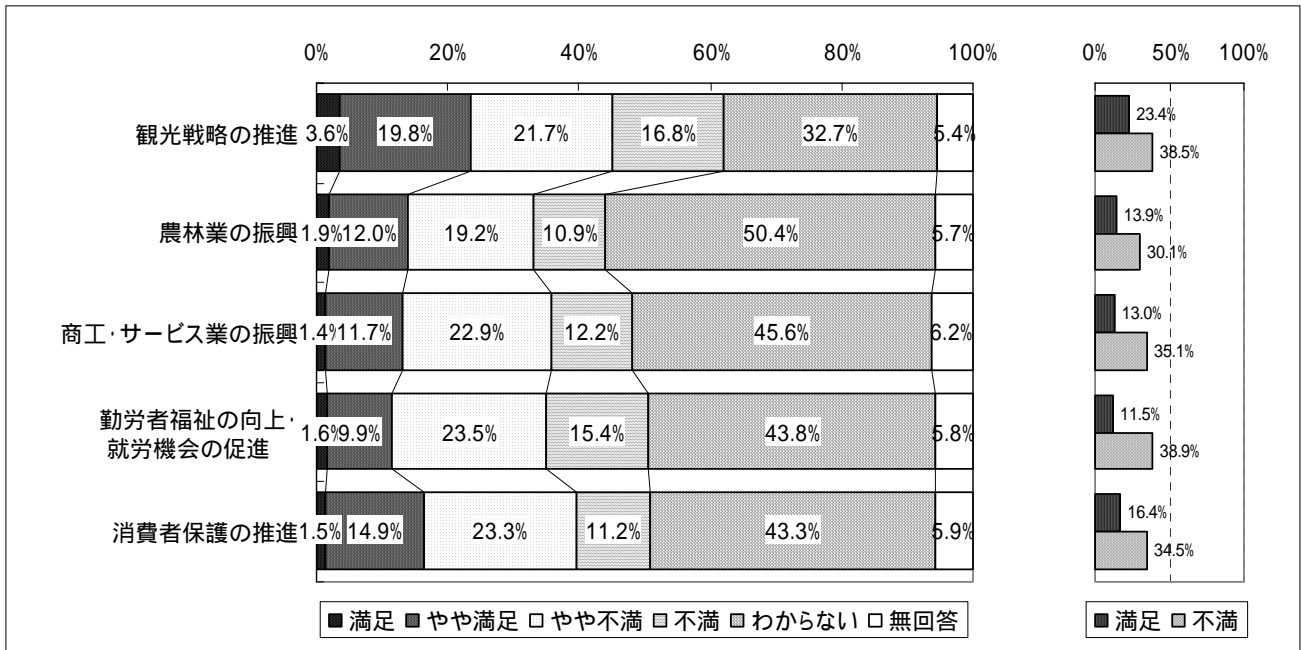
ゾーン別に見ると、『購入している』が『購入していない』を大きく上回っている。『購入していない』は東部と中部が他のゾーンに比べ若干高い。



問5 - 3 あなたは、奈良市が産業の育成のために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

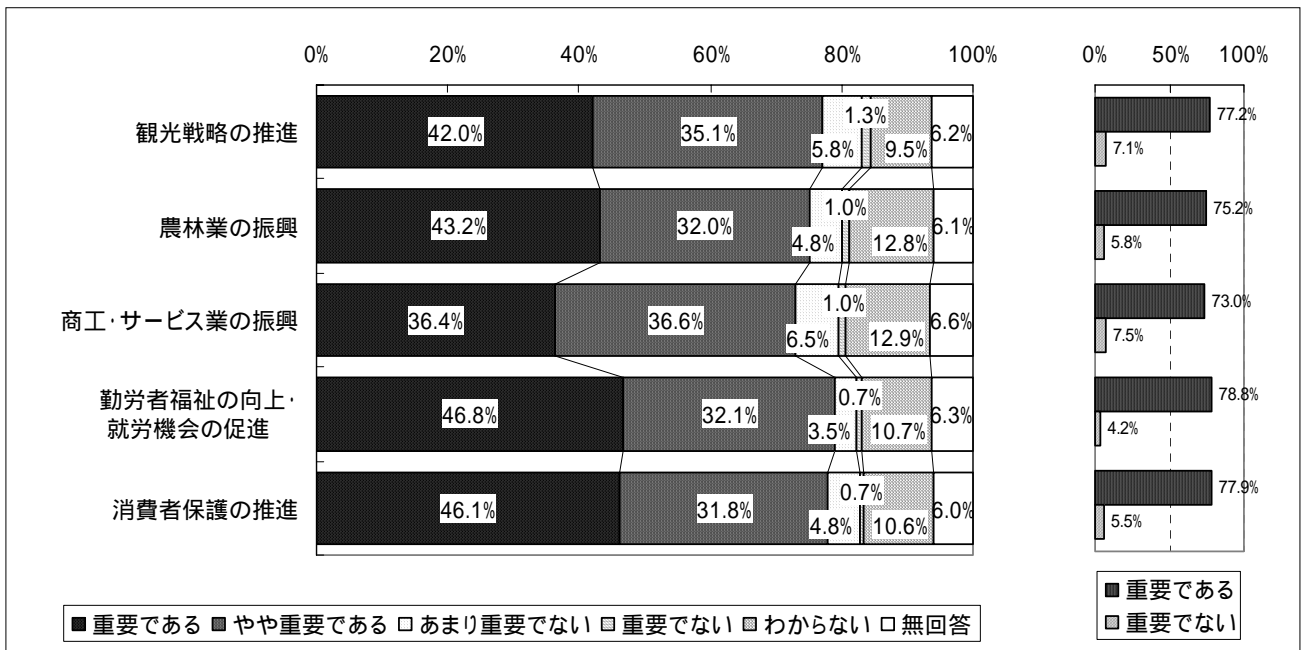
【満足度】

「観光戦略の推進」が23.4%で最も高く、「消費者保護の推進」が16.4%、「農林業の振興」が13.9%と続く。



【重要度】

「勤労者福祉の向上・就労機会の促進」が78.8%で最も高く、「消費者保護の推進」が77.9%、「観光戦略の推進」が77.2%と続く。

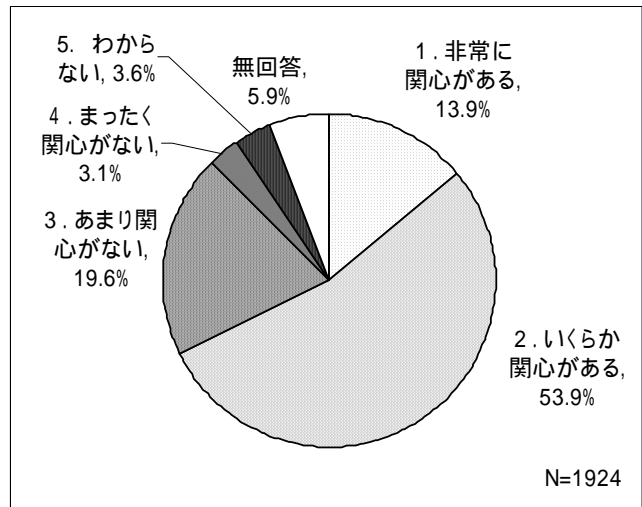


6 市政やまちづくりへの参画について

問6 - 1 あなたは、市政に関心がありますか。(は1つ)

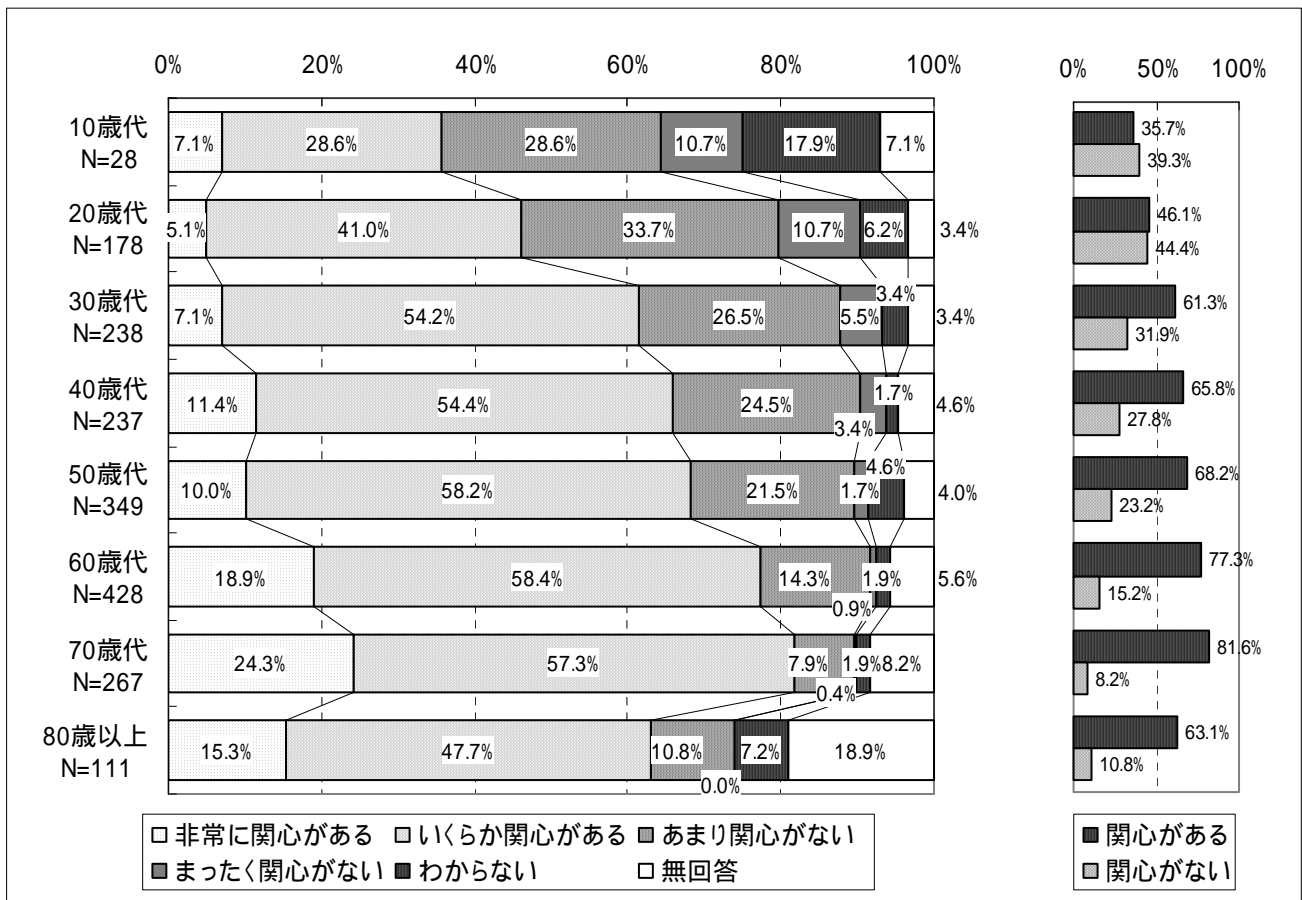
<全 体>

「いくらか関心がある」が最も多く 53.9%で、「あまり関心がない」が 19.6%と続く。「非常に関心がある」と「いくらか関心がある」を合わせた『関心がある』は 67.8%で、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた『関心がない』の 22.7%を大きく上回る。



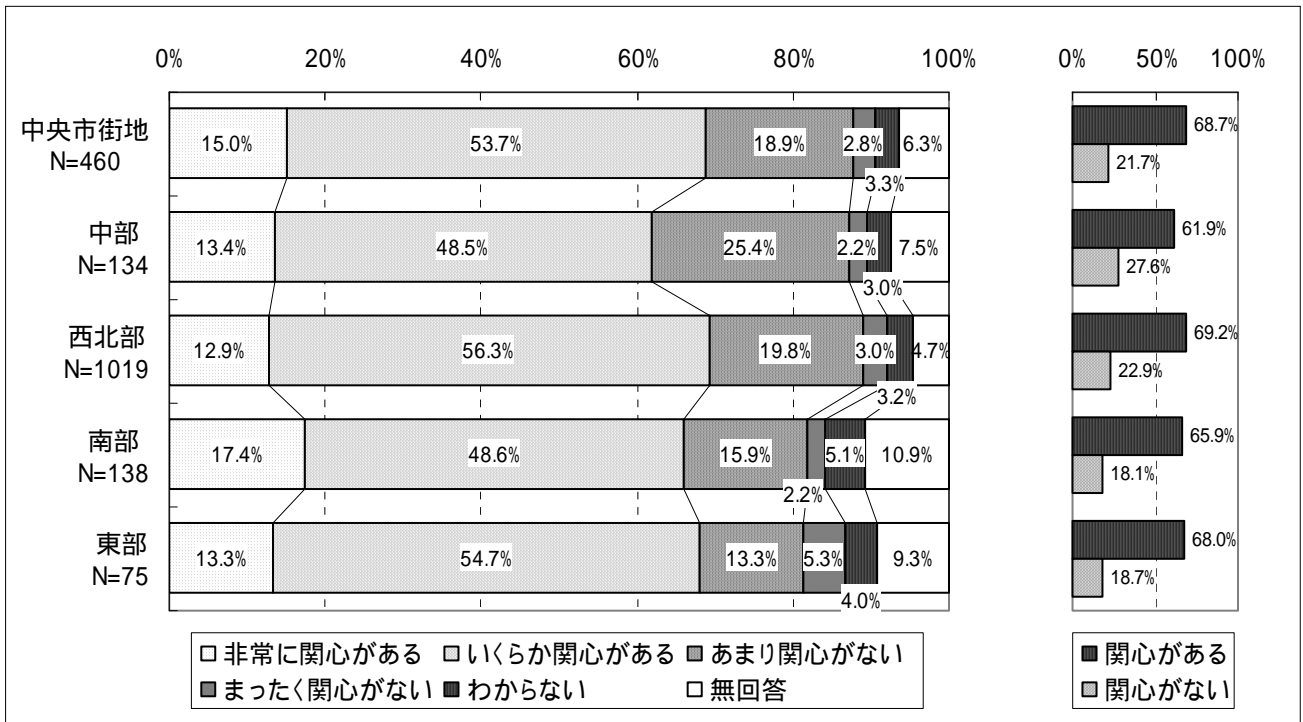
<年代別>

年代別に見ると、80歳以上を除けば『関心がある』は年代が上がるほど高くなる傾向にある。10歳代を除けば『関心がある』は『関心がない』を上回っており、20歳代は均衡しているものの、その他の年代は関心度が非常に高いと言える。



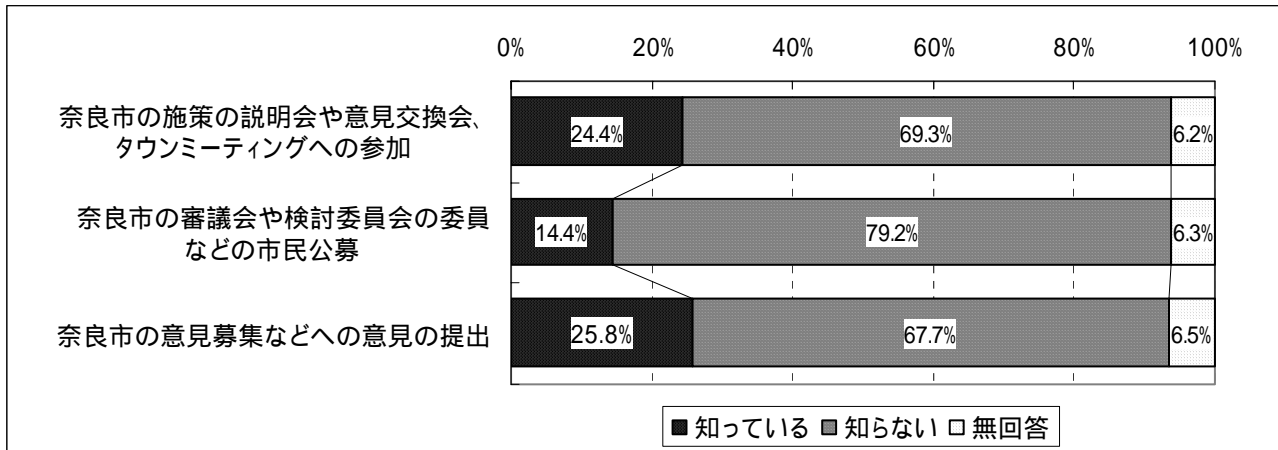
<ゾーン別>

ゾーン別に見ると、全てのゾーンで『関心がある』が『関心がない』を上回っており、中部の感心の程度が他のゾーンに比べ若干低いですが、ゾーン別の差はあまり大きくない。

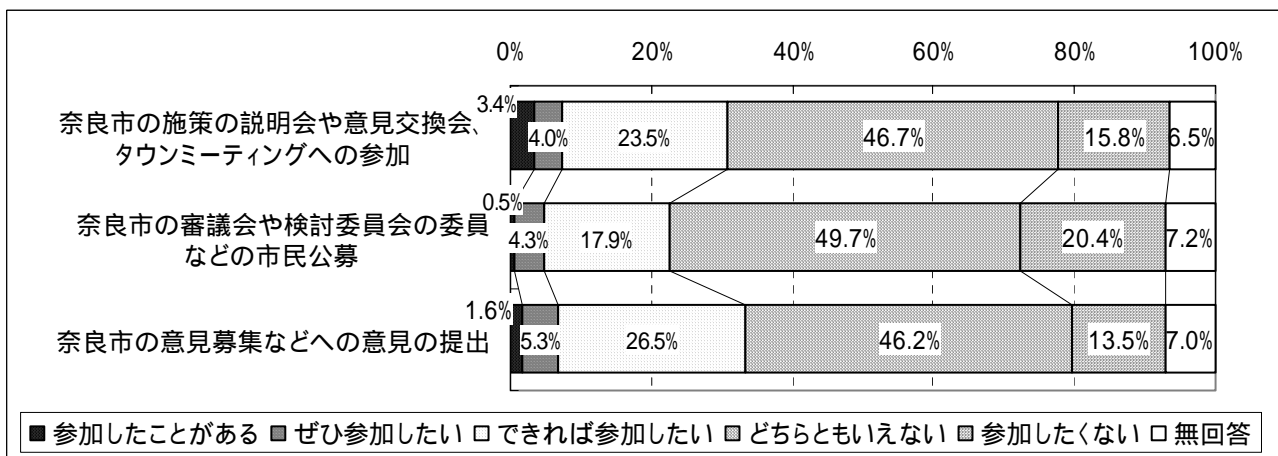


問6 - 2 あなたは、奈良市では、次のような機会を通じて市民の皆様の市政への参画を進めていることを知っていますか。また、これらの機会に参加したいと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

「タウンミーティング」及び「市民意見募集」は約 1/4 の市民が知っているが、「審議会や検討委員会の市民委員公募」は知っている人が少ない。



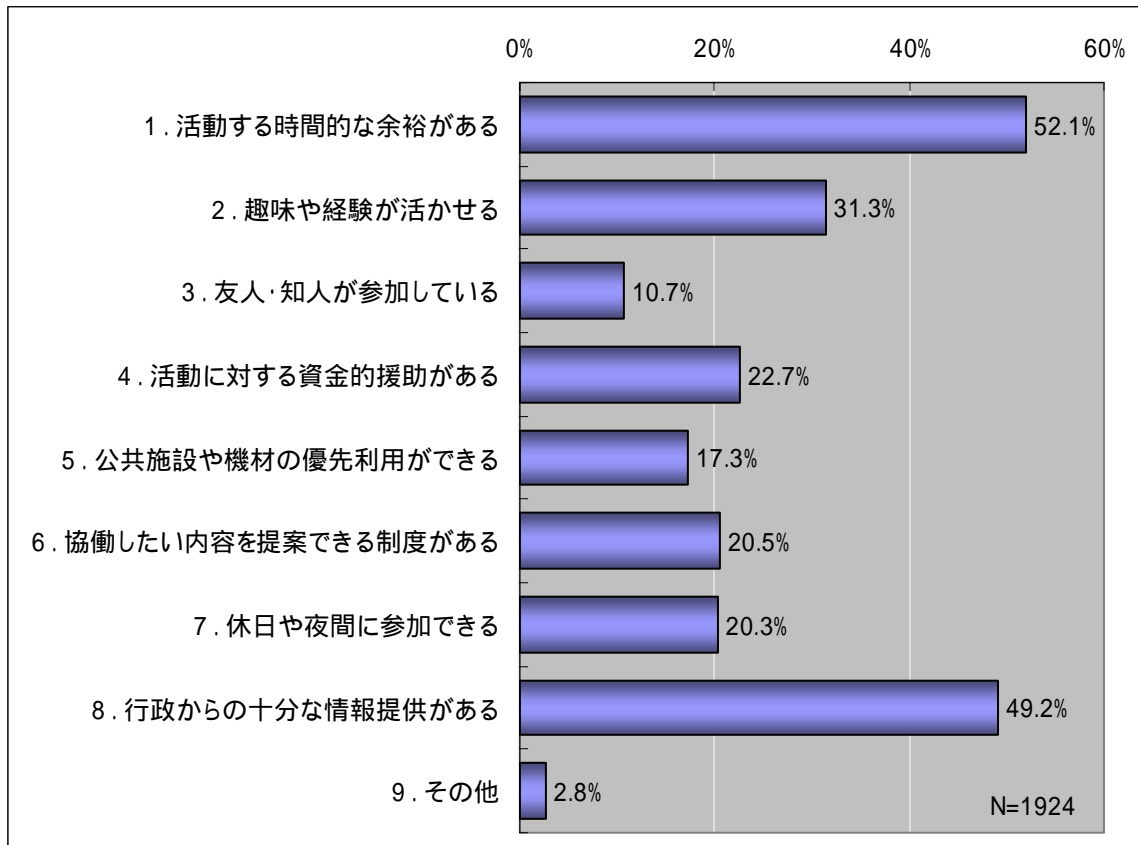
タウンミーティングへ「参加したことがある」がこれらの中では最も多く、公募委員についても 0.5% ある。タウンミーティングや意見募集に比べ、公募委員は参加したいとする割合が低く、参加したくないという割合がやや多い。



問6 - 3 あなたは、市政への参画、市民と行政との協働をさらに広げていくためには、どのような条件が必要だと思いますか。(は3つまで)

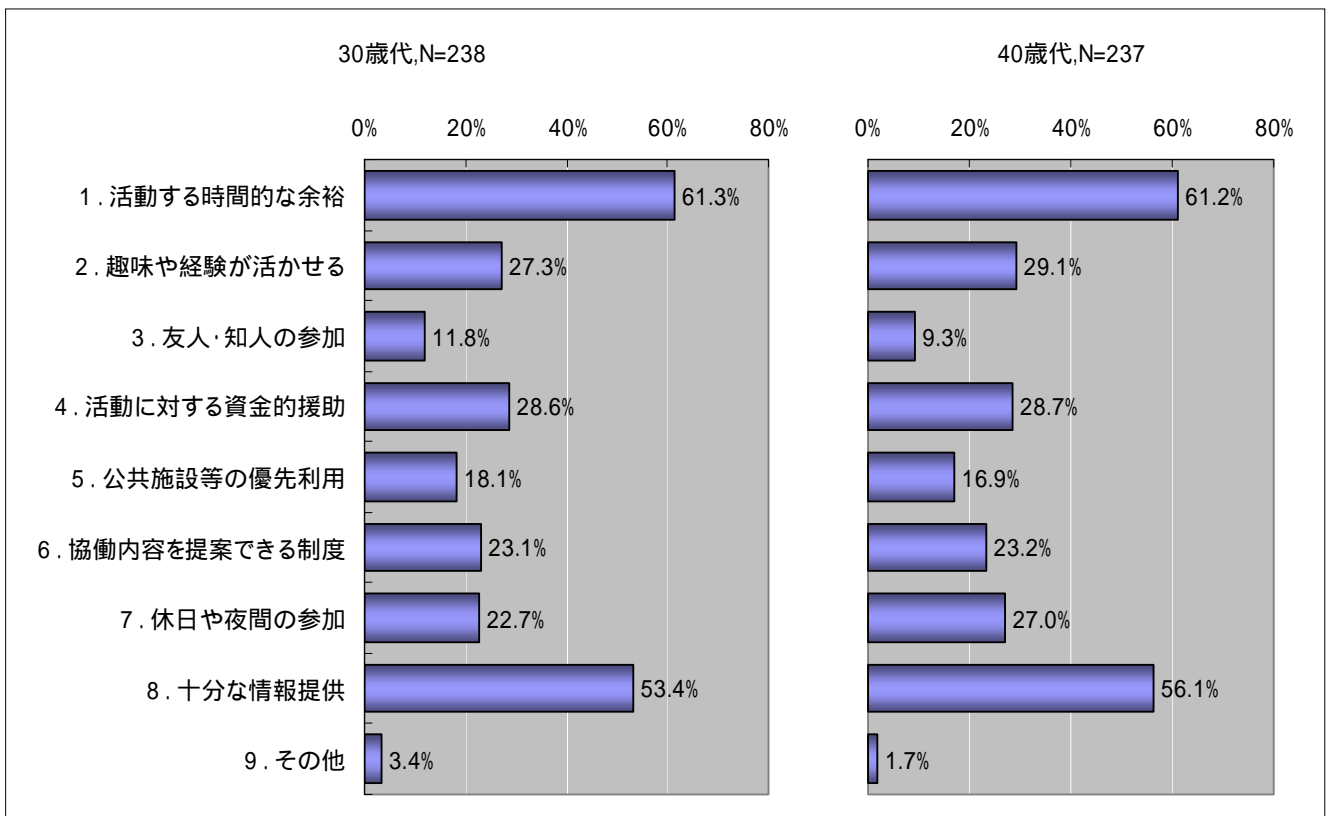
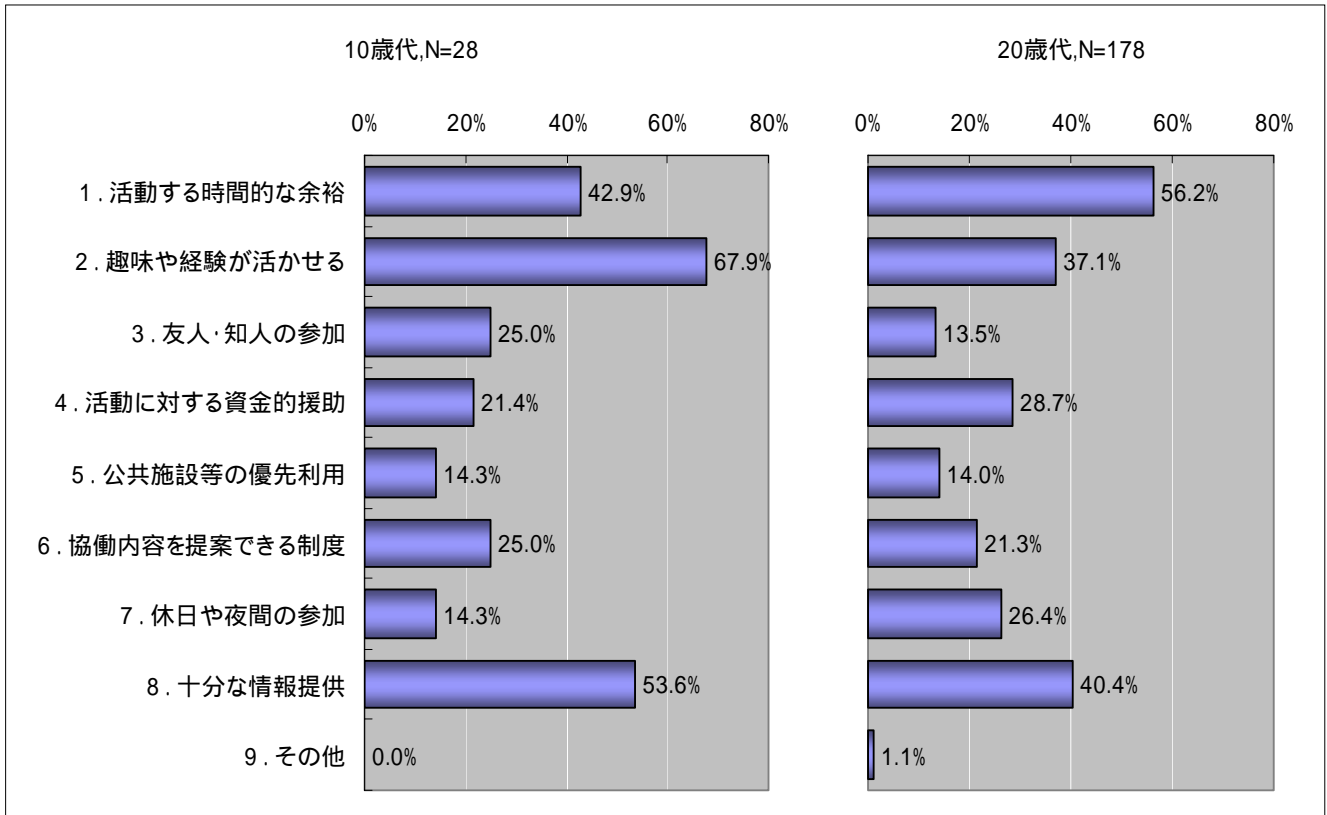
<全 体>

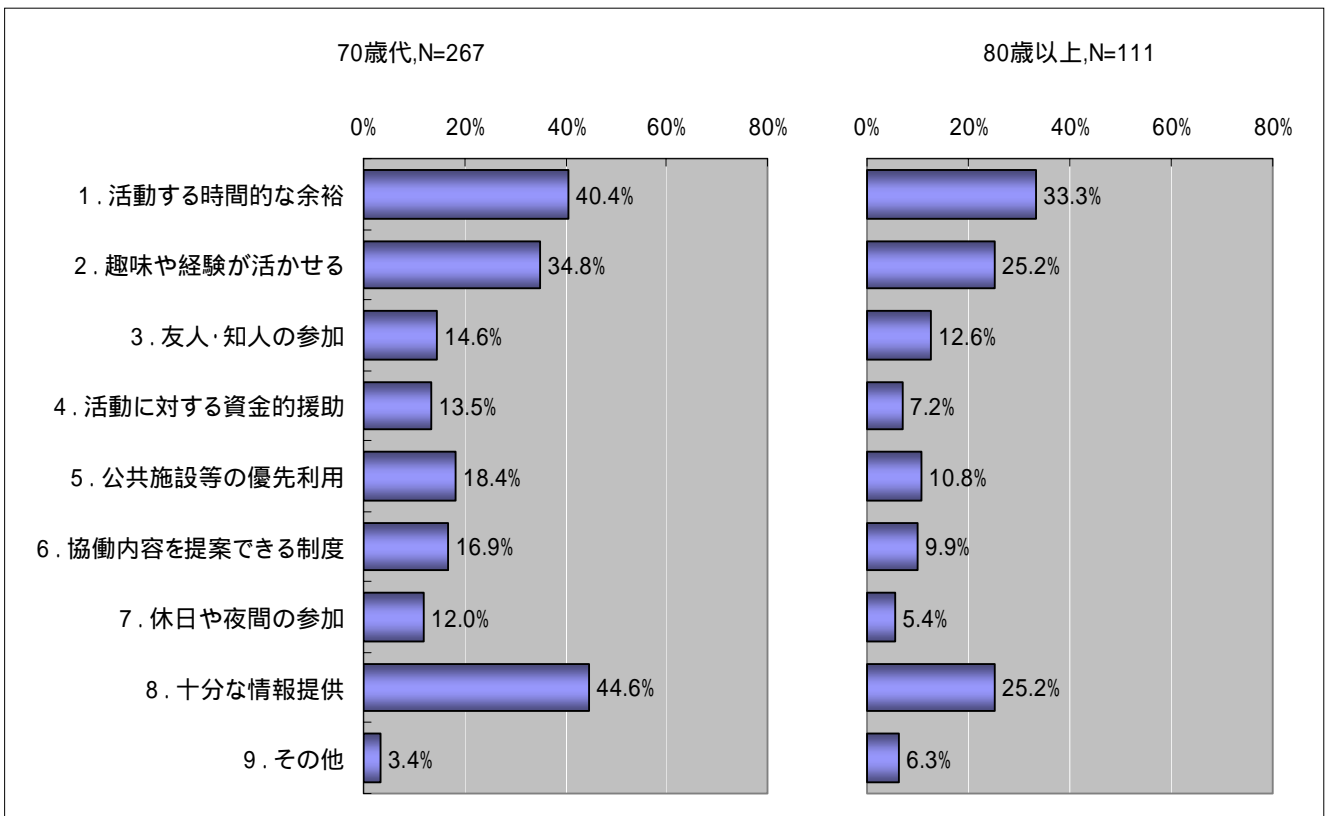
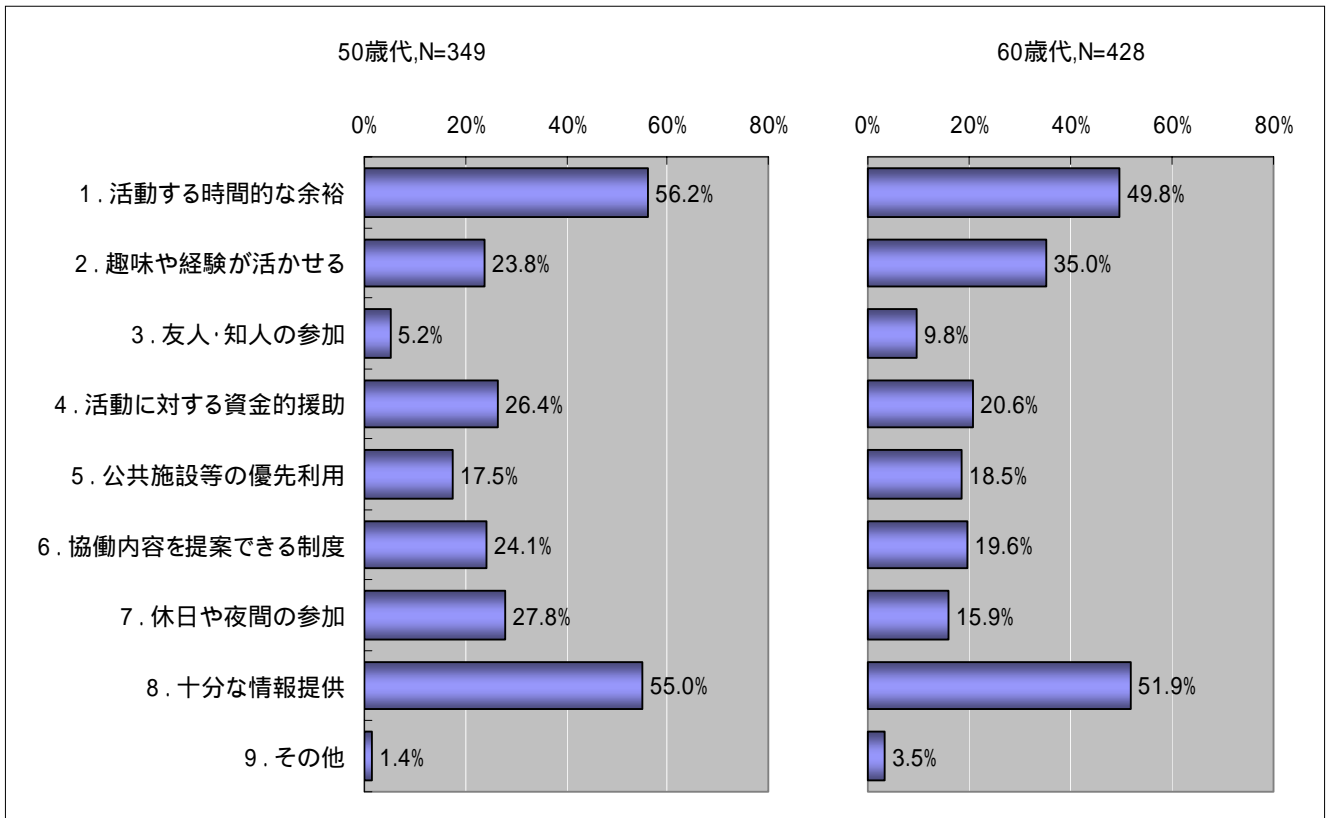
「活動する時間的な余裕」が52.1%で最も多く、「十分な情報提供」が49.2%、「趣味や経験が活かせる」が31.3%と続く。



<年代別>

年代別に見ると、20～50歳代と80歳代で「活動する時間的な余裕」が最も多くなっており、10歳代では「趣味や経験が活かせる」、60・70歳代では「十分な情報提供」が最も多い。

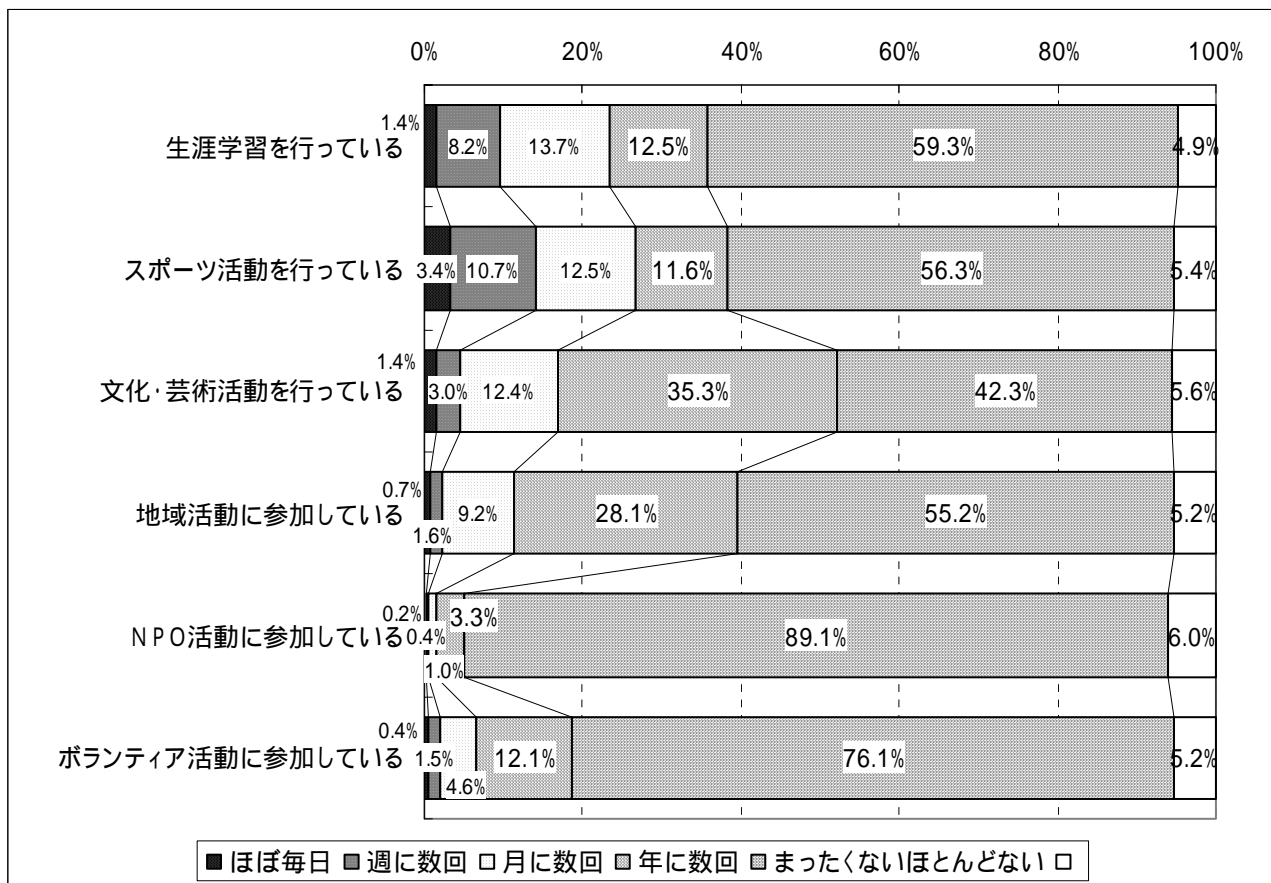




問6 - 4 あなたの日頃の行動や活動についてお聞きします。(項目ごとに は1つずつ)

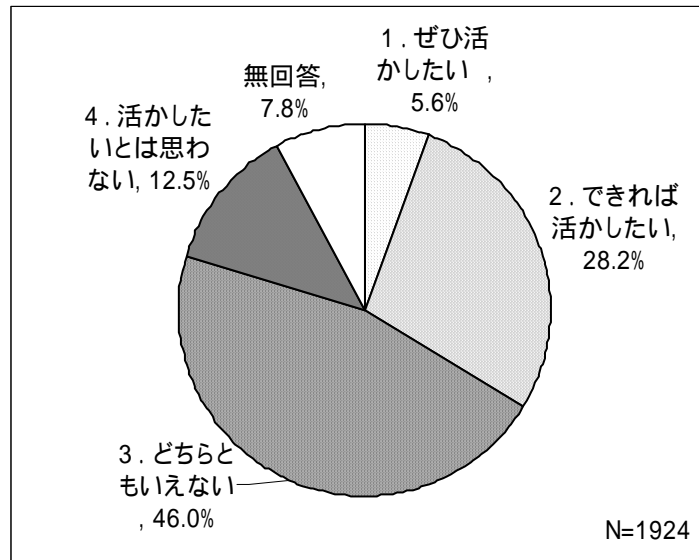
<全 体>

「文化・芸術活動を行っている」割合が最も高く 52.1%で、「地域活動に参加している」39.6%、「スポーツ活動を行っている」38.3%、「生涯学習を行っている」35.8%が続いている。このうち活動頻度が高いのは「スポーツ活動」「生涯学習」で1割前後が週に数回以上活動している。



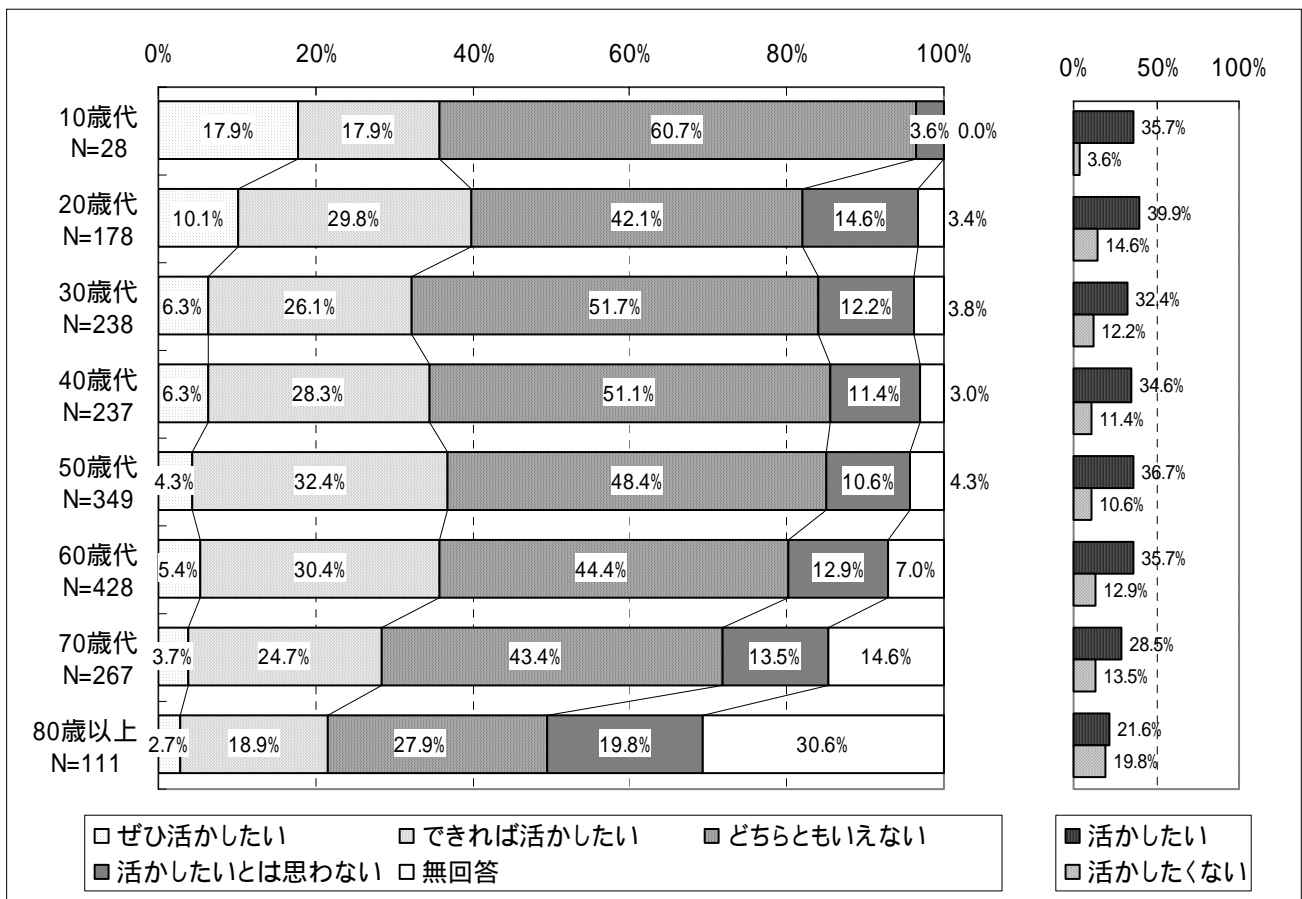
問6 - 5 あなたの知識や経験を、地域などで活かしたいと思いませんか。(1は1つ)

「どちらともいえない」が最も多く46.0%で、「できれば活かしたい」が28.2%と続く。「ぜひ活かしたい」と「できれば活かしたい」を合わせた『活かしたい』は33.8%で、「活かしたいとは思わない」の12.5%を上回る。



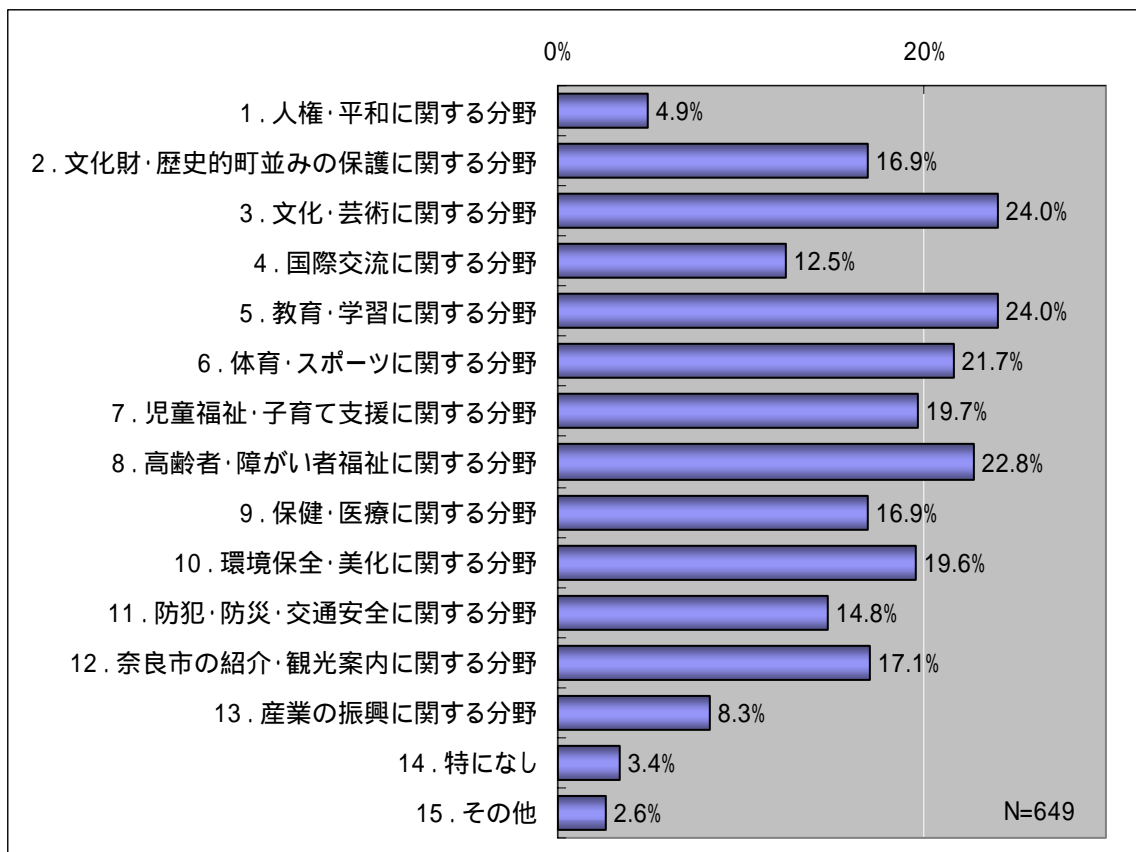
<年代別>

年代別に見ると、すべての年代で『活かしたい』が「活かしたいとは思わない」を上回っている。「ぜひ活かしたい」は年代が低いほど高くなる傾向にある。



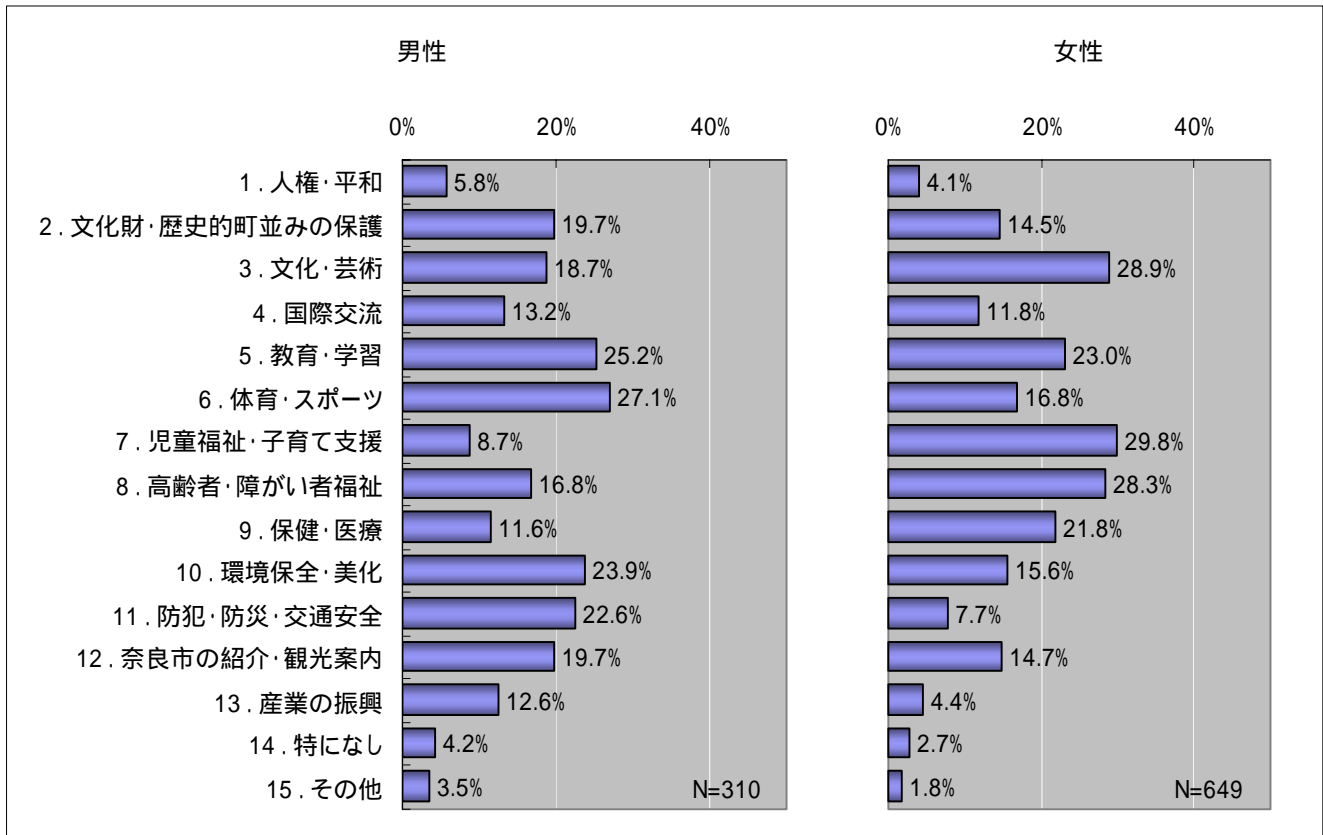
問6 - 6 問6 - 5で「1.ぜひ活かしたい」または「2.できれば活かしたい」と回答された方にお聞きします。あなたは、地域活動として、どのような分野に関心がありますか。(は3つまで)

最も多いのは「文化・芸術に関する分野」と「教育・学習に関する分野」の 24.0%で、「高齢者・障がい者福祉に関する分野」が 22.8%と続く。



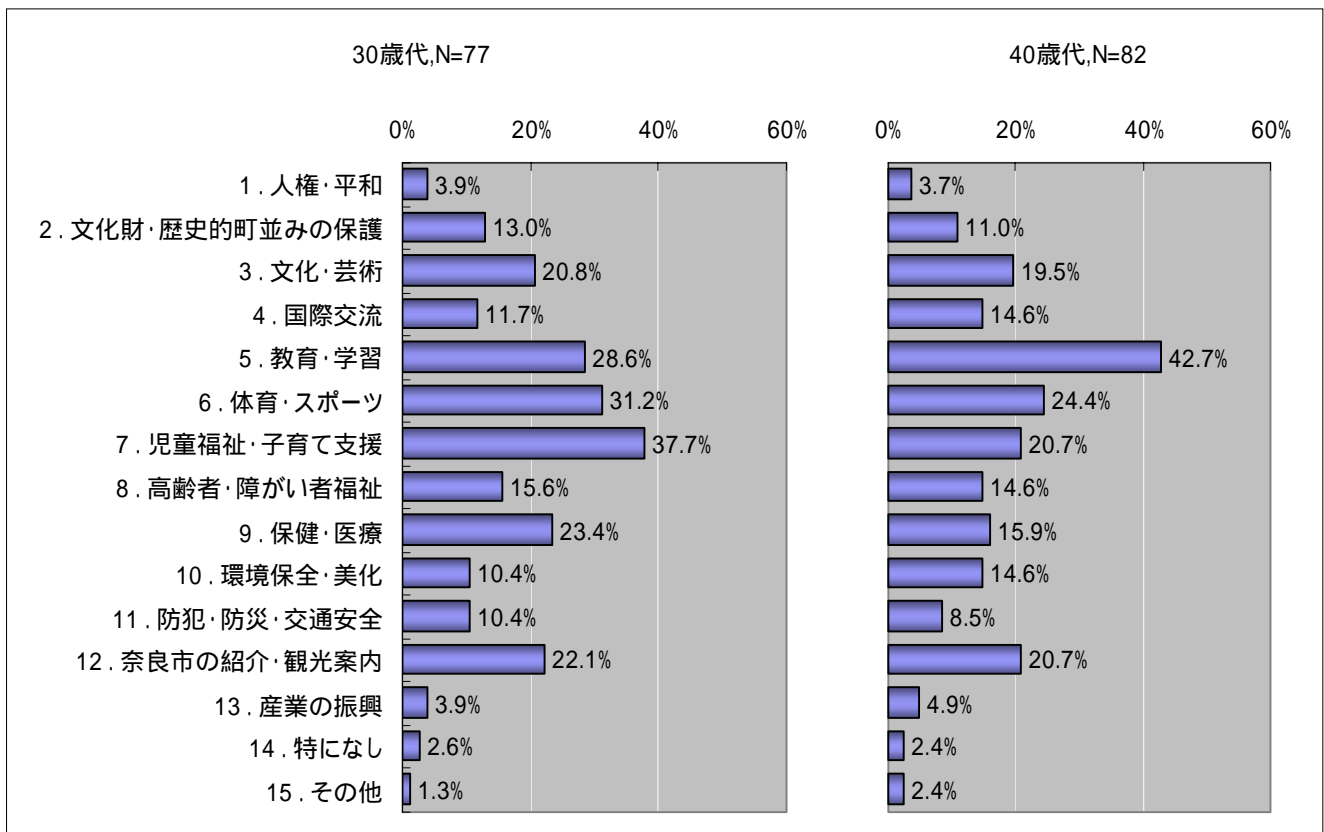
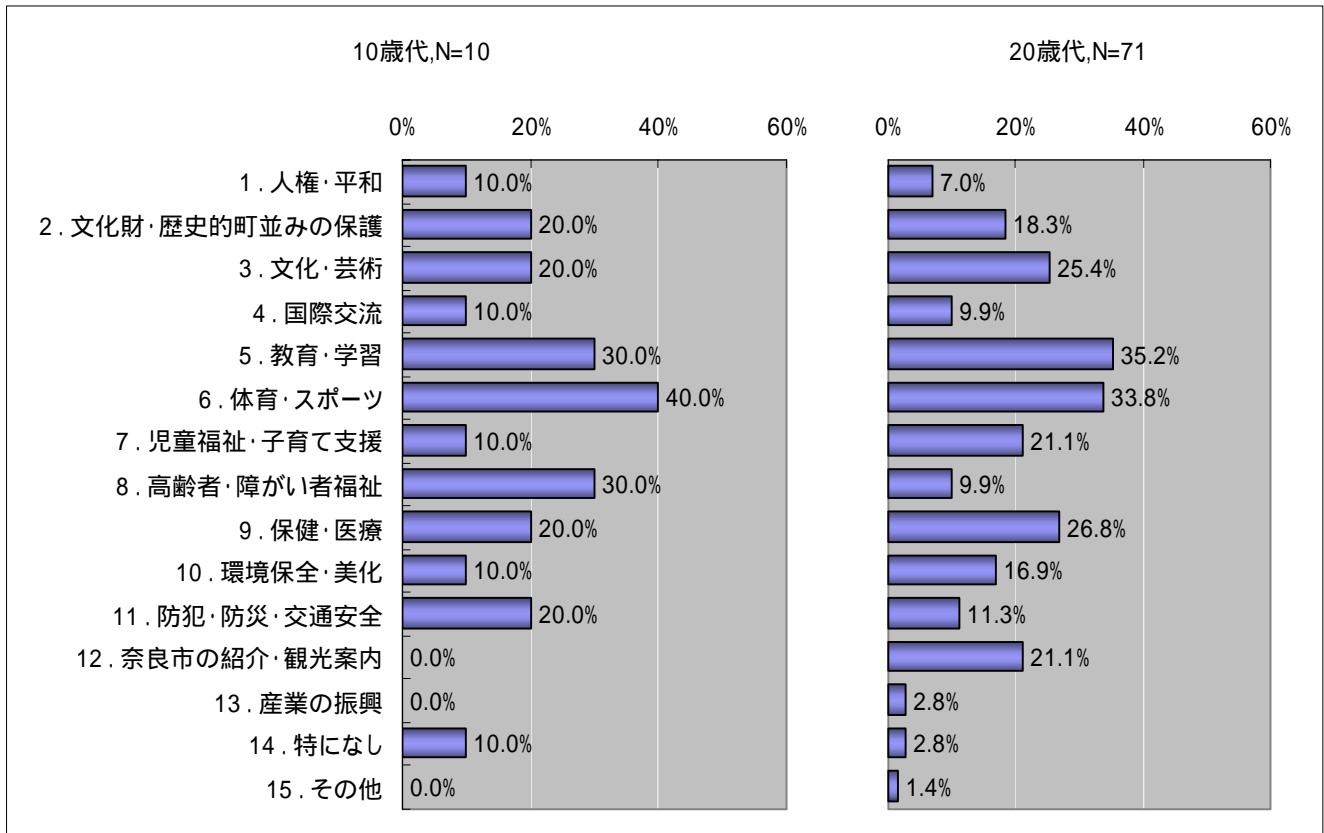
<男女別>

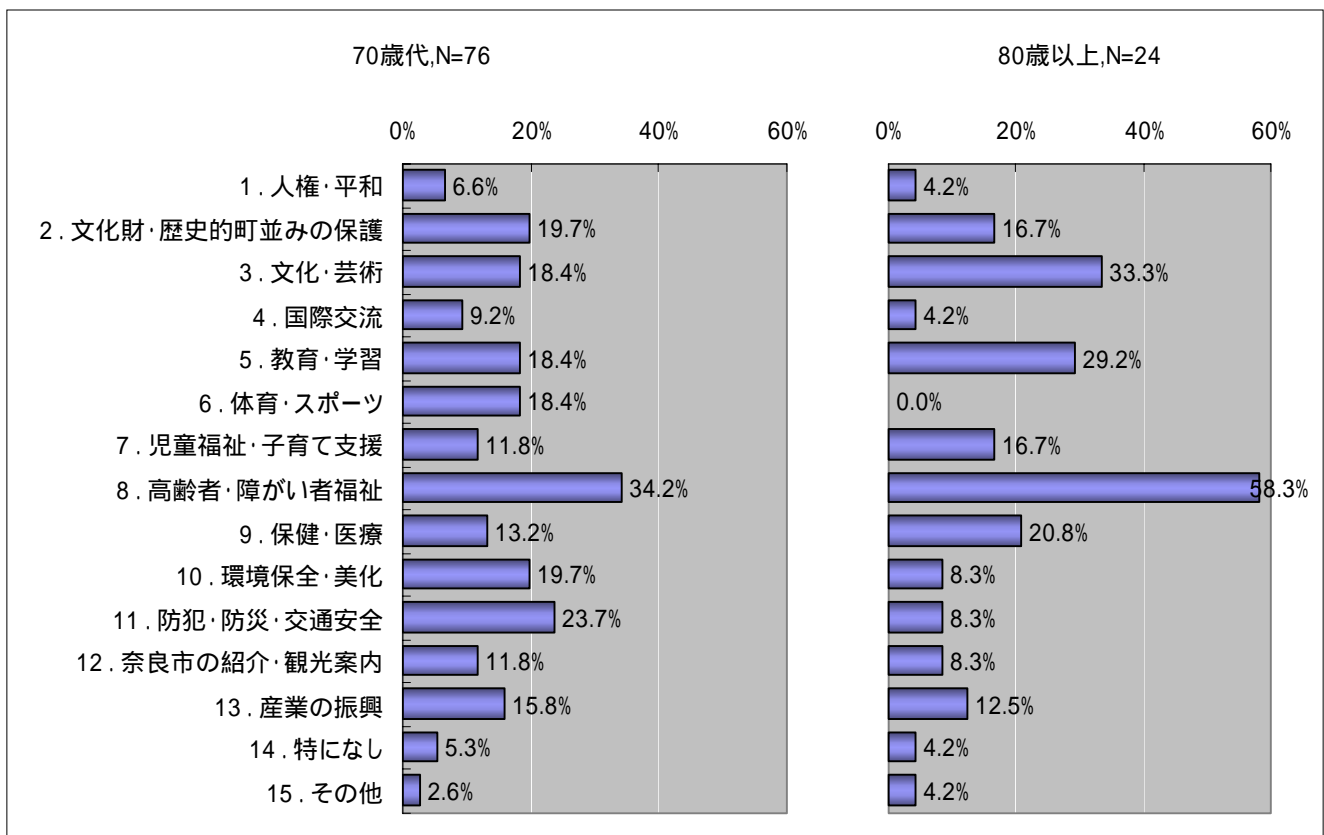
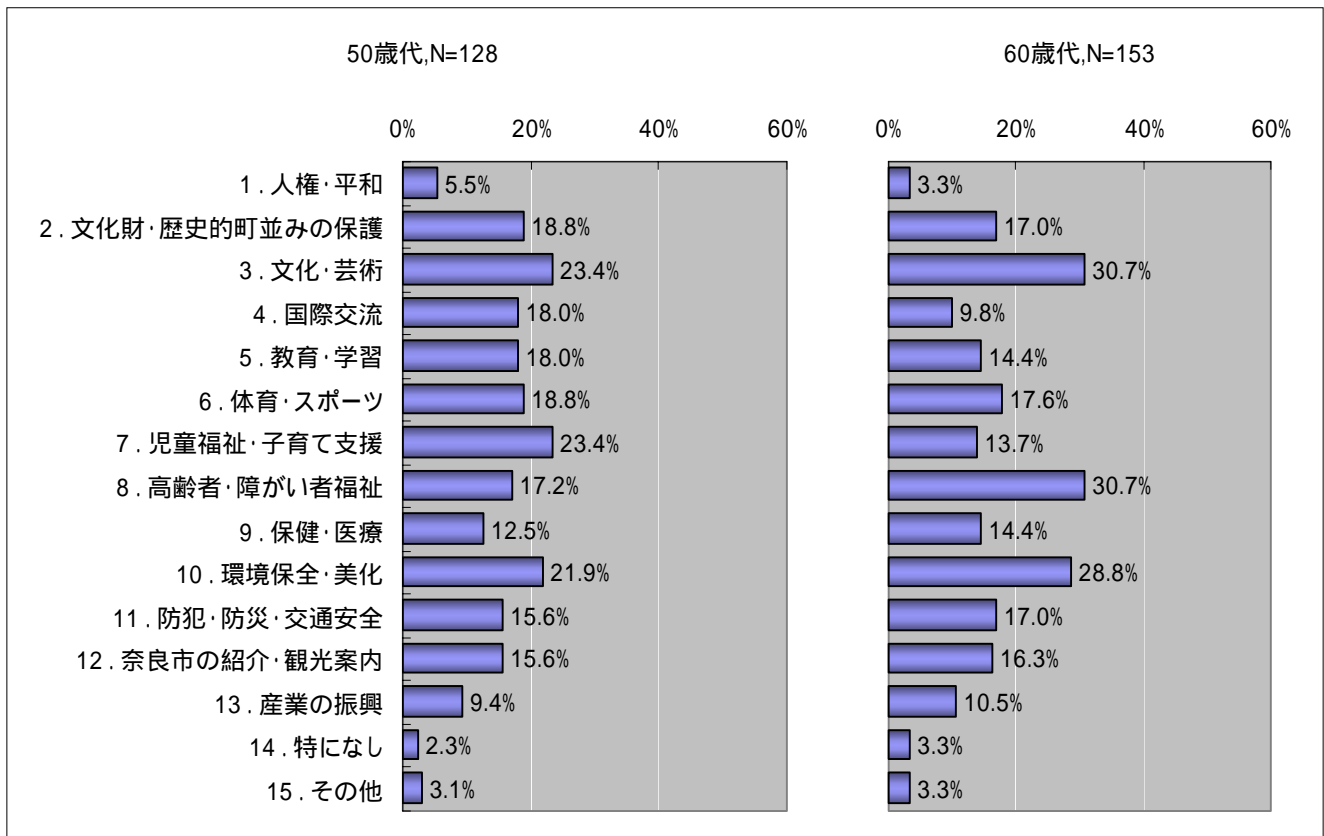
男女別に見ると、「文化・芸術」「児童福祉・子育て支援」「高齢者・障がい者福祉」「保健・医療」は女性の回答割合が高く、「体育・スポーツ」「環境保全・美化」「防犯・防災・交通安全」「産業の振興」は男性の回答割合が高い。



<年代別>

年代別に見ると、「教育・学習」は20歳代、40歳代、「児童福祉・子育て支援」は30歳代、50歳代、「高齢者・障がい者福祉」は60歳代、70歳代が1位であり、それぞれの年代の関心事を反映した結果となっている。



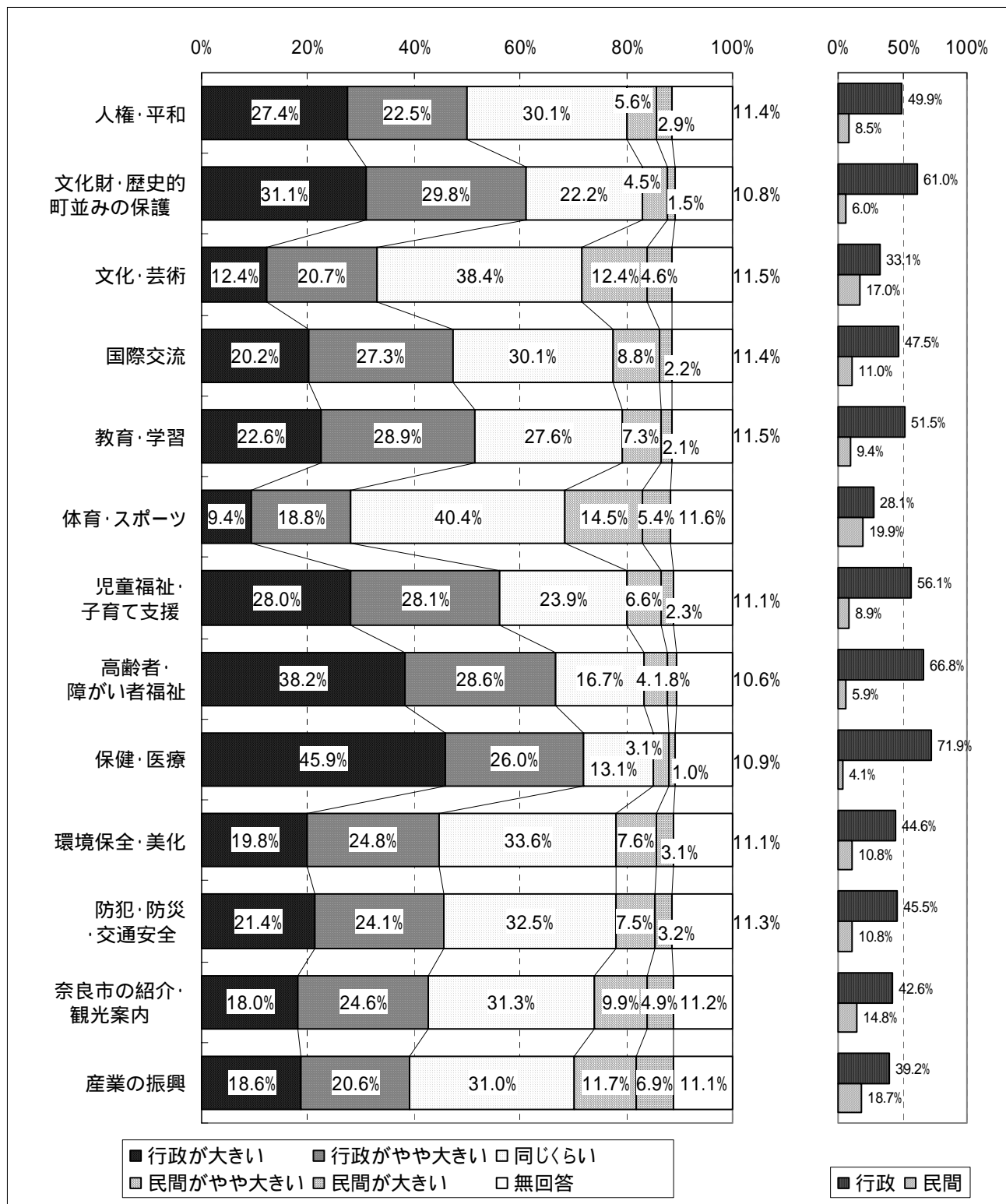


問6 - 7 まちづくりを進めるには、行政(国・地方公共団体)だけでなく、民間(市民・企業・NPO など)の役割が重要であり、適正な役割分担を図って協働していく必要があります。

あなたは、次のそれぞれの分野で、行政と民間でどちらの役割の方が大きいと考えますか。(項目ごとに1つずつ)

全ての施策において「行政が大きい」と「行政がやや大きい」を合わせた『行政が大きい』が「民間が大きい」と「民間がやや大きい」を合わせた『民間が大きい』を上回っており、「保健・医療」「高齢者福祉」「文化財・歴史的町並みの保護」が特に行政の役割が大きいと考えられている。

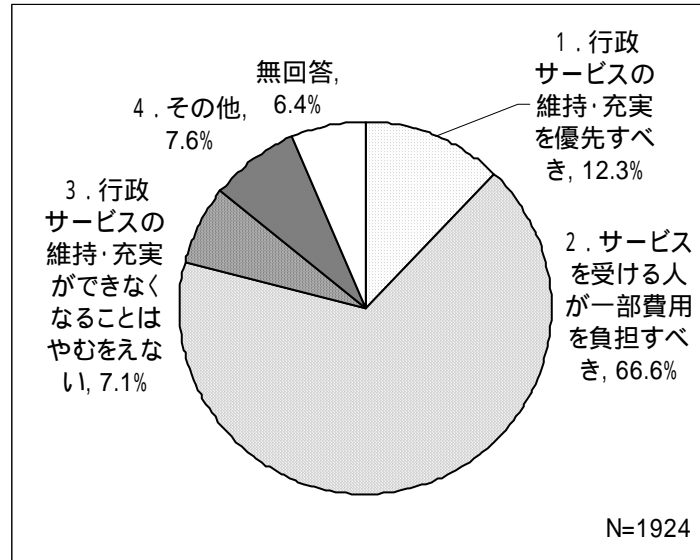
逆に、民間の役割がかなりあると考えられている施策には「体育・スポーツ」「産業の振興」「文化・芸術」がある。



問6 - 8 あなたは、行政サービスの水準と住民負担のバランスについて、どのように考えますか。(は1つ)

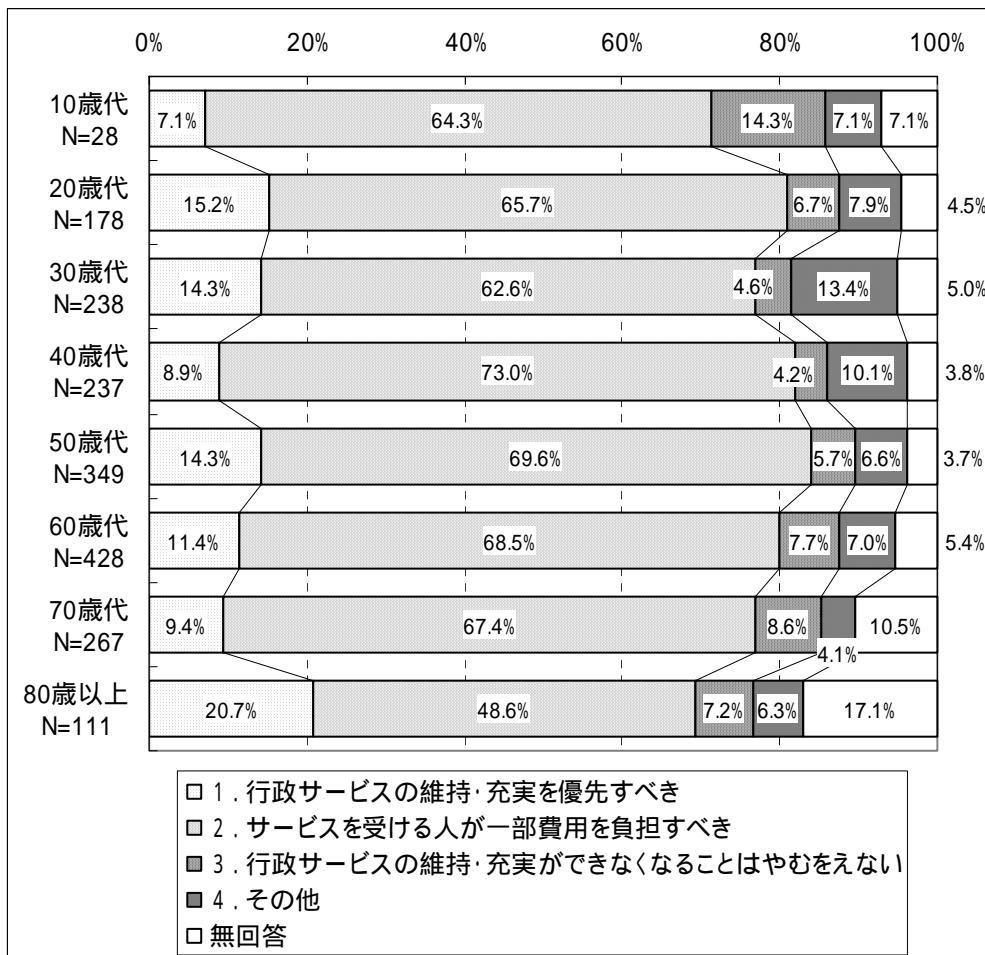
< 全 体 >

「サービスを受ける人が一部費用を負担すべき」が最も多く 66.6%であり、「行政サービスの維持・充実を優先すべき」が 12.3%と続く。



< 年代別 >

年代別に見ると、80歳以上で「行政サービスの維持・充実を優先すべき」が高いことを除けば、年代による大きな差は見られない。

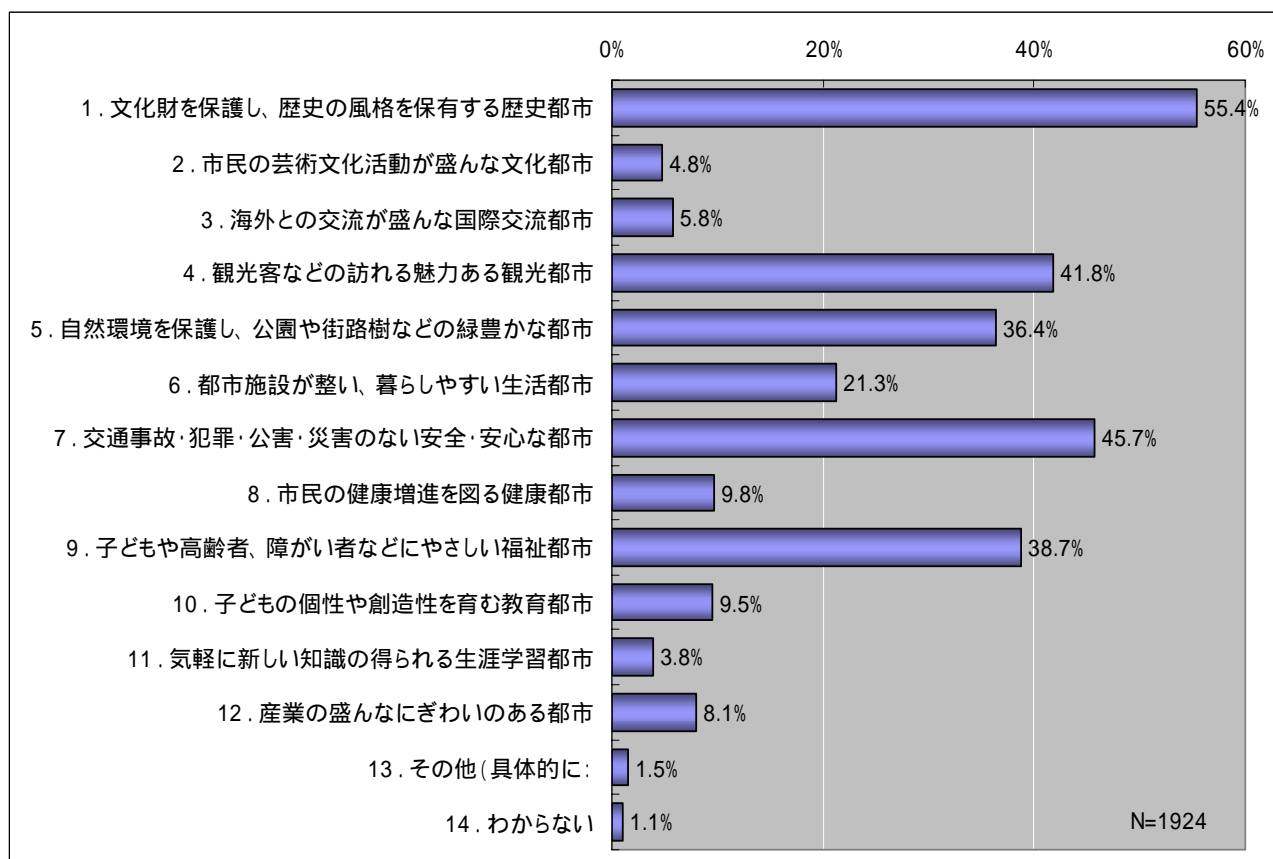


7 奈良市の将来像や取り組むべきことについてお聞きします

問7 - 1 あなたは、今後、長期を展望した上で、奈良市がどのような市になることが望ましいと思いますか。(は3つまで)

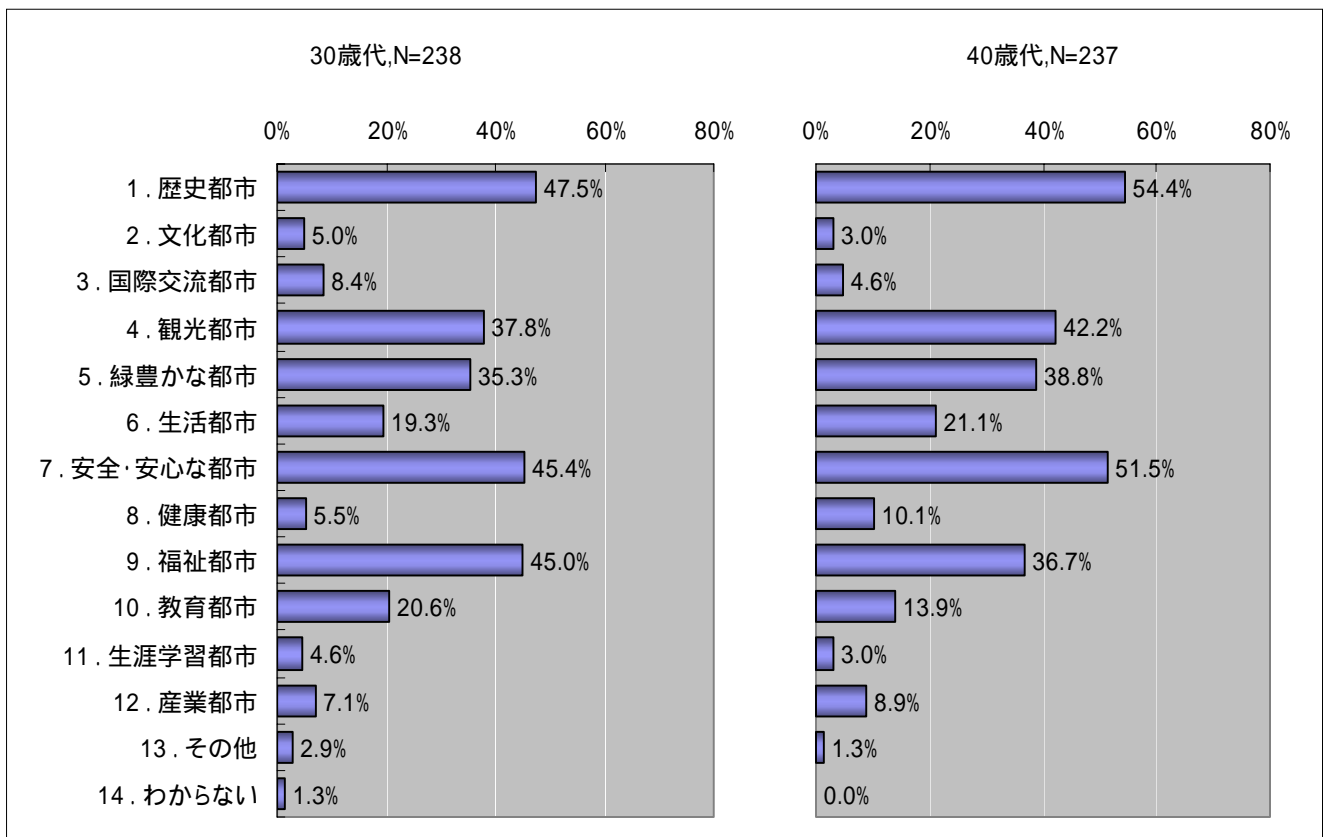
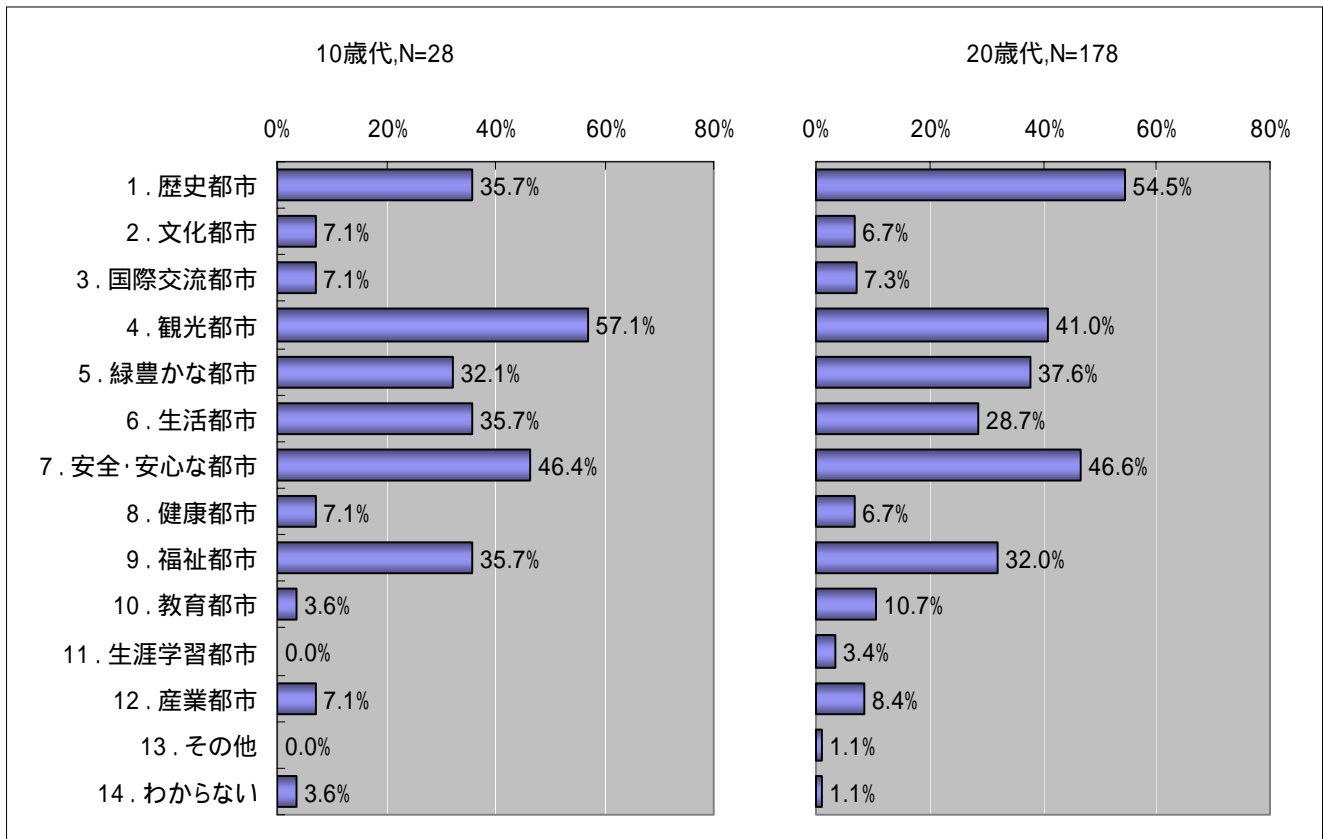
<全 体>

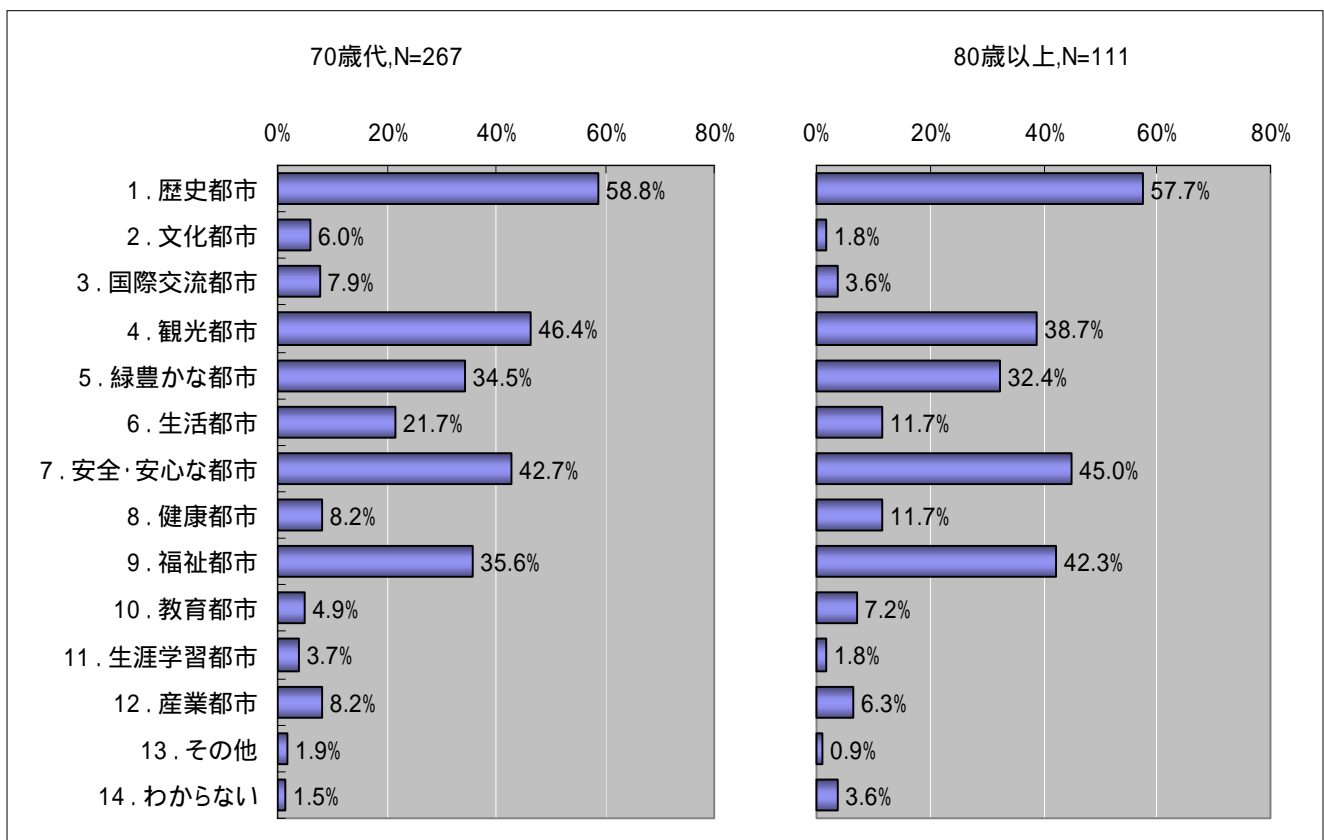
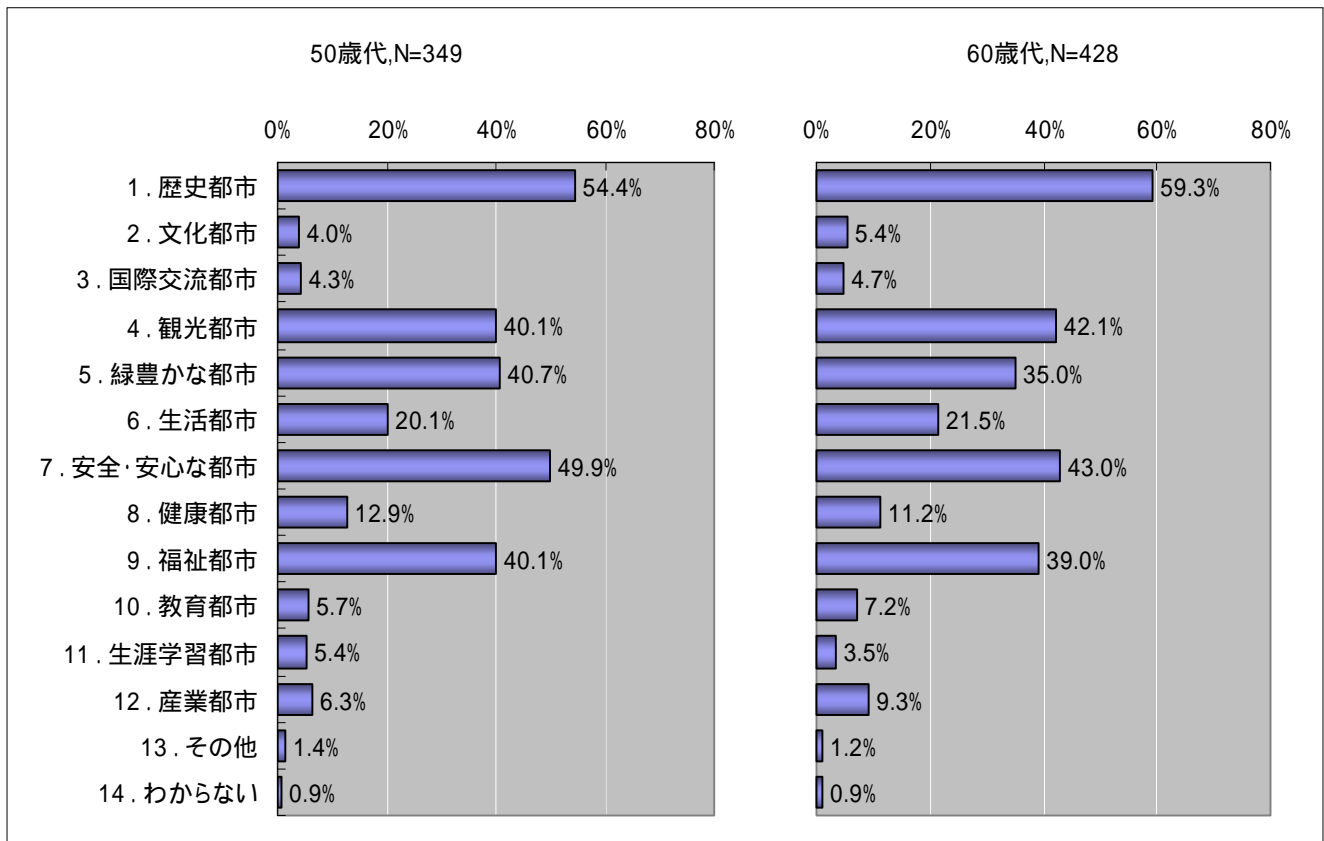
最も多いのは「文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市」で 55.4%を占め、「交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心な都市」が 45.7%、「観光客などの訪れる魅力ある観光都市」が 41.8%と続く。



<年代別>

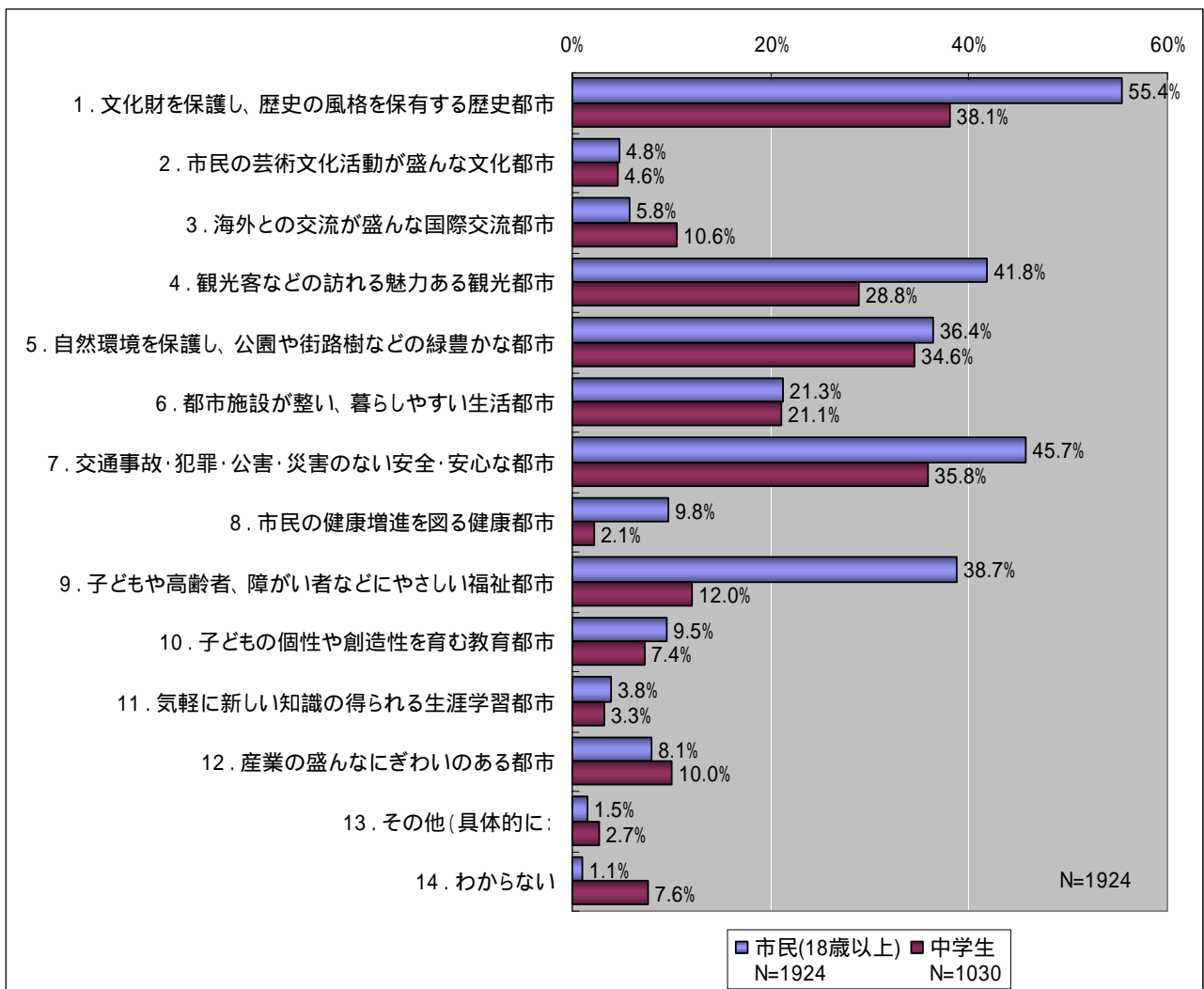
年代別に見ると、10歳代を除きすべての年代で「歴史都市」が1位であり、10歳代は「観光都市」を1位としている。第2位は70歳代を除くすべての年代で「安全・安心な都市」である。3位はばらつきがあり「福祉都市」「観光都市」「緑豊かな都市」があげられている。





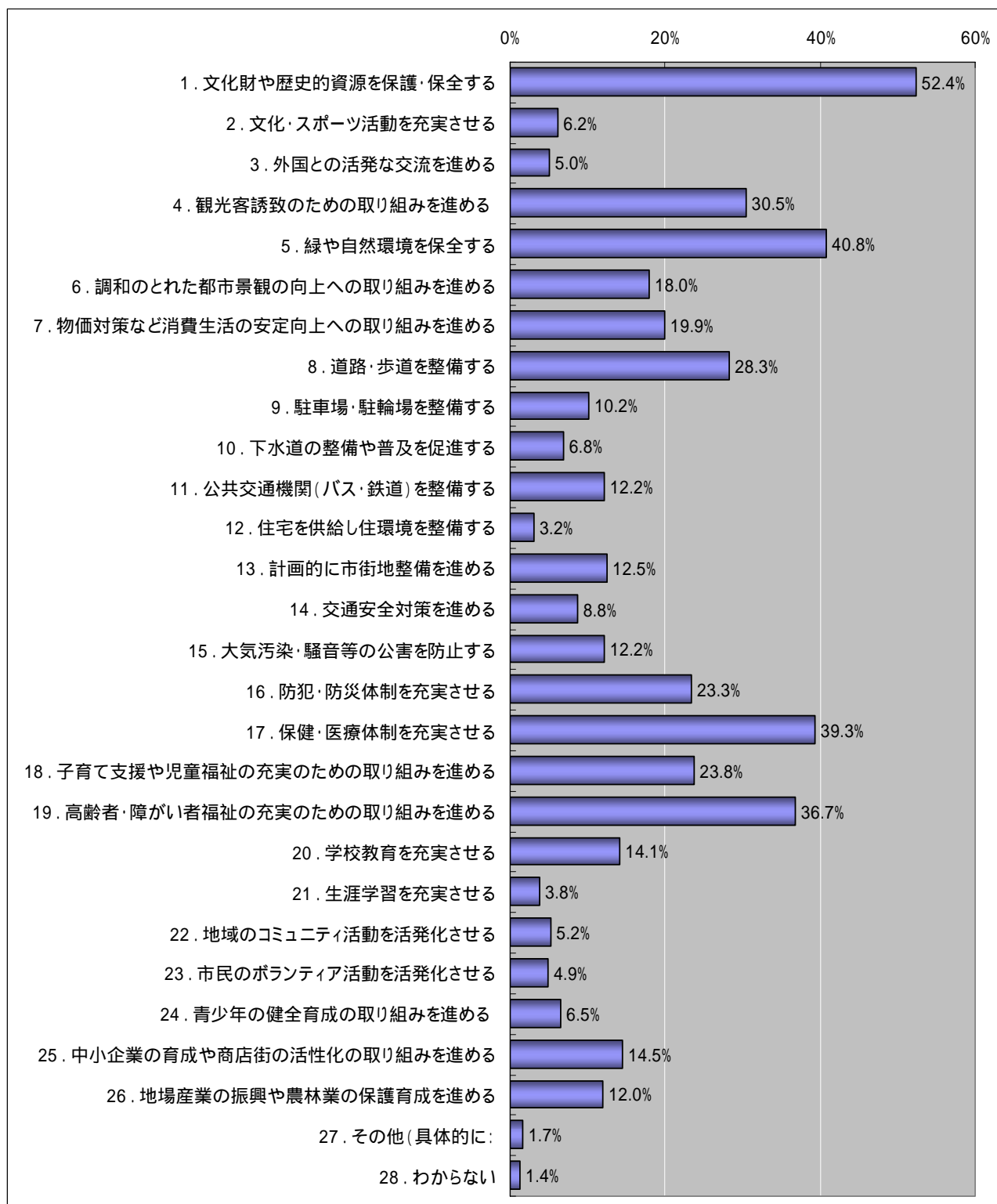
< 18歳以上市民と中学生アンケート結果の比較 >

中学生と一般市民を比較すると、おおむね同様の傾向であるが、中学生では健康や福祉への関心が低く、国際交流や産業への関心が18歳以上市民と比べ若干高くなっている。



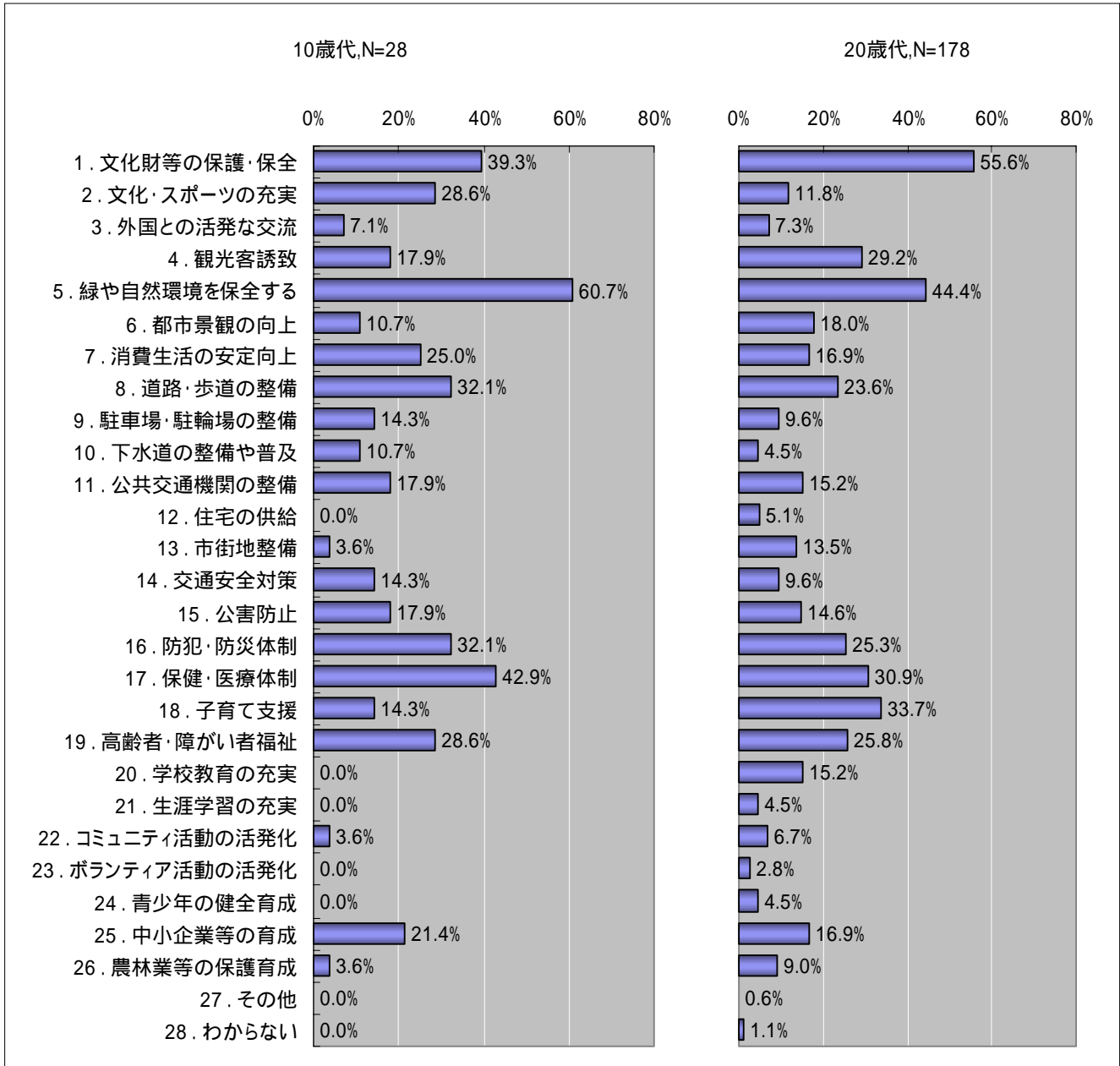
問7 - 2 それでは、あなたが思う奈良市の将来像の実現のために、行政施策として重点を置いて実施していくべきだと思うのはどれですか。(は5つまで)

最も多いのは「文化財や歴史的資源を保護・保全する」で52.4%を占め、「緑や自然環境を保全する」が40.8%、「保健・医療体制を充実させる」が39.3%と続く。



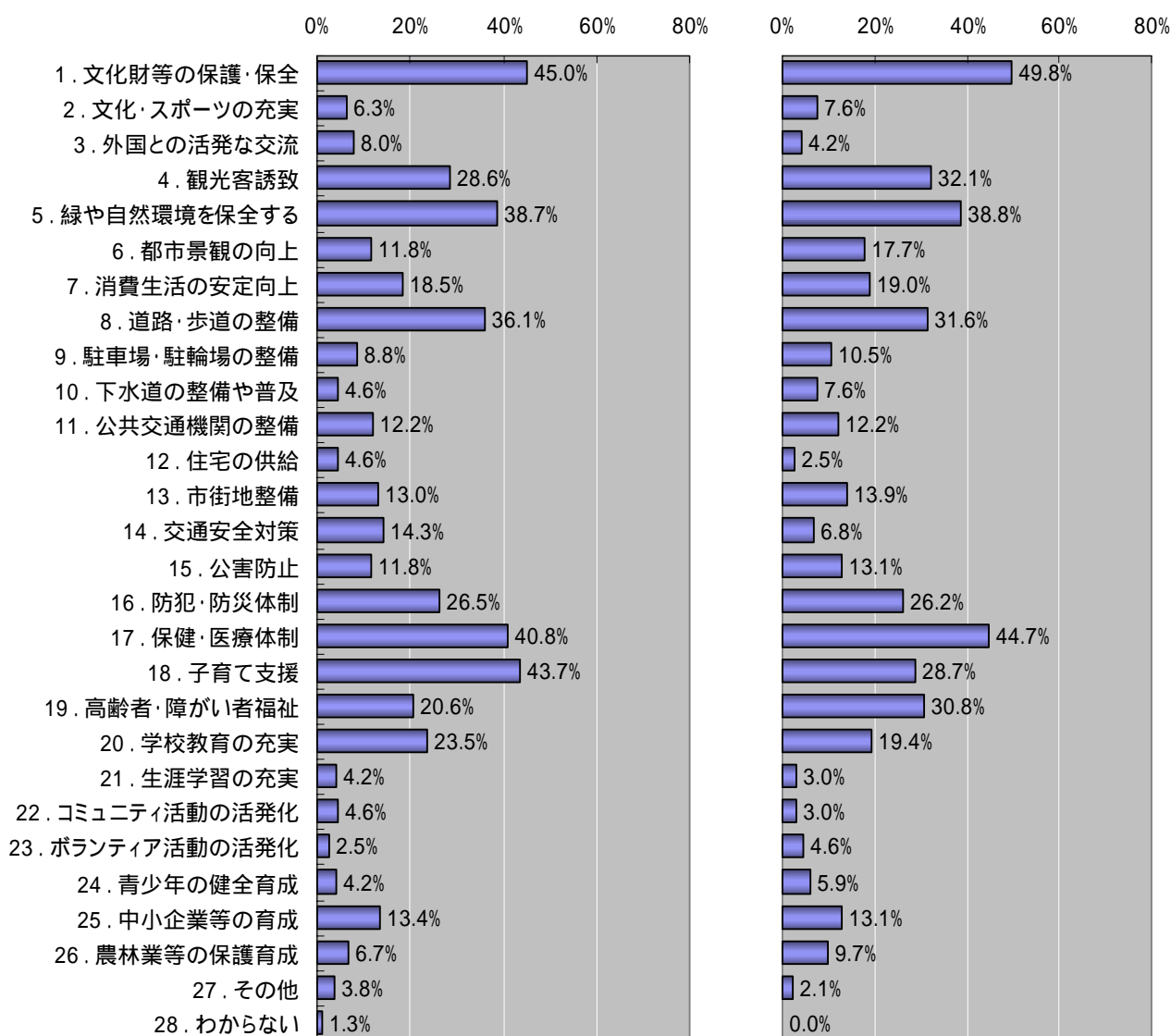
<年代別>

年代別に見ると、10歳代を除きすべての年代で「文化財等の保護・保全」が最も多い。10歳代は「緑や自然環境を保全する」を1位にあげている。2位は、60歳代以上は「高齢者・障がい者福祉」、20、40、50歳代は「緑や自然環境を保全する」、30歳代は「子育て支援」、10歳代は「保健・医療体制」と世代ごとに関心の高い施策に関心が集まっている。



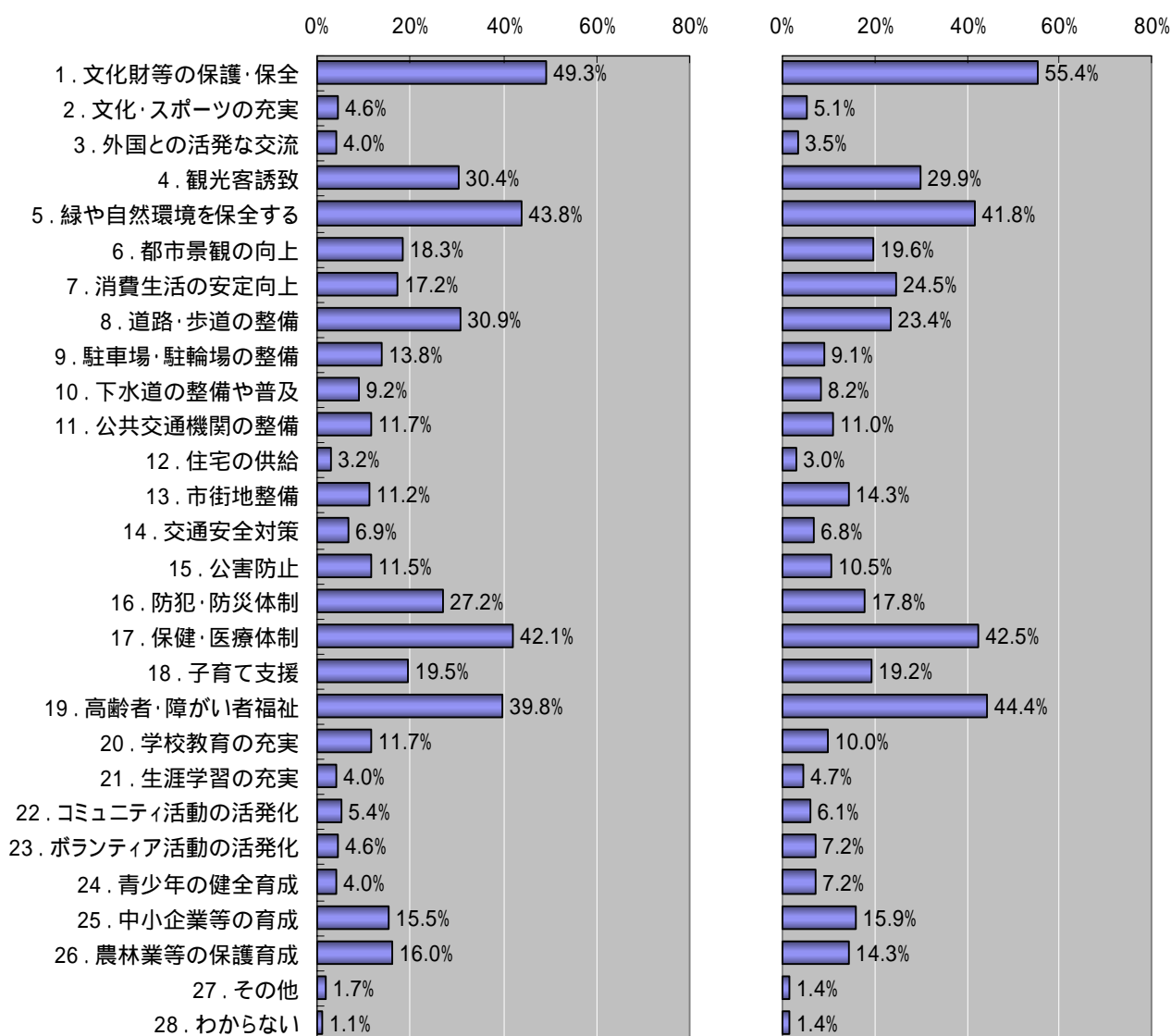
30歳代,N=238

40歳代,N=237



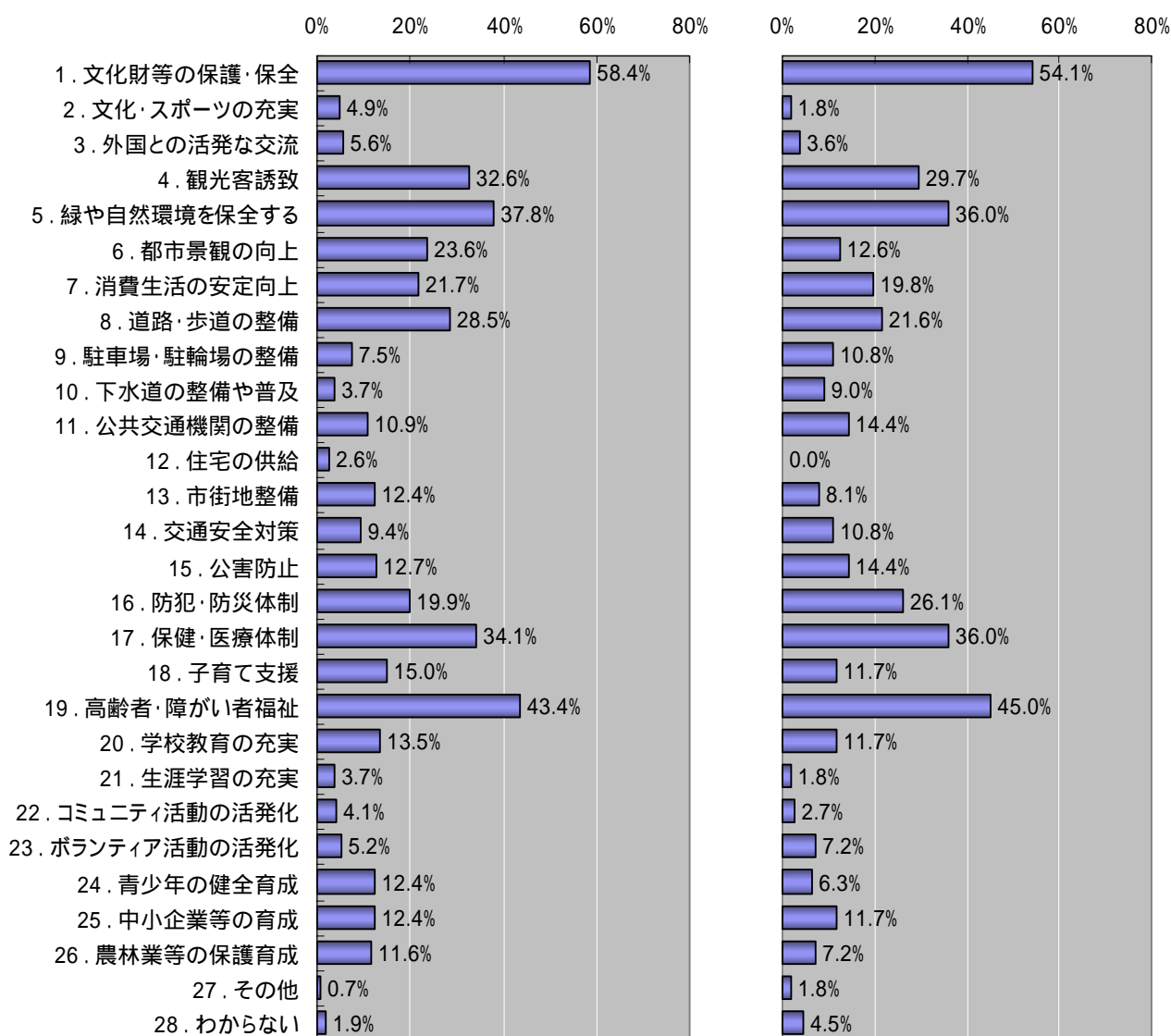
50歳代,N=349

60歳代,N=428



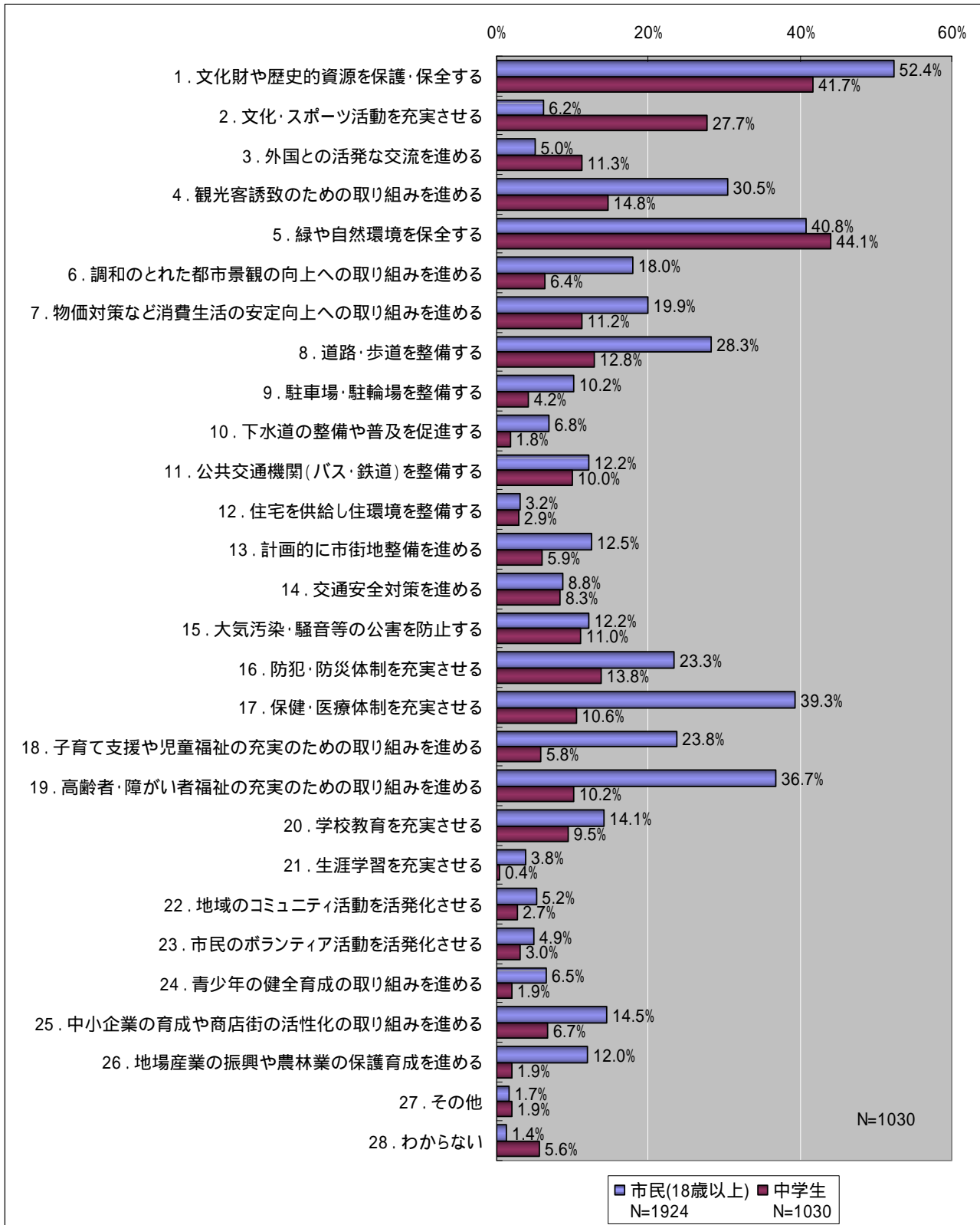
70歳代,N=267

80歳以上,N=111



< 18歳以上市民と中学生アンケート結果の比較 >

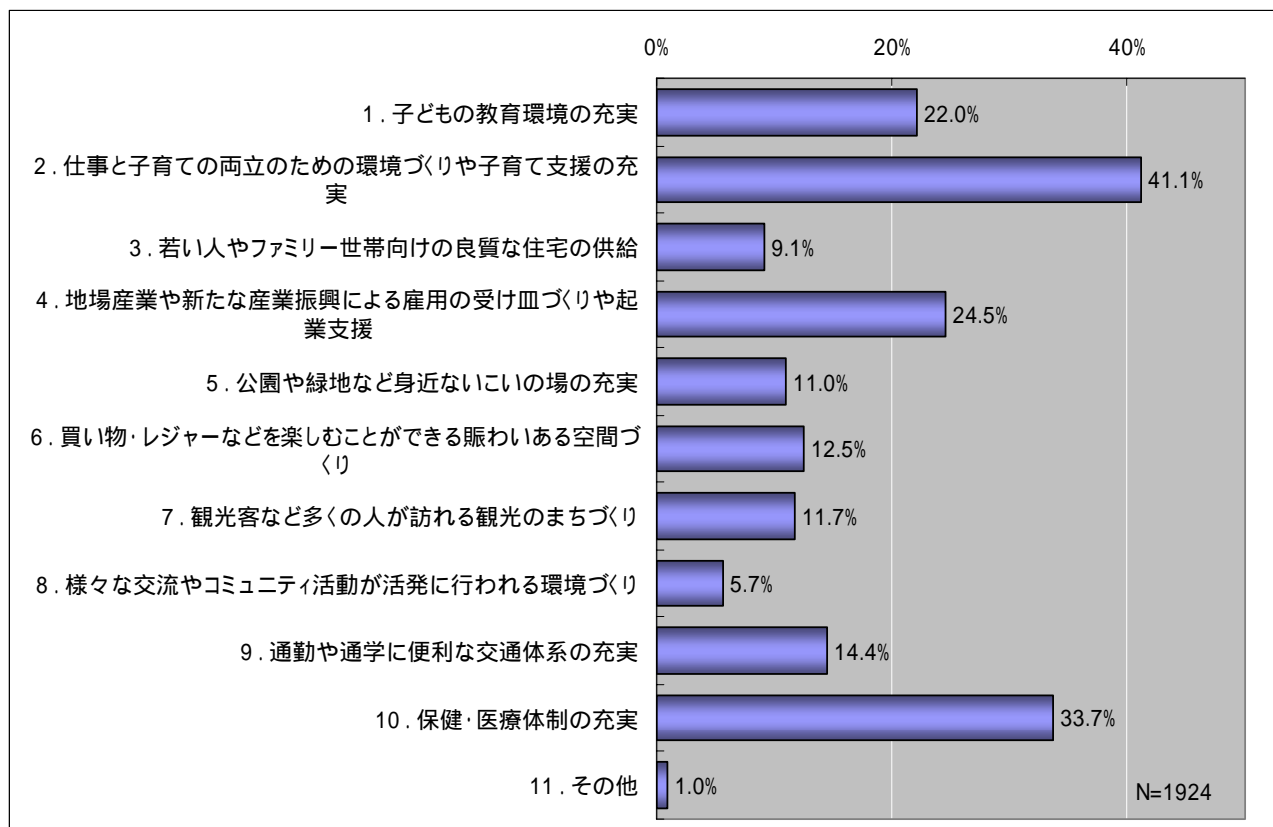
中学生と一般市民とを比較すると、「文化財等の保護・保全」、「緑や自然環境を保全する」はいずれも高い回答率となっているが、それ以外は年代に応じた関心事の施策の回答割合が高く、中学生では「文化・スポーツの充実」、一般市民では「保健・医療体制」、「高齢者・障がい者福祉」の回答割合が高い。



問7 - 3 活力ある奈良市を維持していくためには、次代を担う若年層の定住を促進していくことが必要不可欠と考えられます。

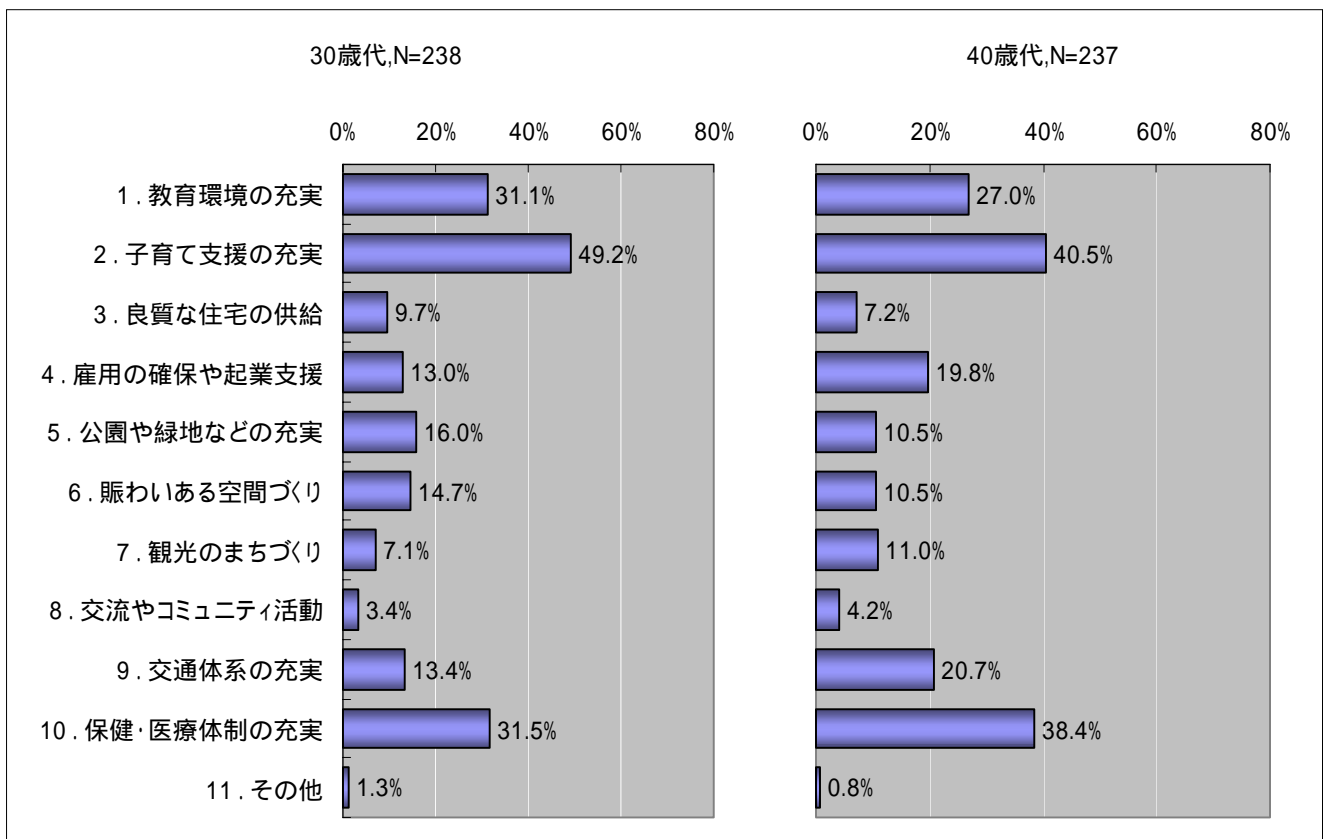
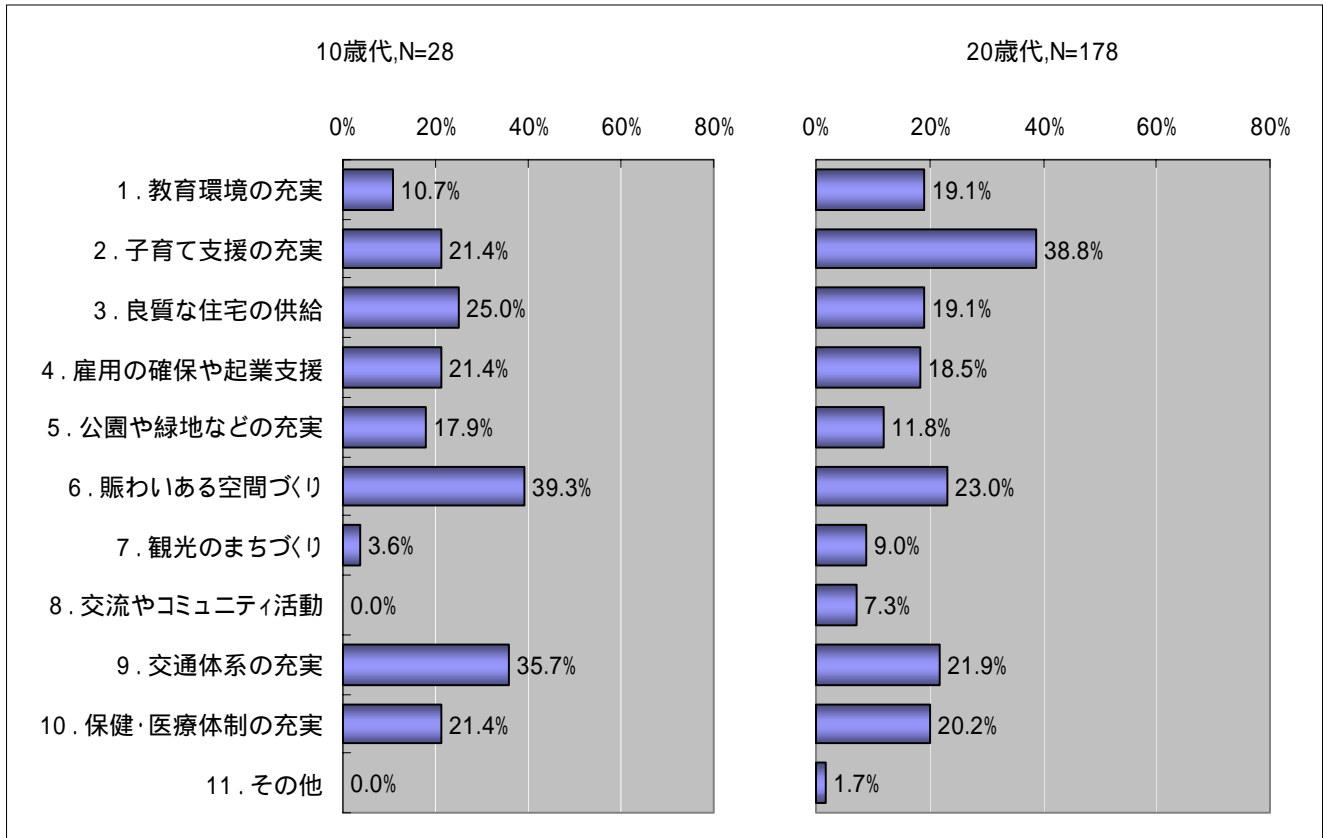
あなたは、奈良市における定住促進対策として、特にどのような施策を強化していく必要があると思いますか。(は2つまで)

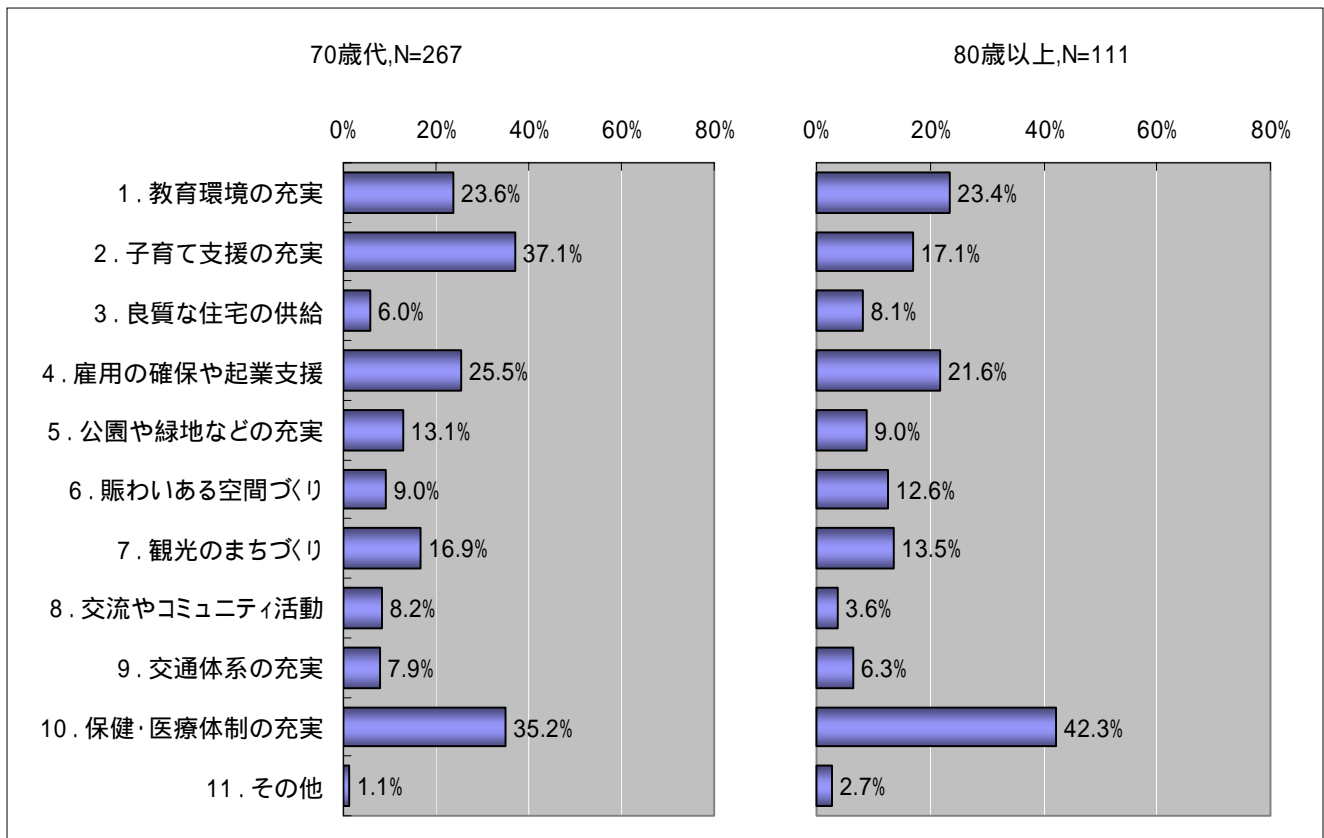
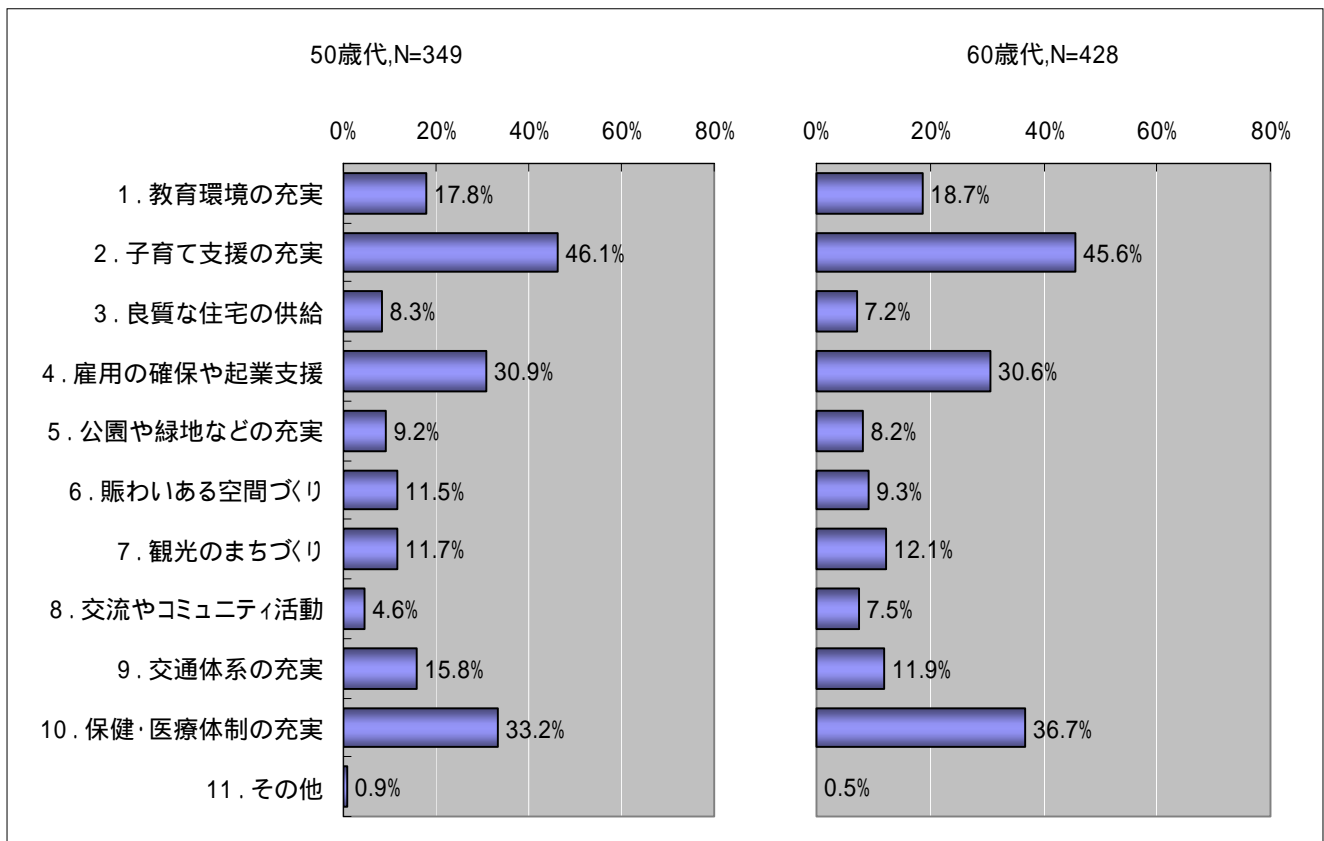
最も多いのは「仕事と子育ての両立のための環境づくりや子育て支援の充実」で 41.1%を占め、「保健・医療体制の充実」が 33.7%、「地場産業や新たな産業振興による雇用の受け皿づくりや起業支援」が 24.5%と続く。



<年代別>

年代別に見ると、10歳代、80歳以上を除き、「子育て支援の充実」が最も多い。10歳代は「賑わいある空間づくり」、80歳以上は「保健・医療体制の充実」を1位としている。2位は、30歳代～70歳代で「保健・医療体制の充実」をあげている。3位はばらつきがあり、30歳代、40歳代は「教育環境の充実」、50歳代～70歳代は「雇用の確保や起業支援」をあげている。





施策の重要度・満足度の相対分析

問 2-2、問 3-5、問 3-7、問 4-3、問 5-3、問 6-1 において、市の施策の満足度と重要度の設問を設けた。その結果に対して以下のような得点化を行う。ただし、「わからない」については、回答から満足度・重要度を測ることができないため、無回答と同じく得点化の対象外とする。

満足度

満足 ----- 50 点

やや満足 ----- 25 点

やや不満 ----- - 25 点

不満 ----- - 50 点

重要度

重要である ----- 50 点

やや重要である ----- 25 点

あまり重要でない ----- - 25 点

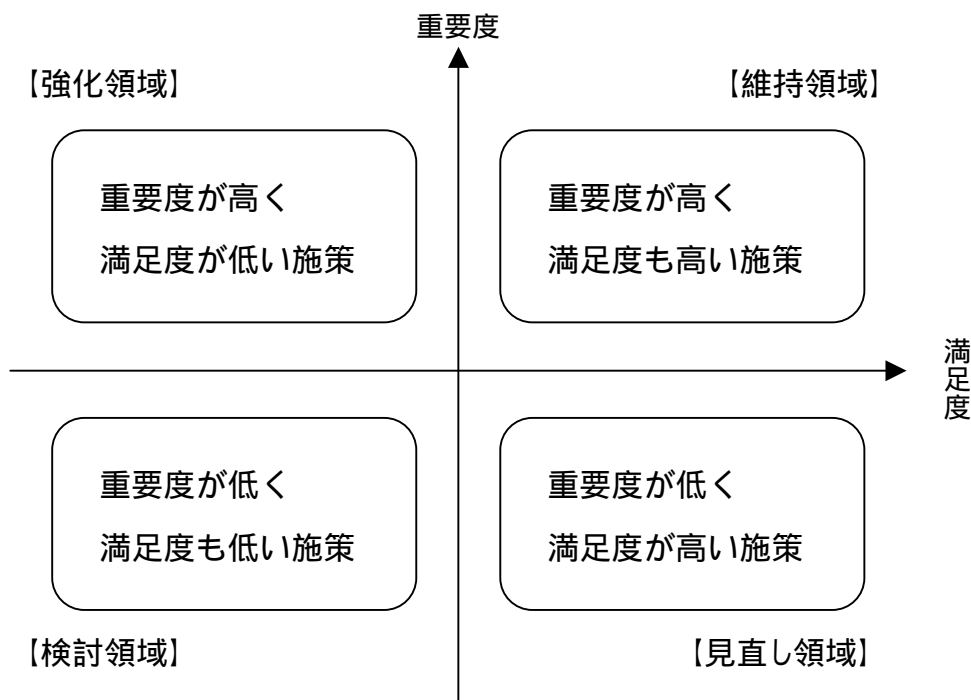
重要でない ----- - 50 点

$$\text{満足度} = \frac{\text{満足} \times 50 + \text{やや満足} \times 25 + \text{やや不満} (- 25) + \text{不満} \times (- 50)}{\text{わからない} \cdot \text{無回答を除く回答者数}}$$

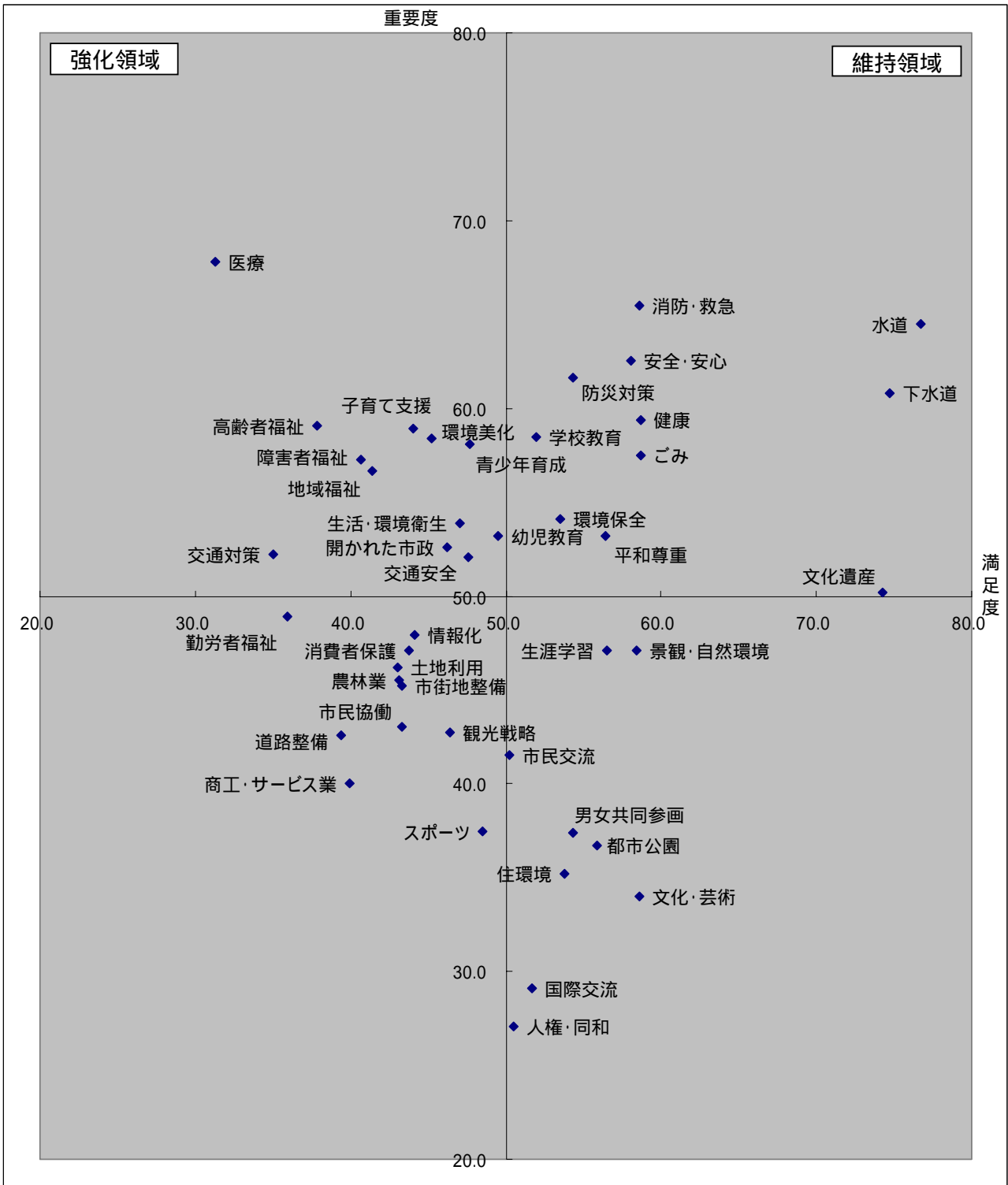
$$\text{重要度} = \frac{\text{重要である} \times 50 + \text{やや重要である} \times 25 + \text{あまり重要でない} (- 25) + \text{重要でない} \times (- 50)}{\text{わからない} \cdot \text{無回答を除く回答者数}}$$

得られた得点をもとに、項目ごとの満足度と重要度の偏差値を算出し散布図を作成することで、各施策間の相対的関係を把握する。

重要度と満足度の偏差値が 50 で交差する座標（下図）の 4 つの象限をそれぞれ「維持領域」「強化領域」「検討領域」「見直し領域」とする。このとき、重要度が高いにも関わらず、満足度が低い「強化領域」に位置する施策が市民ニーズの高い施策と考えられる。ただしこれはあくまで一つの指標であるため、最終的には各種条件と合わせて総合的に判断することが必要である。



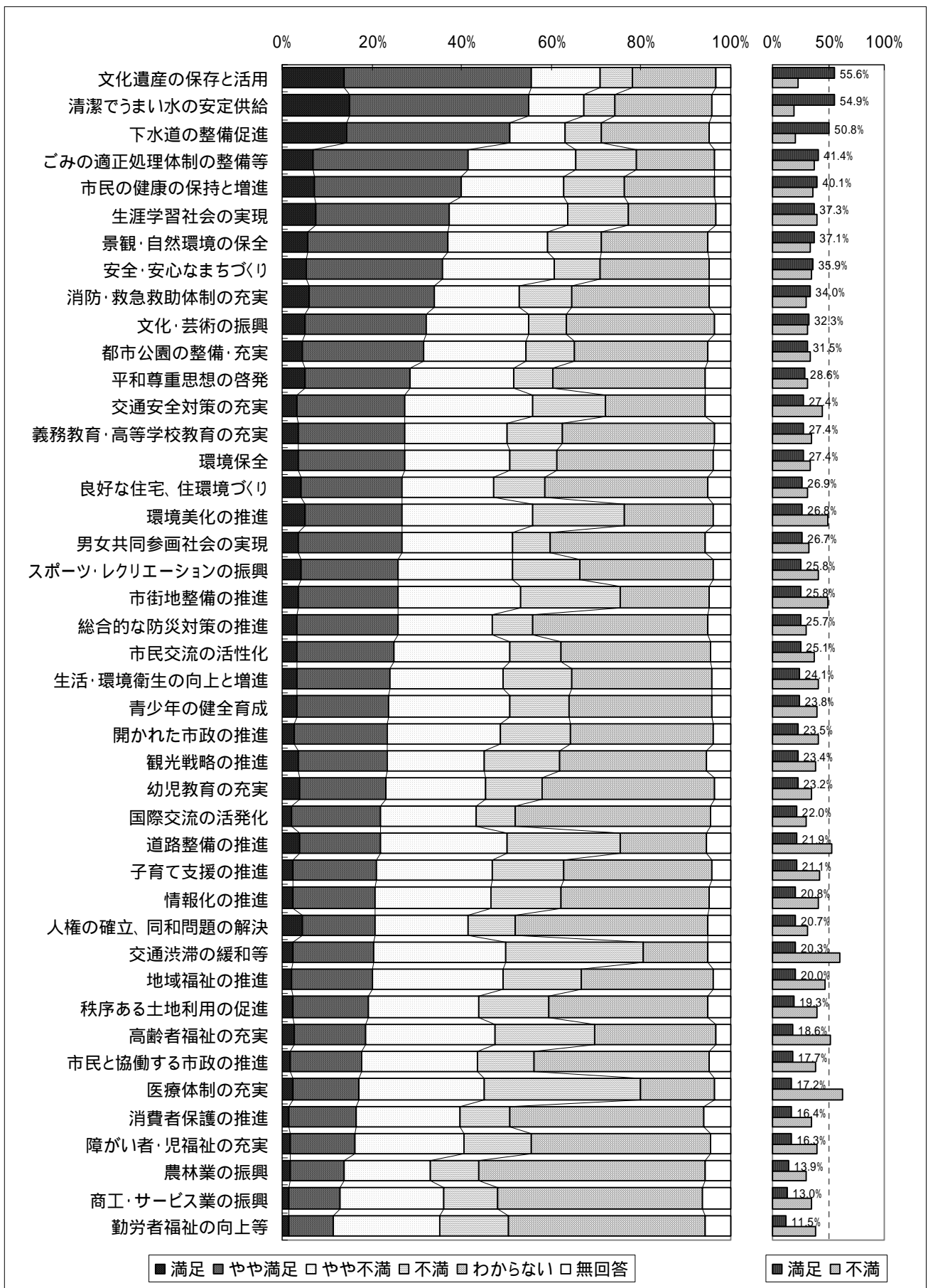
図表 施策の重要度・満足度の偏差値分布図



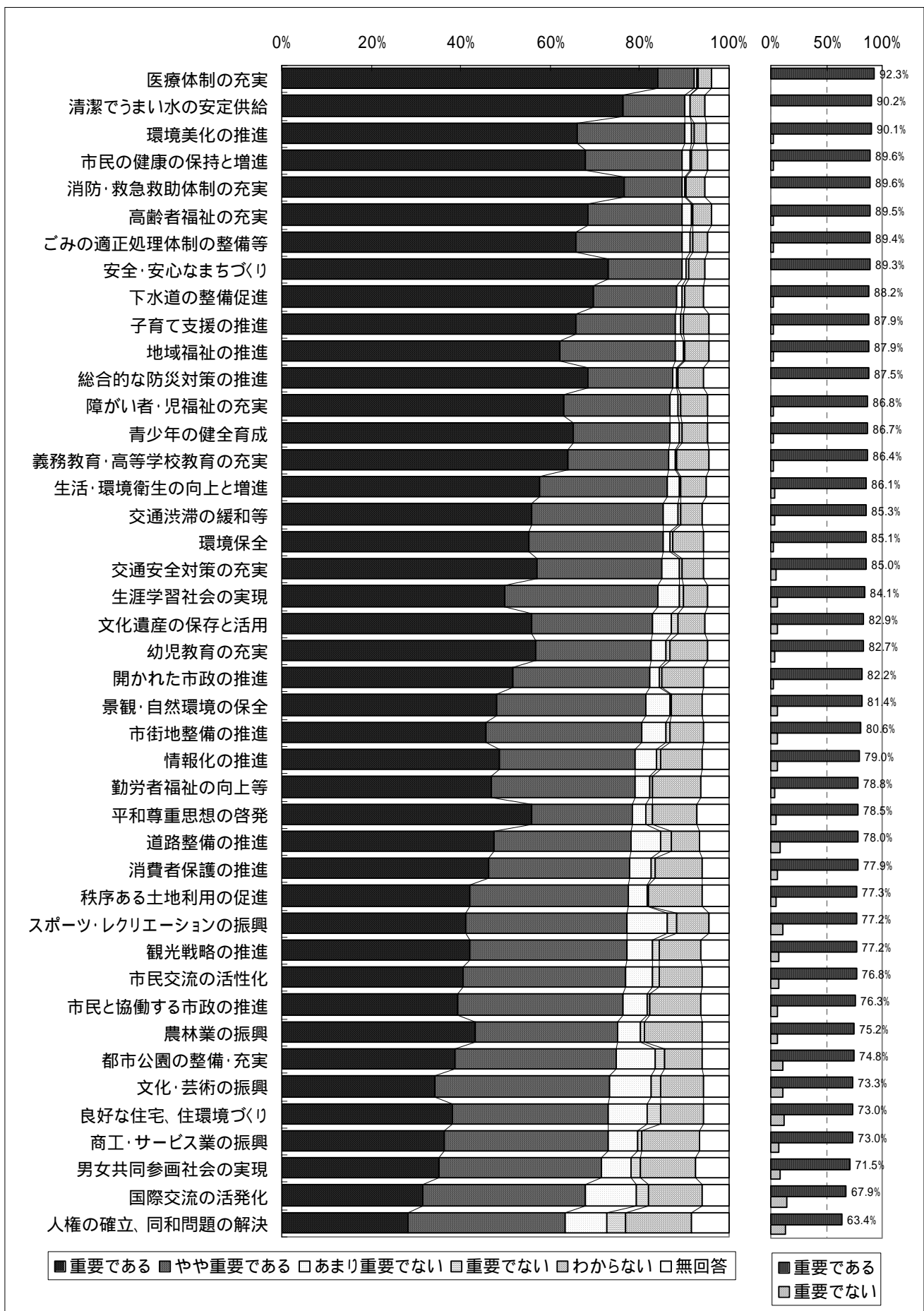
図表 施策の重要度・満足度の得点及び偏差値表

	得点		偏差値	
	満足度	重要度	満足度	重要度
人権の確立、同和問題の解決	-7.9	24.0	50.5	27.1
男女共同参画社会の実現	-4.6	29.8	54.3	37.4
平和尊重思想の啓発	-2.8	38.8	56.4	53.2
開かれた市政の推進	-11.6	38.5	46.2	52.6
市民と協働する市政の推進	-14.1	33.0	43.3	43.0
市民交流の活性化	-8.2	32.2	50.2	41.5
国際交流の活発化	-6.9	25.2	51.7	29.1
情報化の推進	-13.5	35.8	44.1	47.9
文化遺産の保存と活用	12.6	37.1	74.3	50.2
文化・芸術の振興	-0.9	27.9	58.6	34.0
生涯学習社会の実現	-2.8	35.3	56.5	47.1
幼児教育の充実	-8.8	38.8	49.5	53.2
義務教育・高等学校教育の充実	-6.6	41.8	52.0	58.5
青少年の健全育成	-10.3	41.6	47.7	58.1
スポーツ・レクリエーションの振興	-9.7	29.9	48.5	37.5
地域福祉の推進	-15.8	40.8	41.4	56.7
子育て支援の推進	-13.5	42.0	44.0	58.9
高齢者福祉の充実	-18.8	42.1	37.8	59.1
障がい者・児福祉の充実	-16.4	41.1	40.7	57.3
医療体制の充実	-24.4	47.1	31.3	67.8
市民の健康の保持と増進	-0.9	42.3	58.7	59.4
生活・環境衛生の向上と増進	-10.9	39.2	47.0	53.9
環境保全	-5.4	39.3	53.5	54.1
ごみの適正処理体制の整備、ごみ減量・リサイクルの促進	-0.9	41.3	58.7	57.5
環境美化の推進	-12.5	41.8	45.2	58.4
秩序ある土地利用の促進	-14.4	34.8	43.0	46.2
市街地整備の推進	-14.1	34.3	43.3	45.2
交通渋滞の緩和、交通サービスの質的向上	-21.3	38.3	35.0	52.2
道路整備の推進	-17.5	32.8	39.4	42.6
交通安全対策の充実	-10.4	38.2	47.6	52.1
良好な住宅、住環境づくり	-5.1	28.6	53.8	35.2
景観・自然環境の保全	-1.1	35.3	58.4	47.1
都市公園の整備・充実	-3.3	29.4	55.9	36.7
清潔でうまい水の安定供給	14.6	45.2	76.7	64.5
下水道の整備促進	12.9	43.1	74.7	60.8
総合的な防災対策の推進	-4.6	43.5	54.3	61.6
消防・救急救助体制の充実	-0.9	45.8	58.6	65.5
安全・安心なまちづくり	-1.4	44.1	58.1	62.5
観光戦略の推進	-11.4	32.9	46.4	42.7
農林業の振興	-14.3	34.4	43.1	45.5
商工・サービス業の振興	-17.1	31.3	39.9	40.0
勤労者福祉の向上・就労機会の促進	-20.5	36.4	35.9	48.9
消費者保護の推進	-13.7	35.3	43.8	47.1

最も満足度が高い施策は「文化遺産の保存と活用」であり、満足が不満足を上回っている施策は「文化遺産の保存と活用」「清潔でうまい水の安定供給」「下水道の整備促進」「ごみの適正処理体制の整備等」「市民の健康の保持と増進」「生涯学習社会の実現」「景観・自然環境の保全」「安全・安心なまちづくり」であった。



最も重要度が高い施策は「医療体制の充実」であり、続いて「清潔でうまい水の安定供給」「環境美化の推進」「市民の健康の保持と増進」「消防・救急救助体制の充実」があげられた。

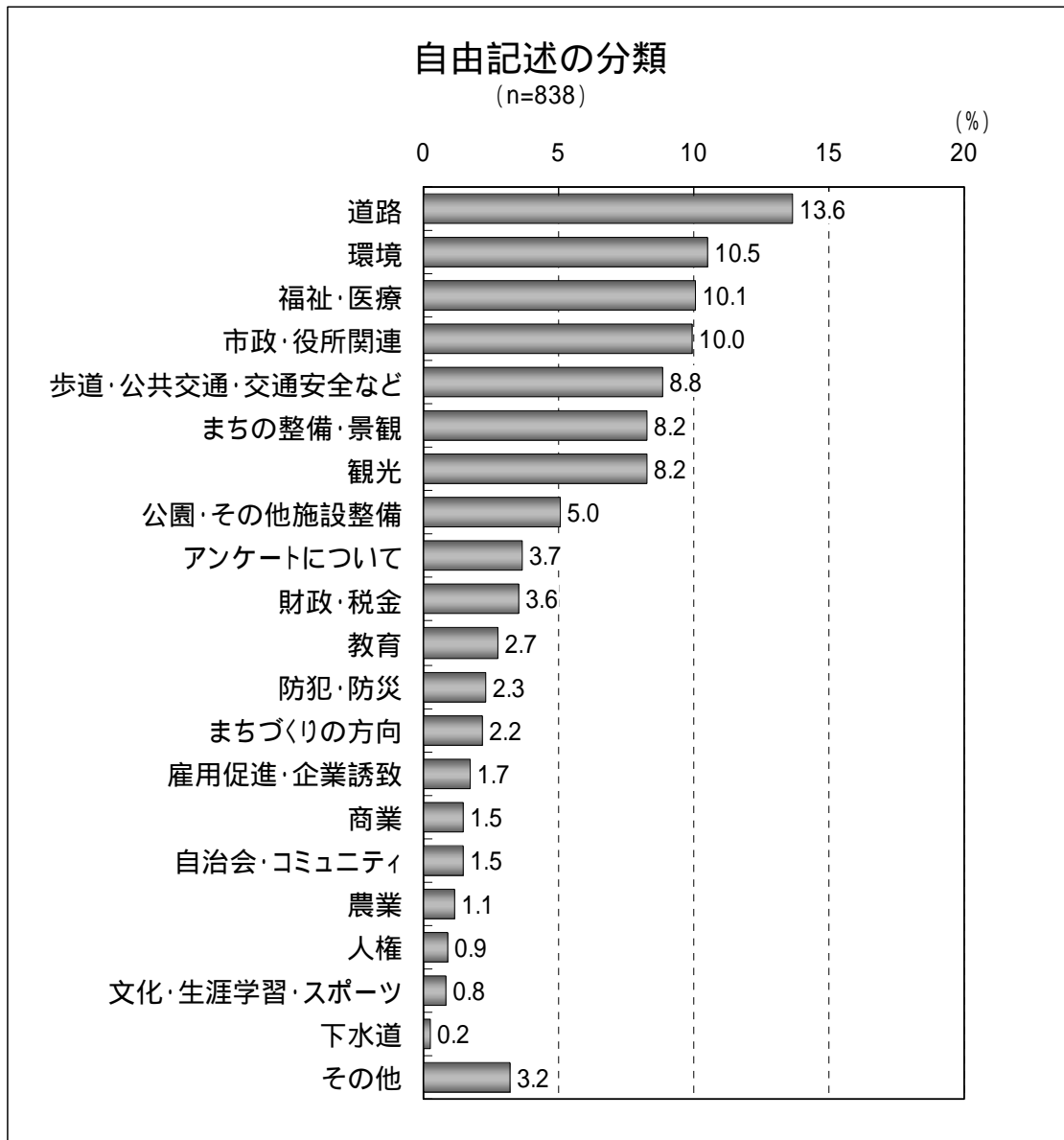


自由意見

奈良市のまちづくりについて、自由記述で意見を頂いたところ、532人から838件の回答があり、その内容を分類すると以下のとおりとなった。

最も割合が高いのは「道路」の13.6%で、以下「環境」10.5%、「医療・福祉」10.1%、「市政・役所関連」が10.0%と続いている。

分類ごとの主な意見を次ページ以降に示す。



1. 道路

- 道路の整備が遅れているので、整備を進めて欲しい。
- 交通渋滞が著しいので対策を講じて欲しい。
- 効果や効率を考えた道路整備を行って欲しい。無駄な事業はやめて欲しい。
- 道路のでこぼこや亀裂を修繕して欲しい。
- 通過交通対策、安全体躯のための交通規制を行って欲しい。
- 都市構造の改善を見据えた公共交通及び道路網の整備を進めて欲しい。

2. 環境

- 自然環境を破壊する開発をしないで欲しい。
- ゴミやタバコのポイ捨て不法投棄を無くして欲しい。
- 街路樹などの管理がずさんなので改善して欲しい。
- 大型ゴミ回収を復活して欲しい。
- ゴミ回収の不具合の改善と清掃局や回収業者の業務指導を願いたい。

3. 福祉・医療

- 奈良市の子育て支援は他市（生駒市など）に比べて遅れており、引っ越していく人もいる。
- 財政を豊かにし、無駄な事業は止めて、医療体制、福祉の充実を図るべき。
- 周産期医療を充実して欲しい。
- 高齢者福祉に力を入れて欲しい。
- 過度の福祉は不要。受益者負担をきっちりとすべき。

4. 市政・役所関連

- 職員の教育を徹底すること。
- 職員の数が多すぎる。人件費を削減すべき。
- 議員定数の削減。
- 市政運営が明確ではない。メリハリのある施策を望む。

5. 歩道・公共交通・交通安全など

- 歩道が整備されていない。
- 段差や凹凸が多く車いすやベビーカーの通行が不便であり、危険でもある。
- バス交通を整備・充実して欲しい。
- 鉄道の充実とパークアンドライドを進めて欲しい。
- 駐車場・駐輪場が不足している。

6. まちの整備・景観

- まちの玄関口にふさわしい駅周辺開発を進めてほしい。
- 歴史的景観を保全した街並みづくり（看板規制、高さ制限など）が必要である。
- 若い人達が集まるような活気あるまちづくりをしてほしい。

7. 観光

- 京都に比べ歴史観光都市としての魅力を生かし切れていない。
- 観光客に対するホスピタリティが欠如している。

- 観光客の呼び込み、PRをもっと積極的にすべきである。
- 観光関連施設（宿泊施設など）が不足している。

8．公園・その他施設整備

- 子どもたちが安心して遊べる身近な公園の整備を望む。
- 図書館の整備・充実を進めてほしい。
- スポーツ施設の整備が不十分である。

9．アンケートについて

- 設問数が多すぎる。
- 問題が難しすぎる。

10．財政・税金

- 無駄な事業を減らし、税金をもっと有効に使うべきである。
- 税金が高すぎる。
- 職員等の人件費をもっと減らすべき。

11．教育

- 奈良市の将来のために学校教育にもっと力を注ぐべきである。
- 子どもの学力向上を図ってほしい。

12．防犯・防災

- ひったくりなど犯罪のない安全安心なまちづくりを進めてほしい。
- 災害対策の充実を望む。

13．まちづくりの方向

- 文化財を守り、豊かな心の県民として発展する事を望む。
- 奈良市に住んでいる事を誇りに思えるようなまちづくりを心掛けてほしい。

14．雇用促進・企業誘致

- 奈良市民が奈良市で働ける場所を作る。
- 地場産業の活性化。

15．商業

- 商店街を元気にしてほしい。
- 大きなデパートがない。

16．自治会・コミュニティ

- 新規住民にとって冷たいまちである。
- コミュニティ活動を充実するような行政施策を望む。

17．農業

- 食の安全と安定供給を望む。

- 遊休農地の活用により地産地消を進めるべきである。

18．人権

- 人権教育、道徳、マナー教育を進めるべきだ。

19．文化・生涯学習・スポーツ

- リーズナブルな料金で気軽に施設利用できるようにしてほしい。

20．下水道

- 浸水対策を進めてほしい。

奈良市次期総合計画策定及び水道に関する市民意識調査 ご協力をお願いします

調査のお願い

市民の皆様には、日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
奈良市では、まちづくりの方針を定めた現在の「第3次総合計画」の期間が平成23年3月に終了するため、今後のまちづくりの道しるべとなる新しい総合計画をつくる準備を進めています。

このため、市民の皆様のご意見をおうかがいし、新たな総合計画のあり方を考えるための資料として使わせていただくことを目的に、本アンケートを実施します。

また、水道事業では、建設・拡張の時代から維持管理・更新の時代になり、今後は、限られた収入の中で一層の経費節減や合理化による健全経営を行い、市民サービスの充実に努めたいと考えております。このため、市民の皆様のご意見を反映させる目的で、水使用の実態やご要望等についてお尋ねします。

本アンケートは、奈良市にお住まいの18歳以上の方を無作為に3,300人選ばせていただき、ご協力をお願いしています。ご回答いただきました内容は、全体を統計として使わせていただくのみで、皆さんにご迷惑をかけることはありません。

お手数ですが、アンケート調査票にご回答いただき、同封の返送用封筒（切手を貼る必要はありません）に折りたたんで入れ、

2月9日（月）までに

ご返送くださいますようお願いいたします。

お忙しいところ恐れいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成21年1月

奈良市長 藤原 昭

記入にあたってのお願い

1. 回答は、あて名のご本人をお願いします。
2. 回答は、あてはまる番号に「 」をつけてお答えください。「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、()内にその内容をなるべく具体的にご記入ください。
3. 設問によっては、回答いただく必要がない場合があります。
4. 返送用封筒に、ご住所・お名前を記入いただく必要はありません。

お問い合わせ先

奈良市企画部企画政策課 TEL: 0742-34-4786 FAX: 0742-34-4900
奈良市水道局経営管理課 TEL: 0742-34-5200 (代表) FAX: 0742-34-9204

アンケート調査票

1 奈良市の印象などについて

問1 - 1 あなたは、奈良市(合併前の月ヶ瀬村、都祁村も含めて)に住んで何年になりますか。(は1つ)

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 3年未満 | 2. 3年以上7年未満 | 3. 7年以上15年未満 |
| 4. 15年以上25年未満 | 5. 25年以上 | |

問1 - 2 あなたは、奈良市に住んで「よかった」と思いますか。(は1つ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. よかったと思う | 【問1-3へお進みください】 |
| 2. よかったと思わない | 【問1-4へお進みください】 |
| 3. どちらともいえない | 【問1-5へお進みください】 |
| 4. わからない | 【問1-5へお進みください】 |

問1 - 3 問1 - 2で「1. よかったと思う」と回答された方にお聞きます。それはどのような理由からですか。(は3つまで)

- | | | |
|------------------------|------------|------------|
| 1. 自然環境が良い | 2. 公害が少ない | 3. 災害が少ない |
| 4. 交通が便利 | 5. 教育環境が良い | 6. 人間関係が良い |
| 7. 物価が安い | 8. 買い物に便利 | |
| 9. 古社寺・史跡・名勝が多く歴史がある | | |
| 10. 住み慣れている | | |
| 11. 社会福祉や保健・医療体制が整っている | | |
| 12. 治安が良い | | |
| 13. その他(具体的に: _____) | | |

問1 - 4 問1 - 2で「2. よかったと思わない」と回答された方にお聞きます。それはどのような理由からですか。(は3つまで)

- | | | |
|---------------------------|--------------|--------------|
| 1. 自然環境が良くない | 2. 公害が多い | 3. 災害が多い |
| 4. 交通が不便 | 5. 教育環境が良くない | 6. 人間関係が良くない |
| 7. 物価が高い | 8. 買い物に不便 | |
| 9. 古社寺・史跡・名勝など古いものばかりがある | | |
| 10. 伝統行事や地域活動などが多すぎる | | |
| 11. 社会福祉や保健・医療体制が整っていない | | |
| 12. 治安が良くない | | |
| 13. 法律上の制約(古都保存法・風致地区)が多い | | |
| 14. その他(具体的に: _____) | | |

問1 - 5 あなたは、奈良市に愛着を感じていますか。(は1つ)

1. 強く愛着を感じる	2. まあまあ愛着を感じる	3. どちらともいえない
4. あまり愛着を感じない	5. まったく愛着を感じない	

問1 - 6 あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。(は1つ)

1. 現在の場所に住み続けたい	2. 市内で引っ越したい
3. 市外へ引っ越したい	4. わからない

2 『人権の尊重、文化の創造、教育の充実を進めるまちづくり』について

問2 - 1 あなたは、市民一人ひとりの人権意識は高くなってきたと思いますか。(は1つ)

1. 思う	2. 少し思う	3. どちらともいえない	4. あまり思わない	5. 思わない
-------	---------	--------------	------------	---------

問2 - 2 あなたは、男女が性別にかかわらず、共に個性や能力を発揮できる社会になりつつあると思いますか。(は1つ)

1. 思う	2. 少し思う	3. どちらともいえない	4. あまり思わない	5. 思わない
-------	---------	--------------	------------	---------

問2 - 3 あなたは、奈良市が人権の尊重のために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

	現状の満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
記入例：平和尊重思想の啓発 各種の非核平和啓発事業などを通じて、市民一人ひとりの心の中に、平和を愛し大切にすることを育てる。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
人権の確立、同和問題の解決 人権の確立と人権・同和問題の解決に向けて、人権教育及び人権啓発を推進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
男女共同参画社会の実現 社会・家庭などあらゆる分野への男女共同参画を推進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
平和尊重思想の啓発 各種の非核平和啓発事業などを通じて、市民一人ひとりの心の中に、平和を愛し大切にすることを育てる。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問2 - 4 あなたは、日頃、生活の中で地域の人との交流がありますか。(は1つ)

1. 相談したり助け合ったりする	2. あいさつをする程度	3. ほとんどない
------------------	--------------	-----------

問2 - 5 あなたは、奈良市が市民参画と交流の活性化のために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

	現状の満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
開かれた市政の推進 広報・広聴活動の充実により、市民の意見・要望を適切に把握し、施策への反映に努める。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民と協働する市政の推進 市民企画事業など、市民が参画することのできる制度を確立し、市民と協働する市政を推進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民交流の活性化 地域間・住民間の各種交流を通じて市民相互の理解を深め、快適な生活を営み、活力と活気ある地域社会を形成する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
国際交流の活発化 友好・姉妹都市をはじめとする国際交流の活発化を図るとともに、国際性豊かな人材を育成する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
情報化の推進 情報通信技術を活用して、市民サービスの向上と行政事務の高度化・効率化を実現する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問2 - 6 あなたは、学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っていると思いますか。(は1つ)

1. 思う	2. 少し思う	3. どちらともいえない	4. あまり思わない	5. 思わない
-------	---------	--------------	------------	---------

問2 - 7 あなたは、奈良市が文化の創造・教育の充実のために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

	現状の満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
文化遺産の保存と活用 文化財を保存し後世に継承するとともに、その豊かな文化財を市民生活の中に活かしたまちづくりを行う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
文化・芸術の振興 市民のだれもが等しく文化を創造し、享受できる条件整備と支援体制づくりを推進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生涯学習社会の実現 公民館などの社会教育施設や図書館の整備・充実を促進するとともに、いつでも・どこでも・だれでも学習できる環境を整える。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
幼児教育の充実 幼稚園の充実と整備、障がい児教育の推進、私立幼稚園への助成などにより、幼児教育の充実を図る。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	現状の満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
義務教育・高等学校教育の充実 教育内容の充実、教育相談の充実と整備、施設・設備整備の促進などにより、義務教育・高等学校教育の充実を図る。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
青少年の健全育成 次代を担う子どもたちが心身ともに健やかにたくましく成長するために、家庭・学校・地域が一体になり、青少年の健全育成をめざす。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
スポーツ・レクリエーションの振興 だれもが生涯にわたってスポーツに親しめるよう、体育・スポーツの拠点づくり・環境づくりを進める。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

3 『福祉のまちづくり』について

問3 - 1 あなたは、奈良市内の施設や道路で、段差など障害物の解消が進んでいると思いますか。(は1つ)

1. 思う	2. 少し思う	3. どちらともいえない	4. あまり思わない	5. 思わない
-------	---------	--------------	------------	---------

問3 - 2 あなたは、奈良市が福祉のまちづくりのために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

	現状の満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
地域福祉の推進 福祉・医療・保健の連携を強化するとともに、市民の福祉活動への自発的な参加によって、地域がともに支え合う地域福祉を推進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
子育て支援の推進 保育所の整備・拡充、放課後児童健全育成事業(バンビーホーム)の推進、地域における子育て支援の充実などにより、安心して子どもを産み育てられる環境整備を行う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
高齢者福祉の充実 高齢者が健康で生きがいをもち、安心して暮らすことのできる社会の構築のため、高齢者の積極的な社会参加を支援する諸施策や介護保険制度の円滑な推進を図る。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
障がい者・児福祉の充実 保健・医療の充実、在宅生活の支援、就労の促進、啓発・広報の推進などにより、障がい者・児福祉の充実を図る。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療体制の充実 地域医療体制の整備、救急医療体制の整備などにより、安心して適切な医療を受けられる医療体制を確立する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	現状の満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
市民の健康の保持と増進 予防接種・健診などの予防対策の強化、疾病対策の充実、精神保健福祉の充実などにより、市民の健康の保持と増進を図る。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生活・環境衛生の向上と増進 火葬場・公園墓地の整備、食の安全の確保など、快適で健康的な生活環境を確保できるよう環境衛生対策を推進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4 『環境保全と安心・快適なまちづくり』について

問4 - 1 あなたは、ごみの分別収集や地域の資源回収に協力していますか。(は1つ)

1. 積極的に協力している	2. 時々協力している	3. あまり協力していない
4. 全く協力していない		

問4 - 2 あなたは、日常生活において環境に配慮した行動を心がけていますか。(は1つ)

1. 心がけている	2. 少し心がけている	3. どちらともいえない
4. あまり心がけていない	5. 全く心がけていない	

問4 - 3 あなたは、奈良市が環境保全・美化のために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

	現状の満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
環境保全 環境保全行動の推進、監視・調査体制の整備など、環境の保全と創造に関する施策を総合的・計画的に推進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ごみの適正処理体制の整備、ごみ減量・リサイクルの促進 ごみ処理体制の整備と省資源・環境保全の観点に立った総合的なごみ処理施策を推進するとともに、ごみ減量とリサイクル活動を促進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境美化の推進 清潔で快適なまちづくりのため、地域の環境美化活動を推進するとともに、不法投棄の規制強化やポイ捨ての防止に取り組む。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問4 - 4 あなたは、奈良市内の道路について、歩行者が安全に利用できるよう整備されていると思いますか。(は1つ)

1. 思う	2. 少し思う	3. どちらともいえない	4. あまり思わない	5. 思わない
-------	---------	--------------	------------	---------

問4 - 5 あなたは、お住まいの地域のまちなみを美しいと思いますか。(は1つ)

1. 思う	2. 少し思う	3. どちらともいえない	4. あまり思わない	5. 思わない
-------	---------	--------------	------------	---------

問4 - 6 あなたは、お住まいの地域は緑が豊かだと思いますか。(は1つ)

1. 思う	2. 少し思う	3. どちらともいえない	4. あまり思わない	5. 思わない
-------	---------	--------------	------------	---------

問4 - 7 あなたは、奈良市が快適なまちづくりのために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

	現状の満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
秩序ある土地利用の促進 保存と開発の調和を基本に市街化の動向や土地の自然条件のもと土地利用に一定の秩序を持たせ、全市にわたって計画的な土地利用を図る。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市街地整備の推進 都市拠点となる主要駅周辺地区において、駅前広場の整備、商業・業務施設の導入などを含めた多様な都市機能の充実を図り、活力に満ちた快適な地域づくりを推進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
交通渋滞の緩和、交通サービスの質的向上 交通渋滞の緩和、交通サービスの質的向上を図るとともに、公共交通機関の総合的整備を推進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
道路整備の推進 生活道路の新設・改良促進、都市計画道路の整備促進を図るとともに広域道路網の整備を積極的に推進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
交通安全対策の充実 交通事故のない安全で快適に暮らせるまちをめざし、交通安全施設の充実、交通安全教育の推進、安全運転意識の向上などの交通安全対策の充実を図る。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
良好な住宅、住環境づくり 安全で安心して住める良好な住環境と居住水準を備えた住宅を的確に供給するとともに、市営住宅の効率的な改善・整備を進める。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
景観・自然環境の保全 景観・自然環境の保全に関わる法的規制を行うとともに、自然環境の保全対策を含む総合的な都市景観整備の推進を図る。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市公園の整備・充実 都市公園の整備を促進するとともに、ボランティアと連携して都市公園の管理・運営の多様化を図る。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	現状の満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
清潔でうまい水の安定供給 湧水や災害にも強い水道、ゆとりのある供給体制をめざして、環境にも配慮した水道へと施設の更新・整備を図る。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
下水道の整備促進 下水道整備を計画的に推進するとともに、下水道の維持管理の効率化を図る。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問4 - 8 あなたは、災害時の備えや避難所の位置などについて、日頃から意識していますか。(は1つ)

1. 意識している	2. 少しは意識している	3. どちらともいえない
4. あまり意識していない	5. 全く意識していない	

問4 - 9 あなたは、自分の住まいや地域の防犯について、日頃から意識していますか。(は1つ)

1. 意識している	2. 少しは意識している	3. どちらともいえない
4. あまり意識していない	5. 全く意識していない	

問4 - 10 あなたは、奈良市が安全なまちづくりのために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

	現状の満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
総合的な防災対策の推進 災害に強い都市基盤の整備、土砂災害危険箇所の改修・整備、防災意識の高揚などにより、総合的な防災対策を推進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
消防・救急救助体制の充実 消防組織体制の拡充、消防力の充実・強化とともに、救急救助体制の整備・充実を図る。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
安全・安心なまちづくり 地域・警察などと連携するとともに、地域環境の整備により、近隣コミュニティの再生を図り、犯罪の少ない地域社会づくりをめざす。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

5 『地域を支える産業を育成するまちづくり』について

問5 - 1 あなたは、食料品や日用品などの買い物を、主にどのような店でされますか。(は1つ)

1. 市内の商店街	2. 市内のスーパーマーケット	3. 市内のショッピングセンター
4. 市内のコンビニエンス・ストア	5. 市内のその他の店	6. 市外の店

問5 - 2 あなたは、奈良市内で採れた農産物を購入していますか。(は1つ)

1. よく購入している	2. 時々購入している	3. 購入していない	4. わからない
-------------	-------------	------------	----------

問5 - 3 あなたは、奈良市が産業の育成のために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

	現状の満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
観光戦略の推進 観光関連事業者や関係機関・団体などと連携しつつ、観光資源の保全と活用、観光関連施設の整備、サービス機能の充実などの対策を強化し、総合的な観光戦略を推進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
農林業の振興 農業生産体質の強化、農村地域の活性化、農業生産の振興などにより、農林業を振興する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
商工・サービス業の振興 企業の自助努力を促進し、体質強化のための支援・指導を強化するとともに、中心市街地の活性化を図ることなどにより、商工・サービス業を振興する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
勤労者福祉の向上・就労機会の促進 行政・企業・勤労者が一体となって勤労者福祉の向上を図るとともに、多様な就労機会の確保を図る。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
消費者保護の推進 消費生活相談体制の充実をはじめとした消費者保護対策を推進するとともに、情報の提供を強化・充実するなど、総合的な消費者行政を推進する。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

6 市政やまちづくりへの参画について

問6 - 1 あなたは、市政に関心がありますか。(は1つ)

1. 非常に関心がある	2. いくらか関心がある	3. あまり関心がない
4. まったく関心がない	5. わからない	

問6 - 2 あなたは、奈良市では、次のような機会を通じて市民の皆様の市政への参画を進めていることを知っていますか。また、これらの機会に参加したいと思いませんか。(項目ごとに は1つずつ)

	知っている	知らない		参加したことがある	ぜひ参加したい	参加したい	できればいい	どちらとも	ない	参加したく
記入例 奈良市の意見募集などへの意見の提出	1	2		1	2	3	4	5		
奈良市の施策の説明会や意見交換会、タウンミーティングへの参加	1	2		1	2	3	4	5		
奈良市の審議会や検討委員会の委員などの市民公募	1	2		1	2	3	4	5		
奈良市の意見募集などへの意見の提出	1	2		1	2	3	4	5		

問6 - 3 あなたは、市政への参画、市民と行政との協働をさらに広げていくためには、どのような条件が必要だと思いませんか。(は3つまで)

1. 活動する時間的な余裕がある	2. 趣味や経験が活かせる
3. 友人・知人が参加している	4. 活動に対する資金的援助がある
5. 公共施設や機材の優先利用ができる	6. 協働したい内容を提案できる制度がある
7. 休日や夜間に参加できる	8. 行政からの十分な情報提供がある
9. その他(具体的に:)	

問6 - 4 あなたの日頃の行動や活動についてお聞きます。(項目ごとに は1つずつ)

	ほぼ毎日	週に数回	月に数回	年に数回	ほとんどない
生涯学習(習い事、講座・講習会など)を行っている	1	2	3	4	5
スポーツ活動を行っている	1	2	3	4	5
文化・芸術活動(鑑賞を含む)を行っている	1	2	3	4	5
地域活動(自治会、PTA、子ども会など)に参加している	1	2	3	4	5
NPO活動に参加している	1	2	3	4	5
ボランティア活動に参加している	1	2	3	4	5

問6 - 5 あなたの知識や経験を、地域などで活かしたいと思いますか。(は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. ぜひ活かしたい | 【問6 - 6へお進みください】 |
| 2. できれば活かしたい | 【問6 - 6へお進みください】 |
| 3. どちらともいえない | 【問6 - 7へお進みください】 |
| 4. 活かしたいとは思わない | 【問6 - 7へお進みください】 |

問6 - 6 問6 - 5で「1.ぜひ活かしたい」または「2.できれば活かしたい」と回答された方にお聞きます。あなたは、地域活動として、どのような分野に関心がありますか。(は3つまで)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 人権・平和に関する分野 | 2. 文化財・歴史的町並みの保護に関する分野 |
| 3. 文化・芸術に関する分野 | 4. 国際交流に関する分野 |
| 5. 教育・学習に関する分野 | 6. 体育・スポーツに関する分野 |
| 7. 児童福祉・子育て支援に関する分野 | 8. 高齢者・障がい者福祉に関する分野 |
| 9. 保健・医療に関する分野 | 10. 環境保全・美化に関する分野 |
| 11. 防犯・防災・交通安全に関する分野 | 12. 奈良市の紹介・観光案内に関する分野 |
| 13. 産業の振興に関する分野 | 14. 特になし |
| 15. その他(具体的に： |) |

問6 - 7 まちづくりを進めるには、行政(国・地方公共団体)だけでなく、民間(市民・企業・NPO など)の役割が重要であり、適正な役割分担を図って協働していく必要があります。

あなたは、次のそれぞれの分野で、行政と民間でどちらの役割の方が大きいと考えますか。(項目ごとに は1つずつ)

	行政が大きい	行政がやや大きい	同じくらい	民間がやや大きい	民間が大きい
人権・平和に関する分野	1	2	3	4	5
文化財・歴史的町並みの保護に関する分野	1	2	3	4	5
文化・芸術に関する分野	1	2	3	4	5
国際交流に関する分野	1	2	3	4	5
教育・学習に関する分野	1	2	3	4	5
体育・スポーツに関する分野	1	2	3	4	5
児童福祉・子育て支援に関する分野	1	2	3	4	5
高齢者・障がい者福祉に関する分野	1	2	3	4	5
保健・医療に関する分野	1	2	3	4	5
環境保全・美化に関する分野	1	2	3	4	5
防犯・防災・交通安全に関する分野	1	2	3	4	5
奈良市の紹介・観光案内に関する分野	1	2	3	4	5
産業の振興に関する分野	1	2	3	4	5

問6 - 8 あなたは、行政サービスの水準と住民負担のバランスについて、どのように考えますか。(は1つ)

1. 行政サービスの維持・充実を優先すべきで、そのために税金など住民全体の負担が増えることはやむをえない
2. 行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人が一部費用を負担すべきであり、税金など住民全体の負担は増やすべきではない
3. 税金など住民の負担は増やすべきではないので、そのために行政サービスの維持・充実ができなくなることはやむをえない
4. その他(具体的に:)

7 奈良市の将来像や取り組むべきことについてお聞きします。

問7 - 1 あなたは、今後、長期を展望した上で、奈良市がどのような市になることが望ましいと思いますか。(は3つまで)

1. 文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市
2. 市民の芸術文化活動が盛んな文化都市
3. 海外との交流が盛んな国際交流都市
4. 観光客などの訪れる魅力ある観光都市
5. 自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市
6. 都市施設が整い、暮らしやすい生活都市
7. 交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心な都市
8. 市民の健康増進を図る健康都市
9. 子どもや高齢者、障がい者などにやさしい福祉都市
10. 子どもの個性や創造性を育む教育都市
11. 気軽に新しい知識の得られる生涯学習都市
12. 産業の盛んなにぎわいのある都市
13. その他(具体的に:)
14. わからない

問7 - 2 それでは、あなたが思う奈良市の将来像の実現のために、行政施策として重点を置いて実施していくべきだと思うのはどれですか。(は5つまで)

1. 文化財や歴史的資源を保護・保全する
2. 文化・スポーツ活動を充実させる
3. 外国との活発な交流を進める
4. 観光客誘致のための取り組みを進める
5. 緑や自然環境を保全する
6. 調和のとれた都市景観の向上への取り組みを進める
7. 物価対策など消費生活の安定向上への取り組みを進める
8. 道路・歩道を整備する
9. 駐車場・駐輪場を整備する
10. 下水道の整備や普及を促進する
11. 公共交通機関(バス・鉄道)を整備する
12. 住宅を供給し住環境を整備する
13. 計画的に市街地整備を進める
14. 交通安全対策を進める
15. 大気汚染・騒音等の公害を防止する
16. 防犯・防災体制を充実させる
17. 保健・医療体制を充実させる
18. 子育て支援や児童福祉の充実のための取り組みを進める
19. 高齢者・障がい者福祉の充実のための取り組みを進める
20. 学校教育を充実させる
21. 生涯学習を充実させる
22. 地域のコミュニティ活動を活発化させる
23. 市民のボランティア活動を活発化させる
24. 青少年の健全育成の取り組みを進める
25. 中小企業の育成や商店街の活性化の取り組みを進める
26. 地場産業の振興や農林業の保護育成を進める
27. その他(具体的に：)
28. わからない

問7 - 3 活力ある奈良市を維持していくためには、次代を担う若年層の定住を促進していくことが必要不可欠と考えられます。

あなたは、奈良市における定住促進対策として、特にどのような施策を強化していく必要があると思いますか。(は2つまで)

1. 子どもの教育環境の充実
2. 仕事と子育ての両立のための環境づくりや子育て支援の充実
3. 若い人やファミリー世帯向けの良質な住宅の供給
4. 地場産業や新たな産業振興による雇用の受け皿づくりや起業支援
5. 公園や緑地など身近ないこいの場の充実
6. 買い物・レジャーなどを楽しむことができる賑わいある空間づくり
7. 観光客など多くの人々が訪れる観光のまちづくり
8. 様々な交流やコミュニティ活動が活発に行われる環境づくり
9. 通勤や通学に便利な交通体系の充実
10. 保健・医療体制の充実
11. その他(具体的に:)

8 奈良市の水道についてお聞きします。

問8 - 1 あなたのお宅の住宅の種類は、次のどれにあてはまりますか。(は1つ)

1. 一戸建て住宅又は二階建てまでの集合住宅
2. 三階建て以上の集合住宅
3. その他

問8 - 2 お宅には、次にあげる機器がありますか。(あてはまるものすべてに)

- | | | |
|---------------------|----------------|--------------|
| 1. 洗濯機 | 2. 水洗トイレ | 3. シャワー |
| 4. 給湯器 | 5. シングルレバー式混合栓 | 6. シャワー付き洗面台 |
| 7. 浄水器 | 8. 食器洗い機 | 9. 風呂 |
| 10. フルタイムバス(24時間風呂) | | |

問8 - 3 今後水利用機器(例えば洗濯機)を購入する場合の判断基準は、どれですか。(あてはまるものすべてに)

1. 機能
2. デザイン
3. 省エネ型・節水型
4. 価格
5. 特になし

問8 - 4 お宅では、節水を心がけていますか。(は1つ)

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 節水している | 【問8 - 5へお進みください】 |
| 2. ふつう | 【問8 - 5へお進みください】 |
| 3. 節水していない | 【問8 - 6へお進みください】 |

問8 - 5 問8 - 4で「1. 節水している」または「2. ふつう」と回答された方にお聞きます。お宅で実施している節水方法はどれですか。(あてはまるものすべてに)

1. 風呂水の入替え回数を減らす
2. 風呂の回数を減らす
3. 風呂の残り湯を洗濯に利用する
4. 少量の洗濯はまとめて洗う
5. 洗濯のすすぎ水を節約する
6. 少量の洗濯は手で洗う
7. 風呂の残り湯を散水や洗車に利用する
8. 洗面や食器洗いの時には、こまめに蛇口を閉じる
9. 水を使う機器を買う場合には、節水効果の高いものを選ぶようにしている
10. 無洗米を使っている
11. 井戸水を利用している
12. 雨水を利用している
13. その他(具体的に:)

問8 - 6 お宅の使用水量は、今後どのようになるとお思いますか。(は1つ)

1. 増えるだろう
2. 減るだろう
3. 変わらない
4. わからない

問8 - 7 増えるまたは減る理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

1. 家族構成の変化
2. 節水器具等の購入
3. 生活水準の変化
4. 水の使い方の変化
5. その他(具体的に:)

問8 - 8 現在お支払いになっているお宅の水道料金(下水道使用料を除きます)は電気料金やガス料金と比較してどうお思いますか。(は1つ)

1. 高い
2. やや高い
3. 適正
4. やや安い
5. 安い
6. わからない

問8 - 9 奈良市の水道水の味についてどうお思いますか。(は1つ)

1. おいしい
2. どちらかというとおいしい
3. ふつう
4. どちらかというともまずい
5. まずい
6. わからない

問8 - 10 水道水をどのようにして飲用に使っていますか。(あてはまるものすべてに)

1. 蛇口から出た水をそのまま使う
2. 水道水を冷やしてから使う
3. 一度沸かしてから使う
4. 浄水器を通してから使う
5. その他(具体的に:)

問8 - 11 奈良市の水道水の水質には安心していただけますか。それとも不安ですか。(は1つ)

1. 安心している	【問8 - 13へお進みください】
2. どちらかというと安心	【問8 - 13へお進みください】
3. どちらかというと不安	【問8 - 12へお進みください】
4. 不安である	【問8 - 12へお進みください】

問8 - 12 問8 - 11で「3. どちらかというと不安」または「4. 不安である」と回答された方にお聞きます。不安の理由は、何ですか。(あてはまるものすべてに)

1. 水源が汚れていると思う	2. 色や濁りがあるように感じる
3. 浄水処理に不安がある	4. 水道管の管理に不安がある
5. 受水槽の管理に不安がある	6. 消毒でいろんな薬が使われていると思う
7. テレビなどで水道水は危険だと聞いた	
8. その他(具体的に:)	

問8 - 13 ミネラルウォーターなど市販の飲料水(ペットボトル水)を利用されることがありますか。(は1つ)

1. 毎日使う	2. たまに使う	3. 過去に使ったことがある	4. 使ったことがない
---------	----------	----------------	-------------

問8 - 14 水道水とミネラルウォーター(ペットボトル水)と、どちらが安全だと思いますか。(は1つ)

1. 水道水	2. ミネラルウォーター(ペットボトル水)
--------	-----------------------

問8 - 15 水道水は、ミネラルウォーター(ペットボトル水)よりも多い検査基準(51項目)に適合していることをご存じでしたか。(は1つ)

1. 知っていた	2. 知らなかった
----------	-----------

問8 - 16 水道局では、「蛇口から直接水道水を飲む文化」を育てる事業として、蛇口の直結化(受水槽を経由しない)を教育委員会と協力して小学校などで進めています。ご存じでしたか。(は1つ)

1. 知っていた	2. 名称は知っていたが、内容は知らなかった
3. 知らなかった	

問8 - 17 お宅では、地震災害などに備え、日頃から非常用の飲料水などを確保されていますか。(は1つ)

1. 確保している	2. 確保していない
-----------	------------

問8 - 18 水道局では、地震災害などに備えて、配水池や水道管などの水道施設の耐震化を進めています。このことをご存じでしたか。(は1つ)

1. 知っていた	2. 知らなかった
----------	-----------

問8 - 19 今後、災害対策に要する費用と進め方について、あなたの考え方に一番近いものは次のうちのどれですか。(は1つ)

- | | |
|--|---|
| 1. 現状より料金負担が増えても、進めるべきだ
2. 現状の料金負担で、進めるべきだ
3. 災害対策の必要はない
4. その他(具体的に：
5. わからない |) |
|--|---|

問8 - 20 水道局の窓口に行ったことや電話をかけたことがある方にお聞きします。水道局職員の対応について、どう感じましたか。(項目ごとに は1つずつ)

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
窓口での雰囲気	1	2	3	4	5
窓口・電話口での対応	1	2	3	4	5
言葉遣い	1	2	3	4	5
説明のわかりやすさ	1	2	3	4	5
処理の適切さ、迅速さ	1	2	3	4	5

問8 - 21 水道の次の点について、どの程度満足していますか。(項目ごとに は1つずつ)

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
安全な水の供給	1	2	3	4	5	6
おいしい水の供給	1	2	3	4	5	6
断水のない安定した水の供給	1	2	3	4	5	6
水道の水源を守る	1	2	3	4	5	6
災害に強い水道施設づくり	1	2	3	4	5	6
環境にやさしい事業の推進	1	2	3	4	5	6
お客様サービス	1	2	3	4	5	6
効率的な水道経営	1	2	3	4	5	6
広報・広聴活動	1	2	3	4	5	6

問8 - 22 水道の次の点について、どの程度重要であると思いますか。(項目ごとに は1つずつ)

	重要	やや重要	重要でない あまり	重要でない	わからない
安全な水の供給	1	2	3	4	5
おいしい水の供給	1	2	3	4	5
断水のない安定した水の供給	1	2	3	4	5
水道の水源を守る	1	2	3	4	5
災害に強い水道施設づくり	1	2	3	4	5
環境にやさしい事業の推進	1	2	3	4	5
お客様サービス	1	2	3	4	5
効率的な水道経営	1	2	3	4	5
広報・広聴活動	1	2	3	4	5

問8 - 23 水道のことでお知りになりたい情報はどれですか。(あてはまるものすべてに)

1. 水道の水質 2. 水道料金の仕組み 3. 水道事業の経営状況 4. 水道施設の整備計画 5. 災害対策 6. 環境対策 7. 水源状況 8. 水道の故障や凍結などのトラブル 9. その他(具体的に： 10. 特にない)
--	---

9 奈良市のまちづくりについて、ご自由に意見をお書きください。

10 水道局に対するご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

